

移管資料目録

県史編さん班移管資料

龍王神社文書

和歌山県史 七

県立図書館移管資料

総目次

凡例

和歌山県下郡市町村区画図

県史編さん班移管資料

解題

一覧表

目録

件名目録

龍王神社文書

解題

目録

和歌山県史 七

県立図書館移管資料

解題

目録

図書館移管番号・地域対照索引

217

69

53

51

33

29

24

9

8

1

凡例

- 一 本目録は、収蔵史料目録の第四集『移管資料目録』である。
- 一 本目録には、県史編さん班移管資料（三七件）、龍王神社文書（もと県史編さん班保管二二七点）、和歌山県史七、県立図書館移管資料（約一九〇〇点）をおさめた。
- 一 県立図書館移管資料には、すでに目録化されている「蜜柑方元縮文書」「山裾織布場文書」「中尾家文書」（すべて『諸家史料目録1』）「岡家文書」（『岡家文書目録』）、および「紀州家中系譜並に親類書書上げ」（別置）を除く資料を収録した。
- 一 目録は、資料群の出所ごとに個々の資料の内容を考慮して構成した。
- 一 目録は、原則として資料ごとに資料番号・標題・年月日・作成者・宛名・形態を記載し、必要に応じて備考を付した。
- 一 資料番号は整理時に資料ごとに付した番号で、閲覧申請等はこの番号で行う。
- 一 標題は、原則として原題を採り、原題のみでは内容が類推できない場合については（ ）を付して補足した。また、原題がない資料については、内容にしたがって標題を付け「」内に記した。
- 一 【】は、編者が必要に応じて出所や家名等によって与えた総称で、次行以降に枝番で詳細目録を付けている。
- 一 年月日は、原則として資料が作成された年月日とし、推定した場合は（ ）に記した。
- 一 資料の作成者・宛名が多数であり欄内に全員を記入できない場合は、原則として適当と思われる名前を記し、それ以外は「外〇名」とした。
- 一 虫損などにより判読できない文字がある場合、字数を確定できるものは字数分を□で表し、字数不明のものは□□とした。
- 一 資料の形態は次のとおり記した。
 - 一 紙 …… 一紙文書（継紙、折紙、切紙などを含む）
 - 一 野紙 …… 近代以降の文書で、野紙に書かれているもの
 - 一 縦帳
 - 一 簿冊 …… 近現代文書で諸書類を綴り込み一冊の帳面様にしたもの、原則として豎形
 - 一 横帳
 - 一 横半帳

綴り …… こより等により複数の文書が綴られたもの

図 …… 絵図、地図、図面等

そのほか、必要に応じて一括、封紙、巻物、封筒、葉書、名刺、写真などと記した。

一 備考については、特に欄を設けず標題欄中に※を付して記入した。

一 本目録においては、原則として漢字は常用漢字を使用し、かな文字についても変体かななどはひらがなに改めた。

一 本目録に収録した『移管資料』は、原則として当文書館においてマイクロフィルム等による閲覧・複写が可能である。しかし、人権やプライバシーを保護するため、一部の資料について閲覧・利用の際に一定の条件を付す場合がある。また、虫損等による破損がいちじるしい資料は、資料保存の観点から一部または全部が利用できない場合があることをおことわりしておく。

一 本目録では、原本の記載にもとづいて職業・身分などに関する差別偏見を表現する用語をそのまま使用している場合もあるが、歴史的事実に基づく客観的な研究をすすめるためであり、もとより不当な差別を容認するものではない。なお、地名の記載が不適切と思われる場合のみ表記に配慮した。

県史編さん班移管資料目録

目次

県史編さん班移管資料解題	
一 資料の移管	2
二 資料の整理と目録	2
三 資料の概要	3
県史編さん班移管資料一覧表	8
県史編さん班移管資料目録	9
件名目録	24

県史編さん班移管資料解題

一 資料の移管

和歌山県では、昭和四十七年に開県百周年の記念事業として『和歌山県史』編纂事業を開始した。平成五年からは文書館が事業を引き継ぎ、通史編五巻、資料編十八巻、人物編一巻の計二十四巻を刊行し、平成六年三月、二十二年間にわたる編纂事業を終了した。

この間の県史編纂のための資料調査は県下全域におよび、複製物による資料の収集が行われていた。これらの資料複製物は事業の引き継ぎにとまない文書館に移管されることとなった。今回、文書館開館時の移管資料の目録作成にあたり、精査したところ、県史編さん班移管資料のなかから、ひもや封筒で一括された状態で、若干の原本資料が見つかった。封筒上書き等から資料の出所が複数にわたっていることは明らかであったので、現状のまとまりを考慮しながら、まず出所と資料群を確定する作業を行い、仮目録を作成した。

その結果、文書の出所は①県庁・旧町村役場文書 ②購入文書 ③詳細不明文書の三つに大別できた。①については廃棄文書を収集したものであると思われる。②については古書店の値札が添付されていた。③については仮目録を添え、もと県史編纂担当者に編さん班に収蔵される経緯の調査を依頼した。しかし大半が単体の資料であるため、明確な回答を得ることはできなかった。先述したように、県史編さん班では、基本的に原本資料の収集は行っていなかった。③の資料はおそらく、所蔵者が直接編さん班に持ち込まれた資料を、緊急避難的に受

け入れたのものであろう。また③の資料には、図書館移管資料内の資料と同一出所と思われる資料もあった。その旨は一覧表（後述）に注記しておいた。

二 資料の整理と目録

資料の出所が県下全域にわたっているため、利用の便も考慮し、仮目録の成果からまず藩・県関係資料を集めた。ついで現行地名を基本に市・郡域・県外・その他の順番に並べ替えることとした。そして群・一点のみの単体資料の区別をせず、それぞれに番号（親番号）をあてた。親番号は1から37までとなった。親番号7・8・11・16・21・22・28・29は資料群であって、複数の資料があるので枝番号を用い整理をした。この親番号と枝番号の組み合わせが資料一点ごとの資料番号である。

一点だけの資料が多く、目録上での出所地域の区分は煩雑となるので行わず、番号順に並べておいた。よって目録からは、出所地域の確認が困難となるので、現行地名（平成十一年現在）による索引をかねた一覧表を作成しておいた。「郡市町村」と現在の大字に該当する「地区」で記してある。空白になっているところは地名が確定できなかったところである。一覧表の「資料番号」は目録の1～37の資料番号に相当するので、対応する目録部分を見ていただきたい。

なお役場文書には公文書簿冊が含まれている。一部資料には件名目録を添付しておいた。その旨は一覧表と目録上に記しておいた。購入等の出所についても、分かるものは一覧表に記しておいた。

三 資料の概要

1 釜蹄寛

この資料は、牟婁郡における明治初期の産物方の機構の変化を具体的にしめすものとして、『和歌山県史』近世史料一に、「産物方御用留」という標題で翻刻されている資料である。詳しくは、同書の解説を参照していただきたい。

古書店より購入した資料である。

2・3・4 請取申米之事（扶持米請取）

5・6 交代子備兵規則・同送り状

2・3・4 扶持米の受取証である。

慶応二年（一八六六）に従来の武官・冗官を全廃し銃隊十大隊が編成された。扶持米の受取人である梅田村（現下津町梅田）の重兵衛が属する第二大隊は、無足子弟で編成された大隊である。表書きの内容を保証する半隊長「碓市郎」の裏書きがある。

5は、明治二年（一八六九）二月に設けられた交代兵に関する資料である。交代兵は明治四年（一八七二）二月に年限・呼称が改正され、それまでは十一年間であった兵役義務年限が、二十歳から二十八歳までの九年間となった。二十二歳までの三年間は「交代常備兵」として入営、その後、二十五歳までが「第一子備兵」二十八歳までは「第二子備兵」として帰休しての兵役であった。

この資料は帰休する第一・第二子備兵について定めた規則である。帰休後も一年に一・二度入営し実地演習のあること、遠郷の者には帰休・出営の際往來旅費が下されること、着用の衣類等は帰家後すぐ町

村役人へ差し出すこと、子備兵の間に「一家之主人」や「独子独孫」となっても兵役の免除はないこと等が定められている。

『南紀徳川史』十三冊、『和歌山県史』通史編近現代一、『和歌山市史』第二巻第三巻、『かつらぎ町史』近代史料編を参照のこと。

2・6は古書店より購入した資料である。

7 会計課文書 四十八点

「県史所蔵資料 会計課」と記された封筒に入っていた。県庁の廃棄文書を収集したもののようである。現状は五つの群になっていた。袋一括が三つ、包紙一括・こより一括が各一つである。それぞれの一括資料に1から5の番号をあたえ整理を行った。このうち2（こより一括）・3（包紙一括）・4（袋一括）の三つの一括資料はさらに、袋・封筒等で一件ずつの資料に分けられていた。

1は袋一括資料で、両替利兵衛の拝借銀を両替嘉兵衛が引き継ぐ一件に関する資料である。

2は和歌山市に存在した「商会社」に対する貸付金の証書一括である。袋六点が「商会社貸之分」と記されたこよりで一括されている。

商会社は、民間有志により設立された「国産物を仕入し、之を更に加工製造し、或は販売して利益を納めんとする」組織である（『和歌山県誌』上巻）。詳しくは『和歌山県誌』上巻『和歌山市史』第三巻を参照していただきたい。ここに残された資料は、商会社の資本として明治三年・四年（一八七〇・一八七二）に貸し付けられた金銭の借用証一括である。正本とその写しとからなっており、写しには銭・金で貸し付けされていた金額が新貨幣の円に換算され記されて、大蔵省

の点検印がおされている。5・6は正本に張り紙をし、同様に銭・金の、円に換算された金額が記されている。貸付金額は包紙上書の金額を計算すると十八万四千七百五十四円余となる。膨大な借財を抱え、商會社の運営は芳しくなく、資金の調達も十分にできなかったようで、八ヶ年賦が二十五ヶ年賦へ(2-1)、十ヶ年賦が三十五ヶ年賦へ(2-3)と、明治七年(一八七四)に滞借証文を作成し貸借期間の延長が行われている。

3・4は旧藩や他府県から引き継いだ貸付金の証書一括である。3・4のなかにはさらに封筒等で一件ごとに分けられている。目録では親番号の標題のみを掲げ、一件ごとの内容は件名目録として添付することにした。公文のある資料は、基本的に公文の標題と記載年月日をとった。一点だけの資料も同様に文書標題と記載年月日をとった。複数の資料が綴られていたり、封筒内に納められているものもある。このような一件資料は適宜判断し「一括」などとしておいた。この場合日付は()で記し最新のものを書いておいた。

5は通帳・小切手帳の一括である。

8 県庁舎新築関係資料 五点

封筒に一括されていた。昭和十三年(一九三八)の県庁舎の新築に関する資料である。コピー資料も含まれている。資料自体に編綴の跡と思われる大きめの穴が二つあいているので、もともとは公文書として編綴されていたものから抜き出した資料かもしれない。

10 紀州漁業絵巻写

この資料は全長およそ二十三・二メートルにわたる絵巻物で、紀州在来の漁法・漁具とその解説を記した絵画資料である。文書館所蔵資料は写しであり、原本は『紀州漁業絵巻』の標題で和歌山県立図書館の所蔵となっている。図書館に収蔵される以前は、原本は県庁内に保管されていたようである。日本常民文化研究所と水産庁資料整備委員会による、昭和二十六年(一九五二)の

『漁業制度資料目録』第三集 全国編IIを見ると、「和歌山県庁漁政課文書」として「和歌山県漁業図説、明治、巻物、二巻」の存在が記されている。

この絵巻物は上下二巻本で、上巻には第一号から第九号まで、下巻には第十号から第十九号までの合計十九種の漁法・漁具が描かれている(図書館蔵の原本は、保存の関係から第十九号「捕鯨」を独立させ、三巻に仕立て直してある)。文書館が所蔵する写しは、このうち上巻



第四号 罾網

にあたる部分である。上巻所収の漁法は左のようである。

第一号 ポケ網 第二号 堅網又は掛網 第三号 ハマチ網

第四号 縛網 第五号 枙網 第六号 中高

第七号 鱈漁敷網 第八号 ゴツソリ網又はツル網 第九号 ワラ網

上巻の凡例によれば、損傷のため読めない部分もあるが

一、本書編纂ハ博覧会出品奨「」ヲ以テ実業者ニ就キ聞得タ

ル所ヲ記「」雖モ各地方言ヲ異ニシ又朴訥ナル漁「」

就キ其形状及制作ノ詳細ヲ悉ス能ハサ「」アリ況ンヤ調

査日数ノ僅々ナルヲヤ看者「」之ヲ諒セヨ

とあって、何らかの博覧会に関わって作成されたようである。おそらく、明治期に開催された内国勲業博覧会や水産博覧会をさすのであろう。

この資料は昭和七年（一九三二）に、和歌山県水産会から会報『紀州の水産』の別冊付録『紀州漁業図説』として謄写版で刊行されている。

12 士族授産につき告諭

この資料は徳義社に関するものである。徳義社は明治十年（一八七七）三月、旧藩主の徳川茂承の出資により設立された結社である。小作経営を行い、その利益による旧藩士の救済と人材育成が主な事業であった。

残された資料は、旧藩士からの授産起業の誓願に対し、徳川茂承が徳義社設立の趣旨にそぐわないため、行方意志のないことを徳義社員にしめした告諭である。

徳義社に関しては『和歌山市史』第三巻、社会教育資料三七『徳義社』（昭和四十四年 和歌山市教育委員会）を参照のこと。

15 「」天宝栄「」

帙に収められており、帙題箋には「紀州日方浦 折敷商和田屋手控 天保頃ヨリ明治四年」とある。用材からとれる折敷部材の割合や制作手間賃、所有屋敷田畑等の覚え書きである。日方浦は現在の海南市日方である。

16 三業組合文書 四十二点

この資料は現在の海南市日方に存在した蠟燭・傘・棕櫚の東京積組合事務所に残されたものである。この三つの組合を総称して「三業組合」と呼称していたようで、資料中にもそのように記されている。よって「三業組合文書」と名付けた。「三業組合文書」の主な内容は、組合員あての回章、回章留書、決算書などである。

三業組合に関しては、竹内庵「準則組合の成立過程 — 三業（蠟燭・傘・棕櫚）を中心に —」（安藤精一編『和歌山の研究』第三巻 近世・近代編 昭和五十三年 清文堂）があり、塩崎家文書（『和歌山県史』近現代資料五に翻刻）を用いその設立を詳細に論じている。「三業組合文書」も明治十八年（一八八五）からの組合設立期の資料であり、竹内氏の研究を多少なりとも補うことができる。

例えば、組合認可については内務省の論達により県庁から訂正の達があったこと（6）、組合設立反対者も後には組合加盟への動きがあったこと（16）などをこの「三業組合文書」から知ることができる。

回章は一紙袖の部分に封紙が糊付けされている。封紙上書きは「廻章(回章)」と記し、どの組合から出されたものかが分かるよう「和歌山県下蠟燭(傘・棕櫚皮糺)東京積組合事務所」「蠟燭傘棕櫚皮東京積組合事務所」等組合の角印が朱にておされている。本文にも同じ印がおされている。どの組合の回章かが分かるよう作成者欄に(蠟燭)(傘)(蠟燭傘棕櫚皮)等のように、おされていた印の種類を記しておいた。

古書店から購入したものである。

17 棕櫚毛製束子製造禁止陳情書

18 紀州棕櫚工業組合定款

二点とも紀州棕櫚工業組合に関する資料である。紀州棕櫚工業組合はその事務所を那賀郡中野上村野上中(現海南市野上中)におき、「棕櫚並ニ椰子繊維ノ加工業ノ改良発達ヲ図ルタメ共同施設ヲナス」ことを目的に設立された団体である。

17は、日中戦争以後の中国産棕櫚の輸入途絶により、船舶用・漁業用品等の棕櫚製品の材料確保のため棕櫚製亀たわしの製造禁止を願ったものである。当時、生産された棕櫚の八割がたわし製造に消費されているという記述がある。

編綴跡があるので、もともとは簿冊として綴られていた資料と思われる。

22 間下氏旧蔵 小田井水車組合文書 十二点

小田井は宝永四年(一七〇七)ごろから、井沢弥惣兵衛・大畑才蔵

によって開削された農業用水である。現在の伊都郡高野口町小田から取水し、那賀郡岩出町根来にいたる紀ノ川北岸の農地を潤している。この資料はそのほとんどが断簡であるが、小田井にあった水車組合に関する資料である。小田井の営繕関係資料や、水車の利用回数、水車会議出席の案内状などがある。

25 組下印鑑帳

26 砲弾証明書

27 大福帳

記載されている地名から有田郡の資料と判断した。

25には南道・浜町・屋敷町・吉川村・山田村・別所村等現在の湯浅町内の地名が記されていた。組子の署名捺印のほか、達・触の留書がある。

26は宛名にある耐久中学(現在の耐久高校)の所在地が、現在の湯浅町湯浅になる。

27は星尾村・辻堂村(現有田市)、湯浅・別所村(現湯浅町)、田口村(現吉備町)等の地名記載がある。金銭貸借に関する内容である。

28 切目村役場文書 七点

ひもにより一括されていた。切目村は明治二十二年(一八八九)の市制・町村制の施行により、西野地村・島田村の二ヶ村が合併して成立した。現在の印南町大字西野地・島田にあたる。残されていた資料はすべて役場資料であるので「切目村役場文書」と名付けた。1・7を除き、現状は編綴のひもが切れバラバラの状態であった。2・3は

小口書きや丁数の書き込みをもとに、編綴の状態に復した。その他は年代でまとめておいた。内容は主に西野地・島田地区の漁業組合・産業組合の事業成績報告書、同地区の耕地整理に関する切目村役場の公文書である。

27の資料には件名目録を添付しておいた。

29 慳野協議会文書 二十四点

「慳野協議会文書」と記された封筒に一括されていた。

慳野は現在の西牟婁郡串本町慳野にあたる。明治二十二年（一八八九）の市制・町村制の施行により、大島浦・須江浦・慳野浦が合併し東牟婁郡大島村となる。昭和三十三年（一九五八）に西牟婁郡串本町に編入合併され、現在の西牟婁郡域に属することとなった。明治末から昭和二十年代の資料が中心で、四冊の版本を含んでいる。

内容は入会地の立ち木売却に関する資料、漁業や村に関する諸調査の写し等である。「契約書綴」（一）には慳野漁業協同組合と締結した鰯大敷網漁場の貸借契約や入会山植林に関する契約書がある。索引が添付されているので、件名目録として掲げておいた。

内容が多岐にわたり、また一点だけで資料自体の性格がつかみ難い場合もあり、目録掲載だけとなった資料もあることをお断りしておく。

県史編さん班移管資料一覧表

郡市町村	地区	資料番号	資料名	点件数
藩庁		1	釜歸覚(産物方御用留)	1
		2・3・4	請取申米之事(扶持米請取)	3
		5・6	交代予備兵規則・同送り状	2
県庁		7	会計課文書	48
		8	県庁舎新築関係資料	5
		9	〔文庫等書上・官報写〕	1
		10	〔紀州漁業絵巻写〕	1
和歌山市	出島・栗栖・岩橋	11	西和佐村役場文書	20
		12	〔土族授産につき告諭〕(徳義社関係)	1
		13	〔塩津航路譲渡広告〕	1
		14	〔和歌山郵船組移転広告〕	1
海南市	日方	15	〔大宝栄〕(折敷商和田屋備忘録)	1
		16	三業組合文書	42
		17	棕櫚毛製束子製造禁止陳情書	1
	野上中	18	紀州棕櫚工業組合定款	1
海草郡下津町	塩津	19	定約書(捕漁売買代価取替)	1
那賀郡		20	郡長訓示綴	1
		21	麻生津文書	2
伊都郡かつらぎ町		22	小田井水車組合文書	12
有田市	初島町里	23・24	御用扣帳 椒里村	3
有田郡湯浅町		25	組下印鑑帳	1
		26	砲弾証明書	1
有田郡	(有田市糸我町西?)	27	大福帳	1
日高郡印南町	西野地・島田	28	切目村役場文書	7
西牟婁郡串本町	樞野	29	樞野協議会文書	4
奈良県添上郡・山辺郡		30	〔酢酸預かり・工賃等勘定帳〕	1
?		31	一札之事(まさ藤縁につき)	1
		32	地形永代分選証文之事	1
		33	〔約定破行事件につき印形約定文詞照会の回報依頼状〕	1
		34	日露戦争報記	1
		35	〔漁法別操業日数書上〕	1
		36	衆議院議員肖像	4
		37	断簡	1

県史編さん班移管資料目録

資料番号	標 題	年 月 日	作 成 者	宛 名	形態
1	釜蹄覚(産物方御用留) ※「県史」近世資料一 半裏郡関係	巳(明治2年)6月 (9月14日)	大田鉞右衛門 竹田八三郎 角谷八郎右衛門		一紙
2	請取申米之事(扶持米請取) ※裏書(表書保証)「半隊長 碓市郎」	辰(明治1年)正月	梅田村重兵衛	海士御代官所	一紙
3	請取申米之事(扶持米請取) ※裏書(表書保証)「半隊長 碓市郎」	辰(明治1年)5月	第二大隊第三小隊 梅田村 重兵衛	海士御代官所	一紙
4	請取申米之事(扶持米請取) ※裏書(表書保証)「半隊長 碓市郎」	辰(明治1年)7月	第二大隊第三小隊 梅田村 重兵衛	海士御代官所	一紙
5	交代子備兵規則	辛未(明治4年)4月			一紙
6	「交代子備兵規則送り状」	(明治4年)4月23日	郷役所	小南 梅田 中田 右村々 庄屋中	一紙
7	【会計課文書】↓以下詳細				
7-1	【一括袋】 ※上書「亥二月 銀參拾貫目 元両替利兵衛納筋 両替嘉兵衛証文入」				
7-1-1	御答奉申上口上(両替利兵衛所持之家屋敷当時値段御尋につき)	申(万延1年)9月	中之店南之丁年寄安助	町御会所	一紙
7-1-2	御答奉申上口上(両替嘉兵衛両替半兵衛所持之家屋敷値段御尋につき)	申(万延1年)9月	寄合町年寄伝吉 同九右衛門	町御会所	一紙
7-1-3	乍恐口上(利兵衛所持之家屋敷代銀御尋につき)	申(万延1年)10月	西紺屋町年寄毛兵衛 同弥 四郎 同伝左衛門	西御番所	一紙
7-1-4	覚(根質物差出)	庚申(万延1年)10月	両替利兵衛	銀札方御役所	一紙

7-2 -1-1	7-2 -1	7-2	7-1 -12-2	7-1 -12-1	7-1 -11	7-1 -10	7-1 -9	7-1 -8	7-1 -7	7-1 -6	7-1 -5-3	7-1 -5-2	7-1 -5-1
拝借申金銭札之事 ※金七千両銭札百十一万六千貫文	〔一括袋〕 ※袋上書「第百参拾卷号 一金九万六千式百八拾円 津田伊助 但明治六年ヨリ同十三年マテ八ヶ年賦之処難決歎願ニ寄リ同年ヨリ式拾五ヶ年賦」	〔一括より〕 ※袋6点 こより先端朱書「商会社貸之分」	〔嘉兵衛へも貸し下げ申すべき旨書付〕	〔両替嘉兵衛へ銀式拾貫目貸下げにつき達〕	奉差上一札之事（両替利兵衛拝借銀返納・質物につき）	引受一札之事（利兵衛拝借銀引受返納につき）	引受申一札之事（利兵衛拝借銀引受返納につき）	乍恐御届奉申上口上（利兵衛拝借銀御引受につき）	覚（御貸方御封所根質を御役所根質物ニ御見込被遊可被成下候につき）	乍恐口上（嘉兵衛所持家屋敷値段御尋につき）	〔町会所よりの回答進達の旨付紙〕	〔値積いか程の品に候哉、猶取調につき別紙返達旨付紙〕	〔両替嘉兵衛根質物一通差出につき送り状〕 ※1に2が、さらに2に3が小紙片にて貼付け
明治3年3月				9月	明治2年8月	慶応3年正月	文久3年2月	文久2年6月	万延元年11月	申（万延1年） 11月10日	（万延1年）11月13日	（万延1年）11月9日	（万延1年）11月9日
寄合町 津田伊助				銀札方頭取	両替嘉兵衛	両替嘉兵衛 加判 銭屋判次郎	引受本人 両替嘉兵衛 加判 人 銭屋半次郎	両替嘉兵衛	両替嘉兵衛	寄合町年寄伝吉 九右衛門			勘定組頭中
開物御役所					會計銭預御役所	銀札方御役所	銀札方御役所	銀札方御役所	銀札方御役所	町御会所			小林源五郎 国沢良三郎
一紙	袋		一紙	一紙	一紙	一紙	綴り	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

11-4	11-3	11-2	11-1	11	10	9	8-5	8-4	8-3	8-2	8-1	8	7-5-3
名寄除名簿	名寄除名簿	田畑修正地価帳	土地台帳 附属共有地 台帳 ※接込文書あり〔追加箇所書上〕	【西和佐村役場文書】↓以下詳細	〔紀州漁業絵巻写〕 ※写し	〔文庫等書上・官報写〕 ※「農商務省」野紙 官報（百三十四号）明治十六年十二月七日文部省報告	〔コピー資料一括〕 ※昭和九年当時県庁平面図、昭和十一年一月地質桂状図・耐圧力測定表	和歌山県庁舎新営工事概要 ※冊子2冊合冊の下	県庁舎計画図 縮尺六百分之屯 ※冊子2冊合冊の上 青写真 表紙貼紙〔昭和八年県会へ提出各議員に配布〕	県庁舎地鎮祭次第 ※ガリ版	和歌山県庁並ニ警察庁舎改築計画概要書 ※ガリ版	【県庁舎新築関係資料】↓以下詳細	〔有価証券保管袋〕
大正5年3月	大正5年3月	明治32年	明治27年		(明治)	明治		昭和13年4月15日	(昭和8年)	(昭和10年12月14日)	(昭和8年カ)		
西和佐村役場	西和佐村役場	西和佐村	西和佐村					和歌山県					
簿冊	簿冊	簿冊	簿冊		巻物	綴り	一括	冊子	冊子	一紙	冊子		袋

11-15	11-14	11-13	11-12	11-11	11-10	11-9-4	11-9-3	11-9-2	11-9-1	11-8	11-7	11-6	11-5
紀伊国名草郡岩橋村田持主連名簿 ※字中村915 5人持ち	紀伊国名草郡岩橋村田持主連名簿 ※字北村170 21人持ち	紀伊国名草郡岩橋村田持主連名簿 ※表紙「素師講中」 字安井1254 16人持ち	紀伊国名草郡岩橋村田持主連名簿 ※字中里900 33人持ち	紀伊国名草郡岩橋村田持主連名簿 ※表紙「講田講中」 字宮之段1212 7人持ち	紀伊国名草郡栗栖村宅地持主連名簿 ※字松本502 8人持ち	紀伊国名草郡栗栖村宅地持主連名簿 ※字前田393 16人持ち	紀伊国名草郡栗栖村宅地持主連名簿 ※字露詰581 16人持ち	紀伊国名草郡栗栖村宅地持主連名簿 ※字前田394 16人持ち	紀伊国名草郡栗栖村宅地持主連名簿 ※堅帳4冊綴りの上から 表紙朱「高倉寺」 16人持ち	根基 土地所有者名寄帳 三冊之内第老号	官地反別帳	大整理以降 土地台帳除籍綴	森林台帳
明治21年5月1日	明治20年6月10日	明治20年6月10日	明治20年6月10日	明治20年6月10日	明治20年11月日	明治20年11月日	明治20年11月日	明治20年11月日	明治20年11月日			昭和4年6月	大正8年
名草郡栗栖村外五ヶ村戸長 岩橋恭一	名草郡栗栖村外五ヶ村戸長 岩橋恭一	名草郡栗栖村外五ヶ村戸長 岩橋恭一	名草郡栗栖村外五ヶ村戸長 岩橋恭一	名草郡栗栖村外五ヶ村戸長 岩橋恭一	名草郡栗栖村外五ヶ村戸長 岩橋恭一	名草郡栗栖村外五ヶ村戸長 岩橋恭一	名草郡栗栖村外五ヶ村戸長 岩橋恭一	名草郡栗栖村外五ヶ村戸長 岩橋恭一	名草郡栗栖村外五ヶ村戸長 岩橋恭一	名草郡	西和佐村役場	海草郡西和佐村役場	海草郡西和佐村役場
和歌山県知事松本鼎	和歌山県知事松本鼎	和歌山県知事松本鼎	和歌山県知事松本鼎	和歌山県知事松本鼎	和歌山県知事松本鼎	和歌山県知事松本鼎	和歌山県知事松本鼎	和歌山県知事松本鼎	和歌山県知事松本鼎				
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊

16-7	16-6	16-5	16-4	16-3	16-2	16-1	16	15	14	13	12	11-17	11-16
廻章（組合認可・規約台帳調印につき日方事務所へ出張依頼）	回章（組合一件認可・東京積先）	廻章（役員総理・委員投票）	三業費用決算表 ※明治19年5月より	目下三業営業者人名簿	証標枚数受取扣	三業組合ニ係ル 廻章留	【三業組合文書】↓以下詳細	大宝栄□（折敷商和田屋備忘録）	〔和歌山郵船組移転広告〕 ※印刷	〔日本郵船より辰馬商会へ塩津航路譲渡広告〕 ※印刷	〔士族授産につき告諭〕 ※活版印刷 前書 明治十三年十二月和歌山徳義社↓旧和歌山藩士族中	〔税務に関する和歌山県令・訓示・告示綴り〕	裁判所ニ関スル預書
（明治18年）11月10日	（明治18年）10月15日	（明治18年）10月14日	明治20年5月	取調 （明治）19年4月3日	（明治）18年12月	明治18年12月（11日） 20年8月12日		（天保）明治4年）	明治42年4月	明治41年2月	明治13年11月	（明治25年12月19日） 27年4月6日	明治24年ヨリ （27年2月）
井上庄兵衛 石倉正右衛門	塩崎久七 清水与次兵衛 石倉治兵衛	塩崎久七 清水与次兵衛 石倉治兵衛						（折敷商和田屋）	合資会社和歌山郵船組	日本郵船株式会社 株式会社 社辰馬商会 合資会社和歌 山郵船組	徳川茂承		名草郡西和佐村役場
坂本宇兵衛 外10名	三業組合御仲間衆中	各員御中							各華主様	各位御中	徳義社員中		
一紙抽封 紙貼付	一紙抽封 紙貼付	一紙抽封 紙貼付	横帳	横帳	横半帳	横帳	一	和綴本	一紙	一紙	一紙	簿冊	簿冊

16-21	16-20	16-19	16-18	16-17	16-16	16-15	16-14 -1	16-13	16-12	16-11	16-10	16-9	16-8
積問屋衆へ廻章（組合荷物三品は他の荷物と積合不致義） ※封筒入り	廻章（定約一時破解執計度宴会開催案内）	回達（事務所へ御来場依頼）	回章（組合一件につき出金依頼）	廻章（年始懇親会案内）	廻章（兼わて反対の人の加盟について相談につき事務所へ出席依頼）	廻章（約定書回覧）	廻章（東京傘仲間宛書状回覧） ※3点こより一括	〔組合認可・塩崎氏組合一条及び入札一件につき書状〕	〔回章案〕（東京組合への書状回覧） ※10・11の案	蠟燭廻章（東京組合への書状回覧）	傘廻章（東京組合への書状回覧）	〔組合荷物積入れ・貴地御仲間の名前進達依頼書状〕 ※8の案	〔組合荷物積入れ・貴地御仲間の名前進達依頼書状〕
（明治19年）3月15日	（明治19年）3月12日	（明治19年）3月5日	（明治19年）2月（13日）	（明治19年）2月4日	（明治19年）1月27日	（明治18年）12月20日	（明治18年）12月12日 12月3日	（明治18年力） 12月3日	（明治18年11月）	（明治18年）11月	（明治18年）11月	（明治18年11月）	（明治18年）11月
三業組合事務所	事務所（蠟燭）	事務所（蠟燭）	石倉治兵衛 稲井弥三郎	事務所（蠟燭）（傘）	事務所	塩崎久七 石倉正右衛門 井上庄兵衛	兵衛（傘） 塩崎久七 清水与治 兵衛 稲井弥三郎	蠟燭東京積組合委員清水与 次兵衛同石倉治兵衛清水 欄皮東京積組合委員石倉正 右衛門	蠟燭傘 総理 委員——同——	同委員清水与次兵衛 七 同委員清水与次兵衛 同石倉治兵衛	（傘）傘総理 塩崎久七 同委員清水与次兵衛 同稲 井弥三郎	石倉治兵衛（蠟燭）	塩崎久七 清水与次兵衛 石倉治兵衛（蠟燭）
御前新右衛門 石倉十兵衛 御前藤右衛門	松下治兵衛 外20名	石倉正右衛門 外11名	清水与兵衛 外10名	清水与兵衛 外33名	稲井弥三郎 外17名	清水与次兵衛 外11名	名手猪之吉 外10名	河村惣太郎 外15名	組合名前	石倉正右衛門 外10名	石倉正右衛門 外8名	（蠟燭・傘）月行司御中	柏原孫左衛門 下村正右衛門
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

16-33	16-32	16-31	16-14 -3	16-30	16-29	16-28	16-27	16-26	16-25	16-24	16-23	16-14 -2	16-22
廻章 (東京盛傘組新加盟案内)	回章 (新規加盟懇談会開催日時案内)	廻章 (和歌山区内同業者加盟案内)	廻章 (規約徹底)	回達 (新加盟懇親会案内)	廻章 (運賃競争和解予約取換)	廻章 (蠟燭箱入れ目)	廻章 (送り状書式につき東京盛傘組合事務所より申来り)	廻章 (新加盟懇親会案内)	廻章 (黒江村宮本平兵衛組合加盟)	廻章 (定式会開催案内)	傘廻章 (新加盟につき東京盛傘社よりの書状回覧)	三業廻章 (休業廃業届出)	皮廻章 (名草郡坂井村広田半助・山本勝之助新規加盟)
(明治19年9月14日)	明治19年9月14日	(明治19年)9月9日	(明治19年)9月9日	(明治)19年8月25日	(明治)19年7月11日	(明治19年)7月11日	(明治19年)6月28日	(明治19年)5月15日	(明治19年)5月8日	(明治19年)4月	(明治19年)3月23日	(明治19年)3月23日	(明治19年)3月19日 {23日の間}
日方浦事務所(傘)	日方浦事務所(蠟燭)	事務所(蠟燭)	塩崎久七(蠟燭)	事務所(棕櫚皮繩)	三業組合事務所(蠟燭傘棕櫚皮)	蠟燭東京積事務所(蠟燭)	事務所(傘)	傘東京積事務所(傘)	傘東京積事務所(傘)	日方事務所(蠟燭傘棕櫚皮)	事務所(傘)	事務所(東京積組合事務所)	事務所(棕櫚皮繩)
清水与次兵衛 外14名	清水与治兵衛 外19名	清水与次兵衛 外8名	石倉正右衛門 外8名	石倉正右衛門 外12名	富永佐二郎 外21名	清水与次兵衛 外7名	清水与次兵衛 外14名	石倉正右衛門 外14名	石倉正右衛門 外13名	石倉治七郎 外22名	清水与次兵衛 外15名	富永佐二郎 外31名	石倉正右衛門 外12名
一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付	一紙袖封 紙貼付

21-2	21-1	21	20	19	18	17	16-40	16-39	16-38	16-37	16-36	16-35	16-34
丙第十四号(社寺廃号移転等の跡地処分未済の分取調) ※印刷	乙第七十二号(寺院住職進退出願書式) ※印刷	【麻生津文書】↓以下詳細	町村長会ニ於ケル(那賀郡)郡長訓示綴 村長保管	定約書(捕漁売買代価取替)	紀州棕櫚工業組合定款 ※カリ版 裏見返「昭和十四年五月十五日認可清正式定款」とあり	棕櫚毛製束子製造禁止陳情書 ※カーボン複写	〔傘・棕櫚皮扱い人書上〕	記(集會費受け渡し)	十一月十日蠟燭傘集會扣(出欠表)	廻章(東京盛傘組新加盟案内)	回章(新年初集會案内)	廻章(蠟燭小箱証紙貼付・証紙配布)	廻章(騰貴につき御談事申上度事務所へ出頭依頼)
明治12年1月14日	明治12年7月22日		大正8年8月以降 (大正13年)	明治12年5月	(昭和14年5月15日)	昭和12年1月16日				明治20年8月12日	(明治)20年2月1日	(明治19年)12月28日	明治19年12月6日
和歌山県令神山郡廉	和歌山県令神山郡廉			海部 郡 津 浦 瀧 網 屋 年 七 行 宮 脇 手 弥 七 郎 寺 小 浦 善 八 東 野 基 仁 右 衛 門 大 東 野 孫 四 郎 平 吉 東 野 新 古 衛 門	紀州棕櫚工業組合	事務所(蠟燭傘棕櫚皮)			日方組合事務所(傘)	三業事務所(蠟燭)	蠟燭東京積組合事務所(蠟燭)	組合事務所(蠟燭)	
(第三大区四)小区長				中尾五郎右衛門				石倉治七郎 外20名		稲井弥三郎 外15名	石倉正右衛門 外23名	清水与次兵衛 外12名	石倉正右衛門 外8名
一紙	一紙		簿冊	堅紙裏打冊	冊子綴り	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

23	22-12	22-11	22-10	22-9	22-8	22-7	22-6	22-5	22-4	22-3	22-2	22-1	22
酉御用扣帳	〔用水・井堰・水車等の賦課金・営繕等に関する横帳くずれ〕 ※「明治十七」「廿一年」とある資料ありくずれ16枚	〔日毎出人足人数等書上〕 ※くずれ1枚	水車用水充否証明通牒 ※くずれ1枚	〔工事部材入用〕 ※くずれ1枚	水車営業組合規約附冊 ※表紙1枚のみ	第一回水車組合費雜勘定及賦課請求書 ※表紙1枚のみ	小田井 干ノ及井清共 土砂取除目論見帳 ※くずれ3枚	〔水車関係諸費用書上〕 ※「明治二十三年度分」とあり くずれ3枚	契約書案（小田井樋・用水路宮繕工事） ※小田井普通水利組合と小田井水車営業組合間	〔水車会議への出席願ひにつき書状〕	御請（関立につき）	〔本年度水車使用白数伺ひにつき書状〕	〔間下氏旧蔵 小田井水車組合文書〕 ↓以下詳細
嘉永2年正月			明治30年度			明治30年度				9月10日	明治24年12月26日	明治23年11月4日	
椒里村			小田井水車組合惣代 紀州 伊都郡中飯降木下政十郎			当番年行司 木下政十郎				森田庄兵衛	小田井水車組合年行司 森田庄兵衛	和歌山県伊都郡大谷村大字 大谷水車年行司 岩本惣兵衛	
			請負者堀田孫三郎							黒川藤助 井上竹二郎	和歌山県知事千田貞暁		
堅帳	横帳	横半帳	横半帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	一紙	一紙	一紙	一紙	

29	28-7	28-6	28-5	28-4	28-3	28-2	28-1	28	27	26	25	24-2	24-1
【樺野協議会文書】↓以下詳細	〔県下篤農家懇談会ほか資料綴〕 ※件名目録あり	〔耕地整理関係〕 ※簿冊くずれ2綴 件名目録あり	〔勸業関係〕 ※簿冊くずれ5綴 件名目録あり	〔耕地整理関係〕 ※簿冊くずれ5綴 件名目録あり	〔勸業関係綴〕 ※地小口〔昭和七六年勸業〕 表紙欠 件名目録あり	〔勸業関係綴〕 ※地小口〔勸業大正十一年〕 表紙欠 件名目録あり	〔農事統計綴〕 ※地小口〔農事統計 自明治二十六年至大正八年〕	【切目村役場文書】↓以下詳細	大福帳 ※挟込文書1点	砲弾證明書 ※野紙	比組支配 組親赤桐善右衛門 組下印鑑帳 ※挟込文書あり	乍恐奉願上候口上（不納高分無利足五十年賦にて御貸下につき） ※綴じ紐によりて括り付け 表紙〔御願書之扣〕	亥御用扣帳
	（大正11年10月10日）	（昭和13年）	（昭和10年）	（昭和5年）	（昭和6・7年）	（大正11年）	（明治26年） ～（大正8年）		明治21年1月	明治39年9月29日	安政6年8月改ル	嘉永4年4月10日	嘉永4年正月
									（山崎氏）	第卅七聯隊第三大隊長功四 級大尉山中静雄		椒里村庄屋常蔵 同村肝煎 太郎右衛門 賀茂組大庄屋 中尾雄蔵	（椒里村）
										耐久中学校第三部運動係長 某君二呈ス		松尾藤蔵	
	綴り	綴り	綴り	綴り	簿冊	簿冊	簿冊		横半帳	一紙	堅帳	綴り	堅帳

29-14	29-13	29-12	29-11	29-10	29-9	29-8	29-7	29-6	29-5	29-4	29-3	29-2	29-1
〔岩谷家・一族系図由緒〕	大島調査資料 ※集計用紙23枚	〔村勢書上〕 ※集計用紙5枚・戸数・人口・土地・主要産物・町村財政・組合など (大正9年?) 昭和18年)	樺野漁家一らん(24・3・1漁業センサス) ※集計用紙2枚	網代の沿革と鮎大数の事ども(註、約三百年前よりの記録文書に依る) ※カーボン複写	立木売買契約書 副本 ※8と同内容	立木売買契約書 第八号 正本 ※農保証「東牟婁郡大島村大字樺野六百拾番地 保証人岩谷盛松」5の入札の契約	樺野区打揚艸株拾条件 ※綴じ系切れ	〔熟談のため一先一同帰町之事ニ相定候につき書状〕 ※封筒あり上書「樺野区出張員各位」裏「古座町出張員 十月十三日」	入札人心得(立木売却) ※明治四十四年五月一日午後四時限入札(明治44年)	漁業計画理由書追加提出に就て ※カーボン複写	漁民実態調査票 ※カーボン複写	家禽センサス結果表 ※ガリ版	第五参号 契約書綴 ※件名目録あり 大正4年起
昭和24年2月21日	(明治10年~33年)		(昭和24年3月1日)		(明治44年5月2日)	明治44年5月2日	明治34年4月規定	10月13日		昭和26年6月1日		1951・10調査	
				樺野漁業協同組合	治 売主長尾竹松 買主斉藤敬	治 売主長尾竹松 買主斉藤敬	樺野区青年会	古組惣代	樺野区	樺野漁業権管理委員会 委員長浜岡義蔵 委		大島村役場	樺野協議会
								樺野御出張各位御中		紀南海区漁業調整委員会 委員長吉村宮一			
綴り	一紙	一紙	一紙	綴り	綴り	綴り	綴り	一紙	一紙	綴り	綴り	冊子	簿冊

33	32	31	30	29-24	29-23	29-22	29-21	29-20	29-19	29-18	29-17	29-16	29-15
〔約定破行事件につき印形約定文詞照会の回報依頼状〕	地形永代分遷證「文之事」 ※奥1「同年同月 肝入局弥」奥2「天保十五年八月 飯肝入七兵衛」	一札之事（まさ離縁につき）	〔酢酸預り・工賃等勘定帳〕 ※無地（奈良市柳吉・高岡、柳野、赤上郡、瀬村・青山（奈良市・山崎村）など奈良の地名あり	〔コピー資料一括〕 ※29-4・10・17のコピー	勅突聞評 ※中国書	農書要覧 ※綴じ系切れ 発兌書林「有隣堂」	金魚愛玩経験録 全 ※発行「明隆堂」	金魚そたて唄 全 ※表紙破れ 奥付「寛政二年庚戌三月 大阪心斎橋筋北久太郎町北へ入 浪速書林 河内屋書兵衛」	昭和五年現在 露領漁区分布図 ※原図農林省水産局	〔封筒〕 ※上書「隨筆 自昭和二十四年」	内浦入会漁場と魚付林事件 ※紙悪い 推敲あり	雷公神社の由来について ※紙悪い 推敲あり	我が家の記（昭和十九年夏起稿） ※紙悪い 推敲あり「明治十二年頃ノ櫻野ノ戸別図」添付
1月8日	天保8年12月	天保6年7月			印 中華民国2年8月校	明治11年1月刊行	明治16年3月出版	寛政2年3月	昭和5年7月 発行印刷				昭和19年起稿
一宮村 杉山代官事務所	右地形分遷人布首 同親類五五 五人組合五郎右衛門 外43名 同同 小肝入重藏	常松村親太兵衛 娘まさ			日本 法学博士文学博士 有賀長雄述	官農局報告課編集	常磐木秀慶著	泉州堺 安達喜之著	露領水産組合 発行				
久我三十郎	右地形分遷受人十四郎	安倉屋芳兵衛											
一紙	綴り	一紙	横半帳	一括	明朝綴	和綴本	和綴本	和綴本	地図1冊	封筒	綴り	綴り	綴り

37	36	35	34-2	34-1
〔断簡〕	衆議院議員肖像 ※1号、4号まで4枚重巻 改進黨新聞7月15日、8月1日・15日、9月2日付録	〔漁法別操業日数書上〕 ※野紙7枚内6枚未使用	〔戦死者名簿〕 ※検込	日露戦争報記 ※裏表紙「訪利登区部所持」
※一九五〇・一一・二五 宇野秀夫とあり	明治23年7月15日		明治37年11月	明治37年5月
	編集人岩井益之助 印刷人石井富弥 発行兼			台湾守備歩兵第四大隊第二 中隊
一紙断簡	印刷物	一紙	綴り	堅帳

件名目録

資料名	番号	件番号	件名	年月日	作成者→宛名
会 計 課	7 1 3	1	[抵当品入換による借用証文の更正の件]*袋入	明治21.2.23	会計課→第一部長 第二部長
		2	[南川正三郎貸下金証書一括] *袋入	(明治7.7.12)	
		3	[袋]上書「金貳百拾三円四拾四銭老厘 北野村初外五ヶ村」 *袋のみ		
		4	年賦返納金の義ニ付受書進達添申 *袋入	明治15.11.27	
		5	収税部へ照会案伺(諸印紙税未納金雑種貸へ編入) *封筒入	明治21.5.4	
		6	定期貸引継の件 *封筒入	大正2.12.24	
		7	[年賦金上納延期願御指令御受書進達の件]	明治19.1.9	
		8	年賦返納金ノ義ニ付受書進達	明治19.2.20	
		9	[貸付金引継の件] *袋入	明治21.2.24	
		10	江川八郎ヨリ別紙之通願出候ニ付御指令及該事件大蔵省へ御開申大阪府へ到達按トモ左ニ相伺候	明治8.12.	
		11	[名草郡布施屋村外七ヶ村貸下金証書一括] *袋入	(明治9.5.9)	
		12	請取申銭之事(新田広芝村貸下金) *袋入	明治3.5.	
		13	[旧藩年賦借用金返納猶予につき請書進達の件]	明治19.2.15	
		14	恩給金年賦返納証書 *封筒入	大正5.	
		15	[徴収未済金据置貸へ編入の件] *封筒入	明治27.10.26	
		16	[岸根純平・田端松之助定期貸金証書一括] *封筒入	(大正13.4.15)	
		17	[露野半兵衛貸下金証書一括] *袋入	(明治10.2.28)	
文 書	7 4	1	[陸軍省留学中の借入金につき照会] *封筒入	明治23.3.18	陸軍省会計局→和歌山県 川口武一郎→藩庁会計御掛
		2	拝借仕金子之事 *袋入	明治4.3.27	
		3	[宗音右衛門貸付金証書一括] *口の部分で袋二点を綴じてあり開かない	(明治)	
		4	証(北海道未開地内立木株弁償金借用書) *封筒	大正6.9.17	
		5	[佐々木十太郎据置貸金証書一括] *封筒入	(明治31.4.11)	
		6	[瀬戸鉛山村鉱泉浴室等修繕費洋借開届につき貸与開申] *封紙あり	明治11.11.4	
		7	[有本鏡一・安吉定期貸金証書一括] *封筒入	(明治13.4.15)	
		8	[竹岡鉄一・熊吉定期貸金証書一括] *封筒入	(大正8.10.21)	
		9	[林定助出世証文一括] *封筒入封紙あり	明治10.7.2	
		10	[川端金兵衛据置貸金証書一括] *封筒入 日付封筒より	(明治35.6.8)	
		11	[据置貸責務大蔵省より引継の件] *封筒入 封筒日付明治39.9.30	明治37.12.16	
		12	御裁判執行済口御届 *封筒入 明治25.3.28交付	明治20.4.16	

資料名	番号	件番号	件名	年月日	作成者→宛名
会計課 文書	7 4	13	[据置貸引継の件] *封筒入 明治39.9.28引継	明治39.9.7	福岡県→和歌山県
		14	借用金証券之事 *袋入	明治10.3.12	負債者瀧万之丞 請人長谷川大三 →和歌山県令神山郡麻
		15	[牟呂郡新宮上ヶ知村々貸下金証書] *袋入	(明治6)	
		16	[西牟婁郡四番組貸下金証書一括] *袋入	(明治8.3)	
		17	[中ロクマ雑種貸証書一括] *袋入	(明治22.9)	
		18	[西出甚四郎定期貸債務証書一括] *封筒入	(大正14.4.7)	
		19	[袋]上書「金三百貳拾七円六拾八錢四厘 大 四大区一小区妙寺村下村安右衛門一類同大区同 小区同村引受人 下村保太郎」 *袋のみ	(明治)	
	20	[出世証文回送の件] *封筒入	明治25.4.2	直税署第一課→内務部第四課	
切 目 村 役 場 文 書	28 2	1	工事完了届	大正11.1.2	(西之地耕地整理)組合長竹田直 七→和歌山県知事
		2	耕地整理地区並設計規約書変更認可申請書	大正11.1.2	(西之地耕地整理)組合長竹田直 七→和歌山県知事
		3	換地処分認可申請書	大正11.1.2	(西之地耕地整理)組合長竹田直 七→和歌山県知事小原新三
		4	工事完了届	大正11.1.2	(西之地耕地整理)組合長竹田直 七→御坊税務署長
		5	産業組合事業成績報告書 *借入及貸付最高額ニ関スル報告書添付	大正11.1.25	切目崎信用購買組合理事真田伊之 助→和歌山県知事小原新三
		6	産業組合事業成績報告書 *借入及貸付最高額ニ関スル報告書添付	大正11.2.6	島田信用購買組合理事橋常備→和 歌山県知事小原新三
		7	土地所有者権利移転名義更正認可申請	大正11.2.7	切目村耕地整理組合長→和歌山県 知事
		8	産業組合事業成績報告書 *借入及貸付最高額ニ関スル報告書添付	大正11.2.13	信用購買販売組合力行社 理事松 本性真→和歌山県知事小原新三
		9	産業組合事業成績報告書 *借入及貸付最高額ニ関スル報告書添付	大正11.2.11	信用購買販売組合共励社理事井上 浅吉→和歌山県知事小原新三
		10	指令第二五四号ノ一〔耕地整理地区並設計書規 約変更認可証写〕*2-2の申請書に対する認可証	大正11.2.16	和歌山県知事小原新三→西ノ地耕 地整理組合
		11	大正九年度収支決算及事業報告書	大正11.2.24	西ノ地耕地整理組合組合長竹田直 七→和歌山県知事
		12	耕地整理施行認可申請書 *代表者選定届添付	大正11.3.7	申請者 川端常吉 西川兼次郎→ 和歌山県知事小原新三
		13	大正十年度事業報告	大正11.3.13	西之地漁業組合長 理事 松本弥 惣松→日高郡長谷口秀峯
		14	[養島生命保険積立金貸付につき借入希望報告 控]	大正11.7.21	切目村長→日高郡長
		15	漁業組合大正拾年度経費決算報告書 *大正11.7.31受領	大正11.3.13	西ノ地漁業組合理事組合長松本弥 惣松→和歌山県知事小原新三
		16	軍馬貸付願	大正11.7.29	元陸軍軽重兵曹長 切目村長齋七 等功七級井上浅吉→第四師団長鈴 木荘六
		17	耕地整理測量設計申請書	大正10.9.14	発起人川端常吉 西川兼次郎井口 平太郎→和歌山県知事小原新三
		18	耕地整理工費補助願	大正11.	耕地整理地区施行委員長川端常吉 →和歌山県知事小原新三
		19	申請書(漁業組合理規約改正)	大正11.10.3	西ノ地漁業組合理事松本弥惣松→ 和歌山県知事小原新三

資料名	番号	件番号	件名	年月日	作成者→宛名
切 目 村 役 場 文 書	28 2	20	〔布海苔製造講習会講習證書授与一件〕	大正11.10.6	和歌山県内務部長→切目村長
		21	農林第四六二〇号 通知（講習證書授与伝達方依頼）	大正11.10.6	内務部→日高郡切目村長
		22	社兵第一三三二号（攝政殿下献上写真帳の写真撮影に付材料貸付・撮影方法便宜取計依頼）	大正11.10.21	和歌山県内務部長→切目村長
		23	保安林木材伐採許可申請書	大正11.10.26	所有者作業者杉本久吉→和歌山県知事
		24	漁業組合経費分賦収入方法認可申請書 *消えかかっている	大正11.11.11	西ノ地漁業組合長松本弥惣松→（知事）
	28 3	1	産業組合事業成績報告書 *借入及貸付最高額ニ関スル報告書添付	昭和6.2.5	信用購買販売利用組合共励社理事 井上浅吉→和歌山県知事
		2	産業組合事業成績報告書	昭和6.2.22	切目村信用購買販売組合理事松本 弥惣松→和歌山県知事蔵原敏捷
		3	経費予算報告 *経費分賦収入方法認可申請書添付	昭和6.3.25	島田漁業組合長榎本福松→和歌山 県知事蔵原敏捷
		4	農第一七九六号 開墾助成金交付ノ件	昭和6.4.1	内務部長→切目村長
		5	阿片納付書 *納付阿片目録書添付	昭和6.6.7	阿片製造人久堀重右衛門→内務大 臣安達謙蔵
		6	漁業組合昭和五年度経費決算報告書	昭和6.6.28	西ノ地漁業組合理事松本弥惣松→ 和歌山県知事蔵原敏捷
		7	参商水二九一三号 専用漁業権存続期間更新新 免許ニ関スル件 *島田あて	昭和6.7.25	内務部長→切目村長
		8	参商水五〇二六号 専用漁業権存続期間更新新 免許ニ関スル件 *西ノ地あて	昭和6.7.25	内務部長→切目村長
		9	参商水五〇二八号 専用漁業権存続期間更新新 免許ニ関スル件 *西ノ地あて	昭和6.7.25	内務部長→切目村長
		10	史跡名勝天然記念物調査資料ノ件（字西ノ地風 早狐ノ森と称する古墳の件につき照会） *回報添付	昭和6.7.23	和歌山県史跡名勝天然記念物調査 会委員森彦太郎→日高郡切目村長
		11	〔和歌山県訓令乙第六七号保安林解除に関する 訓令揭示命令〕	昭和6.7.28	和歌山県知事蔵原敏捷→日高郡切 目村長
		12	島田漁業組合昭和五年度経費決算報告書	昭和6.8.16	島田漁業組合長榎本福松→和歌山 県知事
		13	島田漁業組合昭和四年度経費決算報告書 *昭和6.8.22受領	昭和5.8.16	島田漁業組合長榎本福松→和歌山 県知事
		14	蠶業取締所支所設置方陳情書	昭和6.	和歌山県自治会日高支会支会長南 伝一郎→和歌山県知事蔵原敏捷
		15	耕地整理工費補助願	昭和6.9.18	耕地整理施行代表者榎本福松→和 歌山県知事蔵原敏捷
16		岐建六第五一八号ノ二（道路敷用地の鉄道省に て取得すべき建物等照会） *回報添付	昭和6.9.7	鉄道省岐阜建設事務所長佐武正一 →和歌山県日高郡切目村村長井上 浅吉	
17		罌粟栽培許可願	昭和6.10.22	出願者久堀重左衛門→和歌山県知 事	
18		漁業組合経費分賦方法許可申請	昭和6.10.30	西ノ地漁業組合理事松本弥惣松→ 和歌山県知事蔵原敏捷	
19		罌粟栽培許可願	昭和6.10.22	出願者久堀重左衛門→和歌山県知 事蔵原敏捷	
20		産業組合事業成績報告書 *借入及貸付最高額ニ関スル報告書添付	昭和7.2.23	切目村信用購買販売組合理事松本 弥惣松→和歌山県知事唐沢俊樹	

資料名	番号	件番号	件名	年月日	作成者→宛名
切 目	28 1 3	21	御衛第四〇二号 製造阿片納付方ノ件	昭和7.5.24	御坊警察署長→各町村長 各管区 巡查
		22	阿片納付書 *納付阿片目録書添付	昭和7.6.5	阿片製造人久堀重右衛門→内務大臣 山本達雄
		23	農第二六三五号 耕地整理設計書交付ノ件	昭和7.7.14	内務部長→切目村長
		24	耕地整理地区並ニ設計書変更認可申請	昭和7.7.23	施行代表者榎本福松→和歌山県知 事清水良策
		25	轉業栽培許可願 *袋折内に正文あり	昭和7.8.23	出願者久堀重左衛門→和歌山県知 事清水良策
		26	耕地整理工費補助願	昭和7.8.30	耕地整理施行代表者榎本福松→和 歌山県知事清水良策
		27	商水第四二四七号 漁村窮乏対策事業ニ関スル 件 *申請書3通添付	昭和7.8.25	内務部長→沿海市町村長
		28	地第三七〇二号 農山漁村不況対策ニ関スル件 依命通牒	昭和7.8.27	内務部長→各町村長
村 役	28 1 4	1	耕地整理工費補助願	昭和5.9.15	耕地整理施行代表者榎本福松→和 歌山県知事蔵原敏捷
		2	申告書(耕地整理施行) *工事着手届添付	昭和5.9.29	耕地整理施行代表者榎本福松→御 坊税務署長
		3	開墾助成金請求書	昭和5.10.21	施行代表者榎本福松→農林大臣町 田忠治
		4	申告書(耕地整理施行) *工事着手届添付	昭和5.10.31	田辺町宇中屋敷町 耕地整理施工 者原秀次郎→御坊税務署長
		5	申告書(耕地整理施行) *工事着手届添付 昭和5.11.4受領	大正11.7.19	耕地整理地区代表者施行委員長川 端常吉→御坊税務署長
場 文 書	28 1 5	1	産業組合事業成績報告書 *決議録贈本添付	昭和10.2.20	切目村信用購買販売利用組合理事 松本弥惣松→和歌山県知事藤岡長 和
		2	第一回追加経費予算書報告	昭和10.1.6	西ノ地漁業組合理事松本弥惣松→ (知事)
		3	産業組合事業成績報告書	昭和10.3.4	信用購買販売利用組合共助社理事 井上浅吉→和歌山県知事藤岡長和
		4	漁業組合昭和九年度経費決算報告書 *昭和10.6.29受領	昭和9.6.27	西ノ地漁業組合理事松本弥惣松→ (知事)
		5	切底第八五九号ノ一 養蚕町村並山漁村ノ更正 開墾及水利改良事業ニ関スル調査ノ件(回報)	昭和10.6.29	日高部切目村長→農務課耕地整理 係
28 1 6	1	換地処分認可申請	昭和13.7.6	施行代表者村上二郎→和歌山県知 事吉永時次	
	2	工事完了届 *賃貸価格・減租に関する申請書添付	昭和13.8.1	施行代表者村上二郎→御坊税務署 長西崎留次郎	
28 1 7	1	[児童就学出席に関する奨励方法につき諮問お よび回答]	—		
	2	[和歌山県農会主催県下薦農家懇談会資料一括]	大正11.10.10~ 11		
櫻 野 協 議 会 文 書	29 1 1	1	鱒大敷網漁場貸借の件	大正2.10.15	→櫻野漁業組合
		2	掉取平見植林受負の件	大正3.3.10	→西牟婁郡下芳養村大字大坊 中 本喜三郎
		3	大森山林植付契約	大正3.4.20	→西牟婁郡下芳養村大字大坊 中 本喜三郎
		4	弁天崎鱒敷八角漁場契約	大正4.12.30	→櫻野漁業組合

資料名	番号	件番号	件名	年月日	作成者→宛名
樫野協議会文書	29 1	5	堀ノ道改修工事受負契約	大正6.8.19	→西牟婁郡下芳養村大字大坊 中本喜三郎
		6	漁揚場経営権利譲渡契約	大正6.10.24	→樫野漁業組合
		7	漁業権契約変更書	大正8.10.13	→樫野漁業組合
		8	アジカミ山林契約書	大正13.10.29	→大島村長小川政吉
		9	契約証書（弁天沖鱒大敷網・八角網漁業権貸借） *添付目録になし	大正2.11.21	→古座区協議会 弁天崎漁漁株式会社
		10	〔樫野区医師契約関係一括〕 *添付目録になし		
		11	〔断簡〕 *添付目録になし		

龍王神社文書目録

(日高郡美浜町三尾)

目次

龍王神社文書解題

一 文書の受け入れ	30
二 三尾浦と龍王神社	30
三 文書の概要と整理	31

龍王神社文書目録

1 社殿修復関係・御用留等一括	33
2 明治四年社殿修復関係一括	33
3 売買貸借証文一括	35
4 仕切書等一括	46

龍王神社文書解題

一 文書の受け入れ

龍王神社文書は、文書館開館時に県史編さん班より移管を受けた資料群のなかに含まれていたものである。4つの封筒に分割して納められており、封筒上書きには「三尾浦龍王宮」と記されていた。

整理の後、龍王神社の神主、責任総代の方々に連絡をとり返却の手続きを進めていった。現地での交渉の際、現在龍王神社は専任神主が不在で、常駐される人がおらず、保管上不安があること、半島先端部で海に近く潮の影響があり、現在のような良好な状態での保管が難しいと思われること等をおっしゃり、文書館で引き続いての保管を望まれた。そこで新たに契約を結び、寄託文書として受け入れることとなった。

二 三尾浦と龍王神社

三尾浦は現在の日高郡美浜町三尾にあたる。『紀伊統風土記』には「三尾浦 田畑高三百六十四石七斗四合、家数二百五十三軒、人数千五百十人」とある。また「一村漁獵を業とす、海郎あり」と記され漁業中心の集落であった。

龍王神社は、三尾の集落中心部から南方にあたる、紀伊水道を望む小高い岬の先端に鎮座している。主祭神は豊玉彦神・猿田彦神で、境内社として大己貴神社・恵美須神社・八幡神社を祀る。龍王神社は、航海者の信仰が厚く、航海者は酒を海中に投じて海上安全の祈願をし、

帆船は帆だけ三段おろして敬意を表したという（『和歌山県神社誌』）。現在は三尾の八字（逢母・前出・後出・松葉・中ノ浜・片山・垣内・西浜）の氏神として地元の人々の崇敬を集めている。

龍王神社境内周囲は町の天然記念物に指定されている自然林の社叢を形成し、県指定天然記念物のアコウの大樹もあり、豊かな自然が残されている。

神社は由緒・縁起等の記録は欠いているが、元和三年・慶安三年・宝永七年・文政元年等の棟札が残されており、造宮の経緯を知ることができる。

『紀伊統風土記』には

○龍王社 境内周三百四十間

本社 末社二社 衣美須社 大黒天社 長床

経堂

村の南少しの出場にあり

と記されている。



美浜町略図

三 文書の概要と整理

龍王神社文書は、封筒に納められた四つの大きな群に分かれていた。それぞれに1〜4の資料番号（親番号）をあたえて整理を行った。資料番号1・2は主に社殿の修復・造営に関わる資料である。1は慶応四年・文久二年・明治二年の龍王神社造営の資料がある。その外に、同じく三尾浦の磯辺窟観音の茶所造営・法善寺三十三ヶ所尊体の再建や、伊勢の伊雜宮遷宮の寄付帳、御用留等の資料が含まれている。

2は明治四年の龍王神社社殿造営に関わる資料である。明治四年の修復は、神霊を移す下遷宮が二月六日から七日にかけて行われている。新社殿の棟上式は十一月に行われ、この時の棟札が『美浜町史』史料編に翻刻されているので、参考までに記しておく。

〔表〕

大國主命	于時明治四年	神主	山下仙太郎
龍王宮奉修復	当浦氏子中	庄屋	小山甚藏
事代主命	辛未霜月吉辰	肝煎	浜本又助
		村惣代	稲葉清右衛門

〔裏〕

大工棟梁	海上郡加茂村中村作	野坂七左衛門
同		儀右衛門
同	手伝	湯川利太夫 専吉
		吉山七兵衛



龍王神社本殿

橋本弥兵衛
宮本寛兵衛
吉田儀兵衛

龍王神社の造営修復に関する帳面には「山東宮」、現在の和歌山市に鎮座する伊太郎曾神社（『式内社調査報告』によれば「さんどうざん」と呼ばれているという）の「御祓御供」の用紙が再利用されている（1―3・4、2―4）。「海上安全」「渡会安全」「家内安全」等記されており、祈禱の直会として下げ渡されたものである。伊太郎曾神社は漁業航海者方面の崇敬も厚く（『紀の国のおみや』による）、漁業中心であった三尾浦の人々も信仰していたのであろう。



アコウの大樹（県指定文化財）

3は本銀返し・本銭返し等売買貸借に関する証文の一括、4は仕切書の一括である。

四つの群のそれぞれが、ほぼ同内容の資料の集合であったので、あえて分類はせず、現状の群を生かしてそのまま目録とした。3・4の群は点数が多いので、年代順に並べ替えておいた。

参考文献

『紀伊統風土記』

和歌山県神社庁教化委員会 神社誌編集委員会編 『和歌山県神社誌』

（平成七年 和歌山県神社庁）

『美浜町史』史料編（昭和五十九年）

『式内社調査報告』第二十三卷

『紀の国のおみや』（和歌山市内神社のしおり）（昭和五十六年 和歌山県神社庁和歌山支部）

解題・目録

伊藤信明

龍王神社文書目録

1 神殿修復関係・御用留等一括

資料番号	標	題	年月日	作成者	宛名	形態
1-1	神社御用留	※挟込文書あり	文政11年改正 (明治5年)	三尾浦		縦帳
1-2	正遷宮御寄附帳	※内に「伊稚皇太神宮 猿田彦大神」とあり	慶応4年9月吉辰	御師中山三大夫通賢		縦帳
1-3	龍王宮神楽所修復寄附金諸払勘定帳	※挟込文書あり	慶応4年8月	世話人嘉助 長四郎		縦帳
1-4	永代修造帳	※挟込文書あり	文久4年ヨリ	庄屋甚蔵		縦帳
1-5	窟観世音寄附帳	※茶所造宮・法善寺三十三ヶ所尊体再建	元治元年極月吉日	三尾浦世話人米屋藤七		縦帳
1-6	乍恐奉願上口上(神仏混淆取調へにつき当社大般若経并法花経等と法善寺の蛭子大國の板木引替につき)		巳(明治2年)10月	三尾浦龍王社神主山下仙太郎		縦帳
1-7	御宮様御普請マテ地船旅行口銭積置帳		明治2年11月吉日	三尾浦庄屋許		横帳
1-8	宮大工日記(工数書上)	※「此分支払済也」とあり	明治2年8月下旬	宮世わ人		横半帳
1-9	(牟婁郡浦村に関する心覚書上進達書)		辛未(明治4年カ)4月	三尾浦小山甚蔵	瀬御前	縦り

2 明治四年社殿修復関係一括

2-1	[袋]	※袋上書「明治四年辛未正月ヨリ 村方銭米水上銭之分御寄附金 三尾浦庄屋小山甚蔵」				袋
-----	-----	--	--	--	--	---

2-14 -1	2-14	2-13	2-12	2-11	2-10	2-9	2-8	2-7	2-6	2-5	2-4	2-3	2-2
〔反古紙一括〕 ※字の練習書き11枚	〔覚書等一括〕↓以下詳細 ※重折一括2点をひもで一括	〔工数工賃書上〕 ※綴ひもに小切紙文書くくりつけ	〔寄附金寛〕 ※綴ひもに小切紙文書くくりつけ	大三尾浦ひかへ ※寄進の寛書	小三尾浦ひかへ ※寄進の寛書	寄進帳	日高三尾浦 龍王宮并御両社共大工方工数手扣帳 紙数七枚	日高三尾浦 龍王宮并御両社共御上棟御入用帳 紙数五枚	御宮諸色入用書出シ帳	御上棟式役扣	龍王宮御普請諸品入用寛帳 ※挟込文書あり 下の綴じ紐に文書挟む	龍王宮御修覆寄附帳	龍王宮御修覆寄附帳
							未(明治4年) 11月14日	明治4年11月吉日	明治4年	未(明治4年) 11月吉日	明治4年2月6日	明治4年8月吉日	明治4年8月吉日
							野坂七左衛門	当社棟梁方	占免清		三尾浦庄屋甚蔵	山嘉助 三尾浦世話人吉田長太夫 西清次郎 浜口長四郎 小	三尾浦世話人吉田長太夫 西清次郎 浜口長四郎 小
一括	ひも一括	綴り	横帳	横帳	横帳	縦帳	横帳	横帳	横帳	横帳	縦帳	縦帳	縦帳

3-77	2-14-2-12	2-14-2-11	2-14-2-10	2-14-2-9	2-14-2-8	2-14-2-7	2-14-2-6	2-14-2-5	2-14-2-4	2-14-2-3	2-14-2-2	2-14-2-1
本銀返し証文之事	覚(酒・たばこほか代金書上)	覚(す・ろうそく代金書上)	覚(かすがいほか代金書上請求)	(十月十一月分工数工賃書上)	覚(御宮様分松丸太代・運賃ほか書上) ※裏「覚(工賃指引)」	覚(米豆代)	覚(米豆代)	覚(米代)	覚(工賃ほか差引)	(切め・茶ほか代金書上請求)	〔封紙〕 ※表「のし 金百疋 岩久」裏「封 何某」	道成寺黄昏笠 ※裏「難船につき口上」 14-2-1-12は重折
文化12年3月	11月12日					7月5日				霜月12日	12月14日	
三尾補売主与市同所証人 権二郎 庄屋徳三郎	七兵衛		かじ宇	左官長七		大弥				大弥		
同所喜三郎	野坂七右衛門		御氏神様	宮	御宮様分	かも七左衛門				御宮棟梁方		
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	封紙	一紙

3 売買貸借証文一括

3-91	3-90	3-89	3-88	3-87	3-86	3-85	3-84	3-83	3-82	3-79	3-78	3-81	3-80
売渡申証文之事(上田)	本銀返証文之事 ※肝煎庄屋印抹消	売渡申証文之事(屋敷)	本銀返証文之事	本銀返証文之事	売渡し証文之事(畑)	本銀返証文之事	本銀返証文之事	借用申銀子之事	借用申銀子之事 ※奥「本文承知」「庄屋七大夫」日付「文化拾四年丑九月」を訂正	証文覚(銀子借用) ※奥「本文承知」「庄屋七大夫」	証文覚(銀子借用)	借証文之事(銀子借用)	借証文之事(銀子借用) ※奥「本文保証」「庄屋七大夫」
天保9年3月	天保8年6月	天保8年4月	天保8年3月	天保5年5月	天保5年2月	天保3年3月	文政9年6月	文政7極月	文化15年正月	文化14歳極月	文化14歳極月	文化14年8月	文化14年4月
衛主庄吉 親類証人八郎兵衛 肝煎増蔵 庄屋利三郎	本人善七 親類源兵衛 蔵庄屋藤七 肝煎増蔵 庄屋利三郎	次郎 売主二郎兵衛 親類証人長	借主弁蔵 親類饒右衛門	本人三尾浦八次郎後家 御帳半助也 親類証人徳平 同浦肝煎増蔵 同浦庄屋利三郎	売主三尾浦新右衛門	利三郎 肝煎増蔵 証人庄屋	本人八二郎 五人組孫兵衛 庄屋藤次郎	かり主嘉右衛門 請人惣吉	かり主八郎右衛門 請人弥藤次	借り主嘉右衛門	借主嘉右衛門	借主安兵衛	借主宇右衛門 証人藤右衛門
茂平	茂平	藤七	藤七	藤七	藤七	七次郎	藤七	米屋藤七		藤七	藤七	藤七	
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

3-105	3-104	3-102	3-101	3-100	3-111	3-99	3-98	3-97	3-95	3-96	3-94	3-93	3-92
売渡シ申証文之事 (下々田・下田)	本銀返シ証文之事	本銀返シ証文之事 ※印抹消	売渡申証文之事 (山林)	追借申一札之事	売渡申証文之事 (下田)	本銀返シ証文之事 ※下紙「嘉永七年庚五月二日会ヨリ以来世話人竹右衛門」肝煎庄屋印抹消	追借申一札之事	差入申買物之事 ※奥「買物保証」(庄屋利三郎)	差入証文之事 ※奥「買物承知」(庄屋利三郎)	本銀返シ証文之事 ※印抹消	証文手形之事 (銀子借用)	証文之事 (土蔵売渡)	一札之事 (鮑磯売切) ※当亥年より賣まで4ヶ年間銀320匁にて磯売切
嘉永4年6月	嘉永4年4月	嘉永3年3月	嘉永元年9月	嘉永元年7月	弘化5年4月	弘化4年5月	弘化3年12月	弘化2年正月	天保15年7月	天保15年3月	天保14年正月24日	天保12年2月	天保10年3月
本人藤九郎 親類受人栄吉 肝煎又助 庄屋利三郎	本人利左衛門 親類受人佐 五右衛門 肝煎又助 庄屋 利三郎	三尾浦取主藤七 同所親類 証人茂兵衛 同所肝煎又助 同所庄屋利三郎	本人宗吉 請人吉太郎	本人作兵衛	三尾浦本人喜平次 同所親 類請人吉五郎 肝煎又助 庄屋利三郎	三尾浦本人半助	三尾浦弥三兵衛	三尾浦又左衛門	三尾浦取主藤七 同所親類 証人清治郎 同所肝煎亦助 同所庄屋利三郎	岩代清藏	売主徳平 証人茂吉	楠井村庄屋次郎助 同村肝 煎伝六	三尾浦長次郎
藤七		金比羅講世話人衆中	藤七	藤七	藤七			本之脇藤右衛門頼もし世話 人衆中	和田浦藤右衛門頼母子御連 中	御崎講世話人衆中	米屋藤七	藤七	
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

3-15	3-11	3-14	3-39	3-9	3-17	3-8	3-7	3-40	3-38	3-6	3-5	3-4	3-3
売渡し申一札之事	本銀返シ証文之事	借用申銀子之事	本銀返シ証文之事	借用申一札之事	借用申証文之事	借用申銀子之事	添手形之事(日高地方相場にて借銀返納)	指入申質物之事	請取申銀子之事	本銀返シ証文之事	借用申銀子之事	借用申銀子之事	本銀返シ証文之事
		※本文印抹消	※本文印抹消 342参照	※印本文抹消	※奥(買物承知)「庄屋利三郎」	※印抹消	※印抹消	※奥(買物保証)「庄屋利三郎」	※奥(買物保証)「庄屋利三郎」	※印抹消	※再借用の旨の下げ紙あり 346関連	※奥(買物承知)「庄屋利三郎」	
文久2年5月	文久2年4月	文久2年3月	文久元年9月	文久元年9月	文久元年7月	文久元年6月	文久元年6月	文久元年5月	文久元年3月	万延元年10月	万延元年10月	万延元年9月	安政6年12月
三尾浦本人惣吉 吉次郎 肝煎又兵衛 基蔵 庄屋	三尾浦本人喜平次 衛 庄屋基蔵 るい 請人吉五郎 三尾浦本人惣吉 衛 肝煎又兵衛	三尾浦米屋藤七	三尾浦本人藤七 衛 清兵衛 同所 同所庄屋利三郎 同所肝煎又兵衛	三尾浦借主本人藤七 親類受人清兵衛 同浦	本人竹右衛門 門 請人市右衛	三尾浦藤七	三尾浦藤七	本人楠五郎	本人庄吉 親類受人儀助	三尾浦本人藤七 衛 長太夫 同所庄屋利三郎 同所肝煎又兵衛	三尾浦本人藤七 同浦請人	取主光明寺 浦庄屋利三郎 請人亦左衛門	三尾浦本人基蔵 甚作 同浦肝煎又兵衛 同所庄屋利三郎 親類受人
		瀬戸佐市郎	瀬戸佐市郎	瀬戸佐市郎	次郎七頼もし御連中衆	田端喜三兵衛	田端喜三兵衛	弥之助頼母子世話人衆中	弥之吉頼もし世話人中	瀬戸佐市郎	瀬戸佐市郎	弥之助殿頼母子御連中	米屋藤七
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

3-52	3-51	3-49	3-47	3-48	3-46	3-43	3-44	3-45	3-42	3-13	3-12	3-41	3-16
借用申銀子之事 ※印本文抹消	借用申銀子之事 ※名寄帳1冊根質物引当	売渡し申証文之事(屋敷)	借用申一札之事 ※奥(質物保証)「庄屋甚藏」	借用申銀子之事	借用申銀子之事	売渡し申証文之事(屋敷村方船登場へ) ※下げ紙(本行払銀の庄屋取替と返納について書付)	売渡し申証文之事(屋敷村方船登場へ) ※奥1(質物保証奥書印形依憑)「同浦肝煎又兵衛 同浦庄屋甚藏」奥2(附屬)「田端喜三兵衛」	質入申証文之事	借用申銀子之事 ※印本文抹消	借用申銀子之事 ※奥(質物保証)「同浦肝煎又兵衛 同浦庄屋甚藏」	借用申銀子之事	借用申銀子之事 ※奥(質物保証)「肝煎又兵衛 庄屋甚藏」	借用申銀子之事 ※本文印抹消
慶応2年8月	慶応2年7月	慶応2年2月	慶応元年11月	慶応元年7月	元治2年3月	元治元年10月	元治元年6月	元治元年3月	文久3年5月	文久2年10月	文久2年7月	文久2年5月	文久2年5月
本人三尾浦勘之丞 証人勘右衛門 肝煎又兵衛 庄屋甚藏	借主利三郎	売主本人利三郎 親類受人 肝煎又兵衛	取主本人文吉 受人八兵衛	取主本人嘉吉 受人源四郎	取主長四郎 受人芳兵衛	三尾浦本人多七 親類受人 勝次郎 同浦肝煎又兵衛 同浦庄屋甚藏	親類証人徳左衛門 同浦五組仲人八郎左衛門 同浦	取主本人三尾浦も吉 同浦 親類受人徳左衛門	三尾浦借主本人藤七	三尾浦本人佐五右衛門 受人為藏	借主本人次郎右衛門 親類受人佐平次 同浦肝煎又兵衛 庄屋甚藏	三尾浦本人佐四郎 同浦親類受人吉助	三尾浦藤七
藤七	米屋藤七	庄屋甚藏	弥之吉頼もし平連中衆中	弥之吉頼もし御連中衆中	弥之吉頼もし御連中衆中	嘉助	同浦庄屋肝煎中	田端喜三兵衛	瀬戸佐市郎	弥之吉頼もし御連中衆中	弥之吉頼もし御連中衆中	弥之吉頼もし連中衆中	田端喜三兵衛
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

3-123	3-122	3-121	3-120	3-62	3-119	3-61	3-60	3-117	3-54	3-59	3-55	3-53	3-50
本錢返証文之事	覚(家売却代銀差引受取)	売渡し申証文之事(屋敷) ※奥(本文承知)「庄屋小山甚蔵」 3-122 関連	本錢返証文之事	凌証一札之事 ※奥「田端喜三兵衛」裏「表書保証」「辰十月 松島直門」宛名付箋「藤七入」	売渡し申証文之事(屋敷)	売渡し申証文之事(田畑山林土蔵)	借用申添手形之事	借用申銀子之事	本銀返し証文之事	本銀返し証文之事	借用申添手形之事	本銀返し証文之事 ※奥1「買物保証」「庄屋甚蔵」奥2「元利差引」「藤兵衛」銀150匁借用の追記あり	本銀返証文之事
明治3年5月	明治3年5月	明治3年5月	明治2年5月	慶応4年4月	慶応4年4月	慶応4年4月	慶応4年4月	慶応4年3月	慶応3年12月	慶応3年10月	慶応3年10月	慶応3年3月日	慶応2年12月
三尾浦本人惣右衛門後家つき 同浦請人権次郎同浦 蔵肝煎又助同浦庄屋小山甚蔵	本人勘之丈	本人売主勘之丈	三尾浦本人次郎兵衛同浦 請人次郎七同浦肝煎又 助同浦庄屋小山甚蔵	三尾浦頭百姓長太夫同浦 同断七太夫同浦肝煎又助 同村庄屋甚蔵	本人嘉八 証人藤蔵	売主本人利三郎 親類受人 長太夫 肝煎又助 庄屋甚 蔵	本人利三郎 受人長太夫	借主甚助 受人音右衛門 五人組惣代三七 肝煎又助	本人利八 親類受人利太夫 肝煎又助 庄屋甚蔵	本人利三郎 受人長太夫 肝煎又助	本人利三郎 受人長太夫 肝煎又助	売主橋本甚助 証人音右衛 門 肝煎又兵衛	本人利三郎 受人長太夫 肝煎又兵衛 庄屋甚蔵
同浦藤七	庄屋甚蔵	林左衛門	同浦藤七	三尾浦利八	藤七			橋本林蔵	藤七	藤七	藤七	大三尾藤兵衛	米屋藤七
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	綴り	一紙	一紙	一紙	綴り	綴り	一紙	一紙

3-128	3-22-1	3-21	3-20	3-18-2	3-18-1	3-127	3-126	3-125	3-132	3-131	3-124	3-19-後	3-19-前
本錢返し証文之事 庄屋澤川源太夫 同浦庄屋中井原三郎 田浦喜三兵衛殿 下紙1(下畑牧敷書上) 2(利足に) 3(約定)	本錢返し証文之事 ※紙一通書上 奥1(財部村村立野書術 同村同助進書術 奥2(中川權少屬)	奉願上候奥書御印形之事 ※3-22と関連	本錢返し証文之事 ※奥1(檢地名寄封保証) 財部村村立野書術 同村同助進書術 奥2(中川權少屬)	奉願上候御事(名寄御帳面御直し、証文へ御印形願)	本錢返し証文之事 ※紙一通書上 奥1(小松原村肝煎六左衛門 同村同助徳右衛門 同村庄屋久保田武藏)	本錢返し証文之事 ※奥1(歌書字書封保証) 入山組郷長田浦喜三兵衛 奥2(本文通知) 有田出立 3-125関連	田地預り書附一札之事(下作)	奉願上御事(名寄御帳面御直、証文へ御印形願)	奉願上候御事(名寄御帳面御直、証文へ御印形願)	本錢返し証文之事 ※奥2(歌書字書封保証) 小松原村村立野書術 同村同助進書術 奥2(中川權少屬)	質入申一札之事	本錢返し証文之事 ※奥1(小松原村肝煎徳右衛門 同村同助六左衛門 同村御蔵庄屋七兵衛 同村庄屋久保田武藏)	奉願上候御事(名寄御帳面御直し、証文へ御印形願) ※内容2点
明治4年12月	明治4年12月	明治4年12月	明治4年12月	明治4年12月	明治4年12月	明治4年11月	明治4年11月	明治4年11月	明治4年9月	明治4年9月	明治4年9月	明治4年9月	明治4年9月
同浦親類引受人同喜兵衛	産湯浦本人借主坂崎仁兵衛 同浦親類引受人同喜兵衛	財部村壳主西琳 同村証人 兵次郎	財部村本人兵次郎 同村証人 人吉左衛門	財部村壳主皮田兵次郎 同村証人儀八	財部村壳主皮田兵次郎 同村証人儀八	小池村本人庄兵衛 同村証人 大左平 同浦同助若野弥吉 同浦庄屋野谷平助	下志賀村下作人龜右衛門	小池村本人庄兵衛 同浦 証人左平 和田浦肝煎中西 二大夫 同浦同助若野弥吉 同浦庄屋野谷平助	入山村本人伴右衛門 同村 証人豊藏	入山村本人伴右衛門 同村証人 豊藏 三尾浦買主藤七 小松原 村肝煎徳右衛門 同村同助六左 衛門 同村御蔵庄屋七兵衛 同 村庄屋久保田武藏	三尾浦借主本人長太夫 親 類受人利右衛門 同浦肝煎 又助 同浦庄屋小山甚藏	財部村瀬崎本人利八 同村 証人清助	同浦庄屋本人利八 同村証人 清助 三尾浦買主藤七 同村小松原 村肝煎徳右衛門 同村同助六左 衛門 同村御蔵庄屋七兵衛 同 村庄屋久保田武藏
三尾浦小山甚藏	三尾浦藤七	中川権少屬	三尾浦藤七	大橋兵次郎	三尾浦買主藤七	買主三尾浦小山甚藏		田端喜三兵衛	大橋兵次郎	三尾浦買主藤七	山拝講連中衆中	三尾浦買主藤七	大橋兵次郎
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	綴り	一紙	一紙	綴り	一紙	一紙

3-29-2	3-34-2	3-139	3-135	3-134	3-68	3-67	3-66	3-65	3-64	3-63	3-34-1	3-29-1-後	3-29-1-前
覚(田地税銀受取)	覚(税銭封印入用受取)	本銭返し証文之事 ※奥(飯高重附保部) 小松原村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋橋本太次兵衛 3-34 関連	添手形之事 ※3-134 関連	本銭返し証文之事 ※奥(檢地名寄引合) 財部村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋岩崎安兵衛 3-66 関連 ※奥(檢地名寄引合) 財部村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋岩崎安兵衛 3-63 関連	本銭返し証文之事 ※奥(檢地名寄引合) 財部村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋岩崎安兵衛 3-66 関連	本銭返し証文之事 ※奥(檢地名寄引合) 財部村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋岩崎安兵衛 3-63 関連	奉願上奥書御印形之事 ※奥(檢地名寄引合) 財部村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋岩崎安兵衛 3-66 関連	奉願上奥書御印形之事 ※奥(檢地名寄引合) 財部村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋岩崎安兵衛 3-65 関連	本銭返し証文之事 ※奥(檢地名寄引合) 財部村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋岩崎安兵衛 3-65 関連	奉願上奥書御印形之事 ※奥(檢地名寄引合) 財部村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋岩崎安兵衛 3-63 関連	奉願上奥書御印形之事 ※奥(檢地名寄引合) 財部村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋岩崎安兵衛 3-139 関連	本銭返し証文之事 ※奥(財部村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋岩崎安兵衛)	奉願上候御事(名寄御帳面御直シ証文へ御印形願) ※一紙二通重巻上 3-139 関連
壬申(明治5年)3月	申(明治5年)3月9日	明治5年2月	壬申(明治5年)2月	壬申(明治5年)2月	明治5年2月	明治5年2月	明治5年2月	明治5年2月	明治5年2月	明治5年2月	明治5年2月	明治5年2月	明治5年2月
財部庄屋元	橋本や太次兵衛	小松原村亮主七兵衛 同村証人と兵衛	西財部村本人庄三郎 同村証人清助	財部村本人庄三郎 同村証人清助	蘭浦本人源七 同浦証人吟	蘭浦本人源七 同浦証人吟	蘭浦亮主源七 同浦証人吟 助 三尾浦買主甚蔵	蘭浦本人源七 同浦証人吟 助 三尾浦買主甚蔵	蘭浦本人源七 同浦証人吟 助 三尾浦買主甚蔵	蘭浦亮主源七 同浦証人吟 助 三尾浦買主甚蔵	蘭浦亮主源七 同浦証人吟 助 三尾浦買主甚蔵	小松原村亮主七兵衛 同村証人と兵衛 小松原村肝煎立野喜兵衛 同村同新塩崎嘉太夫 同村庄屋岩崎安兵衛	小松原村亮主七兵衛 同村証人と兵衛 三尾浦買主小山甚蔵
小山甚蔵	三尾浦藤七	三尾浦藤七	三尾浦小山甚蔵	小山甚蔵	三尾浦甚蔵	三尾浦甚蔵			三尾浦甚蔵			三尾浦甚蔵	
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一通	一紙	一紙

3-75	3-74	3-73	3-71	3-72	3-25	3-37	3-35	3-33	3-32	3-27	3-26	3-133	3-136
奉願候田地売買之事(地番御認替願) ※(保証)日高郡財部村副戸長立野喜兵衛 同村同断辻村善兵衛 同村戸長岩崎安兵衛	借用申金子之事	□□□(頼母子)質入仮証文之事 ※奥(畝高番付等保証)二下志賀村戸長辰谷助五郎 奥朱書(明治十八年四月十九日消印)	仮証文之事 ※奥(畝高番付等保証)二下志賀村副戸長辰谷助五郎 同所村代稻葉彦太郎	仮証文之事 ※奥(畝高番付等保証)二下志賀村副戸長辰谷助五郎 同村代稻葉彦太郎	借用申銭之事 ※牛入替入用	本銭返田地証文之事 ※3/35 関連	奉願上口上(名寄御帳面御直させ奥書御判形願)	山林売買奉願口上(名寄御帳面直し願)	完渡申山林証文之事 ※3/33 関連	奉願上候口上(名寄御帳面御直し証文へ御印形願)	本銭返証文之事 ※奥(買物承知・名寄張紙願)「西財部村副戸長岩崎安兵衛」	差入申一札之事 ※奥(買物承知・名寄張紙願)「西財部村副戸長岩崎安兵衛」	本銭返田畑証文之事
明治7年5月	明治7年2月	明治6年5月	明治6年3月	明治6年1月	明治5年9月	明治5年8月	明治5年8月	明治5年8月	明治5年8月	明治5年8月	明治5年8月	明治5年7月	明治5年6月
右小山甚蔵 売渡人右小林清助 買請人	下志賀村借主弥大夫 同村 請人惣助	第六大区一小区下志賀村本 人狩谷次助 証人稲葉武右 衛門	下志賀村売主稲葉国助 同 村証人同小右衛門	下志賀村借用人稲葉弥大夫 同村証人津村惣助	下志賀村忠助	下志賀村本人津村甚七 同村証人同甚大夫 同村副戸長辰 谷助五郎 同村副戸長辰	西財部村清助 同村証人儀	下志賀村本人津村甚七 同村証人同甚大夫 同村副戸長辰 谷助五郎 同村副戸長辰					
和歌山県御庁	小山藤七	竹内左衛門頼母子御連中	三尾浦買主小山甚蔵	三尾浦小山甚蔵	三尾浦小山甚蔵	三尾浦買主小山甚蔵	上山岩寿	和歌山県御庁	三尾浦買主小山甚蔵	田端喜三兵衛		小山甚蔵	三尾浦買主小山甚蔵
野紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	綴り	綴り	一紙	綴り	綴り	一紙	一紙

4 仕切書等一括

4-20	4-23	4-21	4-18	4-19-8	4-19-1	4	3-76	3-10	3-129	3-130	3-19-2	3-22-2
仕切状之事(鯉・鮪子ほか)	記(生節代勘定済)	しやう仕切(生かつお・鮪ほか)	仕切状之事(米)	御通 庄二郎船 ※19117を挟む	〔蠟燭代ほか銀札を以て引替につき書附〕 ※19114は重折	〔一括袋〕 ※上書「明治廿四年第三月日 田畑買入登記済并譲事 旧証消印願」	〔封紙〕 ※上書「証文三通 三尾浦藤七 但し添手形とも」	〔張紙断簡〕 ※土地の移動に関する張紙	覚(田地社倉税銀受取)	覚(田地税銭受取)	覚(税銀二百目受取) ※1911奥下に重巻	覚(田地税銭受取) ※一紙二通重巻下
丑12月12日	明治11年1月2日	明治10年12月16日	(明治)7年1月22日	明治3年5月吉日	文久3年10月28日				12月27日	9月18日	9月7日	2月29日
田嶋源五郎	泉仁三郎	岸和田金納又衛	阿部忠右衛門	恵寿屋					久保田武蔵	久保田武蔵	久保田武蔵	財部庄屋元
平助 日高三尾浦小山藤七 船頭	岡野平四郎	記州青尾浦岡納平四郎	三尾浦小山弁蔵		宿八五郎				兵治郎	藤七	利八	三尾甚蔵
一紙	一紙	一紙	一紙	横半帳	一紙	袋	封紙	張紙	一紙	一紙	一紙	一紙

4-17	4-19 -6	4-3	4-1 -8	4-19 -7	4-9 -1	4-9 -2	4-1 -4	4-10	4-11	4-12	4-25	4-22	4-24
仕切状事(日高米)	仕切(ばい・いせ)	目録覚(鯉節干飛魚積入仕切)	覚(口銭・入用差引)	覚(灯油送状)	仕切(鯨)	仕切(鯨)	乍恐奉願上候口上(ふのり御買上につき争論)	覚(干鰯干鰯生節の積入不足銀差引)	目録覚(鯉生節・塩目近・干鰯等仕切)	目録覚(鯉生節仕切)	仕切状之事(鯉)	仕切状之事(鮪子)	し切覚(鯉・鮪子ほか)
					※折紙2通紙の上	※折紙2通紙の下							
1月22日	1月21日	亥5月27日	未6月25日	未6月12日	午5月16日	午5月12日	午3月	卯11月9日	卯10月20日	寅5月2日	丑12月28日	丑12月28日	丑12月12日
阿部忠右衛門	三尾浦天政	岡屋源五郎	封所孫四郎	名草出庁	岡屋源五郎	岡屋源五郎	阿尾浦佐太郎	岡源	田嶋源五郎	田嶋源五郎	田嶋源五郎	田嶋源五郎	田嶋源五郎
小山升蔵	米藤	日高三尾浦米屋藤七 七次郎	三尾浦御口前所	川口番所	次郎 三尾浦米屋藤七 同船頭福	三尾浦米屋藤七 同福二郎		三尾浦米藤 万次郎	日高三尾浦小山藤七 万次郎	弁蔵 日高三尾浦小山藤七	平助 日高三尾浦小山藤七	平助 日高三尾浦小山藤七	日高三尾浦小山藤七 平助
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	綴り	綴り	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

4-1-9-1	4-19-3	4-19-4	4-1-3	4-1-2	4-16	4-15	4-5	4-4	4-1-5	4-13	4-8	4-7	4-14
〔仕切勘定済証〕	〔かわせ仕切御渡依頼状〕	仕切状(鑿) ※表書保証の旨裏書あり	〔熊野太地漁民へ救恤筋・戦死之人士記念碑建立寄付金筋募集につき書状〕	覚(金子書上)	仕切覚(粕)	目録(入粕仕切)	仕切(熊野イカ)	仕切(熊のイカ)	記(金受取)	仕切(大ぶり・かつおほか)	仕切(鮎ほか)	仕切(鯛・鮎ほか)	仕切(粕)
11月19日	霜月7日	6月7日	3月21日	2月4日	2月4日	2月4日	2月2日	2月2日	2月2日	2月1日	1月30日	1月30日	1月26日
角屋嘉兵衛	仁兵衛	印南倉清右衛門	稲葉	進屋 _ニ	泉平兵衛	泉平兵衛	まめや	まめや	嶋為店	豆清	天政	天政	橋本林七
惣吉	八久	三尾甚右衛門	小山君 浜口君 吉田豊吉 君 西清君	米藤	小山藤七 弁造	小山藤七 弁蔵	米藤	米藤	米屋藤七	米藤	三尾米清	三尾米藤	小山藤七 船頭弁蔵
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

4-19-5	4-19-2	4-6	4-2-2	4-2-1	4-1-9-2	4-1-7	4-1-6	4-1-1	4-1
〔株につき書付〕	〔海士船代金書上覧〕	記(勘定・税につき)	覚(酒代受取) ※2-1に包まれていた	〔船代ほか差引〕	〔木札〕 ※1-9-1に包まれていた 割れている 書き込みあり	〔封紙〕 ※封筒用されている 書1上 船場三坂町(書2)小出源兵衛 □ 号22 二月十六日	〔封紙〕 ※封筒用されている 書1三ノ庄 御茶小出 三ノ庄(書2)小出源兵衛 田 一 書1	〔袋〕 ※上書一元治元年己丑正月ヨリ 御用掛り書面入 受取書入 庄屋宛(書2) 4-1-12より9を換む	〔一括袋〕 ※上書表「明治十二年度 精取証 勘定目録入 表「決算書」 4-1-11より9入
			かじや						
			安兵衛						
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	木札	封紙	封紙	袋	袋

和歌山県史
七

和歌山県史 七 解題・目録

『和歌山県史 七』は、和歌山県国民教育研究所の旧蔵資料であった。文書館運営協議会委員の池田孝雄氏の紹介により平成五年七月、文書館に寄贈されることとなった。

○

明治七年（一八七四）、政府は明治維新以後の地方行政の沿革を明らかにするため、太政官達百四十七号で各府県に府県史の編纂を命じた。この達により編纂された府県史が今日『府県史料』と呼ばれている資料である。『和歌山県誌』によればその編纂過程は、明治十年（一八七七）十二月に和歌山・田辺・新宮三藩史十二冊を脱稿提出。

次いで和歌山・田辺旧県史三冊を編集。全十五巻で、明治二年（一八六九）の版籍奉還から明治四年（一八七二）の和歌山県成立までを記す。明治四年（一八七二）から十二年（一八七九）までは、資料の収集分類だけで、編纂にはいたらなかったという。最終的には未編纂の部分も含め、明治二年（一八六九）から十八年（一八八五）までの資料が九十七冊二舗の『和歌山県史料』として残されることになった。

『和歌山県史料』は二部作成され、一部は政府に提出し、一部は和歌山県庁に控えとして保管されていた。今回寄贈を受けた資料は、『和歌山県史料』のうち、第七冊目にあたる「和歌山県史 前記 七」で、田辺藩史にあたる資料である。表紙には「田辺藩史 藩治 拓地 勸業 工業 賞典 刑罰 賑恤 祭典 戸口 民俗 学校 建言」と記された張り紙がある。

表紙右下部にはいつのものか分からないが「7-8」と記されたラベルが添付されている。表紙を開くと「和歌山県蔵書印」と押印されており、和歌山県庁保管分として作成された資料であったことが分かる。本文は「和歌山県」銘入りの野紙に記されている。

いつの様な経緯で県庁から流出し、和歌山県国民教育研究所に所蔵されることとなったのかは、今となっては分からない。また残る資料の行方も分からない。一冊でも残されたことを良しとすべきであり。

参考文献

福井保「『府県史料』の解題と内容細目」（『北の丸』―国立公文書館報― 第二号 昭和四十九年三月）
『和歌山県誌』上巻 大正三年

解題・目録 伊藤信明

1	資料番号			
和歌山県史 七	標	題	年月日	作成者
				宛名
和綴本	形態			

和歌山県立図書館移管資料目録

目次

県立図書館移管資料解題

一 伝来と受け入れの経緯	55
二 状態と整理方法について	55
三 目録作成と掲載順について	56
四 近世以降の紀州と紀州藩・和歌山県について	57
近世の領有 徳川氏入国以降の町村支配	
維新时期から近代の機構 那賀郡と海草郡	
五 文書の概要	59

旧町村別資料番号対照表	65
-------------	----

県立図書館移管資料目録

1 紀州藩・和歌山県庁文書	
① 紀州藩・和歌山藩庁	69
② 田辺藩	88
③ 和歌山県庁	88
2 町方地方・各地域に関する文書	
① 紀伊国・和歌山県域	99
② 和歌山市	
a 旧和歌山(城下町)	101
b 旧町域以外	104

③ 海草郡域(海南市含む)

a 海南市	109
b 下津町	112
c 野上町	112
d 美里町	112
④ 那賀郡	
a 旧那賀郡域	115
b 打田町	115
c 那賀町	121
d 桃山町	121
e 岩出町	122

⑤ 伊都郡域(橋本市含む)

a 橋本市	137
b かつらぎ町	138
c 九度山町	138
d 高野町	138
⑥ 有田郡域(有田市含む)	
a 旧有田郡域	140
b 有田市	141
c 湯浅町	148
d 広川町	155
e 吉備町	156
f 金屋町	164
g 清水町	171

県立図書館移管資料解題

一、伝来と受け入れの経緯

この資料群は、当館開館時に県立図書館から移管されたもので、近世から現代までの文書資料約一九〇〇点からなる。

県立文書館開館以前、いわゆる古文書の類は、県立図書館（以下図書館と呼ぶ）で「郷土史料」の一部「文書・記録」として保存・公開されていた。これらが図書館に入った経緯は①県庁から受け入れたもの（例えば9036番の神社寺院等関係文書）、②寄贈を受けたもの（9253番や丁番などごく一部）、③購入したもの（町地方文書の大部分）、④伝来がはつきりしないが、早い時期から図書館で所蔵してきたもの（紀州藩関係文書など）の四通りがある。このうち③の購入とは、昭和四〇年代から五〇年代、古文書類の県外流出や散逸を少しでもくい止め県内に残すため、売りに出されたものを古書店より大量に購入したもので（所蔵者からの購入ではない）、検地帳や名寄帳、村経営に関するもの、字図など大変重要なものが多くが含まれている。

その後平成五（一九九三）年に図書館が旧館から現在の地に移転し、更に同じ建物（きのくに志学館）内に図書館が新設・開館することとなったが、その際に保存や利用の便を考慮して、古文書類の多くが文書館へ移管されることになったのである。移管は四回にわけておこなわれ、第一回の平成四年六月と第二回の同年一月には地方文書が、同五年三月には第三回第四回の二回に分けて藩関係文書等が移管されている。なお、その時移管保留となり、現在も図書館で保存公開され

ているものもある。

二、状態と整理方法について

この資料群を整理するにあたり、考えなければならぬ点がいくつもあった。まず、これらの大部分が昭和五八（一九八三）年に図書館が発行した『和歌山県立図書館 郷土史料目録』に掲載されていることである。『郷土史料目録』には「タイトル番号」として利用用の番号が付され、当館移管後もこの目録と番号で閲覧申請や問い合わせが寄せられることが度々あり、また、移管保留で図書館に残った分もこれで出納されており、これらは現在も機能しているのである。そのため、当館での整理にあたっては、この番号を残し図書館の目録からも閲覧できる形で作業をおこなうこととした。ところが、作業を進めると、大変なことがわかってきた。番号の付け方が不統一で、基準がそれぞれバラバラなのである。一つの群（文書のかたまり）として一つの番号と表題（群名）を付されて処理されているものが、実は様々な出所の多量の文書（群）で構成されていたり（あきらかに別群の文書が混入しているものも沢山ある）、かたやどう考えても出所が同じものが、一点ごとに別々の番号を付されている場合もあるのである。これはどういふことなのだろうか。一でも述べたが、この資料群の多くのものが古書店より購入したものである。購入時の記録によると、どうやら古書店がその時々によりいろいろな出所のものを一つにまとめて一括で販売したり、同一出所のものを分けて一点ずつ販売していたらしいのである。そしてそれを購入した図書館では、そのまま受け入れごとに番号を付していったため、このような混乱が起こってしまった

たようである。当館での整理にあたり、これらを元の形（出所での原状）に戻すことも考えたが、前述の理由から、従来からの番号（現状）を生かすことがベストであり、また、もはや本来の出所を割り出し完全に復元することは不可能であることから、まず現状のまま整理することにした。ただし、一つの番号を複数点で構成している文書（群）については、この番号を親番号として各々（一点ごと）に適宜子番号を付していった（これもすでに図書館で子番号が付されていた場合には、この番号をそのまま利用した）。また、図書館で郷土史料目録作成後に受け入れたものや、公開されていなかったものには番号が付されていなかったが（四群ある）、これらについては当館で群ごとに甲・乙・丙・丁の親番号を新たに付して整理作業をおこなった（数字の番号を付すと、図書館の他の図書番号と混乱する危険があるため、あえて漢字の番号を付した）。なお、9174番（那智勝浦町）・9230番（紀伊国・那賀町）・9246番（串本町）9177番（北山村）は、原本ではなく昭和四九年に各所在地で写真撮影されたものを、図書館が購入している複製物である。

三、目録作成と掲載順について

前述の通り、この目録に記載されている四桁の資料番号は、図書館が付した「タイトル番号」と同じである。ただし、この番号順のままでは、出所が違うものどろしが同一群中に混在したり、その他色々な混乱が目立ち大変利用しにくい。そこで、本目録作成にあたっては、その出所や原状をもう一度考え直すこととした。各々文書作成時の原状に再構成し直した群ごとに別々に目録にすることも初めは考えたが

（実際、大きな群を構成するものは既に「蜜柑方元締文書」「山裾織布場文書」「中尾家文書」「岡家文書」として独立させて目録を作成している）、一点のみで一群（一番号）を構成しているものも大変多く、また、群や原状を再構成するにしても、これだけ混乱した状態では、はたして本当に出所（旧蔵者・作成者）が同一であるかどうかはなかなか確定できないものもある。考えた結果、まず性格の違う紀州藩と和歌山県自体に関する文書と町方地方文書を分け、藩・県関係のもはそのくくりで一群とすることにした（1-1①②③）。そしてその他のものは、地域によってかたよりはあるものの、その出所がほぼ全県下にわたっていることを利用して、各文書資料一点ごとの出所を現在の県内自治体（県と市町村）にあてはめて見直し、それで再編し掲載することとした（2-1①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿）。だから、親番号が同じ文書であっても、全く違う場所に掲載されている場合もある。いわゆる「出所原則」という言葉が、この場合どの「げん状」（文書作成時・文書受取時・古書店に入った時・古書店よりの購入時・文書館への移管時）を指すのかを考えると、これが本当に良いのかどうか難しいが（整理番号・保存は移管時の現状のままなので、「現状破壊」ではない）、それよりも、移管資料全体を一つの大きな群（かたまり）と見て、目録作成をおこなったと考えていた方がいい。なお、本来なら更に個々の内部構造を分析・再構築して「分類項目」等を設定するべきだが、あまりにも煩雑になるためここではおこなっていない。各項（ここでは県市町村を指す。以下同。）内の文書資料各々の掲載順序は、それぞれの内容によって違う（旧村順↓種類順↓年代順など）と決めて統一しようとする、どこかに必ず不便な状況が出、混乱をま

ねく)が、だいたいは一点文書を先に出し、一群をなしているものは群のまま後ろにまとめている(群の中では並べ替えもある)場合が多い。なお、目録本文への掲載は県・市町村別になっているが、利用の便を考えて、最後(最終ページ)に図書館の付したタイトル番号順での大まかな一覧(番号と地域名との対照索引)も付した。また、少数ではあるが、複数自治体等にかかわるものは、その両方に重複掲載することにした。

四、近世以降の紀州と紀州藩・和歌山県について

近世の領有

近世初期、高野山寺領以外の紀州は浅野家三七万四千石の所領であった。その後元和五(一六一九)年浅野氏は広島へ転封となり、かわつて家康の十男徳川頼宣(紀州三七万四千石余・松坂・田丸・白子領の勢州一八万石弱・大和の内千石、計五万五千石)の所領となった(ただしそのうち田辺は家老安藤氏のそして新宮は同水野氏の知行地となっていた)。そして近世末に至るまで紀州徳川氏の支配が続く。一方高野山寺領は、那賀郡・伊都郡内で合わせて二万一千石余で、その中で学侶領・行人領・修理領・聖領にわかれていた。

徳川氏入国以降の町村支配

和歌山の町方は東西町奉行の支配のもと、大年寄(町会所・湊会所で勤務)、各会所に町惣代、その下各町に町年寄などが町役人として置かれていた。町以外の地方(在方)支配は、まず紀州藩領では各郡に郡奉行と代官が、あるいはそのいずれかが置かれ支配を統括していた。そして郡の下二〇から三〇か村ごとに(石高平均九〇〇〇石程度

の単位で)組という行政区画(天保期には約六〇組)が編成されていた。組には大庄屋が置かれ郡奉行・代官の支配をうけ民政にあたり、また大庄屋の補佐として杖突(又は物書)がいた。組の下の最小行政単位として村(または浦)がある。村では庄屋が村政をつかさどり、肝煎(初期は年寄)がその補佐をした。村には別に年貢徴収を担当する蔵庄屋(蔵入村)または納庄屋(給所村)がいたが、庄屋が兼帯していた場合もある。一方高野山寺領については、支配形態をはじめ様々な面でまだわからないことが多いが、学侶領では年預・年預代のもとに地方奉行と支配がおかれその下各村には庄屋・年寄(相給など場合によっては寺庄屋や垣内総代)がおかれ、領有の各寺院が村を直接支配するという中世的支配形態が残っていたようである。一方行人領では支配の下に地方奉行・蔵奉行・町奉行がおかれ、支配から派遣された代官のもと組をたてて大庄屋がおかれていた地域(清水組)もあり(村役人はこちらも庄屋・年寄)、学侶領とくらべると(紀州藩のように)近世的支配であったと言われている。

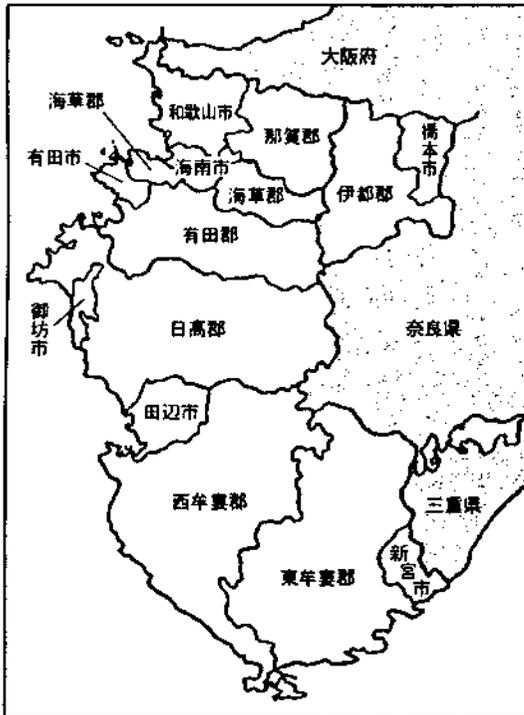
維新时期から近代の機構

慶応四(一八六八)年に紀州藩は田辺藩・新宮藩・和歌山藩となったが、その後明治二年六月には版籍奉還が許され、旧藩主がそれぞれ藩知事(知藩事)となり、藩も新政府の地方行政の一区画となった(和歌山藩内では、当時津田出による藩政改革がおこなわれ、藩内支配組織が改められている)。その後明治四(一八七二)年七月の廃藩置県で、旧藩主はその任を解かれた。旧藩はそれぞれ和歌山県・田辺県・新宮県となり、一方旧高野山寺領は明治二年に堺県に、翌三年には五条県管轄となっていた。その後明治四年十一月の県統廃合により、

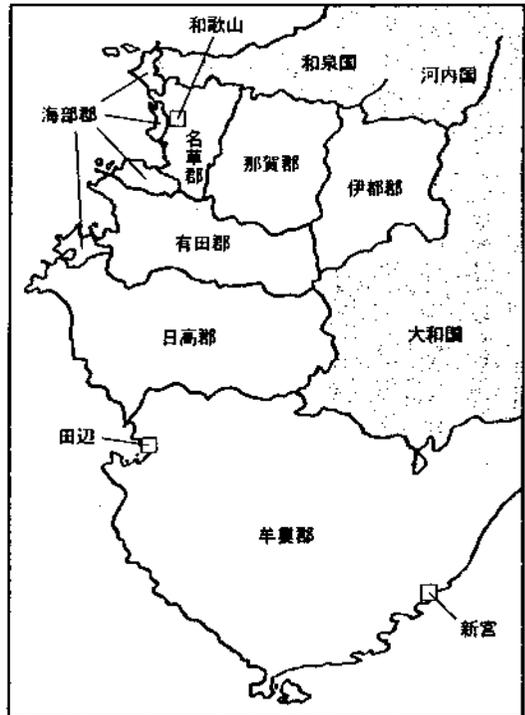
現在の和歌山県が成立した。大区小区制、一区八郡制、郡区町村制、そして明治二二（一八八九）年の町村制などの行政機構のもと、県（県令・のち知事）↓郡長↓町村長（初期は戸長）という地域運営機構が成立していたが、その後大正一五（一九二六）年に郡長と郡役所が廃止され、県の下に市町村という機構となった。

那賀郡と海草郡

明治以降の郡域変更を見ると、明治四（一八七一）年に牟婁郡の北東側が度会県に編入された後、同一二（一八七九）年に当県に残った牟婁郡域が東西に分割されている（三重県域となった地域は、同年南北牟婁郡に分割）。また、海浜沿いに郡域が離れていた海部郡のうち、現由良町にあたる地域も（すでに寛永一七年から日高郡代支配ではあった）、同年正式に日高郡へ編入されている。その後同二九年には名草・海部両郡が統合され海草郡となっている。市町村域の変更は、町村制施行後も細かい変化は度々あったが、第二次世界大戦後、地方自治強化の勧告等により、町村合併計画がなされ（昭和二九（一九五四）年に町村合併促進法・同三二年に新町村合併促進法が公布）、それにより現在の市町村が成立することとなる。町村域の変遷や合併の詳細については、『和歌山県史 近現代二』を参照いただきたいが、この目録を利用していただくにあたり、特に取り上げておかなければならないのが、那賀郡と海草郡域についてである。現在の海草郡域のうち、美里町と野上町そして海南市の一部にあたる地域は、元々那賀郡域であった。ところが昭和二六（一九五一）年一〇月一日に海草郡に編入されることとなったのである（同年八月二五日の和歌山県告示による）、東野上町と中野上・南野上・北野上・志賀野・小川・下神野・上



現在の郡と市域



近世の郡域と城下

神野・猿川（国吉）・長谷毛原・真国・細野の一一村を海草郡域に編入、郡区域の変更により人口は海草郡一一一九二二人、那賀郡八四七七五人となるとある。この目録の中で現海草郡域の文書資料に「那賀郡〇〇村」という記載が多いのはこのためである。昭和二六年以前の文書資料を利用されるにあたり、この点は特にややこしく混乱しやすいので、注意されたい。

五、文書の概要

まず全体の概要を述べると、図書館移管資料には大きく分けてつぎの四つの性格の別がある。ア、藩・県関係文書（今後の紀州藩・和歌山藩研究の重要な史料となるもの）、イ、近世町地方文書（検地帳や名寄せ帳など近世村を研究する上で重要な基礎的史料となるものが多い）、ウ、近代役場文書（行政文書等役場資料自体と、そこで所持されていたと考えられる村・字図が大変多い）、エ、近代の商工業に関する文書（商店や家内工業的なものの経営に関する簿冊が中心で、多くは商品売買の金銭出納や賃金に関するものである。このような資料は、一点での利用は難かしいが、どれも数年分がまとまって残されているので、それらを分析することで近代和歌山県の商業や産業研究の材料となる）

次に、各地域ごとの資料の概要を述べるが、本日録掲載の文書資料は出所も群としての数もほう大で、各々の特徴について述べはじめると、それだけで大変なことになるので、ここでは掲載各地域（県と旧郡や市町村）ごとに含まれるものの簡単な概要を述べるにとどめる。

1、紀州藩・和歌山県庁文書

①紀州藩・和歌山藩庁 近世から近代初期の紀州藩・和歌山藩で作成された文書資料二六一点。近世後期以降に藩士の職や禄（惣帳古張紙や御内則ほか）、報償や人事関係（附込帳や被仰渡帳・跡目調ほか、たとえば八代重倫（親自在院）や十代治宝（舜恭院）没後の藩政や家臣の始末など）について書き留められた帳面が中心であるが、中には幕府や朝廷・明治新政府や藩の動向、特に幕末維新期の藩政などが記されたもの（天朝御触留・御沙汰留、被仰渡帳・附込帳・張紙帳ほか、たとえば津田出の藩政改革関係記述）もあり、今後の紀州藩研究の重要な史料である。しかし残念なことに、ここに掲載したもののうち丙番は大変状態が悪いものを多く含む。丙番の文書は、県立図書館では目録に掲載されず閲覧に供されていないかった。理由は複数ある



丙番文書の破損状況
（下段の文書は、虫損により板状になっている）

が、その最大の原因は、この状態の悪さである。紀州藩・和歌山藩から和歌山県への変遷以降、これらの文書資料がどのように引き継がれ、どのような経緯を経て県立図書館に入ったのか、今となっては全く不明である。したがって、保管や管理の状態がどのようであったかはわからないが、虫損・獣（ネズミ等）損などが大変酷く、また中には一部劣化（変色・ボロボロ・綿状等）したものの、綴りの崩壊したもの、板状に固着したものもあり「写真参照」、今後修復をほどこさなければとても閲覧に供することができないものが多い。しかし、このような状態であっても、藩自体の原資料が保存され残されていたことは大変重要である。ここでは、状態の如何にかかわらずその存在を明らかにすることが県立図書館のつとめであると考え、全て目録に掲載した。なお、この項（藩・藩庁）に含まれる文書のはほとんどは、元々の伝来は一緒であり、一括で保存されて来たものであると考えられるが、従来図書館ではこの内状態の良いものからぬき出して整理・公開していたため、移管時に番号の付されているものと無いもの（丙番）に分かれている。

② 田辺藩 一点。明治初期の緩民局の人員帳で、厚紙に各人名の付箋状紙が貼り付けられている。

③ 和歌山県庁 明治初期に出された法令簿冊七点は、所蔵者に関する情報も記載されているが、内容の性格より、作成者である県庁の項に掲載した。「和歌山県神社寺院等関係文書」一四二点。これは明治期から昭和二〇年代の元和歌山県庁文書であり、神社寺院明細帳（明治・昭和期）をはじめ寺院台帳・寺院教会規則（共に昭和一七年以降）など、近現代の県内宗教学法人個々に関する原史料が中心である。

元々簿冊形態であったが、図書館と文書館で新たに製本されたものが多い。これらは県内各市町村にとっても重要な宗教学資料であるが、煩雑になるのを避けるため、又この群の性格も考慮して、各市町村の項への重複掲載はほとんどしていない。また、この一部はマイクロフィルム化され図書館で公開されているが、それには現在原本が残っていないものも含まれている。この群はその性格上個人のプライバシーに関するものを多く含む。そのため、現時点では申請いただいても閲覧していただけないものもある。なお、神社明細帳に関しては当館紀要第1号・第4号で伊藤信明氏が取り上げている。藩庁文書の重複一点。2、町方地方・各地域に関する文書

① 紀伊国・和歌山県域 近世の紀伊国全域に関するもの六点と近代の国有林に関するもの二点、「農商務省和歌山山林事務所文書」二五点がある。この項には、近世紀州藩が地方支配のために出した正保二年壁書・延宝五年御定書・在々御定書・郷組一札（『県史近世』に解説あり）の写真複製資料が含まれている。

② 和歌山市

a 旧和歌山 近世の城下町和歌山に関するもの。近世の和歌山は、侍町と町方に分かれていたが、町方に関する文書資料である。

元禄一五年の御触帳一点、書物屋の「坂本屋喜一郎家文書」三三点が含まれる。坂本屋文書は『県史近世史料一』に掲載されている。

b 旧町域以外 近現代以降和歌山市に編入された地域に関するもの五九点。9190番は熊野地方や堺にも出張所を置いていた雑賀崎の豪商中屋の文書であり、買付けをした沢山の商品や商店名が記されている。丁番の「坂田村役場文書」は、含まれる文書資料の性格

より「役場文書」としたが、『収蔵史料目録1』所収の「山裾織布場文書」と出所を同じくする可能性がある。また、甲番の「本郷引き分かれ願い問題他につき帳面」は、枝郷居住者が本郷支配から離れたい旨を訴え出た一件等について書き留めた帳面である。本郷の寄合への出席問題や本郷への人足遣方などについても書かれ、当時被差別身分におかれていた人々への差別の実体を知る上でも重要な史料である。なお甲番については、人権上の配慮から現在は閲覧制限を付している。ほかに西和佐村などの近代役場資料や、山林関係資料がある。

③ 海草郡域 (海南市含む)

a 海南市 三九点。近世のものは地誌帳・検地帳・免割帳など土地や年貢に関するものがあるが、明治中期の南野上村大字次ヶ谷の保存講関係資料が一番多い。他に明治期の村役場資料も数点ある。b 下津町 四点。9251番の明治の梅田村の小学校に関するものは、『収蔵史料目録1』所収の「中尾家文書」と関連する可能性がある。

c 野上町 五点。小川小野村の名寄帳ほか近世文書四点と、近代第三大区十小区の土地調査帳一点。

d 美里町 二七点。9032番は明治前期の神社明細帳。9039番は文化六・七年の下野村大字野中十三神社関係文書である。「猿川松ヶ峰村文書」は土免願ほか近世文書、「毛原下村文書」は氏神関係、「長谷毛原村文書」は明治大正期の村役場資料を中心としたものである。

④ 那賀郡

a 旧那賀郡域 三点。うち近世の二点は、旧那賀郡域の複数

村名が記載されているが、出所が現行市町村のどこにあたるのか特定できない。明治期の一点は、旧那賀郡域全体にかかわる資料である。

b 打田町 七六点。山絵図五点は、田中と現桃山町大原との山林境界関係のもので、ここは中世から境界をめぐる争論が起こって来た場所である。「東大井村堂本家文書」は、明治期を中心とした文書資料七〇点の群である。この中で村関係・家関係・寺の年行司関係とに分けて掲載したが、家関係の中には蜜柑の米国輸出に関する帳面もある。また9085-12番に記載されたドイツ人ハイトケンヘル(ケンベル)はいわゆるお雇い外国人で、和歌山市の皮革業創始者である。

c 那賀町 一点。横谷村・麻生津村役場文書が中心。

d 桃山町 一二点。打田町田中と大原の境界関係絵図や近世三船明神宮神能に関するもののほか、近世末から近代初頭の村関係資料。

e 岩出町 二〇三点。「那賀郡中島村文書」は検地帳・名寄帳をはじめ宗門改・川普請など近世村に関する資料を中心とした群である。「小田井関係文書」は、宝永四年から享保期に開削された紀州最大の農業用水路小田井につき岩出組村々の井懸銀割賦に関する帳面である。「岩出町宮西口商店文書」は、米穀・印紙類商西口商店の明治から昭和初期の資料一五〇点で、商売関係のものが中心だが、一家文書も見える。

⑤ 伊都郡域 (橋本市含む)

a 橋本市 四点。9061番は慶賀野村と矢藏脇など五ヶ村間で起こった山論決着取替絵図で、論所各村の役人が押印している。9

057番の「詰所及大砲一件」は『県史 近世史料』所収のもので、幕末期（元治元年頃）に郡内の地主が藩内警備のため園境詰め所や大砲の铸造などを願い出協力を求めた一件の書き留めである。

b かつらぎ町 三点。兄井村永代講関係と四郷村大字広口小字図。

c 九度山町 丹生川村圓通寺に関する貞享期の資料二点。

d 高野町 高野山関係二点と明治末の白藤尋常小学校関係二点。

⑥有田郡域（有田市含む）

a 旧有田郡域 一四点。9203番の有田製材所は、所在地が不明だが明治後期に蜜柑箱等を作っていた。また、9150193番の大福帳も出所所在地不明文書である。9252番は七・一八水害のものであろうか。

b 有田市 一〇二点。飯里村の文書は近世の高に関する帳面が多い。「宮原組西村文書」は、慶長換地帳（写）や名寄帳・免割帳他近世村に関する文書資料が中心である。「喜多織工所文書」は、明治後期の織工関係帳面などである。

c 湯浅町 九六点。9150番「阿瀬誠治郎商店文書」は明治後期の織工所文書。「湯浅町船山商店文書」は明治後期から昭和初期の火薬類販売取り扱い店文書で、帳簿が中心だが、警察や郡とのやりとりのわかるものもある。

d 広川町 五点。全て近代文書で、上津木村などの土地関係資料等がある。

e 吉備町 一一三点。「奥村武内家文書」は近世後期から明

治前期の家文書（年頁や奉公人関係ほか）。「藤並組野田村文書」は慶長六年の検地帳・名寄帳の写しをはじめ免割帳など近世村文書が多い。

f 金屋町 九一点。9150番には近世から明治期の町内複数村（現大字）の資料があり、この中には検地帳や名寄帳も多く含まれている。9150番は古書店から一括購入された一群をなす文書資料であるが、金屋町内をはじめ多くの有田郡域旧村の重要な文書が含まれており、その収集経路は大変気になるものである。「第五大区四

小区二十四ヶ村絵図」は、役場資料であったと考えられる。

g 清水町 二四点。八幡村ほか近代役場資料中心で、中でも村絵図・字切り図が多い。

⑦日高郡域（御坊市含む）

a 旧日高郡域 一点。8990番には日高郡内支配の年中行司と文書雛形が書き付けられている。郡役所之立会日や御代官所より組々直夫賃定・郷役定休日覚なども書き付けられており、大庄屋や代官などの所持であったと考えられる。

b 御坊市 五九点。明治の熊野村文書一点のほかは、近世「御坊村文書」である。文化から文久の御用留・同抜き写しの帳面が二三点まとまって残っているのは大変貴重である。また、浦組関係文書も含まれており、近世後期の繁華な町であった御坊村の様子を知手がかりとなるものである。

c 美浜町 二二点。和田村雷社森林図が三点。「浜ノ瀬村文書」には、元禄の検地帳や近世浦組関係文書がある。

d 日高町 一六七点。9162番は播州美囊郡高男寺村の城米を積み江戸へ向かっていた船が沿岸で難破した時の始末を記した帳

面で、阿尾浦へやって来て見分をおこなった(高男寺村の)預人岸本武十郎手代へあてて書かれ、最後に相違ない旨周参見浦御城米役人城四郎左衛門と日高郡代官服部八郎が奥書している。「志賀組志賀村文書」は検地帳と名寄帳である。「原谷村文書」は、近世の山林や肉桂畑の本銀返し証文がほとんどであるが、当時この地で肉桂が作られていたことがわかる。なお9254番の群には現岩出町所在の西口商店文書と、この原谷村文書が混在している。

e 由良町 四五点。「寺田家文書」は近世後期から現代の土地関係文書が中心である。「中川山神堂文書」は、昭和初期の天狗葉販売関係帳面である。天狗葉は同町奥国寺で昭和二〇年代頃まで作られていた婦人葉であるが、明治期に同家から奥国寺住職を出している関係から、製造販売の権利を得たのであろうか。なお先の寺田家からも奥国寺住職が出ている。9033番の寺田家・中川山神堂と中津村の柳瀬家文書は、移管時全く混在していたものである。

f 川辺町 文化七年の名寄帳控え一点。

g 中津村 「川中村坂野川柳瀬家文書」一一五点。明治から昭和期の文書群で、農地委員や土地賃貸価格調査委員などを努めていた関係から、土地関係のものが多い。各委員や役場関係文書など公的なものと、私的なものがあるが、その区別がつけにくいものもある。例えば米穀増産施設耕地事業関係の書類などは個人的なものであろうか。

h 龍神村 二点。9248番文書は幕末(慶応三年か)の高野山の警護の様子や志士などの入込情報などを書き付け、藩へ報告した帳面で、あて名の山岸五郎左衛門は藩士である。

i 印南町 明治三〇年代の切目村衛生組合関係資料二点。

⑧東西半葦郡域(新宮市含む)

a 新宮市 二点。嘉永の寺請け証文一綴と明治の山林売買文書。

b 串本町 二点。9172番は赤穂から江戸への荷物を積んだ商船が、遭難した時の始末を書いた文書で、遭難次第を書き上げた後、積み荷のうち海へ捨てたもの、助かったもの、傷んで当地で売り払ったものにつき書き上げ、大島浦役人に出帆の許可を申し出ている。先に日高町の項であげた遭難船の場合は、積み荷が城米のみで、船も沈んでしまっていたが、こちらは薩摩藩の米の他に他藩領の商品等をたくさん積んだ商船で、また沈没も免れている。9246番は幕末動乱期に串本の神田家に宿泊した幕府はじめ藩の要人名の書き上げの複製資料である。江戸から船で来坂する時にここで上陸して一泊したよう、勘定奉行・軍艦奉行(勝麟太郎)はじめ老中(酒井雅楽)などの名も見える。

c 那智勝浦町 三二点。9174番は慶長六年検地帳の複製資料。9048番は明治一九年に地券作成のために地主が所有地を調べた時の帳面で、屋敷地が勝浦村に記載されていることから、地主はここに居住していたと考えられる。「所有山林略図」は那智勝浦町域居住と考えられる山林地主家のものであろうか。一部古座町・那智勝浦町域のものもあるが、これはそれぞれの字中で所有地のみを書いた図で、離してしまっただけは意味がないので、一括のままここに掲載している。

d 古座町 近代以降の漁場図一点。

e 本宮町 四点。9036-10番は和歌山県庁の項にある

「和歌山県神社寺院関係文書」からの重複掲載である。旧官幣大社の熊野坐神社は明治二二年の洪水で社殿の大半が流失し、五〇〇メートル上流の高台に移転再建されていたのであるが、昭和七・八年に元の地への復旧が願い出られたのである。ここには、当時の写真や洪水時の資料の写しも添えられている。しかし、同神社は今もそのままの場所にあり、願いは聞き届けられなかった。

f 北山村 四点。検地帳などだが、全て複製資料である。

⑨和歌山県内文書だが出所・作成地不明のもの

一点。明治二年の「正遷宮寄附写」の帳面だが、地名も神社名も書かれておらず、出所を特定できなかった。購入時の書類にも出所の手がかりとなる記載はない。

⑩他府県域（旧紀州藩領域含む）

一・二点。本来旧紀州藩領のもの、そうでないものを項目分けすべきであるが、点数が少ないため、同項目に掲載している。

旧紀州藩領の文書資料は、9176番と9054番の二点がある。

9176番は現三重県熊野市域になっている旧桃崎村の近世文書、9054番は現度会郡玉城町に所在する旧紀州藩田丸領川堤普請に関するものである。9250番は、紀州和歌山県とは直接関係がないが、醤油醸造関係資料（写本か）であり、その点から当地関連資料と見ることができよう。しかし、残りの丁120から125番は、全く当地には関係のないものである。丁番は、図書館が寄贈を受けた文書資料である。元の所蔵者は愛媛県在住で、その地域に関する古文書類を古書店から購入されたのだが、その中に全く関係のない文書二五点が混入してい

ることに気づき、それがどうやら和歌山県内から出たものであるとわかったため、当県に寄贈くださったのであった。今回整理してみると、この内丁11〜19番は現和歌山市域の旧村に関するものであったが、20〜25番の六点は更に別の地域のものであることがわかった。一点は現京都府舞鶴市、四点は現大阪府南河内郡千早赤阪村、最後の一点は兵庫県津名郡一宮町（淡路島内）を出所とするものであった。

参考

近世以降の紀州藩・和歌山県全体と同資料にかんして

『和歌山県史』近世、近世史料、近現代一、同二、近現代史料

『和歌山県立文書館紀要』創刊号〜第三号

『和歌山市史』

特に高野山寺領支配に関して

「百姓中心に見たる近世の高野寺領」神亀法壽『社会経済史学』

第二巻第十号）

*移管後の整理作業は、平成四年〜同一年のあいだに、鎌田和栄、伊藤信明、高橋めぐみ、遊佐教寛、松島由佳、北村文弘、清水健策がおこなった。本目録の作成は鎌田和栄がおこなった。

旧町村別資料番号対照表

※現行市町村内の地名は、近世・近代の旧区町村名を使っているが、利用の便を考慮し、なるべく近世のもので統一するようにした。数字は本目録の資料番号である。

1、紀州藩・和歌山県庁文書

①紀州藩・和歌山藩庁

8985、8986、8987、8989、8990、8991、8992(-1~-3止)、8993、8994、8995、8996、8997、8998、8999、9000(-1~-3止)、9001、9002、9003(-1、-2止)、9004、9005(-1、-2止)、9006、9007、9008、9017、9020、9059、丙(全て)

②田辺藩

9024

③和歌山県庁

9028、9029、9031、9075、9036(1~88止)、9111(-1~-3止)、丙タ-7

2、町方地方・各地域に関する文書

①紀伊国・和歌山県域

8984、9249、9230(-1~-4)、9037、9038、9039(-1~-23止)

②和歌山市

a、旧和歌山(城下町) 9094、9231(1~33止)

b、旧町域以外

田尻村 丁-6、-7、-10、-16、-18、-19

坂田村 丁(-1~-19止)

紀三井寺 9247

栗栖村 9116(-1、-2止)、9118、9120、9121、9123

岩橋村 9113、9114、9119

西和佐村 9115、9117(-1~-5止)

市小路村 9099

粟村 9096

園部村 9039-7

府中村 9039-1

塩屋村 9039-8

関戸村 9095、9127

雑賀崎浦 9190(-1、-2止)

上三毛村 9147-2

□□村 甲

旧名草郡域 9030、9125

③海草郡域(海南市含む)

a、海南市

黒江村 9139

日方浦 9140

冷水浦 9141

次ヶ谷村 9142(-1~-5止)、9143(-1、-2止)、9144、9145、9146(-1~-17止)

木津村 9041-3

別院村 9041-1

原野村 9041-2、9255-1~-3

北野上村 9255-4

b、下津町

梅田村 9251-5、-7

曾根田村 9136

奥村 9137

c、野上町

第三大区一〇小区 9040

小川小野村 9132-1~-4

d、美里町

下神野村 9032(-1~-2止)、9131-1

野中村 9039-3
松ヶ峯村 9130(-1~-9止)
毛原下村 9132(-5~-10止)
長谷毛原村 9131(-1~-5止)

④那賀郡

- a、旧那賀郡域 9074、9183、9255-3
b、打田町
南中村 9076
田中村 9039-9、-10、-14、-15、-19
東大井村 9085(-1~-65止)
c、那賀町
西野山村 9064
市場村 9230
第三大区四小区 9068(-1、-2止)、9069、9070、9073
横谷村 9066、9067
麻生津村 9071、9072
d、桃山町
小路村 9090、9091、9089
加和村 9087
神田村 9039-16、9086、9088、9089
大原村 9039-9、-11、-12、-13、-19
e、岩出町
岩出組 9253(-1~-6止)
宮村 9254-1~-55、-58~-149
西坂本村 9039-17
波分村 9093-1
中島村 9093(-1~-25止)

⑤伊都郡域(橋本市含む)

- a、橋本市
東家村 9056、9061
上夙村・紀伊見峠村 9057
市脇村・野村・東家村・寺脇村 9058
b、かつらぎ町
広口村 9039-22(-1、-2)
兄井村 9055
c、九度山町
丹生川村 9188(-1、-2止)
d、高野町
高野山 9036-20、-73、9039-5、9178、9179、9181
細川村 9062(-1、-2止)

⑥有田郡域(有田市含む)

- a、旧有田郡域 8998、9150-71、-93、9203(-1~-9止)、9252、丙タ-20
b、有田市
宮原村 9150-62
中番村 9150-95
西村 9157-1~-72
糸我村 9156
北湊村 9251-1~-4、-6、-8
箕島町 9150-96、9152
椒里村 9150-63~-70
c、湯浅町
湯浅村 9150-74~-92、-94、9189(-1~-73)
d、広川町
広村 9150-50
下津木村 9150-60

- 上津木村 9150-58、-59
津木村 9150-61
- e、吉備町**
第五大区三小区 9045
野田村 乙(-1~-10止)
奥村 9158(-1~-85止)
御壺村 9150-57
東丹生岡村 9046-30、-31
吉見村 9046-32
徳田村 9046-33
- f、金屋町**
第五大区三小区 9045
第五大区四小区 9042、9043、9044
金屋村 9150-2~-10、-36
市場村 9046-7、9063、9150-11~-14
中井原村 9046-9、-11、9150-15~-19、-35
中野村 9046-12、9150-20~-24
小川村 9046-8、9150-25~-32、-37、-38、-47、-72
長谷川村 9046-10、-15、9150-33、-34、-41~-45
金屋村外五ヶ村戸長役場 9150-39、-40、-46、-48、-49
歎喜寺村 9046-4
吉原村 9046-5
糸川村・石垣村 9150-51~-54
宇井苔村 9046-1
松原村 9046-3
川口村 9046-6、-27
小原村 9046-14
冬村 9046-16
尾上村 9046-19
大西村 9046-29
延坂村 9046-21、-22、9150-55
沼田村 9046-20
本堂村 9046-24
中峯村 9046-23、-26
西ヶ峯村 9039-18
瀬井村 9046-17、-18
彦ヶ瀬村 9039-6、9046-13、-25
五西月村 9150-56
- g、清水町**
粟生村 9046-2、-28
八幡村 9148(-1~-13止)
遠井村 9148-1、-7、-8
大藏村 9148-3
下湯川村 9148-6、-12
沼村 9148-13
三田村 9157-73、-74、9148-10
宮川村 9150-1、9148-5、-9、-11
久野原村 9157-76、9148-4
清水村 9047、9148-2
西原村 9157-75
板尾村 9150-73
杉野原村 9147-1
山保田組 9147-3

⑦日高郡域（御坊市含む）

- a、旧日高郡域 8990
- b、御坊市
 - 御坊村 9167(-1~-58止)
 - 熊野村 9168
- c、美浜町
 - 浜ノ瀬村 9165(-1~-16止)
 - 和田村 9039-21(-1~-3止)
- d、日高町
 - 阿尾浦 9162
 - 原谷村 9163(-1~-61止)、9254-56(-1~-33止)、-57(-1~-29止)
 - 萩原村 9186(-1~-27止)
 - 志賀村（下志賀・中志賀・久志・上志賀・柏） 9160(-1~-11止)、9161
- e、由良町
 - 里 村 9033-て(1~22止)
 - 畑 村 9033-な(1~20止)
- f、川辺町
 - 若野村・江川村・和佐村 9166
- g、中津村
 - 坂野川村 9033-や(1~-97止)
- h、龍神村
 - 龍神村 9248
 - 下山路村 9039-2
- i、印南町
 - 切目村 9169、9170

⑧東西牟婁郡域（新宮市含む）

- a、新宮市
 - 新 宮 9175
 - 下熊野地 9039-4
- b、串本町
 - 串本浦 9246
 - 大島浦 9172
- c、那智勝浦町
 - 勝浦村 9048、9049(-1~-25止)
 - 那智山 9180、9182
 - 色川村 9173(-1~-3止)
 - 庄 村 9174
- d、古座町
 - 下田原浦 9053
- e、本宮町
 - 本宮村（熊野坐神社含む） 9036-10、9150-97~99
- f、北山村
 - 小松村 9177(-1~-4止)

⑨和歌山県域内文書だが出所・作成地不明のもの
9184

⑩他府県域（旧紀州藩領域含む）

- 三重県 熊野市 桃崎村 9176
- 勢州田丸領 9054
- 松阪市 9250-2~-4止
- 兵庫県 西宮市 9250-1
- 津名郡一宮町 丁-25
- 大阪府 千早赤阪村 丁-21~-24
- 京都府 舞鶴市 丁-20

移管資料目録

1 紀州藩・和歌山県庁文書

①紀州藩・和歌山藩庁

資料番号	題	年月日	作成者	宛名	形態
8996	御条目（江戸表にて） ※小損、目安裏判・跡式出入・裁許任意置ほか	（嘉永3年9月写）			縦帳
丙-タ-13	〔新政府触写〕 ※一六丁、綴になっているものとなっていないものがある、数冊分の断簡	（明治元年）			断簡
丙-タ-1	□午年藩制雑誌 三三 ※原、巻首から裏表を抜き出した（御書附けなどの字）、下部には「新藩制書」あり	（庚午年11明治3年）			縦帳
9059	〔諸国道中筋宿々割増銭・大艦職ほか公儀触書控〕 ※表紙なし	午（近世末）			縦帳
8995	御沙汰留 三番（太政官より紀州藩他へ） ※小損、後半項目「伺御請留」	慶応4年4月18日 （内容は3月）	京御□□（破損）		縦帳
8999	天朝御触留（前半「公儀御触留」） ※元の表題「公儀」の上に「天朝」の貼紙	元治元年正月（明治元年10月）	東西		縦帳
9000-3	〔御研り師につき触れ書写し〕 ※1に挟み、端裏貼紙あり	午8月	（阿部備中守）		一紙
9000-2	〔甘蔗作り高砂糖製作高書付け〕（離型写し） ※三ツ折りにて1に挟み	文政2年2月		御勘定奉行	縦帳
9000-1	公儀被仰出留 ※後欠、挟込み文書二点次項へ	文化13年（安政4年） （実際は天保8年まで）			縦帳
8993	定（異国船・キリシタンにつき）	正徳6年3月			一紙

紀州藩・和歌山藩庁

紀州藩・和歌山藩庁

9003 -2-2	9003 -2-1	9003 -1-3	9003 -1-2	9003 -1-1	丙-タ -14	丙-タ -2	8985	8990	丙-タ -20	8998	9005 -2	9005 -1	8991
御内則江認入(御徒目付之儀につき)	御内則 下(家中世禄并御加増につき二の部) ※大損、挟込み文書次項へ	元治二丑四月廿三日江戸より御内則手入振 ※一に括り	〔御内則のことにつき一札〕 ※一に挟み	御内則 中(家中世禄并御加増につきイハの部) ※挟込み文書次項へ、凡例あり	〔紀州家につき覚書〕 ※中損、紐破損、書かれたのは明治期	宝鑑(将軍家・他家の妻子ほかにつき)	〔護国院を中心とした海防図〕 ※彩色、額入	行司(日高郡内支配年中行司并文書離形書付け) ※劣化、郡奉行・代官関係か	〔有田郡寺社に関する願書留帳部分〕 ※前後欠、丁はずれを集めて仮綴	寺社留 有田郡(寺社奉行所あて願書ほか)	諸事御用留 式拾六番(藩政等につき) ※一部劣化	諸事御用留 式拾五番(藩政等につき)	衣服定 服織改 諸被仰出 ※殿中衣服定ほか幕府関係記述多い・在江戸者所持か
元治元年9月5日	(近世)	元治2年4月23日	3月25日	(近世)	(文化・明治)	(近世)	(近世末カ)	文政13年	(文政12年ほか)	文政6年	元治元年8月吉日	文久3年4月吉日	(寛政2年5月朔日)文久3年2月)
			江戸五人					古田兵治郎	門(ほとんどが榎坂五郎左衛門)	(各々各村庄屋ほか)	組頭仲間中	組頭仲間中	酒井
			若山御五人様						(ほとんどが有田御代官中)	(各々寺社奉行所ほか)			
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

紀州藩・和歌山藩庁

9006	9008	丙-セ-4	丙-セ-5	丙-セ-2	9004	丙-セ-3	9001	9002	8989	8986	8987	9017	丙-セ-1
無官士族卒名前 ※大型、厚紙に貼付け	卒族順書 ※厚紙に貼付け	御中間頭支配無役組頭無役并御休御中留共 姓祿等仕出帳 ※文字上に白紙貼付け多い	〔世祿家督帳部分〕 ※前後欠、エの欄本よりスの杉村まで	御初代以来同中絶世祿家督調帳 シヨリ終迄 ※小損、渋谷氏以降	和歌山御家中御目見以上以下 伊呂波寄惣姓名帳 ※『県史近世史料編一』掲載	姓祿帳 きゆ 廿七冊之内 ※小損、各人の近世末からの職・祿書留	姓祿帳 ほへと 廿七冊之内 ※下級藩士中心	巳年知行帳 ※上中級藩士につき、後半「左京大夫棟御願衆」、『県史近世史料編一』掲載	御役替（親自在院様御附職人始末につき） ※小損、表紙書付「不許他見 珍襲」、『県史近世』所収	若山江戸御附職分録 ※黒い台紙に貼付け	御役順（役と祿高につき）（写） ※小型	御役順席附 （文化7年7月以降）	被召出被召抱終身調帳 五冊之内 イロハニホヘトチリヌ ※新規につき姓名書付 （元和9年～寛文7年）
明治4年3月	明治3年2月改	明治2年2月	（近世）	（近世後～末期）	明治23年12月調（内容は慶応3年～明治2年）	明治2年	安政5年改（～明治2年頃）	安政4年～	（文政12年以降）	（近世）	（近世）	（文化7年7月以降）	元和9年～寛文7年
総民局 什伍懸り	政事庁				藩政奥御右筆組頭又右衛門 専吉田冬扇 <small>（寛文）</small>	□□諸渡物方	諸渡物方	部附方		御目付方			
横帳	横帳	縦帳	縦	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	横半帳	横半帳	縦帳

丙-ソ-11	雑古帳 (下級藩士・地士・庄屋・商人等切米銀給につき) ※付紙貼紙多く割がれもあり	万延2年正月			縦帳
丙-ソ-10	〔惣帳古張紙〕 ※激損、大部分が不開板状、四分割、利用不能	(近世)			縦帳
丙-ソ-9	〔惣帳古張紙〕 ※激損、大部分が不開板状、四分割だが一番上の一点は別物か、利用不能	(近世)			縦帳
丙-ソ-8	〔惣帳古張紙 コノワ〕 ※激損、不開板状、利用不能	(近世)			縦帳
丙-ソ-7	惣帳古張紙 のくや ※激損、不開板状、利用不能	(近世)			縦帳
丙-ソ-6	惣帳古張紙 ^(紙カ) ヨタ ※激損、不開板状、利用不能	(近世)			縦帳
丙-ソ-5	〔惣帳古張紙〕 ※激損、不開板状、利用不能	(近世)			縦帳
丙-ソ-4	〔惣帳古張紙〕 アサキ ※激損、不開板状、利用不能	(近世)			縦帳
丙-ソ-3	惣帳古張紙 ケフコエテアサキ (内容テまでのみ) ※激損、不開板状、利用不能	(近世)			縦帳
丙-ソ-2	〔惣帳古張紙 ワカ〕 ※激損、不開板状、利用不能	(近世)			縦帳
丙-ソ-1	惣帳古張紙 イハニホヘトチリヌ ※激損、不開板状三分割、利用不能	(近世)			縦帳
9020	系譜 (三浦家) ※承応元年没の為書まで	文化7年2月	三浦長門守		縦帳
丙-タ-12	〔藩士の内病死・差免・御免者姓名帳〕 ※前欠、厚い、各項年月日順に記載	(子年〜亥年)			縦帳
9007	独礼順書 ※厚紙に貼付け、表紙みかえし書付「御政府方」	(明治初期)			横帳

紀州藩・和歌山藩庁

丙-ア-9	丙-ア-8	丙-ア-7	丙-ア-18	丙-ア-6	丙-ア-5	丙-ア-4	丙-ア-3	丙-ア-2	丙-ア-1	丙-ソ-15	丙-ソ-14	丙-ソ-13	丙-ソ-12
跡目調 十六	跡目調 十五 ※中々激損、不開板状あり・数箇に分割	跡目調 十四 ※大損	〔跡目調部分〕 ※断簡三綴	跡目調 十二 □ _(下) ※後半欠	跡目調 十二 ※中損、薄い、内容ア-4の前半と全く同じ	跡目調 十二 ※小損、後半激損、一部劣化縹状、後欠	跡目調 十 ※中損	跡目調 五 ※小々中損	跡目調 三(相統願出者につき) ※表紙のみ破損、内容以下同	〔惣帳古張紙断簡〕 ※一丁	伊呂波□□(寄密姓名帳) ※激損、厚い、虫損は無いが開けると付紙付箋が割られるので利用不能	〔藩士張紙〕 ※大損、裏から大穴一部縹状、付紙貼紙多く割がれ多い	御附屬 ※大損、不開板状部分多い、惣帳古張紙に似ているがこれは役別に並ぶ
天保3年正月～同6年4月	文政11年正月～天保2年12月	文政8年正月～同10年12月	(文政5～7年分)	文化元年9月～同7年12月(実際は文政4年まで)	享和2年～文化5年	享和2年～文化5年	寛政4年～同8年	安永6年～同7年	明和8年～安□□年 _(永3)	(近世)	(近世)	(近世)	(近世)
縦帳	縦帳	縦帳	縦	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	断簡	横帳	縦帳	縦帳

丙-ネ -6	丙-ネ -5	丙-ネ -4	丙-ネ -3	丙-ネ -2	丙-ネ -1	丙-ア -14	丙-ア -13	丙-ア -12	丙-ア -16	丙-ア -17	丙-ア -15	丙-ア -11	丙-ア -10
御家中諸願留 名冊 ※朱筆にて訂正加筆あり	諸願留 (各々よりの願い要約留書) ※朱筆にて訂正・加筆あり	願違留 ※小ノ中損	願違留 ※小損、紐破損	願違留 ※中ノ大損	願違留 (他所、名改、寺社、縁組、養子、引越、御番御供、屋敷ほか) ※各項目別に年月日順に記述(以下4まで同)	跡目調 式十七 ※中ノ小損	跡目調 式十六 ※小損、厚い	跡目調 ※表紙のみ破損	〔跡目調部分〕 ※中損、一部劣化、前欠	〔跡目調部分〕 ※小損、前後欠、数冊分の丁はずれ一綴	〔跡目調部分〕 ※小損、前後欠、数冊分の丁はずれ一綴	跡目調 十八 ※中損	跡目調 十七 ※小ノ中損、後欠
明治2年2月～9月	文久3年	万延2年～元治元年	安政4年～万延元年	弘化3年～嘉永元年	天保8年～同10年	文久3年～元治元年	安政7年正月～文久2年	安政2年正月～ <input type="checkbox"/> (同4年11月)	(天保13年7月～)	(天保12年～)(文政4年)	(天保12年～)(文政4年)	天保9年正月～同 <input type="checkbox"/> (11年12)月	天保6年5月～同8年12月
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

紀州藩・和歌山藩庁

丙-オ -40	丙-オ -39	丙-オ -11	丙-オ -10	丙-オ -9	丙-オ -8	丙-オ -7	丙-オ -6	丙-オ -5	丙-オ -4	丙-オ -3	丙-オ -2	丙-オ -1	丙-ネ -7
〔被仰渡帳部分〕	被仰渡帳(断簡) ※中・後半以降欠、イの井田大記・井口源次右衛門のみあり、劣化あり	〔被仰渡帳〕 ※中損、前欠、カ以降あり、不閉買あり	〔被仰渡帳〕 ※中損、後欠、シ以降欠、表紙破損	被仰渡帳 ※中損、後欠	被仰渡帳 ※中損	被仰渡帳 ※大損、不閉買あり	〔被仰渡帳〕 ※中損、表題なし、二分割状態	被仰渡帳 ※中損、人名のイロハ順と後ろに縁組の項あり	被仰渡帳 ※中損、不閉買あり、人名のイロハ順と後ろに縁組の項あり	被仰渡帳 ※中損、厚い	被仰渡帳 ※中損	被仰渡帳(役職など人事・褒賞ほかにつき) ※中損、人名のイロハ順で並ぶ、以下同	〔諸願留部分〕 ※中損、前後欠、前年が丑閏8月のある年
天保□□ _(断簡)	天保□□ _(断簡)	天保□□ _(断簡)	天保14年中	天保13年	天保12年中	天保11年	天保8年	天保7年中	天保6年	天保5年	天保4年□月	文化13年	(寅)(文化3年カ)
堅	堅	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅綴

丙-才 -24	被仰渡帳	※小損、後半大損、劣化綿状あり、前半良	安政5年		堅帳
丙-才 -23	被仰渡帳	※中損	安政4年		堅帳
丙-才 -22	被仰渡帳	※小損	安政2年		堅帳
丙-才 -21	被仰渡帳	※小、中損、後半縦損	嘉永7年		堅帳
丙-才 -20	被仰渡帳	※小損、後半縦はすれやすい	嘉永6年		堅帳
丙-才 -19	被仰渡帳	※中損	嘉永5年		堅帳
丙-才 -18	被仰渡帳	※中損	嘉永4年		堅帳
丙-才 -17	被仰渡帳	※小損、後欠、ヤ以降なし、後半縦はすれ	嘉永3年		堅帳
丙-才 -16	被仰渡帳	※小、大損、表紙劣化	嘉永2年		堅帳
丙-才 -15	被仰渡帳	※中損、後欠、人名イロハ順だが突然肝煎助勤其外勤務の項あり元は別帳面であらう	弘化5年		堅帳
丙-才 -14	被仰渡帳	※小、中損、不開頁あり	弘化4年		堅帳
丙-才 -13	被仰渡帳	※中損	弘化3年		堅帳
丙-才 -12	被仰渡帳	※中損	弘化2年		堅帳
丙-才 -41	〔被仰渡帳部分〕	※中損、部分、前後欠、才の途中からキまで、作成年は地より	天保		堅

紀州藩・和歌山藩庁

丙-才-38	丙-才-37	丙-才-36	丙-才-35	丙-才-34	丙-才-33	丙-才-32	丙-才-31	丙-才-30	丙-才-29	丙-才-28	丙-才-27	丙-才-26	丙-才-25
被仰渡帳	被仰渡帳	被仰渡留 ※イロハ順でない、明治2年の藩政改革にもとづく人事仰渡	被仰渡帳	〔被仰渡帳〕 ※小損、表紙破損、作成年は内容より	被仰渡帳 ※上部小損	被仰渡帳	〔被仰渡帳〕 ※表紙欠、イの5月からあり、作成年は地より	被仰渡帳 ※小損	被仰渡帳	被仰渡帳 ※前半破損なし、後半大損、劣化綿状あり、後欠ミ以降なし	被仰渡帳	被仰渡帳 ※中損、不閉頁あり	被仰渡帳
※一部劣化あり、和歌山藩庶務課	※表紙と前半中損、後半は小損												
明治4年中	明治3年	明治2年2月	明治2年	慶応(4年)	慶応3年	慶応2年	元治2年	元治元年	文久3年	文久2年	万延2年	安政7年	安政6年
庶務課		庶務課											
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

丙-ツ-3	丙-ツ-2	丙-ツ-1	丙-オ-52	丙-オ-51	丙-オ-50	丙-オ-49	丙-オ-48	丙-オ-47	丙-オ-46	丙-オ-45	丙-オ-44	丙-オ-43	丙-オ-42
附込帳頭書	附込帳	附込帳頭書(被下、御門出入、御供筋、江紀往来、役替代番其外召抱、肝煎助勤其外勤役、女中、雑) <small>※書字等以外内容漏れ、中損</small>	〔被仰渡帳部分〕 ※小ノ中損、前後欠、二途中からカ途中まで、二分割	〔被仰渡帳部分〕 ※小損、前後欠、夕途中からナ途中まで	〔被仰渡帳部分〕 ※大損、前後欠、マ途中からサ途中まで	〔被仰渡帳部分〕 ※前後欠、ホ途中からオ途中まで	〔被仰渡帳部分〕 ※前後欠、オ途中からワ途中まで、一二丁	〔被仰渡帳部分〕 ※中損、前後欠、サ途中からミ途中まで	〔被仰渡帳部分〕 ※小ノ大損、前半欠、ミ以降あり	〔被仰渡帳部分〕 ※小損、前後欠、イ途中からホまで	〔被仰渡帳部分〕 ※激損、表紙欠、オ以降あり、劣化繻状	〔被仰渡帳部分〕 ※前後半欠、ヤの途中からクまで、二五丁	〔被仰渡帳部分〕 ※前半欠、ム以降あり
※大損	※中損												
天保4年〜同6年	天保3年	文政8年〜同9年 (12月)											
堅帳	堅帳	堅帳	堅	堅	堅	堅	堅	堅	堅	堅	堅帳	堅	堅

紀州藩・和歌山藩序

丙-ツ -16	丙-ツ -15	丙-ツ -14	丙-ツ -13	丙-ツ -12	丙-ツ -11	丙-ツ -10	丙-ツ -9	丙-ツ -8	丙-ツ -68	丙-ツ -7	丙-ツ -6	丙-ツ -5	丙-ツ -4
附込帳	附込帳	附込帳	附込帳頭書	附込帳	附込帳	附込帳頭書	附込帳	附込帳	〔附込帳〕	附込帳	附込帳	附込帳	附込帳
※中損、表紙破損、作成年は地の記述より	※小損	※中ノ大損、不開頁多い	※小損	※小ノ中損、後半大穴あり	※小損、不開頁あり	※激損、後半特に悪い	※中損ノ後半激損一部縹状	※中損、一丁はずれ	※激損、表紙欠、劣化・左半分縹状	※小損、後欠、後半別冊子か、紐破損	※小損	※中損、紐注意・表紙破損あり	※小損
(天保12年か)	天保14年	天保13年	天保13年ノ弘化元年	天保11年正月ノ	天保11年	天保10年ノ同12年	天保9年	天保9年正月ノ	天保7年	天保7年中	天保5年正月ノ	天保5年	天保4年
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

丙-ツ -27	丙-ツ -26	丙-ツ -25	丙-ツ -24	丙-ツ -23	丙-ツ -22	丙-ツ -21	丙-ツ -20	丙-ツ -19	丙-ツ -18	丙-ツ -17	丙-ツ -66	丙-ツ -64	丙-ツ -63
附込帳	附込帳	附込帳頭書	附込帳	附込帳	附込帳頭書	附込帳	〔附込帳〕	附込帳	附込帳・鶴樹院様御逝去筋	附込帳頭書	〔附込帳部分〕	〔附込帳部分〕	〔附込帳部分〕
※中損	※中損	※小損ノ後半激損、一部劣化綿状	※小損	※中損	※小損ノ後半のみ大損	※大損、不閉頁多い	※小ノ中損、表紙欠、作成年は地の記述より	※小損、不閉頁あり、繰込み文書あり		※中損、不閉頁あり	※中ノ大損、表紙欠	※中損、表紙欠、不閉頁あり、女中以降の項のみ	※小損、表紙欠、女中と雑の項のみ
嘉永5年	嘉永4年	嘉永4年ノ同6年	嘉永3年	嘉永2年	嘉永元年ノ同3年	弘化5年	弘化4年	弘化3年	弘化2年	弘化2年ノ同4年	(天保)	天保	天保
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

紀州藩・和歌山藩庁

丙-ツ -41	丙-ツ -40	丙-ツ -39	丙-ツ -38	丙-ツ -37	丙-ツ -36	丙-ツ -35	丙-ツ -34	丙-ツ -33	丙-ツ -32	丙-ツ -31	丙-ツ -30	丙-ツ -29	丙-ツ -28
附込帳頭書	附込帳	附込帳	附込帳・宰相様公方様御養君賢吉様御家御相統一件	附込帳頭書（最後に公方様御養君御家御相統の項あり）	附込帳	附込帳	附込帳	附込帳	附込帳	附込帳頭書	附込帳・舜恭院様御逝去筋・舜恭院様御附属御片附之筋附込・観如院様御逝去筋	附込帳 下（後半舜恭院様・観如院様御逝去筋の項あり）	附込帳 上（被下ノ女中）
※小損	※中損	※中損	※小ノ中損	※中損、挟み文書あり	※中損、不開頁あり				※中損	※小損	※中損	※括り付け文書あり	※最後貼紙「嘉永六丑正月より附込二札之内」
万延2年ノ文久3年	安政7年	安政6年	安政5年	安政5年ノ万延元年	安政4年	安政4年正月ノ	安政3年	安政2年	嘉永7年	嘉永7年ノ安政4年	嘉永6年ノ	嘉永6年正月ノ	嘉永6年正月ノ
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

丙-ツ -52	丙-ツ -58	丙-ツ -57	丙-ツ -61	丙-ツ -51	丙-ツ -50	丙-ツ -49	丙-ツ -48	丙-ツ -47	丙-ツ -46	丙-ツ -45	丙-ツ -44	丙-ツ -43	丙-ツ -42
附込帳 ※小ノ中損、民政知局事や陸軍奉行などの記述あり	〔附込帳〕 ※中損、表紙欠、於芸州広島御軍事奉行・異國船防禦等の記述あり	〔附込帳〕 (銃隊出入ほか) ※中損、表紙欠	〔附込帳部分〕 ※表紙欠、銃隊・東京留守居・天朝被仰出等の記述あり	附込帳 ※小損、厚い、江紀往來の項厚い	附込帳之内動筋 (肝煎助勤其外動筋) ※厚い、銃隊等の記述あり	附込帳 巻 ^五 ※小損ノ後半大損	附込帳 (式カ) ※表紙破損	附込帳 式 (肝煎助勤其外動筋ほか) ※出陣等の記述あり	附込帳 式 (肝煎助勤其外動筋ほか) ※後半繰はずれ、京都御用等の記述あり	附込帳 式 (肝煎助勤其外動筋ほか) ※激損、不開頁あり、黒船筋御用等の記述あり	附込帳 巻 ※中損	附込帳 ※小損	附込帳
明治2年	(幕末期)	(幕末ノ明治初期)	(慶応4年ノ明治初め)	慶応4年	慶応3年	慶応3年	慶応2年	元治2年	元治元年	文久3年	文久3年	文久2年	万延2年
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

紀州藩・和歌山藩庁

丙-ハ-4	張紙帳 (附殿中衣服)	※中損	安政2年正月~文久2年12月		堅帳
丙-ハ-3	張紙帳	※小損	弘化4年~嘉永7年		堅帳
丙-ハ-2	張紙帳 (先例や取計い・勤方等伺出へ仰聞の附札など書留)	※小~大損、後欠、内容以下同	天保9年~弘化3年		堅帳
丙-ハ-1	張紙頭立 (上々様、御規式向、殿中其外唱替、衣服、御礼差上被下、並高御役料、諸文格、御供并供連、道中、御門、屋敷御長屋、□□...)	※中損、表紙破損あり	文政5年~天保5年		堅帳
丙-ツ-70	〔附込帳部分〕 (□□、肝煎助勤其外勤筋)	※一丁、前後欠			堅
丙-ツ-69	〔附込帳部分〕	※小損、前欠、観自在院様三回忌の記述あり	(卯) (天保2年か)		堅
丙-ツ-67	〔附込帳部分〕	※中損、前後欠、綴はずれ部分			堅
丙-ツ-60	〔附込帳部分〕	※中損、表紙欠、複数冊の丁はずれ一綴か	(文政9~元治2年)		堅
丙-ツ-59	〔附込帳部分〕	※中損、表紙欠、嘉永・天保の張り紙あり	(天保・嘉永頃か)		堅
丙-ツ-56	〔附込帳〕	※激損、後欠、一位様関係筋のもの多し、劣化・一部繻状			堅帳
丙-ツ-55	附込帳	※大損	明治5年	庶務課	堅帳
丙-ツ-54	附込帳	※和歌山藩庁動等の記述あり	明治4年	庶務課	堅帳
丙-ツ-62	〔附込帳部分〕	※表紙欠、土族・津田従五位藩政改革尽力により燻着などの記述あり	(~庚午(明治3年)12月)		堅
丙-ツ-53	附込帳之内勤筋 (肝煎助勤其外勤筋、銃隊出入)		明治2年		堅帳

紀州藩・和歌山藩庁

丙-フ -4	風聞姓名書抜 若山残り (人柄御尋ほかにつき) ※中損	文政13年~天保8年	横半帳
丙-フ -3	風聞姓名書抜 若山残り (博奕之風聞ほかにつき) ※中~大損	文化14年~文政12年	横半帳
丙-フ -2	〔風聞姓名書抜〕(博奕之風聞ほかにつき) ※中損、表紙白紙	(寛政12年~文化13年)	横半帳
丙-フ -1	風聞之内姓名書抜 ※小損、(内題)「風説并不慎之者言上之内姓名書」	宝暦7年~寛政11年	横半帳
丙-タ -22	〔諸留書部分〕 ※元別々帳面の丁はすれを集めて綴	(嘉永6年~明治3年)	堅
丙-タ -21	〔仰せ付け他諸留書部分〕 ※中損、前欠、上部一部劣化	(天保14・15年)	堅
丙-タ -23	〔張紙帳他部分〕 ※小損、前後欠、数冊分の丁はすれを集め綴、幕末のことわかる資料	(慶応2年~同4年)	堅
丙-タ -19	〔張紙帳ほか部分〕 ※丁外れ一括	(文化11年~文政4年) 慶応2・3年)	堅
丙-ツ -65	〔張紙帳部分〕 ※中損、劣化・後半一部緒状、表紙欠、タ16の続きか	(慶応3年)	堅
丙-タ -16	〔張紙帳部分〕 ※穴あるがそれ以外は状態良、幕末の動向がわかる資料	(慶応3年)	堅
丙-タ -18	〔張紙帳他部分〕 ※前後欠、様々な丁はすれを集めて綴か、初めの二丁のみ弘化4年で「跡目」	(弘化4年~慶応元年)	堅
丙-タ -17	〔張紙帳部分〕 ※前後欠、幕末の動向わかる資料	(元治元年~慶応元年)	堅
丙-タ -15	〔張紙帳部分〕 ※前後欠、部分的に大破損あり	(文久3年~元治元年)	堅
丙-ハ -5	〔張紙頭立部分〕(道中、下馬下乗、雑、刑、屋敷御長屋、御役順御役唱替、御供并供連、御門、家督養子縁組、諸文格、殿中其外唱替、衣服、御礼差上被下、並高御役料) ※小損、契	(元治2年~慶応3年)	堅

丙-キ-10	〔服忌挨拶書部分〕 ※中損、地朱筆〔目〕			縦
丙-キ-7	服忌挨拶書 ※中損、表紙朱筆〔目〕、紐破損	(天保5年)慶応2年		縦帳
丙-キ-6	服忌挨拶書 ※中損、後半欠、表紙朱筆〔目〕	文化6年(同13年)		縦帳
丙-キ-5	服忌挨拶書 ※中損、表紙朱筆〔目〕	寛政9年正月(文化5年)		縦帳
丙-キ-4	服忌挨拶書 ※中(大損)、劣化水損・紙フケあり、表紙朱筆〔目〕	寛政5年(同8年)		縦帳
丙-キ-3	服忌挨拶書 ※中損、表紙朱筆〔目〕	安永5年(天明元年)		縦帳
丙-キ-2	服忌挨拶書(各個人の服忌につき留書) ※小損、表紙朱筆〔目〕	明和2年(安永4年)		縦帳
丙-キ-8	服忌令 ^(書) 〔挨拶書〕 ※中(大損)、表紙朱筆〔目〕	(寛保2年2月)		縦帳
丙-キ-9	〔服忌令明細集〕 ※小損、前後欠、一〇頁(五八頁の部分、写本か、題は最後の記述より)			縦帳
丙-キ-1	服忌令	(嘉永4年8月写之)	御用部屋	縦帳
丙-ミ-1	御留守方密控留(密々の頼濟留やロシア船一件等につき) ※中損、後欠	文政9年(元治2年2月)		縦帳
丙-フ-7	〔風聞姓名書抜帳断簡一括〕 ※中損、数冊分の綴はずれ丁を一括	(寛政10年頃)天保(嘉永頃)		横半一括
丙-フ-6	人柄御尋 ※中損、後欠、「風聞姓名書抜」の一部か	天保9戊戌年(寛)		横半帳
丙-フ-5	風聞姓名書抜 ※中損、後半欠	天保9年(元治2年2月)		横半帳

8997	丙-タ-26	御天守石垣御普請大積帳 (写替)	正徳6年2月(写日) 弘化4年9月朔日	(写人 津村八左衛門)	堅帳
	丙-タ-25	〔堅帳丁はずれ一括〕 ※堅帳の丁はずれ断簡をまとめて一箱に保存、重要な資料も多い	(近世)		堅一箱
	丙-タ-24	〔跡目相続ほか仰付等諸留書部分一括〕 ※小損、前後欠、数冊分の丁はずれを集め綴	(天保13年6月)		堅
	丙-チ-9	地士帯刀人平百姓縁組一件 松阪御代官御 ^書 □□ ※表紙破損、松阪領の縁組み願書頭留などにつき	慶応3年10月		堅帳
	丙-チ-8	〔地士帳部分 (勢州領につき)〕 ※激損、断簡三点	(内)一点は文化8年	公事方	堅
	丙-チ-7	白子領地士帳 ※激損、頁不開、二分割状態			堅帳
	丙-チ-6	一志郡地士帳 十二冊之内 ※激損、頁不開	文化8年改	公事方	堅帳
	丙-チ-5	田丸領地士帳 十二冊之内 ※激損、頁不開・二分割状態、チもまで四冊は地士個人の経歴を人別に書留、後欠カ			堅帳
	丙-チ-4	地士帳 (勢州領につき) ※小激損、一部劣化繻状、後半状態不良	文政8年~同10年		堅帳
	丙-チ-3	地士帳 ※中損	文政元年~同5年	勢州奉行所	堅帳
	丙-チ-2	地士帯刀 ※中損、後欠、表紙はずれ	享和3年~文化4年	勢州 ^書 □□	堅帳
	丙-チ-1	〔地士帳 (勢州領につき)〕 (地士相続や病死断之事などにつき) ※中損、表紙破損、地士提出の「口上書」「願書」等の留帳、以下同	寛政7年~享和2年		堅帳
	丙-キ-11	〔服忌挨拶書部分〕 ※地朱筆「目」の一部分			堅

紀州藩・和歌山藩庁

丙-タ -7	丙-タ -10	丙-タ -9	丙-タ -11	丙-タ -8	丙-タ -6	丙-タ -5	丙-タ -4	丙-タ -3	8994	8992 -3	8992 -2	8992 -1
寄宿人名簿 ※黒庁文書、水損あり	〔火薬調合につき覚〕 ※前欠	〔明松等の作り方覚〕 ※四丁一綴	〔砲筒・火薬につき相伝書〕 ※前欠	覚（平岩助右衛門他につき） ※激損、開不能	観音寺村鑑 ※元々藩庁文書か	御能主平乗寺演説記（御前演説の書き取り）	御文章（中興〔実如〕上人御文章の写） ※元々藩庁文書か、伏山村平尾藤田氏所持実如上人真筆写し	畠江入候出家親類帳 三冊之内（高野山各寺院につき） ※元禄高野聖断（元禄5年）関係か	穴太筋（御城石垣普請につき） ※写文中に「一子より外二他見他言仕間敷候」とあり	〔石垣普請所并破損所見分につき伺い書〕 ※一に綴	〔石垣崩か所書付け〕 ※一に綴	西之丸中御門台石垣損シ所見分諸留日報 ※小損、綴込み文書次項へ
明治22年7月	（近世）	（近世）	寛永5年7月23日	（近世）	（近世）	天明6年10月15日	明応6年11月21日		（文化・文政頃）	（安永5）申6月	安永4年9月	明和9年3月
（和歌山県庁）			稲留 ^む 一無 岡本太郎兵衛尉						（穴太）	川上伝兵衛、津村仙平		
縦帳	一紙	横綴	一紙	一紙	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	一紙	一紙	縦帳

田辺藩 和歌山県庁

② 田辺藩

9024	御管内緩民局等級人員	※厚紙に貼付け、欠損あり	庚午閏10月(明治3年)	田辺藩緩民本局	横帳
------	------------	--------------	--------------	---------	----

③ 和歌山県庁

9036-9	昭和十五年七月起 神社関係例規綴	※「和歌山県」用箋	昭和15年7月(同21年)	(和歌山県)	簿冊
9036-75	古社寺保存資金台帳	※専用用紙	(大正15年頃)昭和17年頃)	和歌山県	簿冊
9036-74	社寺例規台帳(全国法令他の必要部分の写し)	※「和歌山県」用箋、厚い	(大正8年)昭和16年分の写)	和歌山県	簿冊
9036	【和歌山県神社寺院等関係文書】↓以下詳細				
9031	和歌山県布令彙纂	※印刷出版物	明治20年分	和歌山県庁	縦
9075	布号達書類(荒見村外十ヶ村戸長役場)	※厚い、大部分印刷	明治18年	(和歌山県令松本鼎)	縦
9029	〔県布達第四十三号〕(戸長役場所轄区域他につき)	※印刷	明治17年7月1日	和歌山県令松本鼎	縦
9028	和歌山県令達綴	※印刷、一部写し	明治10年頃(9年10月)13年11月)	和歌山県	縦
9111-3	公布留 三綴之内其三(太政官布告他)(第一大区八小区冬野村)	※印刷、小損	明治7年後期	(和歌山県)	縦
9111-2	公布留 三綴之内其二(太政官布告他)(第一大区八小区冬野村)	※ほとんど印刷、一部写し	明治7年前期	(和歌山県)	縦
9111-1	公布留 三綴之内其一(太政官布告他)(第一大区八小区冬野村)	※印刷	明治6年後期	(和歌山県)	縦

和歌山県庁

9036-21	寺院台帳 1 和歌山市・海南市・田辺市・新宮市 ※「寺院台帳用紙」一括、設立認可寺院は『県報』に掲載あり	(昭和17年以降)	(和歌山県)	一括
9036-78	宗教結社台帳 海草郡・那賀郡・伊都郡・有田郡・日高郡・西牟婁郡・東牟婁郡(神仏共) ※「宗教結社台帳用紙」	(昭和15年)	(和歌山県)	簿冊
9036-19	那賀郡削除明細帳(廃寺・廃堂・寺合併・移転などにつき) ※「内務省」用箋	(明治13年頃)昭和20年代頃)	(和歌山県)	簿冊
9036-18	東牟婁郡寺院明細帖(製本) ※表紙破損、「内務省」用箋	(明治12年)昭和21年)	(和歌山県)	簿冊
9036-17	伊都郡寺院明細帳 ※「内務省」用箋、所在、宗派、本尊、由緒、本堂境内、檀徒ほかにつき	(明治12年)昭和21年)	和歌山県	簿冊
9036-6	東牟婁郡神社明細帳(製本) ※「内務省」用箋	(明治12年)昭和21年)	和歌山県	簿冊
9036-5	日高郡神社明細帳 二冊之内二(製本) ※小損、「内務省」用箋	(明治12年)昭和21年)	和歌山県	簿冊
9036-4	有田郡神社明細帳 二冊之内二(製本) ※「内務省」用箋	(明治12年)昭和21年)	和歌山県	簿冊
9036-3	有田郡神社明細帳 二冊之内一(製本) ※「内務省」用箋	(明治12年)昭和21年)	和歌山県	簿冊
9036-2	和歌山区海部郡神社明細帳(製本) ※「内務省」用箋	(明治12年)昭和21年)	和歌山県	簿冊
9036-1	伊都郡神社明細帳 二冊之内二(製本) ※「内務省」用箋、所在、格、祭神、由緒、社殿境内、信徒ほかにつき	(明治12年)昭和21年)	和歌山県	簿冊
9036-10	熊野坐復興一件書類(明治22年大洪水前の旧社地への復旧願いにつき) ※「官幣大社熊野坐神社事務所」用箋多し、明治23・24年の文書等も添付	(昭和7年11月)同8年12月)	官幣大社熊野坐神社宮司東弘門	簿冊
9036-20	〔高野山南院財産・境内明細書類一括〕 ※「監査・圖六補」(後志)「南院」(後志)「熊野山南院」(後志)「熊野山南院」(後志)「熊野山南院」(後志)「熊野山南院」(後志)	昭和17年	(高野山南院)	袋入
9036-73	高野山保管林会計(歳入歳出予算等につき) ※「高野山金剛峯寺」用箋	自昭和7年(内容大正14年)昭和20年)	(各々の書類は高野山古義真言宗金剛峯寺が作成)	簿冊
			(各々の書類は和歌山県知事あて)	

和歌山県庁

9036-70	寺院財産台帳登録申請書 6 日高郡 ※変色あり	(昭和18年)	(各々住職・惣代↓各町村役場經由↓)	(すべて和歌山県知事廣瀬永造あて)	一括
9036-69	寺院財産台帳登録申請書 5 有田郡 ※変色あり	(昭和18年)	(各々住職・惣代↓各町村役場經由↓)	(すべて和歌山県知事廣瀬永造あて)	一括
9036-68	寺院財産台帳登録申請書 4 伊都郡 ※変色・シミあり	(昭和18年)	(各々住職・惣代↓各町村役場經由↓)	(すべて和歌山県知事廣瀬永造あて)	一括
9036-67	寺院財産台帳登録申請書 3 那賀郡 ※変色あり	(昭和18年)	(各々住職・惣代↓各町村役場經由↓)	(すべて和歌山県知事廣瀬永造あて)	一括
9036-66	寺院財産台帳登録申請書 2 海草郡 ※変色あり	(昭和18年)	(各々住職・惣代↓各町村役場經由↓)	(すべて和歌山県知事廣瀬永造あて)	一括
9036-65	寺院財産台帳登録申請書 1 (市部) 和歌山市・海南市・田辺市・新宮市 ※変色あり	(昭和18年)	(各々住職・惣代↓各市役所經由↓)	(すべて和歌山県知事廣瀬永造あて)	一括
9036-77	教会台帳(県下全域) ※「教会台帳用紙」一括、認可年月日欄未記入	(昭和)	(和歌山県)		一括
9036-28	寺院台帳 8 東牟婁郡 ※「寺院台帳用紙」一括、設立認可寺院は『県報』に掲載あり	(昭和17年以降)	(和歌山県)		一括
9036-27	寺院台帳 7 西牟婁郡 ※「寺院台帳用紙」一括、設立認可寺院は『県報』に掲載あり	(昭和17年以降)	(和歌山県)		一括
9036-26	寺院台帳 6 日高郡 ※「寺院台帳用紙」一括、設立認可寺院は『県報』に掲載あり	(昭和17年以降)	(和歌山県)		一括
9036-25	寺院台帳 5 有田郡 ※「寺院台帳用紙」一括、設立認可寺院は『県報』に掲載あり	(昭和17年以降)	(和歌山県)		一括
9036-24	寺院台帳 4 伊都郡 ※「寺院台帳用紙」一括、設立認可寺院は『県報』に掲載あり	(昭和17年以降)	(和歌山県)		一括
9036-23	寺院台帳 3 那賀郡 ※「寺院台帳用紙」一括、設立認可寺院は『県報』に掲載あり	(昭和17年以降)	(和歌山県)		一括
9036-22	寺院台帳 2 海草郡 ※「寺院台帳用紙」一括、設立認可寺院は『県報』に掲載あり	(昭和17年以降)	(和歌山県)		一括

和歌山県庁

9036 -33-1	寺院規則 高野山 三六〇八〇(製本背文字「寺院規則 高野山4」) 分冊製本3分の1) ※元二冊の簿冊を三冊、目次36、50番	昭和17年	和歌山県		簿冊
9036 -32-3	(製本背文字「寺院規則 高野山3」) 分冊製本3分の3) ※目次23、35番				
9036 -32-2	(製本背文字「寺院規則 高野山2」) 分冊製本3分の2) ※目次9、22番				
9036 -32-1	寺院規則 高野山 一〇三五(製本背文字「寺院規則 高野山1」) 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三冊、目次1、8番	昭和17年	和歌山県		簿冊
9036 -31-3	(製本背文字「寺院規則 伊都郡8」) 分冊製本3分の3止) ※目次151、169番				
9036 -31-2	(製本背文字「寺院規則 伊都郡7」) 分冊製本3分の2) ※目次126、150番				
9036 -31-1	(寺院規則 伊都郡 一〇一、一六九)(製本背文字「寺院規則 伊都郡6」) 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三冊、目次101、125番、簿冊表紙欠	昭和17年	和歌山県		簿冊
9036 -30-2	(製本背文字「寺院規則 伊都郡5」) 分冊製本2分の2止) ※目次66、100番				
9036 -30-1	寺院規則 伊都郡 五一、一〇〇(製本背文字「寺院規則 伊都郡4」) 分冊製本2分の1) ※元二冊の簿冊を三冊、目次51、65番	昭和17年	和歌山県		簿冊
9036 -29-3	(製本背文字「寺院規則 伊都郡3」) 分冊製本3分の3止) ※目次35、50番				
9036 -29-2	(製本背文字「寺院規則 伊都郡2」) 分冊製本3分の2) ※目次17、34番				
9036 -29-1	寺院規則 伊都郡 一〇五〇(製本背文字「寺院規則 伊都郡1」) 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三冊、目次1、16番	昭和17年	和歌山県		簿冊
9036 -72	寺院財産台帳登録申請書 8 東牟婁郡 ※変色あり	(昭和18年)	役場(各々住職・惣代↓各町村役場経由↓)	(すべて和歌山県知事廣瀬永造あて)	一括
9036 -71	寺院財産台帳登録申請書 7 西牟婁郡 ※変色あり	(昭和18年)	役場(各々住職・惣代↓各町村役場経由↓)	(すべて和歌山県知事廣瀬永造あて)	一括

和歌山県庁

9036 -38-3	9036 -38-2	9036 -38-1	9036 -37-2	9036 -37-1	9036 -36-2	9036 -36-1	9036 -35-2	9036 -35-1	9036 -34-3	9036 -34-2	9036 -34-1	9036 -33-3	9036 -33-2
(製本背文字「寺院規則 那賀郡9(甲)」 分冊製本3分の3止) ※目次192~210番と追加一寺分	(製本背文字「寺院規則 那賀郡8(甲)」 分冊製本3分の2) ※目次173~191番	寺院規則 那賀郡 甲 一五二終り(製本背文字「寺院規則 那賀郡7(甲)」 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊、目次151~168番	(製本背文字「寺院規則 那賀郡6(甲)」 分冊製本2分の2止) ※目次126~150番	寺院規則 那賀郡 甲 一〇一~一五〇(製本背文字「寺院規則 那賀郡5(甲)」 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次101~125番	(製本背文字「寺院規則 那賀郡4(甲)」 分冊製本2分の2止) ※目次76~100番	寺院規則 那賀郡 甲 五一~一〇〇(製本背文字「寺院規則 那賀郡3(甲)」 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次51~75番 有田郡湯淺町の「寺院附書経巻中讀書」致意あり	(製本背文字「寺院規則 那賀郡2(甲)」 分冊製本2分の2止) ※目次26~50番	寺院規則 那賀郡 甲 一~五〇(製本背文字「寺院規則 那賀郡1(甲)」 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次1~25番	(製本背文字「寺院規則 高野山9」 分冊製本3分の3止) ※目次109~120番	(製本背文字「寺院規則 高野山8」 分冊製本3分の2) ※目次95~108番	寺院規則 高野山 八一終り(製本背文字「寺院規則 高野山7」 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊、目次81~93番	(製本背文字「寺院規則 高野山6」 分冊製本3分の3止) ※目次66~80番	(製本背文字「寺院規則 高野山5」 分冊製本3分の2) ※目次51~65番
		昭和17年		昭和17年		昭和17年		昭和17年			昭和17年		
		和歌山県		和歌山県		和歌山県		和歌山県			和歌山県		
		簿冊		簿冊		簿冊		簿冊			簿冊		

9036 -45	寺院規則 海南市 (製本)	昭和17年	和歌山県	簿冊
9036 -44-2	(製本背文字「寺院規則 和歌山市11」 分冊製本2分の2止) ※目次216~228番と最後に146番			
9036 -44-1	寺院規則 和歌山市 二〇〇〇終り (製本背文字「寺院規則 和歌山市10」 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次201~215番	昭和17年	和歌山県	簿冊
9036 -43-3	(製本背文字「寺院規則 和歌山市9」 分冊製本3分の3止) ※目次191~200番			
9036 -43-2	(製本背文字「寺院規則 和歌山市8」 分冊製本3分の2) ※目次177~190番			
9036 -43-1	寺院規則 和歌山市 一六〇〇終り (製本背文字「寺院規則 和歌山市7」 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊、目次161~176番	昭和17年	和歌山県	簿冊
9036 -42-2	(製本背文字「寺院規則 和歌山市6」 分冊製本2分の2止) ※目次141~160番 但し146番は二に無く442の最後に繰			
9036 -42-1	寺院規則 和歌山市 一二二〇終り (製本背文字「寺院規則 和歌山市5」 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次121~140番	昭和17年	和歌山県	簿冊
9036 -41-2	(製本背文字「寺院規則 和歌山市4」 分冊製本2分の2止) ※目次101~120番			
9036 -41-1	寺院規則 和歌山市 八二〇終り (製本背文字「寺院規則 和歌山市3」 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次81~100番	昭和17年	和歌山県	簿冊
9036 -40-2	(製本背文字「寺院規則 和歌山市2」 分冊製本2分の2止) ※目次61~80番			
9036 -40-1	寺院規則 和歌山市 四一八〇終り (製本背文字「寺院規則 和歌山市1」 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次41~60番	昭和17年	和歌山県	簿冊
9036 -39-2	(製本背文字「寺院規則 那賀郡2 (乙)」 分冊製本2分の2止) ※目次81~117番			
9036 -39-1	寺院規則 那賀郡 乙 五二〇終り (製本背文字「寺院規則 那賀郡1 (乙)」 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次51~80番	昭和17年	和歌山県	簿冊

和歌山県庁

和歌山県庁

9036 -50-3	9036 -50-2	9036 -50-1	9036 -49-3	9036 -49-2	9036 -49-1	9036 -48-2	9036 -48-1	9036 -47-3	9036 -47-2	9036 -47-1	9036 -46-3	9036 -46-2	9036 -46-1
(製本背文字「寺院規則 海草郡6(乙)」 の3止) ※目次76~89番	(製本背文字「寺院規則 海草郡5(乙)」 の2) ※目次61~75番	寺院規則 海草郡乙 四六~終り(製本背文字「寺院規則 海草郡4(乙)」 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊、目次46~60番	(製本背文字「寺院規則 海草郡3(乙)」 の3止) ※目次31~45番	(製本背文字「寺院規則 海草郡2(乙)」 の2) ※目次16~30番	寺院規則 海草郡乙一~四五(製本背文字「寺院規則 海草郡1(乙)」 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊、目次1~15番	(製本背文字「寺院規則 海草郡8(甲)」 の2止) ※目次91~99番	寺院規則 海草郡甲八一~終り(製本背文字「寺院規則 海草郡7(甲)」 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次81~90番	(製本背文字「寺院規則 海草郡6(甲)」 の3止) ※目次68~80番	(製本背文字「寺院規則 海草郡5(甲)」 の2) ※目次56~67番	寺院規則 海草郡甲四一~八〇(製本背文字「寺院規則 海草郡4(甲)」 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊、目次41~55番	(製本背文字「寺院規則 海草郡3(甲)」 の3止) ※目次27~40番	(製本背文字「寺院規則 海草郡2(甲)」 の2) ※目次14~26番	寺院規則 海草郡甲一~四〇(製本背文字「寺院規則 海草郡1(甲)」 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊、目次1~13番
		昭和17年			昭和17年		昭和17年			昭和17年			昭和17年
		和歌山県			和歌山県		和歌山県			和歌山県			和歌山県
		簿冊			簿冊		簿冊			簿冊			簿冊

和歌山県庁

9036 -56-3	(製本背文字「寺院規則 日高郡10」) 分冊製本3分の3止 ※目次147～166番												
9036 -56-2	(製本背文字「寺院規則 日高郡9」) 分冊製本3分の2) ※目次133～146番												
9036 -56-1	寺院規則 日高郡 一一一～終り(製本背文字「寺院規則 日高郡8」) 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊、目次121～132番	昭和17年	和歌山県										簿冊
9036 -55-2	(製本背文字「寺院規則 日高郡7」) 分冊製本2分の2止) ※目次102～120番												
9036 -55-1	寺院規則 日高郡 八一～一二〇(製本背文字「寺院規則 日高郡6」) 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次81～101番	昭和17年	和歌山県										簿冊
9036 -54-2	(製本背文字「寺院規則 日高郡5」) 分冊製本2分の2止) ※目次59～80番												
9036 -54-1	寺院規則 日高郡 四一～八〇(製本背文字「寺院規則 日高郡4」) 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を一分冊、目次41～58番	昭和17年	和歌山県										簿冊
9036 -53-3	(製本背文字「寺院規則 日高郡3」) 分冊製本3分の3止) ※目次29～40番												
9036 -53-2	(製本背文字「寺院規則 日高郡2」) 分冊製本3分の2) ※目次15～28番												
9036 -53-1	寺院規則 日高郡 一～四〇(製本背文字「寺院規則 日高郡1」) 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊、目次1～14番	昭和17年	和歌山県										簿冊
9036 -52	寺院規則 有田郡 乙 五一～終り(製本背文字「寺院規則 有田郡4」) 分冊製本3分の3止) ※目次51～82番	昭和17年	和歌山県										簿冊
9036 -51-3	(製本背文字「寺院規則 有田郡3」) 分冊製本3分の3止) ※目次33～50番												
9036 -51-2	(製本背文字「寺院規則 有田郡2」) 分冊製本3分の2) ※目次15～32番												
9036 -51-1	寺院規則 有田郡 甲 一～五〇(製本背文字「寺院規則 有田郡1」) 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊、目次1～14番	昭和17年	和歌山県										簿冊

9036 -80-1	9036 -64-2	9036 -64-1	9036 -63-2	9036 -63-1	9036 -62-2	9036 -62-1	9036 -61	9036 -60	9036 -59-2	9036 -59-1	9036 -58-2	9036 -58-1	9036 -57
仏教々々会「教会規則」県下一円(製本背文字「教会規則」(仏教々々会)県下一円1)分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊、目次1~20番	止 (製本背文字「寺院規則」東牟婁郡6)分冊製本2分の2 ※目次119~141番	寺院規則「東牟婁郡101~102」終り(製本背文字「寺院規則」東牟婁郡5)分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次101~118番	止 (製本背文字「寺院規則」東牟婁郡4)分冊製本2分の2 ※目次78~99番	寺院規則「東牟婁郡51~100」(製本背文字「寺院規則」東牟婁郡3)分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次51~72番	止 (製本背文字「寺院規則」東牟婁郡2)分冊製本2分の2 ※目次29~50番	寺院規則「東牟婁郡1~50」(製本背文字「寺院規則」東牟婁郡1)分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次1~27番	寺院規則「新宮市(製本)」 ※目次1~21番	寺院規則「西牟婁郡81~終り」(製本背文字「寺院規則」西牟婁郡5)分冊製本2分の2 ※目次81~105番	止 (製本背文字「寺院規則」西牟婁郡4)分冊製本2分の2 ※目次60~80番	寺院規則「西牟婁郡41~80」(製本背文字「寺院規則」西牟婁郡3)分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次41~59番	止 (製本背文字「寺院規則」西牟婁郡2)分冊製本2分の2 ※目次20~40番	寺院規則「西牟婁郡1~40」(製本背文字「寺院規則」西牟婁郡1)分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、目次1~19番	寺院規則「田辺市(製本)」 ※目次は1~18番
昭和17年		昭和17年		昭和17年		昭和17年	昭和17年	昭和17年		昭和17年		昭和17年	昭和17年
和歌山県		和歌山県		和歌山県		和歌山県	和歌山県	和歌山県		和歌山県		和歌山県	和歌山県
簿冊		簿冊		簿冊		簿冊	簿冊	簿冊		簿冊		簿冊	簿冊

9036 -16-1	天理教 教会規則 西牟婁郡・東牟婁郡(製本背文字「教会規則(天理教) 西牟婁郡」) 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊、一西牟婁郡」部分	昭和17年	和歌山県	簿冊
9036 -15-2	(製本背文字「教会規則(天理教) 日高郡」) 分冊製本2分の2止 ※「日高郡」部分			
9036 -15-1	天理教 教会規則 有田郡・日高郡(製本背文字「教会規則(天理教) 有田郡」) 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊製本、「有田郡」部分	昭和17年	和歌山県	簿冊
9036 -14-3	(製本背文字「教会規則(天理教) 伊都郡」) 分冊製本3分の3止 ※「伊都郡」部分			
9036 -14-2	(製本背文字「教会規則(天理教) 那賀郡」) 分冊製本3分の2) ※「那賀郡」部分			
9036 -14-1	天理教 教会規則 海草郡・那賀郡・伊都郡(製本背文字「教会規則(天理教) 海草郡」) 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊製本、「海草郡」部分	昭和17年	和歌山県	簿冊
9036 -13	天理教 教会規則 三市(新宮・海南・田辺)(製本)	昭和17年	和歌山県	簿冊
9036 -12-2	(製本背文字「教会規則(天理教) 和歌山市2」) 分冊製本2分の2止 ※目次番号34~67番			
9036 -12-1	天理教 教会規則 和歌山市(製本背文字「教会規則(天理教) 和歌山市1」) 分冊製本2分の1) ※元一冊の簿冊を二分冊製本、目次番号1~33番	昭和17年	和歌山県	簿冊
9036 -11-3	(製本背文字「教会規則(神道各教派) 県下一円」) 分冊製本3分の3止 ※目次番号37~46番			
9036 -11-2	(製本背文字「教会規則(御嶽教) 県下一円」) 分冊製本3分の2) ※目次番号21~36番			
9036 -11-1	神道各教派(除天理教) 教会規則 県下一円(製本背文字「教会規則(金光教) 県下一円」) 分冊製本3分の1) ※元一冊の簿冊を三分冊製本、目次番号1~20番	(昭和17年)	和歌山県	簿冊
9036 -80-3	(製本背文字「教会規則(仏教々々) 県下一円3」) 分冊製本3分の3止 ※目次37~55番			
9036 -80-2	(製本背文字「教会規則(仏教々々) 県下一円2」) 分冊製本3分の2) ※目次21~36番			

和歌山県庁

和歌山県庁

丙-タ -7	9036 -88	9036 -87	9036 -86	9036 -85	9036 -84	9036 -76	9036 -8	9036 -7	9036 -83	9036 -82	9036 -79	9036 -81	9036 -16-2
寄宿人名簿 ※県庁文書、水損あり	宗教雑件（課税・財産登録・境内樹木伐採ほかにつき書類綴） ※挟込み・変色破損あり	雑件綴「2」（県内単立宗教法人調査結果原本ほか宗教法人に関する書類綴） ※破損変色あり	雑件綴「1」（県内宗教法人に関する書類綴） ※小損	宗教調査資料（全県一円調査の原本綴） ※（宗教団体施設教師教員）用紙、横綴、この集計を文部大臣官房事務課長へ送付	宗教法人令関係（法令のガリ版刷り他綴り簿冊） ※変色あり	土地調査一件（神社寺院の土地調査に関する件の報告書類） ※仮綴、一部破損劣化	西牟婁郡神社規則（神社規則届け出書類綴）（製本） ※一部変色劣化、東牟婁郡のものもあり	日高郡神社規則綴（神社規則届け出書類綴）（製本） ※一部変色劣化	主管者・規則変更 2（社寺・教会等につき）※用紙各々不定形	主管者・規則変更 1（社寺・教会等につき）	宗教法人教会設立ノ件（県内届け出文書一括）	基督教 教会規則 県下一円（製本背文字「教会規則（基督教）県下一円」） ※目次は1〜18番	（製本背文字「教会規則（天理教）東牟婁郡」分冊製本2分の2止） ※「東牟婁郡」部分
明治22年7月	（昭和25年）	（昭和24・25年）	昭和22年度	（昭和）24年	昭和22年	昭和21年	昭和21年	昭和21年	昭和（20年〜25年）	昭和（21年〜23年）	（昭和21年）	昭和17年	
（和歌山県庁）	和歌山県（社会教育課）	和歌山県	和歌山県（社会教育課）	和歌山県	社会教育課	（県内市町村）	（和歌山県）（各々は神社代務者・主管者）	（和歌山県）（各々は神社代務者・主管者）	和歌山県（各々は各主管者↓各市町村経由↓）	和歌山県（各々は各主管者↓各市町村経由↓）	（一件ごと）に各代表者）	和歌山県	
						（和歌山県・同知事）	（各々は県知事あて）	（各々は県知事あて）	（各々は県知事あて）	（各々は県知事あて）	（各々は和歌山県知事あて）		
縦帳	簿冊	一括	簿冊	一括	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	一括	簿冊	一括	簿冊	

9039-5	和歌山県下紀伊国伊都郡第四大区七小区高野山官林全図 ※付箋多い	(近代)		図
9039-22	〔和歌山県伊都郡四郷村大字広口(国有林図)〕 ※重ね折り二舗↓詳細かつらぎ町の項へ	(近代)		図
9039-17	那賀郡西坂本村字根来山式等官林下図 式千分一 ※シワ	(近代)		図
9039-15	那賀郡田中村所持奥山之図(写) ※彩色、破損あり			図
9039-14	那賀郡田中村所持山林之図(写) ※彩色、破損あり	(近代)		図
9039-9	那賀郡田中庄山之絵図 朱引境目筋 ※二舗、彩色、破損劣化あり			図
9039-19	字奥山安楽川村共有山ト田中庄持山ト境界標杭ヲ入レシ場所 (絵図) ※一舗、彩色	明治35年5月20日	共有山境界調査委員山田勝一郎・上田亀楠・佐竹正策・永米重次郎	図
9039-10	那賀郡田中村大字奥山之図	明治32年		図
9039-16	紀伊国那賀郡神田村絵図 ※彩色	明治8年11月	那賀郡神田村副戸長松下伊八郎、戸長林謙之輔	図
9039-12	那賀郡大原郷耕地之図(写) ※彩色、地番あり	(近代)	副戸長久米庄三郎、戸長西本善兵衛	図
9039-13	大原村図(写) ※大判、彩色	宝永3年4月		図
9039-11	〔那賀郡安楽川庄大原村絵図写〕 ※彩色	文化12年12月	西工西岡敷馬、絵図町間講子方役人林政兵衛、絵図分方風上記野米進院、向金光辰、(那賀郡安楽川庄大原村)	図
9039-3	〔那賀郡下神野村大字野中十三神社上地固有林申立一件〕 ※図書館で四点一綴にした資料、↓詳細美里町の項へ	(近世・近代)		一綴
9039-8	海草郡雑賀村塩屋地図 ※図書館で四点一綴にする	(近代)		図一綴

紀伊国・和歌山県域 旧和歌山（城下町）

9231-1	9231	9094	御触帳 新通五町目	※破損あり	元禄15年11月				
			【坂本屋喜一郎家文書】↓以下詳細 ※近世城下の本屋、写し多い『県史近世』『県史史料編二』所収						
			稼キ送り一札之事（坂本屋喜一郎第大次郎につき）		天保6年2月	中野島邑庄屋善太夫	湊本町巷丁目年寄衆中	紙	
								帳	

a 旧和歌山（城下町）

②和歌山市

9039-23-3	9039-23-2	9039-23-1	9039-23	9039-4	9039-2	9039-21	9039-18	9039-6
第参図 明治式拾年地押之際調製之写 ※二片一舗、一綴三舗の三止	第貳図 明治七年受領及私下当時ノ図 ※一綴三舗の二	第壹図 慶長初年之形状 ※一綴三舗の一	〔馬場区・古城山の絵図一綴〕↓以下二点	手続書（売買地境界正しにつき） ※出願地見取図外地図の写四枚添付	国有林下戻申請書	〔紀伊国日高郡和田村舊社上地森林・官林の図〕 ※昭和五二年に図書館で綴、三舗一綴の略図↓詳細美浜町の項へ	第五大区三小区西ヶ峰村（絵図） ※彩色	紀伊国在田郡彦ヶ瀬村（絵図） ※小字名・地番あり
				明治17年7月16日	明治33年6月28日		（近代）	（近代）
				東牟婁郡新宮下熊野地中口 文助、同地濱中半四郎、同 地橋本松次郎	日高郡下山村大字福井吉 町大字下里敷町田所彦代 理（図書印） 東牟婁郡新宮下熊野地中口 文助、同地濱中半四郎、同 地橋本松次郎			
図	図	図		堅綴	堅綴	図綴	図	図

旧和歌山(城下町)

9231-20	9231-27	9231-19	9231-23	9231-14	9231-13	9231-10	9231-9	9231-18	9231-4	9231-3	9231-2	9231-33	9231-5
乍恐奉願上候口上(長沢衛門著述板木差出し仰付けにつき) ※全文抹消、(奥端裏書)「早賀丁 小川三左衛門様」	御請(長沢衛門様著述板行の届けにつき)	乍恐奉願上候口上(彫刻仕度き書物の借用願) ※「類聚三代格第十五ノ巻」	乍恐奉願上候口上(長沢様封印につき御かし上げ書物御下げ願) ※(端裏裏書)「書付」	乍恐奉願上候口上(本を彫刻売り広めたき旨) ※「近世三十六人撰」	乍恐奉願上候口上(本を彫刻売り広めたき旨) ※「三熊野集」	乍恐奉願上候口上(本を彫刻売り広めたき旨) ※「肥伊編式社考」・「三熊野集」・「伊賀国名所歌集」・「近世三十六人撰」	乍恐奉願上候口上(本を彫刻売り広めたき旨) ※「伊賀国名所歌集」	乍恐奉願上候口上(彫刻済み書物売り出し御免願) ※「冠位便覧」、後ろに天地逆で別文あり	和歌山買物独案内(見本)※3に添付か、序と内容一部見本の手書き	乍恐奉願上候口上(本の出版許可願につき) ※下に付紙あり、「御国御城下諸商売買物独案内」出版	儀定一札之事(名所図絵書百三拾部落札につき)	乍恐口上(弟を養子に遣しにつき出放願) ※又三郎を母方従弟井上由兵衛養子に	乍恐奉願上候口上(弟を養子に遣すにつき村方出放願) ※又三郎を縁類駿河町与助方養子に
卯9月	8月18日	卯8月13日	卯6月	文久2年10月	文久2年10月	文久2年10月	文久2年10月	弘化4年8月	天保	天保15年8月	天保15年3月	(近世)	(近世)
書物屋仲間喜一郎、同大二郎	年行司代文五、(抹消)「書物屋仲間大二郎」	書物屋仲間大二郎		書物屋仲間喜一郎(押印部分破る)	書物屋仲間喜一郎(押印部分破る)	書物屋仲間喜一郎(押印部分破る)	書物屋仲間喜一郎(押印部分破る)	書物屋仲間喜一郎(押印部山ある)		書物屋仲間喜一郎、大二郎(兩人共印抹消)	駿河町坂本や喜一郎、同丁有田や喜助(兩人共印抹消)	中之島村喜一郎	中之島村喜一郎
御番所	東御番所	東御番所	西御番所	西御番所	西御番所	西御番所	西御番所	御西御番所		東御番所	銀札方御役所		
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	横半帳	一紙	一紙	一紙	堅帳

9231-8	乍恐奉願上候口上(本を彫刻売り広めたき旨) ※「伊賀国名所歌集」19と同本	酉9月	書物屋仲間喜一郎(押印部分破る)	西御番所	紙
9231-30	乍恐奉願上候口上(出版本西浜御殿へ献上につき)	申2月	書物屋仲間喜一郎	東御番所	紙
9231-6	乍恐奉願上候口上(他所者十返告一九当所にて商売向き開板願一件につき) ※内容二点あり	未8月、(午2月の写もあり) 未壬7月	書物屋喜一郎	縦帳	紙
9231-7	乍恐奉願上候口上(他所者十返告一九当所にて商売向き開板願一件につき) ※3、4番文書の本出版につき	未壬7月	喜一郎	紙	紙
9231-29	乍恐御請取奉申上候口上(板本御見合御覧入分お下げ受取りにつき) ※「類聚三代格」	巳5月	書物屋仲間喜一郎	東御番所	紙
9231-31	乍恐奉願上口上(長沢衛門様板木一件につき) ※31番の裏面	(近世)			紙
9231-26	乍恐奉願上候口上(長沢衛門様著述板木差出し仰付け御慈悲願い) ※下書か、25とほぼ同文	(近世)			紙
9231-24	〔お聞き済み板木に長沢衛門様著述なき件書付〕 ※弘化四年未八月三冊・嘉永元年申十一月一冊につき	(近世)			紙
9231-22	〔長沢衛門様著述板木差出し仰付けへの返答・願書の控〕 ※全文抹消	(近世)			紙
9231-21	口上(番所へ差出しの板木お下げ渡し願い) ※長沢様屋敷からお差出しの割持ち板木	巳正月29日	阪本屋大二郎	長沢様	紙
9231-28	乍恐御請奉申上候口上(昨年差出し書物お調べ済みお下げ受取につき)	辰12月20日	書物屋仲間大二郎	西御番所	紙
9231-32	御尋二付乍恐御答奉申上候口上(不法買取古本一件につき) ※31番の詳細につき答え	辰6月	書物や仲間喜一郎	西御番所	紙
9231-31	御尋二付乍恐御答奉申上候口上(不法買取本の届け遅滞につき) ※裏に別文書あり	辰6月	嶋佐次兵衛借家二両家代新堺丁書物や喜一郎(押印部分破る)	御番所	紙
9231-25	乍恐奉願上候口上(長沢衛門様著述板木差出し仰付け御慈悲願い)	卯9月		東御番所	紙

旧和歌山(城下町)

旧和歌山(城下町) 旧町域外和歌山市

9231-16	乍恐奉願上候口上(彫刻・売り広め願上の書物冊数増減につきいったん願下げ) ※「文久百人一首」奥端書「十一月十七日出す」	西11月	書物屋仲間喜一郎(押印部) 分破る	東西御番所(東の横に小さく西と書き足し)	一紙
9231-17	乍恐奉願上候口上(本を彫刻売り広めたき旨) ※「類題清渚集二編」	西9月	書物屋仲間喜一郎(押印部) 分破る	西御番所	一紙
9231-15	乍恐奉願上候口上(本を彫刻売り広めたき旨) ※「文久百人一首」	西9月	書物屋仲間喜一郎(押印部) 分破いてある	西御番所	一紙
9231-12	乍恐奉願上候口上(本を彫刻売り広めたき旨) ※「三熊野集初編」13と関連か	西9月	書物屋仲間喜一郎(押印部) 分破る	西御番所	一紙
9231-11	乍恐奉願候口上(本を彫刻売り広めたき旨) ※「七夕百人一首」	西9月	書物屋仲間喜一郎(押印部) 分破る	西御番所	一紙

b 旧町域以外

9039-1-6	紀伊村大字府中山林字図(略図) ※二綴の六、「海草郡紀伊村役場」用紙	(近代)			図
9039-1-5	府中村山出火々消人足着到并二軒別割当帳 ※一綴の五	慶応3年12月	府中村庄屋代庄太夫、肝煎、次、儀右衛門、円左衛門、左平		横帳
9039-1-4	隣村保証書(写) ※一綴の四	明治17年4月6日	名草郡直川村総代中屋米太郎外1名、右戸長小西彦二、弘西村代山形忠外1名、右戸長山形太郎	和歌山県令松本鼎	一紙
9039-1-3	隣地主境界立会承認書(写) ※「紀伊村役場」用箋、一綴の三	(近代)	大字弘西中口磯吉、大字府中林鹿蔵外8名		一紙
9039-1-2	地漬シ并山苕名寄帳(写) ※一綴の二	文政6年3月	府中村庄屋「」衛門		一紙
9039-1-1	山手米一札(写) ※一綴の一	万治2年/明治25年	田原村・小豆島村頭百姓代4名/紀伊村大字田屋・小豆島人民惣代2名	府中村庄屋/和歌山県知事 冲守固	一紙
9039-1	〔紀伊村大字府中所有山林申立一件(写)〕以下八点 ※農商務省和歌山山林事務所関係文書のうち八点一綴にした資料				
9030	証明副書 朝日登記所(登記出願につき)※厚い、各役場用箋多い	明治20年2月/12月	名草郡山東中村外九ヶ村・同奥須佐村外六ヶ村・且来村外四ヶ村戸長	朝日登記所	簿冊

旧町域外和歌山市

9121	9120	9123	9119	9114	9113	9099	9096	9127	9095	9039-8	9039-7	9039-1-8	9039-1-7
処分録 栗栖村(送籍・入籍・死亡ほか届につき) ※届書原本綴	字音浦下り渡 山丈量反別仕出帳 第一大区七小区栗栖村(山林原野反別取調べ上申のため)	〔名草郡栗栖村検地帳〕 ※貼紙・破損あり、表紙欠、大型厚い	家作取調帳 出島碓曾中里小路 ※略図あり、(印)「名草郡西和佐村役場」あり	地券台帳 第一大区七小区□□(岩橋)村 ※表紙摩滅、付箋貼紙多い	池掛り井掛り反別調帳 岩橋村 ※付箋あり	六ヶ井溝敷畝高改帳 ※綴紐破損	西国三十三度勅化帳	□□堂 五具足寄附姓名帳 (兼師)	返答(替屋敷役銀並商売ほか地下衆訴えにつき) ※長い	海草郡雑賀村塩屋地図 ※図書館で四点一綴にする	海草郡有功村大字蘭部 蘭部神社官林実測図 ※図書館で綴る	紀伊村大字府中山林野取図(略図) ※一綴の八止	名草郡府中村山林字図(略図) ※一綴の七、「海草郡紀伊村役場」用紙
明治16年1月	明治9年12月	元禄10年7月	(明治10年~同27年頃)	(近代)	明治9年3月	文政12年9月	天保14年12月	明治2年初春下旬	午正月	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)
栗栖出島村戸長役場	栗栖村惣代栗栖次郎・栗栖治郎・林千松・副戸長・栗栖光力(奥書印)出島吉郎大夫	栗栖村住居与大夫・軒熱脚大夫外東西芝各軒熱・出島村住居住兵高・軒熱市土衛門、八軒屋住居住兵高、軒熱兵衛外、軒熱五人組頭等計30名(奥書印)	岩橋村	(印)「第一大区七小区長小松重光」、「戸長森半右衛門」	第一大区七小区岩橋村副戸長井上仲	野崎組市小路村	栗主保空砂貞尼、西名草郡栗村安楽寺施主・柴谷村松太郎、世話人船所村・新五郎外11名	関戸村世話人中	雑賀関戸村善六				
	和歌山県令神山郡麻								弓倉理右衛門				
簿冊	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	一紙巻	図一綴	図一綴	図	図

旧町域外和歌山市

9190-2	9190-1	9190	9147-2	9125	9115	9117-5	9117-4	9117-3	9117-2	9117-1	9116-2	9116-1	9118	
萬買帳 (店別) ※小型	萬買帳 (店別) ※小損、小型	【中屋文左衛門家文書】 ↓以下詳細 ※雑買崎の豪商	当村字耳切谷山地所屬争論二付大審院江上告諸入費出納簿 新出	(鎌留山立合い絵図)(山東大池へ砂入れにつき)	管内異動登記目録 ※専用用紙	地租名寄帳 出五 (大字出島居住者について) ※専用用紙	地租名寄帳 他ノ屯 (西和佐村外居住者について) ※専用用紙	地租名寄帳 馬参 ※専用用紙	地租名寄帳 高柳 屯 ※専用用紙	地租名寄帳 ※専用用紙	田畑屋敷改反別帳 下 栗栖邨 ※表紙朱筆「第六十四号ノ内」	田畑屋敷改反別帳 上 栗栖村 ※付箋はすれ多い、表紙朱筆「第六十四号内」	建家元帳 名草郡栗栖村 ※貼紙付紙多い、略図あり	
弘化2年正月吉日	嘉永3年正月		明治17年旧5月	宝永3年7月	明治29年	(明治28年)昭和5年	(明治28年)昭和5年	(明治28年)昭和5年	(明治28年)昭和5年	(明治28年)同33年	(近代)	(近代)	明治□年6月	
紀州中屋文左衛門	中屋文左衛門		(上三毛村カ)	名草郡西和佐村役場 左衛門 山東 大庄屋 西村 六 徳院 郡 阿部 丸山 堀り 城内 山本 亦 兵衛 野上 堀り 大庄屋 智 山本 亦 兵衛 同 郡 山 堀り 大庄屋 智	名草郡西和佐村役場	海舛郡西和佐村役場	海舛郡西和佐村役場	海舛郡西和佐村役場	海舛郡西和佐村役場	海舛郡西和佐村役場	名草(郡西和佐村)	栗栖邨	栗栖村	栗栖村
横帳	横帳		横帳	図	縦帳	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	縦帳	縦帳	縦帳	

旧町域外和歌山市

9247	甲	奉納秀吟抜粹(寄句集) ※県立図書館の目録に「紀三井寺」と注釈あり	寛政辰(8年)文月	考整 青染舎		堅帳
甲-1	甲-1	皮田より発出候諸願書之控 ※五冊合冊の一、表紙書付(天明七年未ノ六月揃、小撰)	安永8年6月	西名草吉原組□□村		堅帳
甲-2	甲-2	新之丞并皮田宇兵衛惣次郎御吟味御問并答書控(本郷立掃者寄合へ呼出し一件につき) ※五冊合冊の一、小撰	天明7年5月	吉原組□□村		堅帳
甲-3	甲-3	武右衛門江御尋御吟味御問并答書控 ※五冊合冊の三	天明7年5月	吉原組□□村		堅帳
甲-4	甲-4	新之丞并皮田宇兵衛惣次郎御吟味御問并答書之控(所持田地一件につき) ※五冊合冊の四	天明8年2月	吉原組□□村		堅帳
甲-5	甲-5	武右衛門御尋御吟味御問答控(本郷付人足遺方一件につき) ※五冊合冊の五止	天明8年2月	吉原組□□村		堅帳
丁	丁	【坂田村役場文書】↓以下詳細				
丁-11	丁-11	覚(数量書上)	(近世か)7月18日	油屋文太夫	山裾屋太七	一紙
丁-12	丁-12	証(明治十二年上半期小□税受取) 〔七ヶ溝筋十二年度支弁費賦課につき書上げ〕 ※「名草郡和田坂田村戸長役場」用箋	明治11年12月25日	第一大区六小区会議所(印)「第一大区六小区租税係印」	坂田村山裾孫兵衛	一紙
丁-2	丁-2	明治十一年分地券税(受取証) ※二つ折り、坂田村	(明治11年度)	右会議所	紀伊国第一大区六小区坂田村山裾孫兵衛	一紙
丁-8	丁-8	明治十三年分地券税(受取証)	明治13年12月12日	戸長役場(印)「布引村戸長役場出張印」	坂田村山裾孫兵衛	一紙
丁-6	丁-6	明治十三年分地税(受取証) ※田尻村	(明治13年分)	田尻村杭ノ瀬村新中島村(戸長)役場	山裾孫兵衛	一紙

旧町域外和歌山市

丁-19	丁-18	丁-10	丁-9	丁-1	丁-16	丁-4	丁-14	丁-17	丁-5	丁-3	丁-13	丁-7
明治 年度地方税地価割(受取証)	明治 年分地券税(受取証)	〔田方税受取証〕	明治 年度地価割戸数割(税受取証)	変換届 名草郡坂田村(地目変換・地価再査定依頼につき) ※野紙、年月日記入なし	明治十七年分地券税・公儲金(受取証) ※二つ折り、田尻村	学事聯合会規則取設之儀二付上申(附 名草郡第三十一番学区 学事聯合会規則) ※野紙、四綴	明治十五年分地券税(受取証) ※坂田村	明治十五年分地券税(受取証) ※田尻村	納入証(明治十五年分備荒儲蓄金)	移住届(和歌山区へ移住送籍につき)	明治十四年分地券税(受取証)	明治十三年度地価懸地方税(受取証) ※田尻村
明治	明治	明治	明治	明治	(明治17年分)	明治17年2月	(明治15年分)	明治15年	明治(15)年	明治15年10月24日	明治14年8月	(明治13年度)
右戸長役場	右戸長役場	田尻村杭ノ瀬村新中島村 (戸長)役場	右戸長役場	右戸長役場 名草郡坂田村地押委員萩野 又左衛門・前田仙次郎・坂 田勘藏・奥野源次・奥野茂八 右戸長坂田邦介	右戸長役場(印)和歌山 県名草郡杭瀬村外七ヶ村戸 長役場	名草郡第三十一番学区坂田村人 民代表坂田邦介・同村学務委員 前田仙次郎・同村戸長山崎孫兵 衛・同村学区和歌山郡田尻村 村の各人氏名代表学務委員田尻 長	右戸長役場	戸長役場	右戸長役場	名草郡和田村岩崎平九郎、 和歌山区新町北組新通五丁 目家主室喜兵衛	右戸長役場	田尻村杭ノ瀬村新中島村 (戸長)役場
同郡田尻村辻要助	紀伊国名草郡田尻村辻要助	紀伊国山裾孫兵衛	坂田村坂田三九郎		同郡坂田山裾孫兵衛	和歌山県令松本鼎	坂田村山裾孫兵衛	山裾孫兵衛	山裾孫兵衛		坂田村山裾孫兵衛	山裾孫兵衛
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

③ 海草郡域（海南市含む）

a 海南市

9143-2	9143-1	9142-5	9142-4	9142-3	9142-1	9142-2	9141	9140	9139	9041-3	9041-1
保存講規約書	保存講規約書	那賀郡次谷村会議事筆記	午免割帳 次谷村	大指出版 控 次谷村	那賀郡次谷村申改新畑地帳	那賀郡次谷村新田畑地詰検地帳	西名仰冷水浦本田畑之内歟先年賦極帳 日方組	田畑畝高帳	〔明治廿四年度大字黒江村等級下調他書類一綴〕 ※〔名草郡黒江村役場〕用箋	耕地図面 那賀郡木津村	那賀郡別院村図
※罫紙、付箋多い		※次谷村正法寺に於て村会議開会	※本作・入作とも連印あり		※虫損劣化あり			※付箋多い		※彩色、印あり	※彩色
（明治25年12月）	明治25年12月	（明治13年1月15日）	安政5年10月	延享3年7月	享保元年7月	宝永2年7月	嘉永7年閏7月	享保9年4月	（明治24年）	（明治）	（明治）
名 兵衛 世話 赤松 平助 外安	主 北 兵衛 世話 赤松 平助 外安	（南野上村大字次ヶ谷） 主 北 兵衛 世話 赤松 平助 外安	次谷村庄屋安右衛門、肝煎 清左衛門、惣代伴七、平助、 九右衛門	次谷村	相川弥一右衛門、野田長右 衛門、岡村伝太夫	飯島藤左衛門、井関太左衛 門、御勘定人村垣与次左衛門、 小川佐五郎、田中首八郎、代判書 飯島四郎、三次郎、代判書 冷水浦庄屋横右衛門、肝煎	日方浦橋本甚助	名草郡黒江村役場	戸長松島友藏、副戸長木下 熊四郎		
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅綴	図	図

海南市

9146-12	9146-11	9146-10	9146-9	9146-8	9146-7	9146-6	9146-5	9146-4	9146-3	9146-2	9145	9144	9146-1
保存講第四拾番会掛金受取帳	保存講第卅九番会掛金受取帳	保存講三拾八番会掛金受立帳	保存講第参拾七番会掛金受取帳	保存講第三拾六番会集金帳	保存講第三拾五番会集金帳	保存講第三拾四番会集金帳 ※括り付け文書一点あり、最後一丁はずれ、17とコヨリにて一綴	保存講第参拾参番会集金帳	保存講第参拾貳番会掛金受取帳 ※括り付け文書二点(内一点大損)あり	保存講第三拾老番会掛金領収帳 ※括り付け文書一点あり	保存講第卅番会掛金受取帳	委任状之事(負債主の都合により抵当地交換願につき) ※罫紙	委任状 保存講事控(講金貸付登記請求の件につき) ※小損 講主は大宇次ヶ谷北畠音吉	保存講第三番会掛金取附帳
※括り付け文書一点あり			※括り付け文書一点あり	※括り付け文書一点あり	※括り付け文書一点あり、16とはコヨリにて一綴				※括り付け文書一点あり				
明治35年9月13日	明治35年旧6月13日	明治35年3月13日	明治34年旧11月	明治34年9月13日	明治34年旧6月	明治34年3月	明治33年旧11月	明治33年旧9月	明治33年6月	明治33年3月13日	明治28年3月28日	(明治)(26年カ)	明治26年旧6月28日
世話人中	世話人	会主北畠 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		世話人中	世話人中	世話人			世話人中		吉野上村大宇次ヶ谷北畑音 吉外24名	(保存講)清水庄五郎、入 田長兵衛、松本福太郎、岩 本龜楠外44名	会主北畠音吉
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	縦帳	縦帳	横帳

9255 -4	9255 -3	9041 -2	9255 -2	9255 -1-4	9255 -1-3	9255 -1-2	9255 -1-1	9146 -17	9146 -16	9146 -15	9146 -14	9146 -13
北野上村明治廿五年度戸数等級村会議案	那賀郡山林原野村等原案 ※印刷物	絵図面 那賀郡原野村 ※彩色	山林原野旧十小区村々限反別控并二旧十二小区之内小区限反別写シ ※野紙、劣化変色あり	〔免かけにつき覚〕(原野村) ※1の紐に括り付け	卯免目録也(原野村) ※1の紐に括り付け	卯免目録也(原野村) ※1の紐に括り付け	卯免かけ帳 水野多門様馬場源右衛門様村田熊彦様(原野村) ※紐に括り付け文書あり12、14へ	保存講第四拾七番会掛金請取帳 ※括り付け文書一点あり	保存講第四拾六番会掛金受取帳	保存講第四拾五番会掛金受取帳 ※括り付け文書一点あり	保存講第四拾四番会掛金受取帳 ※括り付け文書一点あり	保存講第四拾三番会掛金受取帳 ※括り付け文書三点あり
辰年(明治25年)	(明治)	(明治)	(明治16・17年)	(近世)	卯10月26日	卯10月26日	慶応3年	明治37年6月	明治37年3月13日	明治36年11月13日	明治36年9月13日	明治35年旧11月13日
(北野上村)			原野村宗佐右衛門	村役人中	村役人中	村役人中	納庄屋佐右衛門	世話人中	世話人	世話人	世話人	
横帳	縦	図	縦	綴	一紙	一紙	一紙	縦帳	横帳	横帳	横帳	横帳

下津町 野上町 美里町

b 下津町

9251-7	9251-5	9136	9137
小学校新築二付副願 ※野紙、平面略図付、県令聞き届け、『目録1』中尾家文書参照	進達留 梅田村(梅田小学校教師雇入ほかにつき) ※野紙、県への上申・進達・開届の原本あり、『目録1』中尾家文書参照	衛生諸届留(出生・死亡ほかにつき) 曾根田村	本田畑譲り証文控帳 興村
明治16年4月15日、 (同年4月25日開届)	明治13年2月	明治16年1月(同 7月)	文化9年正月
海部郡二十六番学区梅田村 学務委員中尾総助・小南村 同竹本宇右衛門・下村同 原源助・戸長岡本安太夫	梅田村(印あり、これは 梅田小学校学務委員中尾 助の印)	曾根田村	興村
和歌山県令神山郡廉		(各綴文書は名草海部郡長平 田綱一郎か同鈴村三郎あて)	(各文書は大庄屋中尾五郎 右衛門あて)
堅綴	堅綴	簿冊	堅綴

c 野上町

9132-4	9132-2	9132-3	9132-1	9132	9040
積取講証定 ※表紙貼紙(相続人大家弥兵衛)、『野上町誌上』掲載	米大御高番附帳 小川小野村	寺頼母子人数帳(当村医王寺普請入用につき) ※小野村	(田畑名寄帳) ※下佐々村か小野村か、小損	【小川小野村文書】↓以下詳細 ※913215以降は美里町の項へ	旧十小区調査 那賀郡野上地方(反別・山藪などにつき) ※第三大区十小区
慶応4年3月	弘化2年3月	文政10年	(寛延4年以前)		(近代)
親小野村小よし、親請同大 藏・同久左衛門・同惣兵衛	(小川小野村)村代、年寄、 庄屋	親請大野兵助、新次郎・勇 次郎、下佐々村古衛門・文 初木門藏、新左衛門・藤助			
堅綴	堅綴	堅綴	堅綴		堅綴

d 美里町

9032-1
神社寺院現境内明細帳(第三大区十一小区のうち後の下神野村 域につき) ※堅二冊合冊の一
明治9年8月(同 10年)
堅綴

9130-7	9130-4	9130-5	9130-3	9130-2	9130-1	9130-8	9130	9039-3-4	9039-3-3	9039-3-2	9039-3-1	9039-3	9032-2
差入申手形之事(銀子借用につき) ※田地引当、小損	乍恐奉御願上口上覚(先規の通り土免願いにつき) ※封紙あり、丑、巳五ヶ年土免	乍恐奉御願上口上覚(村内大川谷)見分の上御用捨願いにつき	乍恐奉御願上口上覚(先規の通り土免願いにつき) ※辰、申五ヶ年土免	土免定 ※辰、申まで五ヶ年限り	免定	記録覚(猿川庄宮移の勧進銀自力勤め仰せにつき)※長い、小損	【猿川松ヶ峰村文書】↓以下詳細	和歌山県那賀郡下神野村大字野中十三神社上地国有林并二四隣ノ実地略図 ※彩色、一綴の四止	宮山杉檜植付人足受取帳 ※一綴の三	宮山杉檜植付并人足覚帳 ※一綴の二	許状之事(株一ヶ所につき 写) ※一綴の一	「下神野村大字野中十三神社上地国有林申立一件」↓以下 四点 ※図書館で四点一綴にした資料	神社明細帳 那賀郡福田村・永谷村・市場村・樋下村・野中村・南畑村・安井村・箕六 ※堅二冊合冊の二止
嘉永7年3月	嘉永6年正月	嘉永5年8月	嘉永2年2月	天保15年2月12日	文政4年10月	文化10年11月14日		(近代)	文化6年2月	文化6年2月	文化7年2月5日		明治12年8月
猿川菅沢村地主庄五郎、同組惣代延達、同庄屋源兵衛	(松ヶ峯村)庄屋平右衛門、年寄藤左衛門	(松ヶ峯村)庄屋平右衛門、年寄源兵衛	(松ヶ峯村)庄屋平右衛門、年寄源兵衛	年預坊	年預坊	(此願ひ人猿子谷村かし本要蔵、宮村岩之尾伝左衛門)			世話人福田村岡本忠太夫	神野庄十八ヶ村	興山寺総分衆評金光院・持宝院		
同庄松ヶ峰中尾平右衛門	地方両御奉行	地方両御奉行	地方両御奉行	(松ヶ峰村)	(松ヶ峰村)						那賀郡神野庄庄屋中番頭中		
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙		図	横帳	縦帳	一紙		縦帳

9131-5	9131-4	9131-3	9131-1	9131	9132-10	9132-9	9132-8	9132-7	9132-5	9132-6	9132	9130-6	9130-9
地租名寄帳 大字長谷宮之部 ※専用用紙	地租名寄帳 大字毛原下之部 ※専用用紙	地租名寄帳 小西之部 ※専用用紙	酒之通 ※ほとんど白紙	【長谷毛原村文書】↓以下詳細	諸入用簿 ※表紙みかえし書「秋葉普請帳」	秋葉大権現勸化名簿 ※お札一括一〇枚挟込み、小撰	村銭貸方簿	氏神上棟入用帳	秋葉やね替入用帳	村銭出入覚 ※毛原下村小字赤地	【毛原下村文書】↓以下詳細 ※9132-1-1-4は野上町の項へ	差入申手形之事（銀子借用につき） ※田地引当	売渡し申証文之事（借用日限切れ差入山林売りにつき） ※封紙あり、封紙上書「上 磯川庄松ヶ峰村役人、当時津次父遺棄先年差入の山林」
(明治41年～昭和5年)	(明治41年～昭和6年)	(明治41年～昭和5年)	明治14年正月		明治21年旧3月吉日	明治20年旧11月	明治14年正月吉日	明治10年11月吉日	慶応4年2月吉日	文久3年籍月		嘉永7年12月	嘉永7年閏7月
長谷毛原村役場	長谷毛原村役場	長谷毛原村役場	酒市（印）「紀州神野市場酒善」		赤地組中	毛原下村世話人前中龜桶、西井治左衛門	赤地村中	井尾世久右衛門、前中宗兵衛、東中谷伊左衛門、坂中宗兵衛、赤地村中や世話人前中幸左衛門、西之治左衛門、新や堀右衛門、中つ惣兵衛、はせ也貞藏	赤地村中や世話人前中幸左衛門、西之治左衛門、新や堀右衛門、中つ惣兵衛、はせ也貞藏	赤地村年行司		猿川庄菅沢村証人栄助、庄屋源兵衛	猿川菅沢村惣代作右衛門、同役代佐兵衛
			中西丞右衛門									同庄松ヶ峰村平右衛門	松ヶ峰村中尾平右衛門
簿冊	簿冊	簿冊	横半帳		堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳		一紙	一紙

債権者調査表

※罫紙、字別

大正3年10月16日

長谷毛原村助役

9131-2				縦
--------	--	--	--	---

④那賀郡

a 旧那賀郡域

9183	第巻 本寺東寺毎歳上京年礼目録控 ※表紙見返し書付「毎歳一ヶ寺三造用割 式及五分宛之定也」、那賀郡村名あり	(延享3年)寛政11年)	十七箇院中	縦
9074	無銭船渡十方施主過現名簿(紀ノ川につき) ※表紙綿布、裏表紙欠	文化元年3月21日		折本
9255-3	那賀郡山林原野村等原案 ※印刷物	(明治)		縦

b 打田町

9076	検地畝高取調御達帳 控	(近世)	南中村住屋□政一郎、肝煎坂上市次郎、惣代千田和 外四名、外中川六右衛門、同	帳
9039-10	那賀郡田中村大字奥山之図	明治32年		図
9039-19	字奥山安桑川村共有山ト田中庄持山ト境界標杭ヲ入レシ場所 (絵図) ※二舖、彩色	明治35年5月20日	共有山境界調査委員山田勝 一郎・上田亀楠・佐竹正策・ 永栄重次郎	図
9039-9	那賀郡田中庄山之絵図 朱引境目筋 ※二舖、彩色、破損劣化あり			図
9039-14	那賀郡田中村所持山林之図(写) ※彩色、破損あり	(近代)		図
9039-15	那賀郡田中村所持奥山之図(写) ※彩色、破損あり			図
9085	【東大井村堂本家文書】↓以下詳細 ※マイクロ写真は別にあり			

美里町 旧那賀郡域 打田町

9085 -39	9085 -22	9085 -30	9085 -21	9085 -18	9085 -26	9085 -25	9085 -20	9085 -24	9085 -28	9085 -17	9085 -4	9085 -3	9085 -1
引出し帳 東部終り水汲りノ部	大字協議費本帳 <small>(裏表紙)</small>	戸数割帳	諸人夫控帳	東部終水入費控帳	大字協議割立金受取帳	東部協議費控帳 <small>(裏表紙)</small>	東部諸人夫帳	大字東大井上半キ東部諸人費仕出帳	明治廿一年下半年協議仕出帳	本新田畑申免割取立帳	人足之通 ※表紙に「済」とあり	人足之通 ※表紙に「済」とあり	御役所人足之通
明治42年下半年キ	明治42年下半年キ	明治42年后半キ	明治42年下半年キ	明治42年下半年キ	明治41年下半年キ	明治41年上半年キ	明治41年上半年キ	明治40年6月25日	明治21年下半年キ	明治5年	申(近代、明治5年カ)	明治4年	明治4年2月
	大字東大井惣代	堂本嘉市	堂本嘉一 大字東大井惣代(裏表紙)	堂本嘉市	堂本嘉市	大字東大井	大字東大井	水惣代		第三大区七ノ小区西大井村	西大井寛右衛門	寛右衛門	専五郎
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横半帳	横半帳

打田町

9085-12	9085-16	9085-65	9085-63	9085-2	9085-64	9085-62	9085-27	9085-42	9085-41	9085-29	9085-19	9085-23	9085-40
石綿掘人足控帳	米通	大福帳(金銭受取につき)	大福 ^口 (金銭受取・米魚ほかにつき)	通(銀米出入帳)	大福帳(米・魚・衣類・炭ほかにつき)	大福帳(衣類・米麦初代ほかにつき)	大字協儀 ^イ 資本帳	引出し帳	引出し帳	天水割立帳	營膳 ^イ 人夫帳(池・溝・石垣ほかにつき)	大井寺 ^{池カ} 地特別賦課割取立帳	引出し帳
※帳再利用		※大型	※大型		※大型								
明治18年旧6月13日	明治13年1月吉日	明治10年1月吉日	明治9年1月吉日	明治3年正月25日	明治2年正月吉祥日	文久4年正月吉日	明治45年上半年	明治44年上半年キ	明治43年下半年キ	明治43年上半年	明治43年上半年キ	明治43年2月	明治42年下半年キ
ドイツ人ハイトケンヘル	(印) (達和歌山橋丁瀬大河内店)	大井油嘉 堂本嘉市郎	大井油嘉		大井油屋嘉市郎	油屋嘉市良	惣代堂本嘉市		堂本嘉市	堂本嘉市	東大井惣代		
	堂本吉之進			嘉兵衛									
横半帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

9085-49	9085-59	9085-6	9085-50	9085-53	9085-51-5	9085-5	9085-51-4	9085-52	9085-51-3	9085-51-2	9085-51-1	9085-60	9085-54
日履帳	小作取立帳	茶之通 (積船別量書上げ) ※船名別記載	日履帳	米国行柑類帳 ※桑港・シカコ他行き	差引勘定帳 ※五冊一綴の五止	材木板之控	差引勘定帳 ※五冊一綴の四	米国積柑類買入帳	差引勘定帳 ※五冊一綴の三	差引勘定帳 ※五冊一綴の二	差引勘定帳 ※五冊一綴の一	小作米取立帳 ※表紙にセロテープ貼付け	米国桑港工諸苗種類贈ル控 ※最終書付「神戸税関第一波止場内開通社支店事務取扱所」
明治36年	明治33年2月1日	明治32年	明治31年旧正月元日	明治29年度	明治27年2月7日正月2日	明治27年1月	明治26年2月18日正月2日	明治25年	明治25年1月31日正月1日	明治24年度2月11日正月1日	明治23年度陰正月1日陽2月19日	明治22年	明治19年8月吉日
北堂本	北堂本	勝浦店	北堂本氏			山口陣吉(印)「材木商」				堂本吉之進	堂本吉之進	進田中村大字東大井堂本吉之	
						東大井堂本嘉一郎							
横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

打田町

9085 -15	9085 -44	9085 -14	9085 -45	9085 -13	9085 -46	9085 -61	9085 -47	9085 -55	9085 -56	9085 -7	9085 -57	9085 -48	9085 -58
小作米取立帳	日雇控帳	小作米取立帳	日雇帳	小作米取立帳	日雇帳	小作米取立帳	日雇帳	小作米取立帳	小作米取立帳	青草買入帳	小作米取立帳	日雇控帳	小作米取立帳
									※表紙破損、一部劣化変色あり	※個人別			
明治44年度	明治44年2月1日	明治43年度	明治43年2月10日	明治42年度	明治42年旧正月	明治41年度	明治41年2月吉祥	明治40年度	明治39年度	明治38年7月9日	明治37年1月	明治37年1月	明治36年
堂本吉之進	堂本 堂本吉之進／(裏表紙)北	堂本商会	堂本嘉市	北堂本	北堂本	堂本商会	北堂本	北堂本	北堂本	堂本	北堂本	北堂本	北堂本
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横帳

9085-35	9085-34	9085-36	9085-38	9085-37	9085-31-2	9085-31-1	9085-33	9085-32	9085-11	9085-10	9085-9	9085-8	9085-43	
堂ノ講地勘定帳	堂ノ講地勘定帳	堂ノ講地勘定帳	堂ノ講地勘定帳	堂ノ講地勘定帳	〔地租他税金書上げ〕	寺割帳	寺割差引勘定帳	卯ノ寺割帳	永民社掛金請取通	貫統講請取通	掛銭受取之通	頼母子掛銀受取通	日雇帳	
					※1に括り付け	※括り付け文書12へ						※裏表紙書「打田村三之丞」		
明治36年旧12月17日	明治35年旧12月17日	明治34年旧12月17日	明治32年旧12月17日	明治26年旧12月17日	(2月24日分他)	明治25年旧12月17日	明治19年12月	明治12年	明治7年10月	明治5年6月	明治5年2月	明治3年2月	明治45年2月18日 (大正元年度)	
年行司堂本秀之進	年行司堂本勝之助	年行司堂本謙一郎	年行司松山恒次郎	年行司堂本伝蔵		年行司堂本謙一郎	年行司堂本吉之進	年行司堂本吉之進	親前萬吉次郎、親脇本多捕 三郎、根来盛廣、山田作蔵、 長尾徳三郎、本多字兵衛、 松本八右衛門	世話人中、(親脇三之丞)堂本之 右衛門・宇田善兵衛、堂本之 音寺之進・益田善兵衛、堂本之 宇田利兵衛、人木村弥四郎、親 本多	親脇惣代井上寛右衛門、(本人 即)西川喜八、同断井上吉次 郎	親脇惣代井上寛右衛門、(本人 即)西川喜八、同断井上吉次 郎	親脇惣代井上寛右衛門、(本人 即)西川喜八、同断井上吉次 郎	堂本吉之進
									東大井村堂本嘉一郎	東大井村堂本嘉市郎	堂本嘉市郎	堂本嘉市郎		
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	一紙	横帳	横帳	横帳	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横帳	

c 那賀町

9039 -13	大原村図(写)	※大判、彩色	宝永3年4月			図
9071	県治統計材料綴 麻生津村役場		明治34年?	麻生津村役場		簿冊
9072	明治十八年度田租収入基簿 那賀郡麻生津五ヶ村分	※専用用紙	明治18年12月	(印)「那賀郡荒見村外十ヶ村戸長役場」		縦帳
9066	明治十八年度宅地・畑・山林地租収納元帳 横谷村戸長役場	※専用用紙	明治18年度	横谷村戸長役場		縦帳
9068 -2	区会議所伝達書	※「第三大区四五六小区」用箋	明治11年2月12日? 同6月27日	第三 四小区第老番組会議所		縦帳
9073	諸願伺届(養子・縁組・相続他につき)		(明治11年1月?)	(第三大区四小区区会議所)		縦帳
9069	盗難届並二手続書		(明治10年・11年)	(第三大区四小区一番組)		縦帳
9068 -1	区会議伝達書	※「第三大区四五六小区」用箋	明治10年6月?同11月	第三大区四小区第老番組赤横・中・北西邨会議所		縦帳
9070	諸願聞届書 横赤分(養子・移住・離縁他につき)	※野紙	明治9年10月?同10年4月30日	(第三大区四小区役場)		縦帳
9067	諸願写(人送り・離縁・盗難他につき)		明治8年?	四小区横谷邨		縦帳
9064	納経帳	※表紙朱印「高野山奥院」	文化8年2月吉日	紀州上那賀郡名手西野山常助		縦帳
9230	[正保二年御壁書ほか郡奉行・代官お定め写「複製」] ※四点、字裏紙つき、那賀町各手市物揃書より↓詳細は紀伊国・和歌山県境の項へ		正保2年・延宝5年・元禄8年・慶応4年			縦帳

d 桃山町

那賀町 桃山町

9093 -16	9093 -15	9093 -14	9093 -11	9093 -12	9093 -22	9093 -13	9093 -10-4	9093 -10-5	9093 -10-6	9093 -10-7	9093 -10-1	9093 -10-2	9093 -10-3
六ヶ井分水 中島井諸入用割帳	御蔵庄屋もと勘定帳	丑御収納取立 中小入用帳	家数并二年齡御達し帳 控 中島村	在夫名前御達帳 ひかへ 中島村	地土帯刀人 劍術組合名前御達帳 山崎組 ひかへ	極難洗人御達シ帳 ひかへ	申棟割帳 ※八冊合冊の四	未棟割元帳 ※八冊合冊の五	午棟割帳 ※八冊合冊の六	巳棟割元帳 ※八冊合冊の七	辰棟割元帳 ※八冊合冊の一	卯ノ棟割元帳 ※八冊合冊の二	寅ノ棟割元帳 ※八冊合冊の三
安政6年8月	慶応元年12月	慶応元年12月	元治元年8月9日	元治元年6月28日	元治元年3月	文久2年2月	万延元年	安政6年	安政5年	安政4年	安政3年	安政2年	嘉永7年
中島村	(御蔵庄屋)	御蔵庄屋	庄や幸之右衛門	幸之右衛門	山崎組 宇治幸之右衛門、 金田勝之右衛門、土岐勝太夫	中島村	中島村	中島村	中島村	中島村	中島村	中島村	中島村
			土岐正太郎	土岐藤太夫	喜多村近助、 肥田藤馬 <small>(一巻)</small>								
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

岩出町

9093 -8-2	9093 -8-1	9093 -25-4	9093 -25-5	9093 -25-3	9093 -25-2	9093 -25-1	9093 -25-6	9093 -19	9093 -17-1	9093 -17-2	9093 -17-3	9093 -17-4	9093 -18
山上講参二付掛銀差引帳	山上掛銀帳	丑畑かすり類寄帳	丑かすり生田調帳	申かすり生田改帳	畑かすりるい寄帳	当申畑かすり取しらべ帳	未畑かすり改帳	中島村領古川筋新溝堀登普請人足差引帳	大川除御普請諸取かへ勘定帳	大川除御普請小入用類寄帳 二月ぶしん	当村領大川除御普請出人足通	大川除御普請小入用帳	古川筋切除御ふしん小入用帳 中黒吉田中島立合所
※六冊合綴の二	※六冊合綴の一	※六冊合綴の四	※六冊合綴の五	※六冊合綴の三	※六冊合綴の二	※六冊合綴の一	※六冊合綴の六止		※四冊合綴の一	※四冊合綴の二	※四冊合綴の三	※四冊合綴の四止	
元治2年4月	元治2年	慶応元年	慶応元年8月	万延元年	万延元年	万延元年7月	安政6年	慶応元年5月	慶応3年正月	慶応元年12月	元治2年2月	文久3年2月2日	安政7年閏3月
講元幸之右衛門	中島村講元幸之右衛門	中島村	中島井下	中島村	(中島村)	(中島村)	中島村	中島井下		中島村	清七 中島村 西村栄次郎・谷本	中島村	
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

岩出町

9254 -84	9254 -104	9254	9253 -6	9253 -5	9253 -3	9253 -2	9253 -4	9253 -1	9253	9093 -8-4	9093 -8-6	9093 -8-5	9093 -8-3
金銭出入帳(挽代・呉服店入・日ヨ賃・両替・船賃他につき)	萬覚帳 ※全文抹消済み、内容より那賀郡所在文書とわかる	【岩出町宮 西口商店文書】↓以下詳細	(小田井関係文書断簡一括) ※繰はずれ断簡多い、セロテープ貼付け	辰小田井割元帳 岩出組井下捨巻ヶ村 ※セロテープ貼付け	小田 酉井割取帳 岩出組 ※セロテープ貼付け	小田 酉井割元帳 岩出組 ※セロテープ貼付け	小田 申井割元帳 岩出組 ※セロテープ貼付け	午小田井割帳 岩出組 ※セロテープ貼付け	【小田井関係文書】↓以下詳細	道中諸払帳 ※六冊合綴の四	道中諸入用帳 ※六冊合綴の六止	道中二て掛銀帳 ※六冊合綴の五	山上講参二付勘定仕出し帳 ※六冊合綴の三
明治6年9月吉日	明治6年酉(後筆) 「戊亥」1月吉日		(近世)	文化5年12月	享和元年極月	享和元年極月	寛政12年極月	天明6年露月		安政5年3月16日	元治2年4月	元治2年4月	元治2年4月10日
西口彦兵衛	三木栄助			高塚村・川尻村・野上村・水栖村・今中村肝煎	西国分村・岡田村・高塚村・川尻村・東坂本村・新田村	水栖村・西国分村・今中村・岡田村・東坂本村・新田村	新田村・西国分村・高塚村・川尻村・中迫村肝煎	小田井関係文書断簡		講元宇治幸之右衛門	講元宇治幸之右衛門	講元宇治幸之右衛門	講元幸之右衛門
横帳	横帳		一括	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳		横半帳	横半帳	横半帳	横帳

岩出町

9254 -67	9254 -79	9254 -77	9254 -76	9254 -105	9254 -90	9254 -89	9254 -75	9254 -74	9254 -88	9254 -87-2	9254 -87-1	9254 -86	9254 -85
大宝恵 (米穀代金につき) ※小型	大福帳 (金銭につき)	総繰帳 ※織人別	総染并酢醤油通	金銭出納精算帳	金銭仕払帳 (材木払・地方税・荷車税・薬代他につき)	金銭出納帳 (石工賃・車かり賃・返金・売上入ル他につき)	現金総染通	現金総染通	金銭出納帳 (油・肴代・売上入・酒・頼母子掛金ほかにつき)	〔金銭出納断簡〕 ※前後欠、87-1に結び付け	金銭出納帳 (水豆腐・日ヨ賃・酒・売上入・小遣イ他につき) ※結び付け文書あり12へ	金銭出納帳 (燃料・醤油・小遣イ・私学校利子金・頼母子掛金取替し他につき)	金銭出入帳 (挽代・呉服店入・日ヨ賃・両替・船賃他につき)
明治27年10月吉日	明治26年7月吉日	明治26年7月吉日	明治25年	明治25年1月吉日	明治24年1月吉日	明治23年1月吉日	明治20年	明治16年	明治16年1月吉日		明治15年2月吉祥	明治14年1月吉日	明治9年12月吉日
北西口商店	西口徳太郎	〔川 織工場〕	(表紙印)「岩出」	西口徳太郎	西口徳太郎	西口徳太郎	(表紙印)「岩出」	(表紙印)「於宮村本支店」(中に印)「西口」	西口徳太郎		西口徳太郎	西口徳太郎	西口徳太郎
			西口徳太郎				西口徳太郎	花野村常					
横 帳	堅 帳	堅 帳	横半帳	横 帳	横 帳	横 帳	横半帳	横半帳	横 帳	断 簡	横 帳	横 帳	横 帳

9254 -59	9254 -18	9254 -17	9254 -91	9254 -16	9254 -97	9254 -96	9254 -2	9254 -1	9254 -80	9254 -58	9254 -68	9254 -66	9254 -72
売帳 (米穀代金につき)	参号当座帳 (米穀代金につき)	貳号当座帳 (米穀代金につき)	金銭出納帳 (米穀代金につき)	当座帳 (米穀代金につき)	二号売控帳 (瀬戸物につき)	老号売控帳 (瀬戸物につき)	貳号当座帳 (米穀代金につき)	老号当座帳 (米穀代金につき)	金銭出納帳	売帳 (米穀代金につき)	大宝恵 (米穀代金につき)	萬日記 (板・板木売りにつき)	廻シ帳
※厚い									※挟み文書一点あり	※厚い	※小型、前半小口よりにて繰込	※小型、水損	※劣化あり
明治36年1月吉日	明治35年11月吉日	明治35年6月吉日	明治34年12月吉日	明治34年12月吉日	明治33年9月吉日	明治33年6月吉日	明治32年8月吉日	明治32年3月吉日	明治32年2月	明治31年11月吉日	明治29年10月	明治28年9月	(明治)27年10月吉日
西口	西口ヤス	西口安	西口安	西口安	松下栄助	松下栄助	西口安	西口やす	西口徳太郎	西口店	西口商店	西口材木店	西口徳太郎
横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	堅帳	横半帳	横帳	横帳	横半帳

岩出町

9254-37	9254-36	9254-35	9254-34	9254-62	9254-33	9254-61	9254-32	9254-98	9254-92	9254-60	9254-21	9254-20	9254-19
拾弍号当座帳 (米穀代金につき)	拾弍号当座帳 (米穀代金につき)	十号当座帳 (米穀代金につき)	九号当座帳 (米穀代金につき)	売帳 (米穀代金につき)	八号当座帳 (米穀代金につき)	売帳 (米穀代金につき)	七号当座帳 (米穀代金につき)	売上日記帳 ※西口家と考えられる	金銭出入帳 (米穀代金につき)	売帳 (米穀代金につき) ※表紙摩滅	六号当座帳 (米穀代金につき)	五号当座帳 (米穀代金につき)	四号当座帳 (米穀代金につき)
明治38年7月吉日	明治38年4月吉日	明治30(37カ)年12月吉日	明治37年9月吉日	明治37年8月吉日	明治37年5月吉日	明治37年1月吉日	明治37年1月吉日	明治36年12月吉日	明治36年12月吉日	明治36年9月 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	明治36年9月吉日	明治36年7月吉日	明治36年3月吉日
岩出林ノ西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス		西口ヤス	西口	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス
横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横帳

9254 -46	9254 -100	9254 -93	9254 -45	9254 -44	9254 -43	9254 -64	9254 -42	9254 -41	9254 -63	9254 -40	9254 -39	9254 -99	9254 -38
第廿老号当座帳(米穀代金につき)	売上入日記	金銭出納帳(米穀代金につき) ※表紙小損	第貳拾号当座帳(米穀代金につき)	第拾九号当座帳(米穀代金につき)	第拾八号当座帳(米穀代金につき)	売帳(米穀代金につき)	第拾七号当座帳(米穀代金につき)	第拾六号当座帳(米穀代金につき)	売帳(米穀代金につき)	第拾五号当座帳(米穀代金につき)	第拾四号当座帳(米穀代金につき)	売上入日記	第拾参号当座帳(米穀代金につき)
明治41年2月吉日	明治40年12月吉日	明治40年12月吉日	明治40年9月吉日	明治40年6月吉日	明治40年3月吉日	明治31(廢)年2月吉日	明治39年12月吉日	明治39年9月吉日	明治39年6月吉日	明治39年6月吉日	明治39年3月吉日	明治38年12月吉日	明治38年11月吉日
西口ヤス	西口やす	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス	西口安	西口安	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス	西口ヤス
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳

岩出町

9254 -83	9254 -53	9254 -6	9254 -101	9254 -94	9254 -52	9254 -51	9254 -50	9254 -49	9254 -48	9254 -5	9254 -78	9254 -47	9254 -82
金銭出納帳(蒲団につき)	第廿八号当座帳(米穀代金につき)	第貳号綿売帳	売上日記	金銭出納帳(米穀代金につき)	第廿七号当座帳(米穀代金につき)	第廿六号当座帳(米穀代金につき)	第廿五号当座帳(米穀代金につき)	第廿四号当座帳(米穀代金につき)	第廿参号当座帳(米穀代金につき)	綿売上帳	蒲団台帳	第廿貳号当座帳(米穀代金につき)	金銭出納帳(蒲団部)
※養丁破損あり													※蒲団につき掛金書き上げ
(明治43年3月11日)	明治43年2月吉日	明治43年2月吉日	明治42年12月吉日	明治42年12月吉日	明治42年10月吉日	明治42年3月吉日 (内容は7月分から)	明治42年3月吉日	明治41年11月吉日	明治41年8月吉日	明治41年8月吉日	(明治41年5月)	明治41年5月吉日	(明治41年4月)
西口商店	西口商店	西口商店	西口やす		西口商店	西口商店	西口商店	西口ヤス	西口ヤス	西口		西口ヤス	
縦帳簿	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	縦帳簿	横帳	縦帳

9254 -4	9254 -28	9254 -27	9254 -26	9254 -8	9254 -25	9254 -3	9254 -24	9254 -23	9254 -22	9254 -7	9254 -55	9254 -95	9254 -54
第三号糖売帳(糠・米穀代金につき)	第三拾七号米帳(米穀代金につき)	第三拾六号米帳(米穀代金につき)	第三五号米帳(米穀代金につき)	第四号綿売帳	第四号当座帳(米穀代金につき)	第三号糖売帳(糠・米穀代金につき)	第三号当座帳(米穀代金につき)	第三号当座帳(米穀代金につき)	第三号当座帳(米穀代金につき)	第三号綿売帳	第三号当座帳(米穀代金につき)	金銭出納帳(米・木綿代・税金・フトンヨリ・布代入他につき)	第三十九号当座帳(米穀代金につき)
大正元年12月吉日	大正元年9月吉日	明治45年5月吉日	明治45年2月吉日	明治44年11月吉日	明治44年10月吉日	明治44年8月吉日	明治44年7月吉日	明治44年5月吉日	明治44年1月吉日	明治44年1月吉日	明治43年10月吉日	明治43年7月吉日	明治43年7月吉日
西口	西口商店	西口商店	西口商店	西口商店	西口商店	西口商店	西口商店	西口商店	西口商店	西口商店	西口商店	西口ヤス	西口商店
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

岩出町

9254 -15	9254 -14	9254 -13	9254 -12	9254 -11	9254 -10	9254 -9	9254 -71	9254 -73	9254 -81	9254 -70	9254 -31	9254 -30	9254 -29
第百拾参号当座帳(米穀代金につき)	第百十二号当座帳(米穀代金につき)	第百十号当座帳(米穀代金につき)	第百九号当座帳(米穀代金につき)	第百八号当座帳(米穀代金につき)	第百七号当座帳(米穀代金につき)	第百五号当座帳(米穀代金につき)	御通	酒米受渡帳	金銭出納帳	買物帳	第四拾号米帳(米穀代金につき)	第三拾九号米帳(米穀代金につき)	第三拾八号米帳(米穀代金につき)
							※内容一件のみ						
昭和13年6月吉日	(12)月吉日 (昭和)12年□□	昭和11年12月吉日	昭和11年7月吉日	昭和11年1月吉日	昭和10年8月吉日	昭和9年10月吉日	昭和9年9月吉日	大正9年12月	大正9年2月	大正5年2月吉日	大正2年8月吉日	大正2年5月吉日	大正2年1月吉日
西口商店						西口商店	西口商店	西口精米店		西口徳太郎	西口	西口商店	西口商店
							八木	吉村					
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横半帳	縦帳簿	横半帳	横帳	横帳	横帳

9254 -142	9254 -141	9254 -127	9254 -130	9254 -132	9254 -126	9254 -128	9254 -131	9254 -129	9254 -125	9254 -103	9254 -102	9254 -65	9254 -69
証（不動尊前護摩堂新築障木本行領収書） ※（印）（八川岩出西口材本店）、印刷	証（不動尊前護摩堂新築障木本行未使用領収書） ※印刷、全て未使用、朱印押印済み	請求書（印紙類売につき綴）	〔印紙類売請求書綴〕	〔印紙類売請求書一括〕	印紙売請求書綴	〔印紙類売請求書綴〕	〔印紙類売請求書綴〕	〔印紙類売請求書綴〕	〔掛売帳断簡一括〕 ※横帳部分六二丁、前欠、繰紐欠、複数冊分	〔売上日記〕（米穀につき） ※三九丁、前後欠、繰紐欠	〔売上日記〕（米穀につき） ※表題なし	日記控（米穀代金につき） ※小型、裏表紙に「萬貫帳控」とあり	惣取帳 ※途中に昭和4年8月の記述
明治15年12月15日	（明治10年代）	（明治）27年11月中	（明治27年10月〜）	（明治27年6月〜9月）	明治27年1月〜	（明治26年8月〜12月）	（明治25年8月〜11月）	（明治25年2月〜）	（近代）		（9年6月〜）	（近代）	（昭和）
口徳太郎	和歌山県下根来寺事務所、同徳太郎	（各個人）	（各個人）	（各個人）	（印紙類元売捌所）岩出代り店／（各々はいろいろあり）	（各個人）	（各個人）	（各個人）	西口商店			（印）（八川紀州岩出西口徳太郎）	西口
大和国萩原村新喜七		（全て「印紙類元売捌岩出代理店」あて）	（印紙類元売捌所岩出代理店）あてが多い、一部「四捨三圓立替行」あてあり	（全て「印紙類元売捌所岩出代理店」あて）	（全て「印紙類元売捌所岩出代理店」あて）	（全て「印紙類元売捌所岩出代理店」あて）	（全て「印紙類元売捌所岩出代理店」あて）	（全て「印紙類元売捌所岩出代理店」あて）					
一紙綴	一綴	一綴	一綴	一括	一綴	一綴	一綴	一綴	一括	横帳部分	横帳	横帳	横半帳

岩出町

9254-106	喜慶帳 (結納につき)	(明治) 21年2月吉日 旧正月25日	西口徳太郎		横帳
9254-135	当座勘定帖 4乙号 ※表題は「当座預金通帖」の印刷を訂正	明治36年5月2日	株式会社四十三銀行岩出支店	西口ヤス	横半帳
9254-136	当座預金通帖 2ろ号	明治31年12月1日	株式会社四十三銀行岩出支店	西口徳太郎	横半帳
9254-134	当座預金通帳 第九号	明治28年3月	株式会社紀伊銀行岩出支店	西口徳太郎	横半帳
9254-137	当座預金通帳 ちぎ	明治24年11月19日	第四十三国立銀行	西口徳太郎	横半帳
9254-138-3	〔四十三銀行株主総会案内葉書〕 ※137-1に挟み	大正9年7月20日	株式会社四十三銀行頭取宮本吉右衛門	那賀郡岩出町西口ヤス	葉書
9254-138-2	〔四十三銀行株主総会案内葉書〕 ※137-1に挟み	大正9年7月20日	株式会社四十三銀行頭取宮本吉右衛門	那賀郡岩出町宮西口徳太郎	葉書
9254-138-1	第九拾参期営業報告書 ※表紙欠、劣化変色、挟込み葉書二点2・3へ	大正13年7月1日 大正13年12月31日	和歌山市十一番丁一番地株式会社四十三銀行		印刷本
9254-133	株式会社四拾三銀行岩出支店新築用材見積書 ※野紙	(近代)	西口材木店		一綴
9254-140	〔四十三銀行新築木材覚書〕 ※セロテープ貼付け、大判、少しフケ	30年11月15日	紀伊岩出西口徳太郎店		一紙
9254-139	四十三B・K・新築木材(期日・本数覚え) ※セロテープ貼付け、大判、紙少しフケ	(近代)	西口徳太郎		一紙
9254-145	護摩堂用材売渡書証 ※「根来山」用筆		那賀郡根来山護摩堂建築出口勝助小四郎代理山田村出郡批杷谷村松本三郎		一綴
9254-144	〔材木受領書類一綴〕 ※綴紐なし	23年、25年1月・3月	(根来山)	(西口・西口徳太郎・西口材木商)	一綴
9254-143	証(不動尊前護摩堂新築醸木本行領収書) ※(印)〔川岩出西口材木店〕印刷	明治16年4月	和歌山県下根来寺事務所、同同建築係、同同用材係西口徳太郎	豆尾村吉野俊平	一紙

9254 -120	9254 -119	9254 -110	9254 -109	9254 -108	9254 -107	9254 -118	9254 -117	9254 -116	9254 -115	9254 -114	9254 -113	9254 -112	9254 -111
手伝帳	買物帳 ※一丁はずれ	悔帳	諸入用控 お龍病シノ節 ※三回忌・七回忌の控もあり	手伝イ人控 ※お龍病死の節の関係か	お龍病キニ付見舞被下候名前控・見舞寛	観静義道信士廿三回忌 諸入費帳	観静義道信士十七回忌 諸事入費控簿	観静義道信士十三回忌 香奠帳	観静義道信士七回忌 香奠諸事入費	観静義道信士三回忌 諸事入用控	観静義道信士一周忌 諸事入用控	観静義道信士俗名彦兵衛行年五十一才 御布施并片身分諸色控	香奠帳
大正13年12月27日	大正13年12月27日	(明治28年6月)今日	明治28年旧6月6日	明治28年旧6月6日	初(明治)28年旧4月	明治27年旧8月	明治21年8月	明治17年旧8月17日	明治11年9月	明治7年9月 旧8月17日定日	明治6年9月 旧全定日8月17日	明治5年8月17日 旧全	明治5年8月18日
西口	西口		松下栄助						西口徳太郎	西口氏	西口氏	北西口氏	
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

岩出町 橋本市

9057	9056	9058	9061
詰所及大砲一件（時節柄河州・和州国境警固西洋砲鑄造願一件につき写） ※九点の写しあり	御法度書判取帳 ※変色	寛（総社三部明神社諸入用書き継帳） ※四ヶ村産土神社文書、大撰	〔慶賀野村対五ヶ村山論落着につき取替絵図〕 ※大型彩色、一三cm×八八・三cm
（元治元年）（子4月9月・亥10月）	文政4年正月	（享保7年〜同16年）	寛文13年6月
（伊都郡地主）	東家村庄屋	（市協村・野村・東家村・寺脇村四ヶ村庄屋・肝煎）	東家大庄屋、人協多兵衛、外7名、矢野、協村、住本村、小原、伊見、崎、橋谷村、庄田村、名、原、田、村、各、村、庄、屋、年、密、計、17
縦帳	縦帳	縦帳	図

a 橋本市

⑤伊都郡域（橋本市含む）

9254-149	9254-148	9254-147	9254-146	9254-124	9254-123	9254-122	9254-121
〔襖の下張り文書一括〕 ※劣化変色あり、書状他の断簡	〔襖の下張り文書一括〕 ※劣化変色あり、断簡	〔襖の下張り文書一括〕 ※劣化変色あり、一部和歌山区裁判所文書断簡	〔襖の下張り文書一括〕 ※劣化変色、セロテープ貼り付け、一部奥安桑川村役場文書断簡	手伝帳 俗名西口徳太郎	買物帳 俗名西口徳太郎	梅受帳 俗名西口徳太郎行年五十七才 ※表紙はずれ	梅帳 俗名恒彦
		（近世・近代）	（近代）	大正14年5月5日	大正14年5月5日	大正14年5月7日	大正13年12月27日
				（西口）	（西口）	（西口）	
一括	一括	一括	一括	横帳	横帳	横帳	横帳

かつらぎ町 九度山町 高野町

b かつらぎ町

9055	紀伊国兄井村永代講（講員一覽）	※木版、奉納経四箇中靈場	明治28年3月20日	講元世話方兄井村武内文次 郎・同北浦常右衛門、講元 願主北浦ヲヌイ	一紙
9039-22-1	和歌山県伊都郡四郷村大字広口字山本（国有林図）	※重ね折り二舗の一	（近代）		図
9039-22-2	和歌山県伊都郡四郷村大字広口字薄月（国有林図）	※重ね折り二舗の二止	（近代）		図

c 九度山町

9188	【丹生川村圓通寺文書】↓以下詳細				
9188-1	奉加集帳		貞享3年2月		縦帳
9188-2	鐘鑄厨子鐘樓堂（建立につき寛）		貞享丑寅卯節年（2年）4年）	自性法身院役寺法印空算	縦帳

d 高野町

9179	高野大塔大徳院就御造営萬書物并絵図物数之帳	※控または写	寛永15年9月15日	小出大和守内藤井七郎兵衛、 同杉原善右衛門、戸川土佐 守内西山市左衛門、同加地 喜左衛門	片桐出雲守様御内充江三郎兵 衛、同伊藤猪左衛門	縦帳
9181	高野山御条目之写		（近世、元禄4年4月28日ほか）			縦帳
9178	奥院木食堂道具目録	※後の製本時下部分切断あり	明和6年4月11日	木食所庵主本明代		縦帳
9036-73	高野山保管林会計（歳入歳出予算等につき）	※「高野山金剛峯寺」用箋	自昭和7年（内容大正14年）昭和20年）	（各々の書類は高野山古義真言宗金剛峯寺が作成）	（各々書類は和歌山県知事あて）	簿冊
9036-20	【高野山南院財産・境内明細書類袋入り一括】↓以下詳細 ※袋入り一巻三枚、四巻六巻（袋上巻）「奥院」、（袋裏印刷）「和歌山県高野山金剛峯寺工務課」		昭和17年	（高野山南院）		簿冊

高野町

9062-2	9062-1	9062	9039-5	9036-20-9	9036-20-8	9036-20-7	9036-20-6	9036-20-5	9036-20-4	9036-20-3	9036-20-2	9036-20-1
就学及欠席督促簿 ※表紙朱筆「五ヶ年保存」、専用用紙	寄付台帳 ※「伊都郡白藤尋常高等小学校」用箋	【白藤尋常小学校文書】↓以下詳細	和歌山県下紀伊国伊都郡第四大区七小区高野山官林全図 ※付箋多い	〔青焼き図面茶所・通用門長屋・会下〕 六枚ノ内六止 ※縮尺百分ノ一・青焼	〔青焼き図面 庫裡・便所〕 六枚ノ内五 ※縮尺百分ノ一・青焼	〔青焼き図面 庫裡・本堂〕 六枚ノ内四 ※縮尺百分ノ一・青焼	〔青焼き図面 客殿・山門〕 六枚ノ内三 ※縮尺百分ノ一・青焼	〔青焼き図面 庫裡・土蔵・離居間〕 六枚ノ内二 ※縮尺百分ノ一・青焼	〔青焼き図面 境内地実測・求積図〕 六枚ノ内一 ※縮尺六百分ノ一・青焼	境内建物ノ名称、用途、位置、構造及坪数調査	境内地ノ位置及坪数調査	財産目録
明治45年3月	明治43年以降											昭和17年3月
白藤尋常高等小学校	白藤尋常高等小学校（高野町細川）			南院	南院	南院	南院	南院	南院	南院	南院	南院
縦帳	縦帳		図	図	図	図	図	図	図	一紙	一紙	一紙

旧有田郡域

⑥有田郡域（有田市含む）

a 旧有田郡域

9203-6	9203-5	9203-4	9203-3	9203-2	9203-1	9203	9252	9150-71	9150-93	丙-タ-20	8998
雇人賃金勘定帳	雇人賃金勘定帳	雇人賃金勘定帳	雇人賃金勘定帳	雇人賃金勘定帳	機械方職工賃金勘定帳	〔有田製材所文書〕↓以下詳細 ※蜜柑箱生産業者	〔有田川流域水害図〕 ※彩色、昭和28年の七・一八水害か	地租証憑書類 ※専用用紙、表紙朱筆「荒地免租年期明」、各丁広げ重ね折り、元は複数冊か	大福帳（店おろし他） ※内容より有田郡内文書とする	〔有田郡寺社に関する願書留帳部分〕 ※前後欠、丁はずれを集めて仮綴	寺社留 有田郡（寺社奉行所あて願書ほか）
期 明治38年9月1日前	期 明治38年8月前期後	明治38年4月后期	明治38年4月前期	明治38年3月后期	明治38年3月日		（近代以降）	明治28年分	（明治13年1月吉日） （同14年正月）	（文政12年ほか）	文政6年
有田製材所	有田製材所	有田製材所	有田製材所	（有田製材所）	合名会社有田製材所			和歌山県湯浅収税署	紀嶋新太夫	（ほとんどが榎坂五郎左衛門）	（各々各村庄屋ほか）
										（ほとんどが有田御代官中）	（各々寺社奉行所ほか）
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳		図	一括	横半帳	罫綴	罫帳

旧有田郡域 有田市

9150-95	9150-62	9150-70	9150-69	9150-68	9150-67	9150-66	9150-65	9150-64	9150-63
金銭出入帳 ※表紙朱筆「湯浅しう分四十二年二月十一日□□」、水損	田畑地価修正一筆限表 (宮原村大字瀧川原・瀧・東) ※専用用紙	名寄帳写 式 御蔵所 ※付箋・貼紙あり	惣人数調べ帳 椒里村 ※各組ごと	国子上下屋鋪書抜帳 八組 伝右衛門所持	〔難波の者調帳〕	田畑高書抜 卜組 箕島平右衛門 ※内容一筆のみ	所持高書抜 御蔵所 嘉平次	湯毛 ² 荒地引帳 ひかへ 御給所椒里村 ※貼紙多い	田畑高山手覚 (椒里村) ※小損
明治24年1月吉日	明治23年	(近世)	文久元年10月	万延2年3月	万延2年2月	安政4年	安政4年	嘉永7年8月	天保15年正月吉日
有田郡系我村大字中番 林 龜之助	宮原村長林正十郎、右持主 総代人(各々字別に三人)	(椒里村)	庄屋喜三右衛門、肝煎助太夫、同断善右衛門	(椒里村)	椒里村	椒里村庄屋安太夫、同肝煎助太夫、同断順蔵	(椒里村) 庄屋安太夫、肝煎助太夫、同順蔵	孝兵衛、太郎右衛門、助太夫	椒北屋喜代助 ^(尾力)
	和歌山県知事石井忠亮							中尾雄蔵	
横帳	簿冊	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

b 有田市

9203-9	9203-8	9203-7
雇人賃金勘定帳	雇人賃金勘定帳	雇人賃金勘定帳
39年2月下分	明治38年11月後期	明治38年9月后期
有田製材所	有田製材所	有田製材所
横帳	横帳	横帳

9157-13	9157-8	9157-19	9157-11	9157-32	9157-9	9157-17	9157-4	9157-1	9157-3	9157	9152	9150-96	9156
三ヶ村割帳	未免割取帳 福富平左衛門様御知行所西村 ※一部劣化	村方諸入用覚帳 西村	巳郡組割取替書技帳 西村	卯御年貢差引帳 太七組	卯ノ免割帳 太七郎組 ※小損	村方諸入用覚帳 ※紐一部破損	新田畑御検地帳写 宮原組西村	本田畑名寄帳 西村 ※厚い、挟み込み・貼紙・付箋多い	在田郡内糸我庄西村御検地帳 (元禄10年3月写替) 慶長6年8月17日	【宮原組西村文書】 ↓以下詳細	明治四拾四年度毎日収支計算簿 ※専用用紙、挟み文書あり	大福帳（魚代につき） ※紐に「魚源」あて金銭覚書一点括り付け、箕島か 8 (近代)	呉服太物通 ※三銭印紙貼付 大正元年3月
安永4年極月	安永4年11月	安永4年正月吉日	安永2年11月	明和8年極月	宝暦9年極月	宝永8年5月吉日	宝永4年4月、(明治4年6月)	元禄10年6月、延享元年4月、(明和9年11月改)	慶長6年8月17日 (元禄10年3月写替)		明治44年度	8 (近代)	
西村		庄屋太七郎	小豆島村肝煎垣右衛門、山 地村庄や源七、野村伴五郎、 太八、上野山十太夫			太七郎	西村惣代山崎助五郎・殿田 利右衛門・大浦子惣右衛門・ 児嶋新太夫・肝煎山崎元十 郎・庄屋山崎清太夫	石黒半兵衛、(元禄十年写 替)堀内八助・河島四郎太 夫) 慶享元年(西村庄屋増右衛門、 頭16名、宮原組太庄屋上野山 十太夫、(明和九年改で庄屋六 郎右衛門他120人連印)	箕島町収入役		箕島町収入役	魚屋源太郎	株式会社 呉服店
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	堅帳	堅帳	堅帳		簿冊	横帳	横半帳

有田市

9157-58	9157-38	9157-21	9157-50	9157-20	9157-18	9157-5	9157-34	9157-30	9157-6	9157-10	9157-31	9157-7	9157-33
当村村地人々江主付候二付御上江指上証文 宮原組西村 ※讓主付、付箋多い	金銀出入帳	有田郡宮原組西村本新田皆無荒改帳 ※一部劣化破損	西村領大川除乱抗打出人足着至通 有田郡西村	御伊勢講帳	村方諸入用覚帳 西村 ※一部破損	免割帳 小野権太夫様御知行所西村 ※大損	尾州蜜柑仕切銀分帳 ※紐破損	丑山手米代銀取立帳 西村	免割帳 小野権太夫様御知行所西村 ※小損	戌御藏割并組々勘定帳 西村	戌山手米代銀取立帳 西村	申本田畑免割帳 西村 ※付箋あり	振引帳 荷親元 ※紐破損
文化3年3月	文化2年□月吉日 (正)	享和元年9月	寛政11年3月	天明6年3月	天明4年正月吉日	天明2年11月	天明2年11月	天明元年霜月	安永9年極月	安永7年極月	安永7年11月	安永5年霜月	安永5年7月
西村惣代栄十郎、同村証人 藤八、同村庄屋孫助・肝煎 作兵衛	西村瀧屋栄十郎	井上兵次郎、山田伴蔵、成 尾又三郎	西村	講親治左衛門	西村	荷親政次郎	西村	西村	西村	西村	西村	納庄屋新兵衛・同瀬左衛門 外同7名、頭百姓、瀬八外同 七郎、肝煎喜兵衛、庄屋太	荷親
縦帳	横帳	横帳	横半帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

9157-60	9157-49	9157-66	9157-67	9157-41	9157-24	9157-26	9157-28	9157-27	9157-25	9157-23	9157-22	9157-48	9157-47
免定 西村 (辰定免申付につき) ※封紙あり、裏書あり已・午年分につき	当正月より三月迄都合三ヶ月分日銭掛入高控帳 村方	免定 西村 (丑定免申付につき) ※裏書あり寅・卯年分につき	免定 西村 (戌定免申付につき) ※裏書あり亥・子年分につき	金銀出入帳 ※変色劣化あり	卯八月古荒起方永定老ツ取免ニ而替地主付被仰付候地面江榜示入改帳 西村	本新田畑古荒之内地起仕り度段願帳 西村、中番村、辻堂村、星尾村、千田村 ※表紙書付一此帳面不用、紙破損	新田畑古荒見分起候筋仕出し帳 西村	本田畑古荒見分起候分仕出し帳 西村	新田古荒地起御調二付地引帳 西村	本田畑古荒御調二付地引帳 西村	新田古荒御調二付地引帳 西村	歟先荒地起積帳 式はん 西村	歟先荒地起積帳 西村
安政3年10月	安政3年5月	嘉永6年10月	嘉永3年10月	文政8年□月□日	文政5年3月	文政2年5月	文政2年閏4月	文政2年閏4月	文政2年4月	文政2年4月	文政2年3月	文化11年4月	文化11年4月
山林四郎左衛門		小出平九郎	数見兵藏	栄□□	西村	西村庄屋孫助外各村庄屋肝煎11名、宮原村大庄屋助江川庄兵衛	西村	西村	庄屋孫助、肝煎作兵衛	庄屋孫助、肝煎作兵衛	西村	西村	西村
右村庄屋肝煎惣百姓中		右村庄屋肝煎惣百姓中	右村庄屋肝煎惣百姓中			松田幸右衛門			江川庄兵衛	江川庄兵衛			
一紙	横半帳	一紙	一紙	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横半帳	横半帳

有田市

9157-72-11	覚(御立用銀請取につき) ※一綴二通の二、銀二〇〇目	元治元年5月	有田御代官所	西村伝右衛門	一紙
9157-72-10	覚(御立用銀請取につき) ※一綴二通の一〇、銀二〇〇目	元治元年5月	有田御代官所	西村市助	一紙
9157-72-9	覚(御立用銀請取につき) ※一綴二通の九、銀二〇〇目	元治元年5月	有田御代官所	西村四郎左衛門	一紙
9157-72-8	覚(御立用銀請取につき) ※一綴二通の八、銀二〇〇目	元治元年5月	有田御代官所	西村藤八	一紙
9157-72-7	覚(御立用銀請取につき) ※一綴二通の七、銀三〇〇目	元治元年5月	有田御代官所	西村忠助	一紙
9157-72-6	覚(御立用銀請取につき) ※一綴二通の六、銀三〇〇目	元治元年5月	有田御代官所	西村良左衛門	一紙
9157-72-5	覚(御立用銀請取につき) ※一綴二通の五、銀四〇〇目	元治元年5月	有田御代官所	西村利右衛門	一紙
9157-72-4	覚(御立用銀請取につき) ※一綴二通の四、銀四〇〇目	元治元年5月	有田御代官所	西村佐兵衛	一紙
9157-72-3	覚(御立用銀請取につき) ※一綴二通の三、銀四〇〇目	元治元年5月	有田御代官所	西村助五郎	一紙
9157-72-2	覚(御立用銀請取につき) ※一綴二通の二、銀五〇〇目	元治元年5月	有田御代官所	西村清太夫	一紙
9157-72-1	覚(御立用銀請取につき) ※一綴二通の一、銀四貫目、繰上付箋書付「合銀七貫目 西村」	元治元年5月	有田御代官所	西村新太夫	一紙
9157-12	新田畑免割本斗割符不定見取山手米共取立帳 西村 ※小損、付箋あり	文久2年11月	西村		横帳
9157-63	免定 西村(戌定免申付につき) ※封紙あり、裏書あり亥・子年分につき	文久2年10月	青山五左衛門	右村庄屋肝煎惣百姓中	一紙
9157-61	免定 西村(未定免申付につき) ※封紙あり、裏書あり申・酉年分につき	安政6年10月	大藏新右衛門	右村庄屋肝煎惣百姓中	一紙

9157-64	9157-2	9157-37	9157-62	9157-29	9157-55	9157-54	9157-51	9157-46	9157-53	9157-52	9157-40	9157-65	9157-72-12
免定 西村(未定免申付につき) ※封紙あり	新田畑名寄帳 西村 ※表紙破損、付箋付紙多い	金銀出入帳 ※水損あり	免定 西村(辰定免申付につき) ※封紙あり、裏書あり巳・午年分につき	本田畑古荒之内文武式卯村並起畝高再調帳 西村	分地願帳 西村 ※54と同文	分地願帳 西村	分ケ地願帳 西村	辰京都行在夫操出シ并御下ケ銀村割勘定帳 ※変色あり、彦太郎他につき	分地願帳 西村 ※最後に一紙文書貼付け	分ケ地願ひかへ 西村	金銀出入帳	免定 西村(丑定免申付につき) ※封紙あり、裏書あり寅・卯年分につき	覚(御立用銀請取につき) ※一繰一二通の一二止、銀一二〇目
明治4年10月	明治4年6月	明治2年□(正)月 吉日	明治元年10月(貼紙) 下は「慶応4」	慶応4年	慶応4年5月	慶応4年5月	慶応4年5月	慶応4年正月	慶応3年7月	慶応3年7月	慶応2年正月吉日	慶応元年10月	元治元年5月
有田出庁参事	西村庄屋清太夫、肝煎惣左 衛門・成太夫、五人組五郎 左衛門外同15名、本茂右 衛門組大庄屋藤本茂右衛門	岩橋藤蔵	西村	角兵衛外12名、西村肝煎元 十郎、同村庄屋清太夫	角兵衛外12名、西村肝煎元 十郎、同村庄屋清太夫	西村肝煎元十郎、庄屋清太 夫、角兵衛外12名	三太夫外61名連印、西村肝 煎元十郎、同村庄屋清太夫 江川庄兵衛	角兵衛外12名	山崎清太夫	松嶋奎之助	有田御代官所	右村庄屋肝煎惣百姓中	西村庄二右衛門
右村庄屋肝煎百姓			右村庄屋肝煎惣百姓中	江川庄兵衛	江川庄兵衛	江川庄兵衛	宮原組大庄屋江川庄兵衛 江川より)岩橋藤蔵(宛て)					右村庄屋肝煎惣百姓中	西村庄二右衛門
一紙	縦帳	横帳	一紙	横帳	縦帳	縦帳	縦帳	横帳	縦帳	横半帳	横帳	一紙	一紙

有田市

9157-56	別名寄二而乗高抜出し帳 ※この表題は貼紙	(近世)		
9157-45	〔金銀出入帳〕 ※表紙なし、破損あり	(近世)	山□□	
9157-44	〔組内金銭出入并組割書きあげ帳〕 ※表紙なし	(近世)		
9157-16	〔免割帳〕 ※前欠、村岡八藏様外藩士7名と御蔵組、一部破損	(近世)	肝煎成右衛門 庄屋佐七	
9157-15	〔田畑高改帳〕 ※表紙白紙	(近世)		
9157-42	金銀出入帳 ※水損あり	(近世、正月)	山□□ (崎力)	
9157-36	金銀□□入帳 ※表紙摩滅あり	(近世、正月)	□□	
9157-35	金銀出□□ ※表紙摩滅あり	(近世、正月8日)	山崎太七	
9157-71	〔当未年貢皆納褒美遣わし目録〕 ※文章二つあり	(未) 11月10日		有田郡西村／西村庄屋年寄
9157-70	覚 (御立用銀受取仮証) ※銀四四八匁	寅 4月22日	有田御代官所	西村山崎清太夫
9157-69	覚 (御立用銀受取仮証) ※銀六四〇目	寅 4月20日	有田御代官所	西村山崎清太夫
9157-14	寅三ヶ村割ひかへ 西村 ※小損	寅 (近世) (4月朔日)	西村	
9157-68	覚 (御立用金につき) ※金三〇両	寅 3月		(西村児嶋清太夫、同村佐兵衛)
9157-57	引高乗高指引帳 西村	明治6年2月(享)	西村	

縦帳 横帳 横帳 横帳 横帳 横帳 横帳 横帳 横帳 横帳 一紙 一紙 一紙 横帳 一紙 縦帳

C 湯浅町

9150-92	9150-91	9150-74	9251-1	9251-8	9251-2	9251-3	9251-4	9251-6	9251	9157-43	9157-39	9157-59
(質物受出・流賃帳部分) ※丁はずれを各丁広げて重ね折り、二六丁、湯浅か	(金銭受取帳(部分)) ※「紀州湯浅」(各人名)の複数種あり、丁はずれを広げて重ね折り、二三丁	(仲間に関する帳面部分一括)(東西南北各組あり) ※各丁広げ重ね折り、寛政6年・明治24年など複数冊分、湯浅村か	大福帳(人名別) ※大変厚い、喜多織工所か	判取帳(金銭受取りにつき) ※喜多織工所か	布織帳(第参号) (織人名と織賃・渡し金等書付け) ※背書「アブ長」	布織帳(第弐号) (織人名と織賃・渡し金等書付け) ※背書「アブラ小」	布番帳(第弐号) ※背書「アブラ小」	第五大区一小区北湊村貧民取調表	【喜多織工所文書】↓以下詳細	金銀出入帳 ※表紙摩滅、一部劣化・破損、途中で金額が匁から円に変わる	金銀出入帳 (近世ノ近代、酉正月ノ戊正月)	(田畑名寄帳) ※表紙なし、付箋貼紙多い
(近代、3年ノ9年頃)	(近世)	(近世ノ近代)	大正8年1月吉日	明治45年□月吉日	明治36年1月吉日	明治35年7月	明治35年1月	明治9年10月		(明治□ノ明治24年)		(文化・文政・天保頃)
			平田寅蔵	□崎重蔵	喜多織工場	喜多織工所、(印)和歌山県有田郡箕島町北湊喜多長三郎	喜多織工所			山崎氏	□(山崎カ)	
一括	一括	一括	横半帳	横半帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	横帳	横帳	縦帳

9150-84	9150-82	9150-90	9150-83	9150-81	9150-80	9150-79	9150-78	9150-77	9150-87	9150-76	9150-75	9150	9150-94
織工賃銭勘定帳	浮貸帳	(日別織及反物書きあげ帳)	賃銭勘定帳	出替帳 □式号	売日記(大目縄・地手綱他につき)	浮貸帳(手綱・周防系・廿廻綱他につき)	蔵入帳	出替帳	金銭出入帳	貨納帳	萬買帳(スヘ縄・五節綱他につき)	【阿瀬誠治郎商店文書】 ↓以下詳細: 75 ~ 90番	大福帳
※小損		※表紙欠				※後半破損	※紐破損						※湯浅か
明治40年1月	明治30年8月	月) (明治39年~40年2月)	明治37年1月	明治37年1月	明治36年□□1月	明治35年□□1月	明治34年1月	明治34年1月	明治30年1月	明治30年1月	明治24年1月(同35年)		明治15年1月吉日
(阿瀬商店)	阿瀬誠治郎舗	阿瀬商舖	阿瀬誠治郎	阿瀬商店	阿瀬誠治郎	阿瀬誠治郎	阿瀬商舖	阿瀬商舖	阿瀬誠治郎	阿瀬誠治郎	阿瀬誠治郎		羽野五郎右衛門
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳		横帳

9189-36	9189-55	9189-35	9189-54	9189-34	9189-33	9189-53	9189-62	9189-68	9189	9150-89	9150-86	9150-88	9150-85
第陸号 売上簿 ※挟み文書一点あり、罫紙	狩猟鑑札并ニ有害鑑札番号住所氏名・岩石破砕許可証写	毎日売揚簿 第貳号 ※挟み文書一点あり、罫紙	岩石破砕許可写・狩猟鑑札番号写簿 火薬類譲渡簿 ※挟み文書一点・丁間挟み文書一点あり	〔売上帳〕 ※表紙欠、題は地より、挟み文書一点あり、年代は前後簿冊と挟み文書より推定	商品売揚帳 ※罫紙、挟み文書あり	岩石破砕許可証・多量火薬譲受許可証有効期限自至ノ期間控簿 ※罫紙、挟み文書一点あり、七丁まで小口より綴込み	多量火薬類譲渡許可証之写	火薬庫改造費悉皆録	〔湯浅町船山商店文書〕 ↓以下詳細	〔売日記〕(二十廻・スへ纏他につき) ※表紙欠	別口 錦糸透場帳 ※中横	〔金銭出納帳〕 ※表紙欠	売日記
(明治) 38年11月25日 日) 39年2月13日	明治38年5月(15日) 同39年8月8日	明治37年3月(3月3日) 同9月24日	明治37年2月(7月5日8日、 同38年5月23日分追記)	(明治36年12月8日) 同37年3月2日	明治36年9月(18日) 同12月7日	明治36年1月	明治35年5月	明治32年夏期同33年3月	(1月) 12月	明治41年9月	明治40年同大正10年頃	明治40年1月	
船山盛	火薬類譲渡船山店	船山商店	船山店	(船山商店)	船山仁兵衛	船山仁兵衛	甲種火薬類商船山仁兵衛	湯浅町大字湯浅甲種火薬商 船山仁兵衛		阿瀬誠治郎	阿瀬誠治郎	阿瀬誠治郎	阿瀬誠治郎
簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊		横帳	横帳	横帳	横帳

9189-4	原簿	※「船山商店」用箋	明治44年度	(印)「和歌山県湯浅町」 船山仁兵衛	簿冊
9189-70	爆薬庫夏季冬季検温・爆薬耐熱試験成績控簿	※罫紙	明治44年7月(1日) 大正元年12月15日	(印)「和歌山県湯浅町」 船山商店	簿冊
9189-20-2	記(代金書上げ差引勘定書)	※罫紙一綴一八丁、一に挟み	明治44年6月19日	(印)「和歌山県新通二丁目 六番地 衡器製作所 畑山儀 三郎」	一綴
9189-64	丁号 火薬類譲受許可証写	※挟み文書一点あり	明治44年5月(大正5年)	船山仁兵衛	簿冊
9189-41	売揚簿	※水損、紙再利用、綴状態悪い	明治44年1月31日 同45年1月15日	船山店	簿冊
9189-60	岩石破砕許可証写 取締規則改正法実行 狩猟免状及鳥獣捕獲鑑札写		明治44年1月/5月	(船山商店)	簿冊
9189-59	岩石破砕・狩猟免状・鳥獣捕獲許可証写	※罫紙	明治43年9月/12月	(船山商店)	簿冊
9189-63	〔多量火薬類譲渡許可証写〕	※罫紙、三人分の写	(明治43年)	(原本はいずれも和歌山県が作成)	一綴
9189-3	総勘定元帳	※「船山商店」用箋	明治43年1月	船山商店	簿冊
9189-9	営業日誌	※厚い、罫紙、挟み文書あり	明治43年1月	(船山商店)	簿冊
9189-2	元簿 甲	※「船山商店」用箋	明治42年1月	船山商店	簿冊
9189-8	営業日誌 乙部	※表紙一部損、罫紙	明治42年9月(13日) 12月31日	(船山商店)	簿冊
9189-40	甲部 毎日売上簿	※水損	明治42年9月16日 同43年2月5日	船山店	簿冊
9189-39	商品売上簿	※表紙なし、紙再利用	明治42年3月15日 9月15日	船山店	簿冊

湯浅町

9189-14	9189-50	9189-21	9189-13	9189-6	9189-45	9189-44	9189-48	9189-43	9189-5	9189-12	9189-11	9189-42	9189-10
仕訳日記	度量衡器仕入簿	貸借元簿	営業日誌	総勘定元簿	商品販売簿 式号	商品売揚簿 番号	注文商品控 附取引先氏名控 式	売揚簿	勘定元簿	〔営業日誌〕	営業日誌	売揚簿	営業日誌
※厚い、「船山商店」用箋	※既製「仕入簿」用箋	※厚い、「船山商店」用箋	※「船山商店」用箋	※「船山商店」用箋	※既製A5版帳簿	※既製A5版帳簿、挟み文書あり	※挟み文書一点あり	※紙再利用	※「船山商店」用箋	※薄い、罫紙	※「船山商店」用箋	※紙再利用、綴紐悪い	※厚い、挟み文書あり
大正4年度	大正3年度	大正3年度	大正3年度	大正3年度	大正2年7月29日 同3年2月7日	大正2年2月(1日) 7月28日	大正2年1月(同5年)	大正元年11月4日 同2年1月31日	明治45年度	明治45年度(12月19日) 12月31日	明治45年度	明治45年1月16日 大正元年11月3日	明治44年度
船山商店 電話(フ)	船山仁兵衛	船山商店	船山商店	船山商店	船山商店	船山商店	船山仁兵衛商店	船山商店	船山商店	(船山商店)	船山商店	船山商店、(印)度量衡・火薬類・諸金物商 兵衛電話(フ)	船山商店
(印)度量衡・火薬・諸金物 商和歌山県有田郡湯浅町 船山商店電話(フ)													
簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	一綴	簿冊	簿冊	簿冊

9189-18	9189-61	9189-26	9189-17	9189-25	9189-67	9189-65	9189-16	9189-49	9189-51	9189-24	9189-23	9189-15	9189-22
仕訳日記	狩猟免状及鳥獣捕獲証仮写	貸借元簿	仕訳日記	貸借元簿	火薬類譲受明細簿	火薬類譲渡明細簿	仕訳日記	注作品控帳	度量衡器販売簿	原簿 之式 (貸借ノ部) (金銀ノ部)	貸借原簿	仕訳日記	貸借元簿
※「船山商店」用箋	※罫紙、紙再利用、挟み文書あり	※厚い	※厚い、「船山商店」用箋	※厚い、「船山商店」用箋	※仕入関係	※「船山商店」用箋	※「船山商店」用箋	※紙再利用	※罫紙	※薄い、「船山商店」用箋	※表紙なし、付箋・挟み文書あり、「船山商店」用箋	※「船山商店」用箋	※「船山商店」用箋
同9年10月22日	大正8年2月以降	大正7年度	同8年7月31日	大正6年度	大正6年10月	大正6年10月	大正6年3月15日	大正6年1月(同8年)	大正5年度・同6年度	大正5年度	大正5年度	大正5年度3月1日	大正4年度
船山商店(印) 和歌山県有田郡湯浅町	船山銃砲火薬店	船山商店	船山商店(印) 和歌山県有田郡湯浅町	船山商店	火薬商船山武三郎	火薬商船山武三郎	船山商店(印) 和歌山県有田郡湯浅町	船山商店	船山度量衡器店	船山商店	船山商店(印) 和歌山県有田郡湯浅町	船山商店(印) 和歌山県有田郡湯浅町	船山商店(印) 和歌山県有田郡湯浅町
簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊

湯浅町 広川町

9150-58	9150-50	9189-73	9189-72	9189-32	9189-31-2	9189-31-1	9189-30	9189-28	9189-66	9189-29	9189-52	9189-27
〔上津木村土地台帳〕	三番字森寄(地番別略図)	日々晴雨小道具貸往来人日毎小遣馬来状并返書控 ※一六丁よりにて小口繰込、紙再利用	両節季支払差引勘定取払并二毎日小遣控簿 ※紙再利用、水損、挟込み文書あり	B号 掛代 ※〔船山商店〕用箋(ルーズリーフタイプ)	〔代金支払の件につき葉書〕 ※1に挟み	A号 掛代 ※〔船山商店〕用箋(ルーズリーフタイプ)、葉書挟込み2へ	貸借元簿 ※黒表紙、〔船山商店〕用箋	貸借原簿 ※紐破損、〔船山商店〕用箋	火薬類譲渡明細帳 ※〔船山商店〕用箋	貸借原簿 ※〔船山商店〕用箋	度量衡器仕入簿 ※罫紙	貸借元簿 ※厚い、〔船山商店〕用箋
※表紙欠、紐破損、〔土地台帳〕用紙	※広川町広、地番百ノ百二十番	明治41年	明治36年9月旧7月	昭和6年度(7年2月29日迄)	(消印)7・2・2	昭和6年度(7年2月29日)	大正12年度	大正10年度	大正10年11月	大正9年度	大正9年1月	大正8年度
(近代)	(近代)	船山台所	船山台所	船山商店	城山西小学校長三角隆二 量衡器商店	船山商店	船山商店	船山商店	火薬商船山武三郎	船山商店	船山武三郎	船山商店
簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊

d 広川町

9158-62-1	9158-60-2	9158-60-1	9158	9150-57	9046-33	9046-32	9046-31	9046-30	9045
嘉永五年子御年貢納通	嘉永五年子御年貢納通	嘉永五年子御年貢納之通	【奥村武内家文書】 ↓以下詳細 ※マイクロ写真別にある	県税第二回追加戸数割徴収帳 御霊村役場 ※後欠、「県税追加戸数割元簿」用紙、紐破損	紀伊国有田郡徳田村(図) ※彩色	紀伊国有田郡吉見村(図) ※彩色	紀伊国有田郡東丹生図村(図) ※彩色	紀伊国有田郡東丹生図村(図) ※彩色	〔第五大区三小区管内里程絵図〕 ※彩色
※一繰六点の一	※一繰二点の二止	※一繰二点の一		明治39年1月	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)
(嘉永6年か)	(嘉永6年) 丑12月	(嘉永6年) 丑9月 晦日		御霊村役場					
納庄屋甚右衛門	納庄屋弁左衛門	御蔵庄屋弁左衛門							
伴次郎	伴次郎	伴次郎							
一紙	一紙	一紙		簿冊	図	図	図	図	図

e 吉備町

9150-61	9150-60	9150-59
除名寄帳	〔下津木村土地台帳〕 ※表紙欠、紐破損、「土地台帳」用紙	〔上津木村土地台帳〕 ※表紙欠、「土地台帳」用紙
※厚い、「地租名寄帳」用紙		
大正5年4月	(近代)	(近代)
津木村役場		
簿冊	簿冊	簿冊

吉備町

9158-68-8	9158-68-7	9158-68-6	9158-68-5	9158-68-4	9158-68-3	9158-68-2	9158-68-1	9158-78	9158-62-6	9158-62-5	9158-62-4	9158-62-3	9158-62-2
嘉永六年丑御年貢納通	嘉永六年丑御年貢納通	嘉永六年丑御年貢納通	嘉永六年丑御年貢納通	嘉永六年丑御年貢納通	嘉永六年丑御年貢納通	嘉永六年丑御年貢納通	嘉永六年丑御年貢納通	嘉永五年子小入用納通	嘉永五年子御年貢納通	嘉永五年子御年貢納通	嘉永五年子御年貢納通	嘉永五年子御年貢納通	嘉永五年子御年貢納通
※一繰八点の八止	※一繰八点の七	※一繰八点の六	※一繰八点の五	※一繰八点の四	※一繰八点の三	※一繰八点の二	※一繰八点の一		※一繰六点の六止	※一繰六点の五	※一繰六点の四	※一繰六点の三	※一繰六点の二
15日(嘉永7年か) 12月	25日(嘉永7年か) 12月	25日(嘉永7年か) 12月	25日(嘉永7年か) 12月	7日(嘉永7年) 寅正月	23日(嘉永7年) 寅正月	(嘉永7年) 寅2月	(嘉永7年) 寅3月	22日(嘉永6年か) 12月	18日(嘉永6年か) 12月	22日(嘉永6年か) 12月	22日(嘉永6年か) 12月	22日(嘉永6年か) 12月	24日(嘉永6年) 丑正月
庄屋仲右衛門	納庄屋庄蔵	納庄屋庄蔵	納庄屋庄蔵	納庄屋市右衛門	納庄屋甚右衛門	納庄屋弁左衛門	御蔵庄屋弁左衛門	庄屋利平次	庄屋仲右衛門	納庄屋庄蔵	納庄屋庄蔵	納庄屋庄蔵	納庄屋市右衛門
奥村伴四郎	伴次郎	伴次郎	伊せ講伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	奥村伴四郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一繰	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

9158-11	9158-10	9158-9	9158-8	9158-7	9158-6	9158-5	9158-4	9158-3	9158-2	9158-1	9158-79	9158-76-2	9158-76-1
銀米出入帳	銀米出入帳	銀米出入帳	銀米出入帳	銀米出入帳	銀米出入帳	銀米出入帳	銀米出入帳	銀米出入帳	銀米出入帳	銀米出入帳	明治七年戊寅米小入用通	嘉永六年丑小入用納通	嘉永六年丑小入用納通
						※挟み文書一点						※一纏二点の二止	※一纏二点の一
明治11年正月吉日	明治10年正月吉日	明治9年正月吉日	明治7年正月吉日	明治5年正月吉日	安政7年正月吉日	安政6年正月吉日	安政5年正月吉日	安政5年正月吉日	安政4年正月吉日	安政3年正月吉日	日 (明治) 9年2月24	12月20日	12月20日
伴治郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	副戸長辻岡彦大夫	庄屋利平次	庄屋利平次
											武内伴次郎	伊勢謙伴次郎	伴次郎
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	一纏	一紙	一紙

吉備町

9158 -25	9158 -24	9158 -23	9158 -20	9158 -22	9158 -19	9158 -18	9158 -21	9158 -17	9158 -16	9158 -15	9158 -14	9158 -13	9158 -12
奉公人給日用賃払帳	奉公人給日用賃払帳	萬日記覚帳	萬覚帳	萬日記覚帳	萬覚帳	萬覚帳	萬日記覚帳	萬覚帳	萬覚帳	萬覚帳	銀米出入帳	銀米出入帳	銀米出入帳
万延2年正月吉日	安政7年3月吉日	明治15年正月吉日	明治15年正月吉日	明治14年正月吉日	明治14年正月吉日	明治13年正月吉日	明治12年正月吉日	明治12年正月吉日	明治11年正月吉日	安政5年正月吉日	明治15年正月吉日	明治13年正月吉日	明治12年正月吉日
一ツ松作左衛門	一ツ松作左衛門	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴治郎	伴治郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴次郎	伴治郎
横帳													

9158 -56	9158 -55	9158 -49	9158 -54	9158 -35	9158 -34	9158 -33	9158 -32	9158 -31	9158 -30	9158 -29	9158 -28	9158 -27	9158 -26
銃之通	銃之通	木の通	柏子鱈之通	奉公人給日用賃払帳									
明治6年10月	明治5年4月	(近世) 酉1月	弘化5年正月	明治15年正月吉日	明治13年正月吉日	明治12年正月吉日	明治11年正月吉日	明治10年正月吉日	明治3年正月吉日	慶応4年正月吉日	慶応3年正月吉日	元治2年正月吉日	文久3年正月吉日
吹屋小三郎	吹屋小三郎	中島村木安	大坂屋半六	伴次郎	伴次郎	伴治郎	伴治郎	伴次郎			伴次郎	伴次郎	伴次郎
奥村半四郎	奥村半四郎	奥村新家半四郎	ヲキ村武内半四郎										
横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	横帳									

9158 -39	9158 -43	9158 -42	9158 -53	9158 -41	9158 -40	9158 -50	9158 -39	9158 -58	9158- 38-2	9158- 38-1	9158 -57	9158 -37	9158 -36
● 蜜柑送り控帳	米之通	米之通	箱木之通	米之通	米之通	箱之通	● 米之通	銚之通	記(請求書)	米の通	銚之通	米の通	米の通
※一冊の裏より							※一冊の表より		※竹林は醤油製造業者、38-1に括り付け	※括り付け文書あり1、2へ		※内容白紙	
明治12年9月吉日	明治12年正月吉日	明治12年正月吉日	明治11年	明治11年正月吉日	明治11年正月吉日	(明治力)10年子 (明治10年は丑)	明治10年正月吉日	明治9年旧4月	月19日 (明治10年力)丑1	明治9年旧正月11日	明治8年2月	明治8年1月	明治7年1月
作左衛門	伴次郎	伴次郎	中しま木や安右衛門	伴次郎	伴次郎	中島木屋安右衛門	奥村武内伴次郎	吹屋小三郎	竹林重太郎	奥村伴次郎	吹屋小三郎	ヲク伴次郎	奥村伴次郎
	栖原田中寅吉	栖原成田要助	奥村半四郎	栖原村戎屋嘉助	栖原村田中寅吉	奥村半四郎	栖原村戎屋嘉介	奥村半四郎	奥村伴次郎	栖原村垣内多次右衛門	奥村半四郎	栖原成田要助	栖原田中寅吉
横半帳	横半帳	横半帳	一紙	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳						

9158 -85	9158 -84	9158 -83	9158 -82	9158 -81	9158 -80	9158 -48	9158 -52	9158 -59	9158 -47	9158 -51	9158 -44	9158 -46	9158 -45
〔字蔵垣内丈量図面〕 ※方眼紙に略図二六点・地番・地主・反別等あり	〔米元利書上げ断簡〕	〔銀元利書上げ〕 ※紙再利用	〔米元利書上げ〕 ※内容四行のみ、紙再利用	〔米元利書上げ〕 ※紙再利用	〔米元利書上げ〕	米の通	箱の通	銃之通	米之通	箱之通	米之通	米之通	米之通
(明治)	(近世)	(寅ノ申)	(寅)	(寅ノ子)	(寅ノ子)	明治15年	明治15年旧10月	明治14年4月	明治14年旧正月	明治13年9月吉日	明治13年2月	明治13年正月	明治13年正月
						伴次郎	ノダ「重	吹屋小三郎	伴次郎	長田九右衛門	奥村武内伴次郎	伴次郎	伴次郎
						栖原田中寅吉	奥村武内伴治郎	奥村半四郎	栖原田中寅吉	奥村伴治郎	栖原中尾権兵衛	田中寅吉	成田要助
図一綴	一紙	一綴	一綴	一綴	一綴	横半帳							

乙-6-5	寅免割帳(写) 野田村 ※一冊合冊の五	宝曆8年霜月	野田村(写人は利兵衛)		堅帳
乙-6-9	〔丑年田畑高遠免分等清算勘定書写〕 ※二冊合冊の九、「寛」七点写あり	宝曆8年4月			堅帳
乙-6-4	丑免割帳 長田村 丑ノ免当り指引 野田村 ※二冊合冊の四	宝曆7年霜月	長田村・野田村		堅帳
乙-6-3	御毛見町積差出帳 藤浪組長田村控 ※一冊合冊の三	宝曆7年8月	藤並組長田村		堅帳
乙-6-2	御免割帳 ※一冊合冊の二	宝曆4年12月	野田村		堅帳
乙-6-1	卯御免割帳 ※一冊合冊の一、わ部分に挟み文書一点あり	享保20年霜月吉日	野田村		堅帳
乙-6	年年免割帳(写) 野田村 ※近世に二冊を合冊しこの表紙を付す、以下1~11各冊詳細	(享保20年霜月) 明和6年霜月	野田村		堅帳
乙-5	新田畑検地帳写 野田	宝永3年10月(表紙には他に「安永3年7月吉日」もあり)	御勘定人島吉太夫、伊藤又左衛門、松沢勘左衛門	野田村庄屋肝煎百姓中	堅帳
乙-8	名寄帳 野田村 ※変色・裏表紙破損あり、表紙書付「慶長六年辛丑より九拾八年二成」	元禄11年5月	野田村庄や三郎四郎、同村肝煎弥平次・九兵衛、長兵衛、同村五人組番十郎外5名、改大庄屋河島五十郎		堅帳
乙-9	御検地帳写 在田郡野田村 ※変色あり、付箋多い	慶長6年8月18日 / 寛延元年9月	(藤並之内野田村検地奉行) 中島利左衛門		堅帳
乙-7	紀州在田郡藤並之庄野田村御検地帳写	慶長6年8月18日(写) 元禄7年6月27日	長谷川忠左衛門組山城内中島理左衛門(写) 渥美太郎兵衛・橋本与次之丞	田村庄屋百姓中	堅帳
乙-10	〔名寄帳写 藤並之内野田村〕 ※表紙なし、変色あり、挟み文書あり、付箋多い	(慶長6年8月19日)	検地奉行 中島利左衛門		堅帳
乙-4	名寄帳(写) 在田郡野田村 ※小損、裏表紙に「北野田」とあり	慶長6年8月18日 / (享保16年の貼紙あり)	長谷川忠左衛門組山城内(検地奉行) 中島理左衛門		堅帳
乙	〔藤並組野田村文書〕 ↓以下詳細				

吉備町 金屋町

Z-2	Z-1	Z-3	Z-6-10	Z-6-11	Z-6-8	Z-6-7	Z-6-6
就切支丹宗門御改家並印形帳 ※後ろに八歳子寛・死人寛・入人寛・人数増減寛・小入用増減寛の控書きあり	就切支丹宗門御改家並印形帳 野田村 ※後ろに八歳子寛・死人寛・入人寛・人数増減寛・小入用増減寛の控書きあり	御検地々曳帳 野田組両家分	丑ノ免割帳 野田村 ※二冊合冊の一〇	牛ノ免割帳 野田村 ※二冊合冊の一	巳ノ免割帳(写) 野田村 ※二冊合冊の八	辰免割帳(写) 野田村 ※二冊合冊の七	卯免割帳(写) 野田村 ※二冊合冊の六
元治2年正月	文久4年正月	安永10年孟夏吉日	明和6年霜月	宝曆12年極月	宝曆11年極月	宝曆10年霜月	宝曆9年霜月
庄屋良右衛門、肝煎作太夫	庄屋太左衛門、肝煎作太夫	(印)「北埜田」	野田村	野田村	野田村(写人は利兵衛)	野田村庄や忠左衛門、御蔵庄や利兵衛、肝煎作太夫、惣代五人組頭清右衛門外6名(写人は利兵衛)	野田村(写人は利兵衛)
井爪吉右衛門	野田孫左衛門						
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

f 金屋町

9043	9042	9045	9039-18	9039-6
社寺堂庵現数取調帳 第五大区四小区有田郡三十七ヶ村分	明治神名帳御編纂二附村社由緒明細書絵図面進達 第五大区四小区村社拾巻ヶ社分 ※絵図は彩色(本年一月内第七号御達により)とあり	(第五大区三小区管内里程絵図) ※彩色	第五大区三小区西ヶ峰村(絵図) ※彩色	紀伊国在田郡彦ヶ瀬村(絵図) ※小字名・地番あり・彩色
明治10年4月	明治10年4月	(近代)	(近代)	(近代)
戸長中井総十郎、小區長片畑源左衛門	戸長中井総十郎、小區長片畑源左衛門			
和歌山県令神山郡廉	和歌山県令神山郡廉			
堅帳	堅帳	図	図	図

金屋町

9150-12	9150-11	9150-36	9150-10	9150-9-1	9150-8	9150-9-2	9150-7	9150-6	9150-5	9150-4	9150-3	9150-2	9044
本田畑地所差出帳 第五大区四ノ小区市場村控 ※表紙に「老番」「武番」四冊之内」とあり	新田畑名寄帳 市場村 ※厚い、挟み・貼付け文書多い	田畑地価修正一筆限表 (鳥屋城村大字金屋・中野分) ※後欠、綴紐欠、付箋あり、専用用紙	山林原野反別一筆限帳 第四金屋村 ※表紙朱筆「第六六号」	御検地帳 写 石垣組金屋村 ※紐破損・付箋多い、最終頁に文書貼付け9-2へ、表紙朱筆「第一号」	名寄帳 上 二冊之内 ※表紙朱筆「第二ノ内」	一札之事(兵十郎所持田地用水溝床に成り床米出入済につき) ※9-1の最終頁に貼付け	新畑御検地帳写シ 有田郡石垣金屋村 ※内容一筆	新畑検地帳 有田郡石垣組金屋村 ※表紙朱筆「第三号」、内容一筆のみ	新畑御検地帳写 在田郡石垣組金屋村	新畑検地帳 在田郡石垣組金屋村 ※表紙朱筆「第七号」	有田郡石垣金屋村新田畑地誌検地帳 ※表紙朱筆「第六号」	有田郡石垣金屋村新田畑地誌検地帳写シ ※表紙朱筆「第四号」、付箋多い	第壹 社寺宝什物取調帳 第五大区四小区
明治6年2月	宝永5年4月 / (寛政5年霜月写替)	明治23年	明治9年12月	慶長6年8月15日 / (元禄10年↓明治2年写替)	明治元年8月	文化9年5月	寛延4年9月	寛延4年9月	享保元年霜月	享保元年9月	宝永3年8月	宝永3年8月 / 同5年4月	明治10年4月
市場村	市場村百姓定七(外59名連印)・庄屋善左衛門・肝煎三平右衛門 改大庄屋神保等	(前半金屋分)鳥屋城村大字金屋右持主総代人西本藤四郎・片畑主藏・芝崎理左衛門・村上宗十郎	第五大区四小区金屋村村代片畑伊助・芝崎理左衛門、副戸長橋本新太郎	金屋村庄屋分之助、外肝煎・頭百姓行司・五人組頭行司など23名・組庄屋・大庄屋高垣八左衛門	石垣組金屋村	金屋村兵十郎、同村源藏	高木五兵衛・真木六之右衛門・阿部小助 / (この後に改大庄屋連印) 金屋村庄屋・肝煎・納庄屋・	高木五兵衛・真木六之右衛門、阿部小助 小笠原彦左衛門、西郷伝左衛門、田所平左衛門 / (この後に金屋村庄屋・肝煎・五人組頭・改大庄屋連印)	小笠原彦左衛門、西郷伝左衛門、田所平左衛門	在方役人鈴木忠右衛門・伊藤又左衛門・松沢勘左衛門	(宝永3)鈴木忠右衛門・伊藤又左衛門・金屋村庄屋加兵衛・肝煎金九郎・五人組頭名・改大庄屋神保市右衛門	戸長中井総十郎、小区長片畑源左衛門	和歌山県令神山郡廉
堅帳	堅帳	簿冊	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

9150-24	9150-23	9150-22	9150-21	9150-20	9150-19	9150-18	9150-35	9150-17	9150-16	9150-15	9150-14	9063	9150-13
野取絵図調帳 紀伊国有田郡中野村 ※各々略図あり	池々反別取調帳 中野村	本田畑名寄帳 中野村 ※付箋多い、一部劣化破損	新畑地詰検地帳写 中野村 ※紐破損あり、付箋多い	本田畑御検地帳写 中野村 ※付箋あり	耕宅地々価一筆限帳 中井原村 ※表題は貼紙、元の題は「地価調帳」、紐破損、表紙朱筆「老書」、付箋あり	耕宅地反別一筆改帳 中井原村(税法改正につき) ※表紙は貼り紙、元の題は「一筆限帳」	大池菖蒲谷両池溝床荒改帳(中井原村)	本田畑名寄帳 有田郡中井原村 ※裏みかえしに「東半三郎動役中認」とあり、厚い・付箋多い	新田畑并新々田畠名寄帳 有田郡中井原村 ※裏みかえしに「東半三郎動役中認」とあり	新田畑御検地帳写 有田郡中井原村 ※付箋多い	地価取調帳 市場郷控 ※表紙に「四冊ノ内三冊」とあり	畑返新田地引并溝床帳	本田畑地所差出帳 第五大区四ノ小区市場村控 ※表紙に「参番四冊之内」とあり
明治19年11月	明治10年1月	宝永5年5月/明和3年11月 ↓文政6年2月(認替)	宝永2年4月/同5年5月、文政6年2月(改)	慶長6年8月/元禄10年6月 ↓文政6年2月(認替)	明治9年5月	明治8年11月	明治5年正月	天保11年8月(写替) (享保7年極月)	天保11年8月(写替) (宝永5年10月) 天保11年8月(写替)	宝永3年8月/同5年10月	明治9年8月	明治6年4月	明治6年2月
持主上山久吉外同15名、地主惣代上山八右衛門・中野山宗十郎代理小沢竹之助	中野村副戸長上山彦右衛門	中野村	大夫、松沢勘左衛門、堀尾十之右衛門 (宝永2年)御勘定人嶋吉	林二郎右衛門・恒川久左衛門/中野村庄屋喜兵衛・肝煎次左衛門	中井原村	中井原村百姓惣代山本利兵衛、同中井吉十郎、副戸長中西善右衛門	石垣組郷長神保直之助	煎吉十郎、納庄屋次八、郷庄屋半三郎	中井原村百姓21名連印、肝煎吉十郎、納庄屋次八、郷庄屋半三郎	在方役人辨本惣右衛門、伊藤又左衛門、中井原村庄屋連印、外村役人と改大庄屋	市場村	市場村	市場村惣代川島平右衛門・上村源八、村代小沢庄左衛門、副戸長中西善右衛門
和歌山県知事松本鼎			中野村庄屋肝煎百姓中			和歌山県令神山郡廉				中井原村庄屋肝煎百姓中			
堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

金屋町

9150-34	新田畑御検地帳 (長谷川村) ※表紙朱筆「第七十八号」、付箋多い	宝永2年4月	改大庄屋神保市右衛門連印 左衛門後長谷川村御頭吉 左衛門後長谷川村御頭吉 御頭定人嶋尾重吉松戸助 組頭・神保伝六	(長谷川村)	堅帳
9150-33	本田畑御検地帳 石垣組長谷川村 ※表紙朱筆「第七十五号」、付箋多い	慶長6年/元禄10年	畑田八助、川嶋四郎大夫/ 庄や吉左衛門・肝煎・五人 組頭・神保伝六	長谷川村庄屋肝煎中	堅帳
9150-72	〔漬地・地目交換地取調書類〕(小川村) ※丁はずれ一括、付箋あり、地域確定は人名より	(近代)			一括
9150-38	土地台帳 小川村 ※後欠、小損、専用用紙、表紙書付「百八十九番至二百三十番」(八冊ノ内)	(明治)	(小川村)		簿冊
9150-32	見取図(鳥屋城村大字小川地番図) ※字切図、劣化破損あり	(近代)			図一綴
9150-30	〔古荒起帳 小川村〕 ※表紙欠、付箋あり	(明治)	小川村百姓惣代服部小左衛門・丹生新右衛門外2名、 同村代森本幸四郎、同副戸 長岡彦右衛門	和歌山県知事石井忠亮	堅帳
9150-37	田畑地価修正一筆限表 (鳥屋城村大字小川) ※厚い、紐破損、水損、付箋あり、専用用紙	明治23年	持主惣代人古岩宇右衛門、 岩本喜平次・石谷伊之助、 村長上山宗十郎	和歌山県知事松本鼎	簿冊
9150-31	脱落岸廢除野取絵図 有田郡小川村 ※各々略図あり	明治20年5月10日	小川村持主小畑伊助外同77 名、金屋村外五ヶ村戸長上 山宗十郎	和歌山県知事松本鼎	堅帳
9150-47	荒地段別地種組替願(小川村) ※県令聞き届け、「金屋村外五ヶ村戸長役場」用箋	明治18年12月20日	有田郡小川村持主小畑伝兵 衛、戸長上山宗十郎	和歌山県令松本鼎	野紙
9150-29	新田畑御検地帳 (有田郡石垣組小川村) ※付箋多い、後半「新畑地帳写 正徳元年辰九月」、最後に村役人と改大庄屋連印	天保15年8月	堀尾吉太夫(として)御勘定 堀尾十之右衛門左衛門正 徳四郎左衛門、伊藤半正 林四郎左衛門、田所連左衛門	小川村庄屋肝煎百姓中	堅帳
9150-28	古荒起検地帳 石垣組小川村 ※付箋あり	天保15年8月	小川村		堅帳
9150-27	本田畑名寄帳 三番(石垣組小川村) ※裏表紙書「四冊之内 石垣組小川村」、厚い、付箋多い	天保15年8月	吉		堅帳
9150-26	本田畑名寄帳 七番(石垣組小川村) ※裏表紙書付「四冊之内 石垣組小川村」、厚い、付箋多い	天保15年8月	福井中		堅帳
9150-25	〔田畑水帳写 有田郡石垣組小川村〕 ※前欠、劣化破損大	延宝7年11月8日	荒瀬弥五左衛門、片桐武兵 衛ノ、この後ろに小川村庄 屋・肝煎・五人組頭と改大 庄屋神保市右衛門連印		堅帳

9150-54	糸川 土地台帳小字集計簿 ※「土地台帳集計簿」用紙、挟み文書あり	(近代)	石垣村役場	
9150-53	土地台帳 糸川 五号(五冊ノ内) ※「土地台帳」用紙	明治41年	石垣村役場	
9150-52	土地台帳 糸川 四号(五冊ノ内) ※「土地台帳」用紙	明治41年	石垣村役場	
9150-51	土地台帳 糸川 老号(五冊ノ内) ※「土地台帳」用紙	明治41年	石垣村役場	
9150-48	〔地目交換届留 金屋村外五ヶ村〕 ※六八丁、全丁広げ重ねて一括仮綴	(明治21年分)	(各持主)	(和歌山県知事松本鼎)
9150-46	有達第拾五号(荒地の内地券書換請願の件につき)	明治20年1月20日	有田郡長野田四郎	金屋村外五ヶ村戸長役場
9150-40	開墾地 下 荒年期限願留 ※薄い	明治19年	(金屋村外五ヶ村戸長役場)	(各々和歌山県知事松本鼎)
9150-39	開墾地及地目交換 願留 ※「金屋村外五ヶ村戸長役場」用箋ほか、薄い	明治19年	金屋村外五ヶ村戸長役場	〔各々「和歌山県令」又は「知事」の松本鼎〕
9150-49	〔開墾地 下 年期限満限ノ分御検査願ほか土地に関する願書類綴〕	(明治17年ノ同19年)	(有田郡金屋村外五ヶ村戸長役場)	(和歌山県令松本鼎ほか)
9150-43	〔地租改正時脱落地の地位・等級・地価取調へ提出書類綴 長谷川村〕 ※大損・綴部分から大劣化	(明治20年)	(長谷川村持主外、金屋村外五ヶ村戸長上山宗十郎)	(和歌山県知事松本鼎)
9150-42	山芝ヲ畑ニ開墾願(綴)(長谷川村) ※綴部分一部劣化	(明治20年)	有田郡長谷川村	(和歌山県知事松本鼎)
9150-41	〔長谷川村開墾地分反別地位等級・地価取調控〕 ※野取絵図面添え	(明治18年)	有田郡長谷川村持主総代登尾徳右衛門・東喜三郎・猪谷利助・金屋村外五ヶ村戸長上山宗十郎	和歌山県令松本鼎
9150-45	〔有田郡長谷川村明治十九年荒地免租年期限ノ分反別地位地価取調表綴〕	(明治18年12月20日)	(右村各々持主・戸長上山宗十郎又は戸長代理など)	(和歌山県令松本鼎)
9150-44	地位等級調書 第五大区四ノ小区有田郡長谷川村 ※專用用紙、劣化・付箋あり	明治9年1月19日	惣代永井茂右衛門・同新高垣代七郎・國戸長山崎十治郎・戸長中井綴十郎・小区長神保市右衛門	和歌山県令神山部廉

9046-10	長谷川村之図												
9046-11	紀伊国有田郡中井原村(図)												
9046-9	有田郡中井原村(図)												
9046-8	紀伊国有田郡小川村(図)												
9046-7	(有田郡市場村図)												
9046-27	紀伊国有田郡川口村(図)												
9046-6	有田郡川口村(図)												
9046-5	有田郡吉原村図												
9046-4	紀伊国有田郡歡喜寺村(図)												
9046-3	紀伊国有田郡松原村(図)												
9046-1	紀伊国有田郡宇井荅村(図)												
9046	【第五大区四小区二十四ヶ村絵図】(字切図) ↓以下詳細 ※11・12は清水町、30・32は吉備町へ												
9150-56	田畑地価修正一筆限表 五西月村大字沼田・本堂・大圃・小原・中峰 ※表題貼り紙、付箋貼紙あり ※専用用紙	明治23年	右持主総代(字別各々三人)、 村長三隅岩楠	和歌山県知事松本鼎	簿冊								
9150-55	山林原野反別一筆限帳 紀伊国有田郡延阪村内伏羊 ※表題貼り紙、付箋貼紙あり	明治9年12月			簿冊								
	※表題後筆鉛筆書				図								

9046 -26	9046 -23	9046 -22	9046 -21	9046 -20	9046 -19	9046 -18	9046 -17	9046 -16	9046 -14	9046 -25	9046 -13	9046 -12	9046 -15
紀伊国有田郡中峰村(図)	紀伊国有田郡中峰村(図)	紀伊国有田郡延阪村枝郷伏羊(図)	紀伊国有田郡延阪村枝郷伏羊(図)	紀伊国有田郡沼田村(図)	紀伊国有田郡尾ノ上村(図)	紀伊国有田郡瀬井村(図)	紀伊国有田郡瀬井村(図)	紀伊国有田郡冬村(図)	紀伊国有田郡小原村(図)	紀伊国有田郡彦ヶ瀬村(図)	紀伊国有田郡彦ヶ瀬村(図)	中野村之図	長谷川村(図)
			※大撰								※大撰	※表題後筆鉛筆書	※表題後筆鉛筆書
図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図

9148 -13	9148 -10	9148 -12	9148 -6	9148 -11	9148 -9	9148 -5	9148 -4	9148 -3	9148 -2	9148 -8	9148 -7	9148 -1	9148
紀伊国有田郡沼村(総字絵図) ※彩色	紀伊国有田郡三田村絵図 ※彩色	〔大字下湯川総字絵図〕 ※彩色	有田郡八幡村大字下湯川全図及字限地図面(但し全図はなし) ※一級一八舖、小字ごとの切絵図、一三丁目以降インク染み	紀伊国有田郡宮川村(総字絵図) ※彩色	〔大字宮川道路・防火線図面〕	〔八幡村大字宮川字限り図面〕 ※一級一舖、小字ごとの切絵図	八幡村大字久野原字限里道取調図 ※一級三舖、小字ごとの切絵図	紀伊国有田郡八幡村大字大蔵字限り絵図面表 ※一級十八舖、小字ごとの切絵図	地押調査更正 字地図面 清水村 ※一級六〇舖、小字ごとの切絵図	字図面 有田郡八幡村大字遠井 ※一級二三舖、小字ごとの切絵図	〔字遠井字限取調図面〕 ※一級二三舖、小字ごとの切絵図	遠井字限図面 遠井図面 ※一級二四舖、小字ごとの切絵図	〔八幡村文書〕 ↓以下詳細
明治8年10月	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	明治34年12月	明治24年2月	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	
									(印)「八幡村役場」			八幡村役場	
図	図	図	図一級	図	図	図一級	図一級	図一級	図一級	図一級	図一級	図一級	

⑦日高郡域（御坊市含む）

a 旧日高郡域

8990	行司（日高郡内支配年中行司并文書雛形書付け） ※劣化、大庄屋所持か、代官・郡奉行か	文政13年	古田兵治郎	横半帳
------	--	-------	-------	-----

b 御坊市

9167-8	御用留 八冊目	嘉永7年10月上旬	御坊村庄屋	縦帳
9167-7	御用留 七冊目	嘉永7年6月中旬	御坊村庄官	縦帳
9167-6	御用留 六巻目	嘉永7年2月上旬		縦帳
9167-5	御用留 五巻目	嘉永6年10月季	御坊村庄屋	縦帳
9167-4	御用留 四冊目	嘉永6年中秋	御坊村	縦帳
9167-3	御用留 三冊目	嘉永6年3月中旬		縦帳
9167-2	御用留 貳冊目 ※大損	嘉永5年極月上旬		縦帳
9167-1	御用留	文化3年2月	御坊村	縦帳
9167	【御坊村文書】↓以下詳細 ※マイクロ写真別に取り、「御坊市史」に抄録			
9168	村共有山反別取調書入 明治十五年控帳 ※小型	明治15年	熊野村山添基六	縦帳

旧日高郡 御坊市

9167 -22	9167 -21	9167 -20	9167 -19	9167 -18	9167 -17	9167 -16	9167 -15	9167 -14	9167 -13	9167 -12	9167 -11	9167 -10	9167 -9
御用留抜写 拾番之内ヨリ抜写	御用留抜写 八番九番之内ヨリ抜写 ※竪破損	御用留抜写 七番八番之内ヨリ抜写	御用留写 五番六番之内ヨリ写ス	御用留写 第三番ヨリ写ス	御用留抜写 貳番ヨリ写ス	御用留写 壹番貳番ヨリ写	御用留 拾五卷内	御用留 拾四卷目	御用留 拾三冊目	御用留 拾貳冊目	御用留 拾冊目 ※大損、不蘭頁あり	御用留 九巻目	御用留
文久2年3月ノ	文久元年8月ノ2月	万延2年正月ノ8月	安政6年9月頃ノ万 延元年12月	安政6年5月下旬ノ	安政5年8月ノ同6 年5月	安政5年8月ノ	安政5年6月中旬	安政4年霜月上旬	安政4年2月下旬	安政3年8月上旬	安政2年5月上旬	安政2年正月下旬	嘉永7年11月上旬
							御坊村庄官	御坊村庄家	御坊村庄官	御坊村庄官	御坊村庄屋	御坊村庄官	御坊村庄屋
竪帳	竪帳	竪帳	竪帳	竪帳	竪帳	竪帳	竪帳	竪帳	竪帳	竪帳	竪帳	竪帳	竪帳

御坊市

9167-54	9167-24	9167-28	9167-32	9167-31	9167-30	9167-29	9167-34	9167-33	9167-38	9167-36	9167-37	9167-35	9167-23
御坊村諸事控	日高郡浦組被仰渡庄屋肝煎并狼煙立印形帳 天田組 ※『歴史近世史料編一』所収	御貸麦控へ写 ※書付「此帳面者先役字右衛門殿より麥持參之節添参り候帳面也」	御貸麦貸渡し印形帳	御貸麦貸渡し印形帳	御かし麦取立帳	御貸麦取立帳	御貸麦取立控帳	御貸麦取立控帳	御貸麦貸渡し印形帳	御貸麦貸渡し印形帳	御貸麦貸渡し印形帳	御貸麦貸渡し家別控へ	御用留抜写 拾壹番拾貳番拾三番之内より抜写
延2年2月 (明和3年4月)万	享保3年2月	(近世)	文久3年3月4日	文久2年	文久2年6月25日	文久2年6月25日	文久元年	文久元年	万延2年	安政7年2月	安政6年3月	安政5年□月	文久2年7月
(御坊村)	天田組		御坊村庄屋	御坊村庄屋	御坊村庄屋	御坊村庄屋	御坊村庄屋	御坊村庄屋	御坊村庄屋	御坊村庄屋	御坊村庄屋	御坊村庄屋	
縦帳	縦帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	縦帳

御坊市

9167-43	9167-47	9167-25	9167-39	9167-45	9167-40	9167-41	9167-44	9167-26	9167-46	9167-51	9167-27	9167-57	9167-52
施行米売立控	未年郡組割賦帳 御坊村 ※小損	田畑屋敷質入控写	廿五ヶ寺宗門改手形家別控帳 ※紐破損	式拾四ヶ寺宗門改手形家別控	廿四ヶ寺宗旨手形控	増補浦組人数書上写 当卯年八歳子名前書上写 家数惣人数并 二牛馬増減写	坊村 当寅年八才子名前書上 同寅年家数惣人数牛馬共増減書上 御	増補浦組人数書上 当丑八歳子宗門改名前書上 当丑家数惣人 数并牛馬増減 御坊村	上納差引勘定帳 ※小損	加地子米請取通	諸職人諸商人小入用凌二付御免札願二付御聞濟二相成御免札下 リ之御通じ写	浦組御増補御用留 御坊村控 (新規御定書) ※中損	戌亥銀納并御蔵下割米納諸懸り本斗諸懸り割控 ※小損
万延元年6月吉日	安政6年12月	安政6年9月	安政5年2月	安政4年2月	安政3年2月	安政2年正月下旬	嘉永7年正月	嘉永6年正月	天保15年~嘉永6年	天保5年~	文政3年6月	文化8年6月	享和2・3年霜月
御坊村方	瀬戸又次郎		御坊村庄屋	御坊村庄屋	御坊村庄屋	御坊村庄屋宇右衛門、同肝 煎七兵衛・庄太夫	御坊村庄屋宇右衛門	御坊村庄屋宇右衛門	御坊佐兵衛	きのや左兵衛		御坊村	御坊村
						瀬戸又次郎	瀬戸又次郎	瀬戸又次郎		野口村九郎兵衛			
横帳	横帳	縦帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	縦帳	横帳	横半帳	縦帳	縦帳	縦帳

御坊市 美浜町

9165-1	9165	9039-21-3	9039-21-2	9039-21-1
新畑検地帳 日高郡名屋・蘭浦・田井領浜之瀬 ※全人名に付箋掛け	【浜ノ瀬村文書】↓以下詳細	紀伊国日高郡和田村雷社上地官林図 ※昭和52年に図書館で綴、三舗一繰の三止、略図	紀伊国日高郡和田村雷社上地森林ノ図 ※昭和52年に図書館で綴、三舗一繰の二、略図	紀伊国日高郡和田村雷社上地森林ノ図 ※昭和52年に図書館で綴、三舗一繰の一、略図
元禄16年8月／(寛政8年・文化12年)		(近代)	(近代)	(近代)
鳴吉太夫、堀田権八、夏目金兵衛				
浜之瀬庄屋肝煎百姓中				
縦帳		図	図	図

C 美浜町

9167-55	9167-53	9167-50	9167-56	9167-48	9167-58	9167-49	9167-42
日下恵(庄屋文章雛形)	大炮御手伝御講印形帳	御年貢之通	駄賃定	当酉郡組割賦帳 御坊村	〔万延年間半引替札〕 <small>(米の額カ)</small> ※一紙七点と積書き一点を簡易製本	家別棟割集帳 にし町上下古寺内	施行米売立控
(近世)	(近世)	壬寅	慶応元年10月	文久元年12月	(万延元年・2年)	万延元年12月	万延元年8月吉日
	御坊村	御坊左兵衛	御坊商人中	瀬戸又次郎	(御坊庄屋ほか)	御坊村庄屋	御坊村方
		庄屋為助					
縦帳	縦帳	横半帳	横半帳	横帳	縦帳	横帳	横帳

9165-5	9165-8	9165-12	9165-4	9165-7	9165-6-4	9165-6-3	9165-6-2	9165-6-1	9165-11	9165-10	9165-3	9165-9	9165-2
市び出入控帳(個人別渡し金の書上げ) ※小損	魚小売控帳	下男下女勘定帳 ※小損	浦方御口銀取立人別帳 伏木口前所 ※厚い、小損、挟み文書あり	萬仕込覚帳(網・すへ繩他払い代金につき) ※後半半白紙多い	覚(小椎茸・あげほか代金受取り) ※変色・破損あり	覚(米・酒代ほか書上げ) ※6-1に結び付け、変色・破損あり	覚(淡路人形遣ひへの払いにつき) ※6-1に結び付け、変色・大損あり	引子雑帳 ※変色あり、『美浜町史史料編』所収、添付文書三点(2)〜(4)へ	当座帳	船頭指引帳	新畑御年貢取立帳・外浜御年貢取立帳 浜野瀬	頼母子覚帳 ※表紙摩滅	御検地帳写 浜之瀬浦 ※表紙破損
明治3年10月吉日	明治3年9月吉日	明治2年9月吉日	明治2年菊月	慶応4年4月吉日	□月23日	13日(寅)12月11日入 □(寅)12月11日入 □喜□	慶応3年11月吉日	慶応元年9月吉日	安政3年2月10日	嘉永4年11月	天明7年正月吉日	元禄16年8月/(寛政8年・文化12年)	嶋吉太夫、堀田権八、夏目金兵衛
あみ屋太四郎(所持)	網屋多四郎	木屋	網屋多四郎	ひの屋忠右衛門	上	多四郎	網屋太四郎	木村利三郎	木屋理三郎	(浜之瀬)	木屋文右衛門	浜之瀬庄屋肝煎百姓中	
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	一紙	一紙	一紙	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	縦帳

美浜町 日高町

9160-10	名寄帳 上巻 上志賀村	明治2年12月	上志賀村	堅帳
9160-9	山林名寄帳 上志賀組	慶応3年	上志賀村	堅帳
9160-4	新田名寄帳 上 上志賀村 ※付箋多い	明治2年12月	上志賀村組頭惣代文右衛門 良次郎6名、肝煎文助上庄源 兵衛・瀬見少参事	堅帳
9160-2	〔新田畑名寄帳〕 上(上志賀村) ※採み文書・付箋多い、みかえし裏書付「天保七年申四月 名越相済」	文政5年3月	上志賀村組頭惣代善吉外同 助2名、肝煎源四郎、瀬六郎 右衛門	堅帳
9161	名寄帳 上巻 日高郡下志賀村	明治4年2月	下志賀村	堅帳
9160-8	新田畑名寄帳 日高郡下志賀村 ※付箋貼紙多い	文政9年3月	(女政7年申六月)下志賀 村庄善兵衛、肝煎曾市右 衛門三郎外64名、川瀬六之右	堅帳
9160-1	御換地帳写 下志賀村 ※貼紙多い	慶長6年9月 / (元 禄10年3月写)	下志賀村	堅帳
9160	〔志賀組志賀村文書〕 ↓以下詳細 ※マイクロ写真別にあり			
9162	浦手形 (当浦破船積御城米沈み一件につき) ※全頁印なし、周参見浦御城米役人・日高郡代官奥書あり	文政3年正月	日高郡阿尾浦庄屋在五兵衛、肝 煎市五郎三九郎(後輩)産浦津 屋(奥書)入山組大庄屋田端弥 三郎外天田組志賀組大庄屋	平 岸本武十郎様御手代山田濱

d 日高町

9165-16	〔漁夫賃金支払書上げ帳〕 ※表紙なし	(旧10月15日)		横帳
9165-15	〔魚売買書上げ帳〕 ※表紙欠	明治30年旧3月25日		横帳
9165-14	当座帳 ※紙再利用	(明治10年1月)	木理	横帳
9165-13	薬控帳	明治4年	木屋出張	横帳

9163 -22	9163 -21	9163 -20	9163 -19	9163 -18	9163 -17	9163 -16	9163 -15	9163 -14	9163 -13	9163 -12	9163 -11	9163 -10	9163 -9
第二十二番字東早成(地番図)	第二十一番字新出(地番図)	第二十番字鹿ヶ瀬(地番図)	第十九番字爰谷(地番図)	第十八番字披喜(地番図)	第十七番字奥橋谷(地番図)	第十六番字口橋谷(地番図)	第十五番字立花川(地番図)	第十四番字大谷(地番図)	第十三番字大前(地番図)	第十二番字西田(地番図)	第十一番字井谷(地番図)	第十番字油河(地番図)	第九番字上岡(地番図)
												※小損	
☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒

9163 -36	9163 -35	9163 -34	9163 -33	9163 -32	9163 -31	9163 -30	9163 -29	9163 -28	9163 -27	9163 -26	9163 -25	9163 -24	9163 -23
第三十六番字堂ノ前(地番図)	第三十五番字古屋谷(地番図)	第三十四番字下桃河(地番図)	第三十三番字高皿(地番図)	第三十二番字上桃河(地番図)	第三十一番字六郎田(地番図)	第三十番字幸神(地番図)	第二十九番字尾崎(地番図)	第二十八番字若一(地番図)	第二十七番字富安(地番図)	第二十六番字鹿ノ骨(地番図)	第二十五番字戸ノ木(地番図)	第二十四番字西早成(地番図)	第二十三番字奥早成(地番図)
図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図

日高町

9163 -50	9163 -49	9163 -48	9163 -47	9163 -46	9163 -45	9163 -44	9163 -43	9163 -42	9163 -41	9163 -40	9163 -39	9163 -38	9163 -37
第五十番字滑谷(地番図)	第四十九番字王子谷(地番図)	第四十八番字御所谷(地番図)	第四十七番字宮ノ向(地番図)	第四十六番字落合(地番図)	第四十五番字大岩(地番図)	第四十四番字大桃河(地番図)	第四十三番字小桃河(地番図)	第四十二番字西向(地番図)	第四十一番字岡田(地番図)	第四十番字猿畑(地番図)	第三十九番字榎王子前(地番図)	第三十八番字下久保(地番図)	第三十七番字上久保(地番図)
図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図

9254-56-2	9254-56	9254	9163-61	9163-60	9163-59	9163-58	9163-57	9163-56	9163-55	9163-54	9163-53	9163-52	9163-51
売渡シ申山林之事 ※(端裏書)「山中村忠藏より六郎兵衛へ売」、奥裏貼紙もあり	〔本銀返し証文袋入一括〕一袋三三点↓以下詳細 ※(袋上書)「小作出手形入并三他ノ出手形其他勘定書入」	〔原谷村文書〕↓以下詳細	日高郡東内原村大字原谷全図	第六十番字平畑(地番図)	第五十九番字雨司本(地番図)	第五十八番字寺ノ上(地番図)	第五十七番字柏谷(地番図)	第五十六番字油河谷(地番図)	第五十五番字葛蒲谷(地番図)	第五十四番字井戸ノ谷(地番図)	第五十三番字水谷(地番図)	第五十二番字大畑(地番図)	第五十一番字宮ノ本(地番図)
寛政9年7月							※小横						
三郎	山林売主忠藏、五人組証人 長九郎、証人豊助、肝煎新												
紙	山林買主権吉												
一			図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図

9254-56-26	9254-56-9	9254-56-31	9254-56-27	9254-56-32	9254-56-1	9254-56-3	9254-56-21	9254-56-29	9254-56-7	9254-56-25	9254-56-8	9254-56-11	9254-56-5
本銀返シ証文之事(山林売りにつき)	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※端裏書あり	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※封紙あり	本銀返シ証文之事(山林売りにつき)	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※封紙あり、封紙は元横帳の一丁か	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※端裏書あり	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※端裏書あり	本銀返証文之事(山林売りにつき) ※端裏書あり	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※端裏書あり	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※セロテープ貼付け、端裏書あり	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※端裏書あり	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※端裏書あり	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※端裏書あり	売渡シ申山林之事 ※(端裏書)「山手形長九郎より六郎兵衛へ売」
文政3年2月	文政2年2月	文政元年8月	文化15年正月	文化14年8月	文化12年6月	文化10年6月	文化9年6月	文化7年正月	文化3年2月	文化2年2月	享和4年3月	寛政13年正月	寛政11年極月
原谷村山林売主平助、親類 由兵衛、五人組証人金助、 肝煎伝七、庄屋次兵衛	原谷村山林売主平助、親類 郎右衛門、肝煎藤左衛門	原谷村山林売主伴次、親類 組証人長右衛門、肝煎伝七	原谷村山林売主林助、同所 親類幸助、庄屋権吉	原谷村山林売主佐四郎、同 断親類吉平、同断五人組市 左衛門、肝煎源次郎	原谷村山林売主嘉平、同所 親類長九郎、五人組甚右衛 門、肝煎源次郎	原谷村山林売主嘉兵衛、同 所親類長九郎、五人組証人 甚吉、肝煎源次郎	原谷山林売主十蔵、同村証 人嘉助、五人組友吉、肝煎 源次郎	原谷村山林売主安五郎、同 村受人三四郎、五人組甚吉、 肝煎源次郎、庄屋安太夫	高家村売主徳右衛門、原谷 村肝煎源治郎、平助、庄屋 安太夫	原谷村山林売主長蔵、同村 受人権右衛門、肝煎新三郎、 庄屋安太夫	原谷村山林売主左四郎、同 村証人左吉、肝煎源次郎、 庄屋安太夫	高家村売主徳右衛門、肝煎 原谷村証人甚右衛門、兵衛、 新三郎、庄屋安太夫	原谷村山林売主長九郎、五 人組受人忠八、肝煎新三郎
山林買主六郎兵衛	山林買主庄屋次兵衛	山林買主権吉	山林買主六郎兵衛	山林買主庄屋権吉	山林買主庄屋権吉	山林買主庄屋権吉	山林買主権吉	同村山林買主六郎兵衛	山林買主同村六郎兵衛	山林買主六郎兵衛	山林買主権吉	原谷村買主権吉	買主権吉
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

9254-56-16	9254-56-18	9254-56-14	9254-56-15	9254-56-6	9254-56-19	9254-56-12	9254-56-13	9254-56-28	9254-56-4	9254-56-30	9254-56-23	9254-56-22	9254-56-10
本銀返シ証文之事(肉桂畑売りにつき)	指入申手形之事(肉桂山売りにつき)	書付之事(肉桂売渡しにつき)	売渡申肉桂証文之事	御断奉申上候御事(山林売買につき奥書印願い) ※セロテープ貼付け、端裏書あり	本銀返証文之事(山林売りにつき)※セロテープ貼付け、端裏書あり	本銀返証文之事(山林売りにつき)	本銀返シ証文之事(肉桂畑山林売りにつき) ※端裏書あり	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※端裏書(朱筆)あり	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※端裏書あり	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※封紙あり、セロテープ貼付	本銀返シ証文之事(山林売りにつき) ※封紙あり	本銀返証文之事(山林売りにつき)	本銀返証文之事(山林売りにつき) ※端裏書あり
※封紙あり													
天保14年4月	天保12年9月	天保12年6月	天保12年2月	天保11年正月	天保9年極月	天保9年3月	天保8年正月	天保7年8月	天保3年12月	天保3年6月	天保3年3月	文政10年4月	文政7年2月
原谷村売主兵次郎、同村受人嘉右衛門、肝煎藤吉、庄屋庄吉	小中村歩持伊蔵	原谷村庄屋庄吉、肝煎佐吉、同村証人売主久次郎	原谷村売主茂右衛門、庄屋庄吉	原谷村売主超智寺方隣、親類井谷徳之右衛門、証人半右衛門、同村買主六郎兵衛、肝煎茂右衛門、庄屋庄吉	原谷村本人、後右衛門、五人組善四良、庄屋組肝煎兼三兵衛	原谷村本人、善兵衛、同村五人組長九郎、(奥書印)田端喜三兵衛	原谷村山林種附肉桂畑売主新佐兵衛、(奥書印)田端喜三兵衛	原谷村山林種附肉桂畑売主所肝煎七平	原谷村山林種附肉桂畑売主七平、同村庄屋七郎右衛門	原谷村山林種附肉桂畑売主七平、同村庄屋七郎右衛門、五人組親類弥助、請人甚吉、肝煎七平、庄屋七郎右衛門	原谷村山林種附肉桂畑売主桑藏、五人組与吉、肝煎新助、庄屋七郎右衛門	原谷村賣主紋助、同村親類郎右衛門、肝煎七平、庄屋七郎右衛門	原谷村賣主法西、同村証人屋七郎右衛門、左衛門、同村親類五人組庄屋
同村買主楠本六郎兵衛	楠本六郎兵衛	買主佐兵衛・六郎兵衛	六郎兵衛、左平	田端喜兵衛	山林買主六郎兵衛	山林買主六郎兵衛	山林買主六郎兵衛	買主六郎兵衛	山林買主次兵衛	山林買主権吉	同村買主六郎兵衛	治平	買主六郎兵衛
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

9254-57-5	9254-57-4	9254-57-1	9254-57-9	9254-57-9	9254-57-8	9254-57-3	9254-57-6	9254-57-2	9254-57	9254-56-17	9254-56-33	9254-56-20	9254-56-24
本銀返し証文之事(山林売りにつき) ※封紙あり、セロテープ貼付け	本銀返し証文之事(山林売りにつき)	本銀返し証文之事(山林売りにつき)	借申一札之事(御蔵米借用につき下書) ※全文抹消、封紙の裏面	〔山林証文封紙〕 ※中身なし、(封紙上書)「文政元年寅十二月 山林証文 平助より権吉江、裏文書あり」	〔山林証文封紙〕 ※中身なし、(封紙上書)「文政元年寅十二月 山林証文 吉平より次平へ」	本銀返し証文之事(山林売りにつき) ※セロテープ貼付け	山林証文之事 ※セロテープ貼付け、端裏書あり	本銀返し証文之事(山林売りにつき) ※セロテープ貼付け、端裏書あり	〔証文類袋入一括〕一袋二九点以下詳細 ※(袋上書・墨書)「(赤インク)二十三年・旧十二月十二月」廿三年 度旧廿一年十二月書出シ入。(袋裏上書・全文抹消)「ノ書内也一五拾銭入」	売渡申老札之事(肉桂売りにつき) ※封紙あり	本銀返し証文之事(山林売りにつき) ※封紙あり	本銀返し証文之事(山林売りにつき) ※セロテープ貼付け	本銀返し証文之事(山林売りにつき) ※端裏書あり
文政12年3月	文政12年3月	文政5年3月	文政3年2月	文政3年2月	文政元年12月	文化15年正月	享和3年2月	享和元年8月		子10月	文久3年8月	万延元年4月	嘉永5年閏2月
原谷村本人次郎左衛門、五人組文平、肝煎庄吉、庄屋七郎右衛門	原谷村本人次郎左衛門、五人組文平、肝煎庄吉、庄屋七郎右衛門	原谷村本人次郎左衛門、五人組文平、肝煎庄吉、庄屋七郎右衛門	原谷村借主三四郎、同所請門人親類安五郎、同断八〇〇		原谷村山林売主新六、同所親類桑藏、同所証人太郎太夫、五人組紋助、肝煎伝七	原谷村山林売主新六、同所親類桑藏、同所証人太郎太夫、五人組紋助、肝煎伝七	原谷村山林売主新六、同所親類桑藏、同所証人太郎太夫、五人組紋助、肝煎伝七	原谷村山林売主新六、同所親類桑藏、同所証人太郎太夫、五人組紋助、肝煎伝七	原谷村山林売主新六、同所親類桑藏、同所証人太郎太夫、五人組紋助、肝煎伝七	原谷村山林売主新六、同所親類桑藏、同所証人太郎太夫、五人組紋助、肝煎伝七	原谷村山林売主新六、同所親類桑藏、同所証人太郎太夫、五人組紋助、肝煎伝七	原谷村山林売主新六、同所親類桑藏、同所証人太郎太夫、五人組紋助、肝煎伝七	原谷村山林売主新六、同所親類桑藏、同所証人太郎太夫、五人組紋助、肝煎伝七
同村買主次平	山林買主治兵衛	権吉	米主庄屋治兵衛		山林買主庄屋権吉	山林買主権吉	山林買主権吉	山林買主権吉		楠本六郎兵衛	原谷村権吉	買主権吉	同村買主六郎兵衛
一紙	一紙	一紙	一紙	封紙	封紙	一紙	一紙	一紙		一紙	一紙	一紙	一紙

日高町

9254-57-19	9254-57-15	9254-57-20	9254-57-18	9254-57-21	9254-57-14	9254-57-16	9254-57-13	9254-57-12	9254-57-11	9254-57-27	9254-57-10	9254-57-10	9254-57-7
覚(代金書上差引勘定書)	覚(代金書上差引勘定書) ※セロテープ貼付け	おほへ(金銀受取につき) ※小損	記(金銭書上差引勘定書) ※継ぎ目はすれ	記(代金書上差引勘定書)	記(代金書上差引勘定につき) ※小損	〔山林証文封紙〕 ※〔封紙上書〕「上 山林証文 茂平より次平へ入ル」、裏面に米高書上の一部分あり	〔肉桂山手形封紙〕 ※中身なし、(封紙上書)「小中肉桂山手形」、裏に別のあて名あり	〔鑑定封紙〕 ※中身なし、(封紙上書)「鑑定一札 太郎兵衛下作年貢半六鑑定書来ル八月廿五日切」	〔証文封紙〕 ※中身なし、(封紙上書)「証文武本入 下ノ阿次通リ 千口」書 太郎八六郎兵衛殿	〔金銭等覚〕	● 本銀返証文之事(山林売りにつき下書) ※封紙の裏面	● 〔山林証文封紙〕 ※中身なし、(封紙上書)「山林証文 庄太夫より次兵衛殿へ」、裏文書あり	本銀返証文之事(山林売りにつき) ※封紙あり
亥12月	亥12月	子1月	20日 (明治力) 9年2月	月 (明治力) 9年子1	明治8年8月	(近世)	(近世)	(近世)	(近世)	(近世)	(近世)		天保2年3月
木下儀助 (右衛門の裏か)	木下儀右衛門	神中 (中カ)		酒屋伴助	さかばん								原谷村山林売主勘四郎、親類平吉、五人組利右衛門、肝煎庄吉、庄屋七郎右衛門
楠本権助		原忠七	忠七	瀬戸忠七	瀬戸忠七								山林買主次兵衛
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	封紙	封紙	封紙	封紙	一紙	一紙	封紙	一紙

9186-9	9186-8	9186-7	9186-6	9186-5	9186	9254-57-29	9254-57-28	9254-57-17	9254-57-25	9254-57-26	9254-57-23	9254-57-22	9254-57-24
已上納緋加枝	辰上納緋加枝	卯上納緋加枝	巳ノ上納緋加恵	辰ノ上納緋加恵	【萩原村浄専寺文書】↓以下詳細	〔付箋断簡〕	〔こより〕	覚(代金書上差引勘定書)	〔金銭借用につき書状〕	覚(金銭書上差引勘定覚)	覚(金銭受取差引勘定書)	記(金銭覚)	記(金銭覚)
※小損							※「大賀谷 五ヶ所」と書付		※「急之用事」とあり	※大損	※小損		
明治2年正月	慶応4年正月	慶応3年正月	安政4年正月	安政3年正月				12月前	1月25日	亥12月	亥12月	亥12月	亥12月まへ
浄専寺台所	浄専寺台所	浄専寺台所	浄専寺台所	浄専寺台所				〔カ(印)〕「紀州湯浅丁嘉」	向日武助	宮本藤四郎	□ _{藤七}	金魚屋久吉	椋古五郎
								原谷古手屋忠七	古手屋忠七	瀬戸忠七	原山口古沢忠七	瀬戸忠七	瀬戸忠七
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳		断簡	こより	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

9186 -18	9186 -23	9186 -17	9186 -15	9186 -16	9186 -4	9186 -3	9186 -2	9186 -1	9186 -14	9186 -13	9186 -12	9186 -11	9186 -10
先任教團一周忌相動候ニ付諸事控	玉置秀三郎京都より帰リ候ニ付土産并御祝儀之控	大西ふさの病死諸事覚帳	教團法師葬式行列次第	辰諸入用覚帳	釋妙光童女死去香儀并葬式諸入用大は恵帳 俗名つねの五歳	妙善死去香奠覚帳	妙善葬式行列次第	妙善死去諸入用何角ひかえ帳 俗名おす <small>(讀)</small>	亥上納緋加枝	戌上納緋加枝	酉上納緋加枝	申上納緋加枝	未上納緋加枝
		※中損	※繰紐欠	※紙再利用	※小損		※葬式八日八ツ時	※大損、繰紐なし	※中損		※紐破損	※紐破損	
明治4年2月17日九ツ時	明治3年10月	明治3年9月19日	明治3年8月朔日八ツ時	慶応4年正月	嘉永4年7月3日往生	嘉永3年正月5日往生	嘉永3年正月5日往生	嘉永3年正月5日	明治8年1月	明治7年1月	明治6年1月	明治5年正月	明治4年正月
				浄専寺台所		浄専寺		(久志長楽寺より参ル)	浄専寺台所	浄専寺台所	浄専寺台所	浄専寺台所	浄専寺台所
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

日高町 由良町

9033- て-4	9033- て-3	9033- て-2	9033- て-1	9033 -て
売渡証文之事 (山林売りにつき) ※封紙あり、水損	売渡申証文之事 ※封紙あり	畑売渡シ申事 ※水損、変色劣化あり	売渡シ申山之事 ※破損・水損あり	【由良村里 寺田家文書】 ↓ 以下詳細
明治4年5月	慶応元年11月	嘉永5年2月	文化12年2月	
本人興國寺納所、証人東泉寺、里村肝煎次郎右衛門、庄屋幸次郎	御坊村本人佐兵衛、同村証人伊兵衛、門前村肝煎治右衛門、同村庄屋新兵衛	里村寺田売主佐兵衛、同村肝煎弥兵衛	里村本人四平、同村証人甚右衛門・伝蔵、(奥書印)庄屋五兵衛	
里村治郎右衛門	里村次良右衛門	次郎右衛門	同村買主次郎右衛門	
一紙	一紙	一紙	一紙	

e 由良町

9186 -27	9186 -26	9186 -25	9186 -24	9186 -22	9186 -21	9186 -19	9186 -20
妙順葬式行列帳 ※小損	萬おぼへ帳	諸物取帳並金銭出納簿	信明院殿五十回御法会諸入用帳 説教妙浄寺智城師 ※一綴	亥祝儀香料払方出控	先々住善随五十回忌祖母妙善廿五忌相動候二付諸事控	先住教團三回忌相營候二付諸事控	申祝儀香料払方出控 酉年とも ※水損
	明治39年旧5月吉日	明治22年旧7月 明治10年旧4月8日 明治10年旧7月 10日	明治8年1月	明治6年2月29日九 ツ時	明治5年2月21日九 ツ時	明治5年正月	
		楠山教順 <small>(本館蔵)</small>	浄専寺	浄専寺台所	浄専寺台所		浄専寺台所
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

9033- て-21	9033- て-12-3	9033- て-12-2	9033- て-12-1	9033- て-22	9033- て-11-2	9033- て-11-1	9033- て-10	9033- て-15	9033- て-9	9033- て-8	9033- て-7	9033- て-6	9033- て-5
大福帖（野菜果物出荷値段・結納式控他につき）	保証書（登記義務者につき） ※三通一線の三止	土地表示変更登記申請書（反別変更） ※三通一線の二	土地表示変更登記申請書（土地反別変更） ※三通一線の二、専用用箋と罫紙	大正拾貳年一月 産米青物島物紀帳	保証書（所有権移転のための登記済みにつき） ※登記権利者寺田左市郎、専用用紙	土地分筆登記申請書 ※除外書付「代書人 中島信次郎」	告知書（由良村里区長当選につき） ※「日高郡由良村役場」用箋	〔字里山山林売買覚〕 ※登記所にて	証（金銭引換えにつき）	借用證証（金銭につき）	第壹号 地所売渡証 ※（奥承認）「右村戸長北村楠松」、罫紙	地所売買地券書換願 ※「第六大区一小区」用箋、小損	本銀返証文之事 ※封紙あり、水損、劣化変色あり
昭和24年1月吉日（内容は昭和11年〜26年）	昭和12年8月31日	昭和12年8月31日	昭和12年8月31日	大正12年1月	大正8年	大正8年7月9日	明治40年3月27日	（明治30年9月13日）	明治23年8月7日	明治15年5月	明治14年1月3日	明治9年5月29日	明治4年8月
	由良村大字里保証人市川幸三郎・玉置幸次郎	由良村大字里申請人寺田玄太郎、同所右代理人寺田顯	由良村大字里申請人寺田玄太郎、同所右代理人寺田顯		由良村大字里保証人中島信次郎・里村キク	由良村大字里申請人寺田玄太郎	由良村会		寺田玄太郎	伊助外7名 右衛門 片山弥四郎、野田重山、野田重山、野田重山、野田重山、野田重山、野田重山	岡山助 日高郡里村ノ内横浜完渡人、弓場弥右衛門、同村証人花	第六大区一小区海部郡門前村売渡人庭田白山、同区里村買請人寺田次郎右衛門	里村本人長之右衛門、同村証人九兵衛、同村肝煎治郎右衛門、同村庄屋幸次郎
		御坊区裁判所由良出張所	御坊区裁判所由良出張所			御坊区裁判所由良出張所	寺田玄太郎		滝本喜兵衛	寺田多四郎	里村寺田次郎右衛門		同村治郎右衛門
横帳	罫紙	罫紙	罫紙	横半帳	罫紙	罫紙	罫紙	一紙	一紙	罫紙	罫紙	罫紙	一紙

由良町

9033- な-8	9033- な-7	9033- な-2	9033- な-6	9033- な-5	9033- な-1	9033- -な	9033- て-20	9033- て-19	9033- て-18	9033- て-17	9033- て-16	9033- て-14	9033- て-13
天狗薬懸取帳 下行	天狗薬懸取帳 下行	天狗薬貸付帳 (売薬貸高につき)	天狗薬懸取帳 上ノ分	天狗薬懸取帳 上ノ分	天狗薬貸付帳 (売薬貸高につき)	【由良村畑 中川山神堂文書】 ↓以下詳細	〔封紙〕 ※〔封紙上書〕「中村崎山次郎右衛門領母子権入 金手借用証書 乾風堂 十二年旧七月十三日」	〔封紙〕	〔戸長公証済の売渡し証受取につき連〕	記(借入金覚)	〔江之駒川口市松より買入れ地所代(佃覚)〕 ※「明治三拾八年三月五日登記済」	登記スルニ付役場ニテ調査(字・番地・反別・貸賃価格・等級 につき)	昭和参拾六年度寺田池決算
昭和6年10月	昭和5年度10月	昭和5年1月	昭和4年10月	昭和3年10月	明次43年3月(昭 和5年6月)				8月6日	(近代)旧3月1日	(明治28年以降)	3月12日(昭和12年 7月16日以降力)	昭和36年度
日高郡由良村畑中川山神堂	和歌山県日高郡由良村中川 山神堂	中川山神堂	紀州由良畑中川山神堂	紀伊由良畑中川山神堂	(中川山神堂)				戸長役場	北村甚兵衛			(印)「寺田池水利組合長印」
					奥田尾山次郎松				寺田太郎兵衛	寺田治郎右衛門			
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳		封紙	封紙	一紙	一紙	一紙	罫紙	罫紙

9033- な-20	9033- な-19	9033- な-18	9033- な-17	9033- な-4	9033- な-16	9033- な-15	9033- な-14	9033- な-13	9033- な-12	9033- な-11	9033- な-10	9033- な-9	9033- な-3
天狗薬懸取帳 下	天狗薬懸取帳 上	天狗薬懸取帳 下	天狗薬懸取帳 上	天狗薬貸附帳 (売薬貸高につき)	天狗薬懸取帳 地方	天狗薬懸取帳 下	天狗薬懸取帳 上	天狗薬懸取帳 地方	天狗薬懸取帳 下	天狗薬懸取帳 上	天狗薬懸取帳 上行	天狗薬懸取帳 上行	天狗薬貸附帳 (売薬貸高につき)
昭和17年3月	昭和17年3月	昭和15年	昭和15年	昭和15年1月 (19年3月) 同	昭和14年	昭和14年	昭和13年	昭和11年 同12年	昭和11年9月	昭和11年9月	昭和10年9月	昭和9年度	昭和8年1月、9年、 10年、11年
中川山神堂	中川山神堂	中川山神堂	中川山神堂	日高郡由良村畑中川山神堂	由良村畑中川山神堂	中川山神堂	中川山神堂	(中川山神堂)	和歌山県日高郡由良村畑中川山神堂	和歌山県日高郡由良村畑中川山神堂	日高郡由良村字畑中川山神堂	和歌山県日高郡由良村字畑中川山神堂	中川山神堂
横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳	横帳

f 川辺町

9166	名寄御帳面写ノ控 但山手米高入る 江川・上下和左・若野 ※劣化破損あり	文化7年9月		縦
------	--	--------	--	---

g 中津村

9033- や-1	土地賃貸価格調査法其他御坊稅務署交付書類類 ※概算不具 大阪稅務廳監査局発行「土地賃貸価格調査法其他關係法令」編込	(昭和2年7月)	委員柳瀬吉太郎	簿冊
9033- や-3	土地賃貸価格等級表・日高郡各村別土地賃貸価格調査表・大正十五年四月一日現在川中村有租地集計額及賃貸価格調査表・川中村各大字別賃貸価格調査表 ※大部分印刷	(大正15年4月1日 ほか)	委員柳瀬吉太郎	簿冊
9033- や-2	土地賃貸価格調査ニ関スル參考資料 ※狭み文書あり	(大正15年)	委員柳瀬吉太郎	簿冊
9033- や-68	〔諸書類綴〕(土地価格調査・川中村經濟更正計画基礎調査ほか) ※年代錯綜	(大正4年)昭和12年頃)		簿冊
9033- や-11	農地委員会開催ニ関スル件(委員会開催日・協議事項通知書)	昭和21年	川中村農地委員会委員長原見柳	一紙
9033- や-10	農地委員(農地委員關係書類綴) ※紙質不具、川中村長柏木永一から農地委員柳瀬吉太郎宛て文書多い	(昭和14年)同19年)		簿冊
9033- や-67	昭和十四年度 村稅特別稅戶數割賦課額議定表 ※印刷	昭和14年度	日高郡川中村	縦綴
9033- や-70	収獲皆無地々租免除申請ニ関スル件 控(通達写) ※通達写・申請書	昭和14年9月14日	川中村長柏木永一	一綴
9033- や-65	諮問議案第一号(林道路線認定ニ付諮問答申ノ件) ※図あり	大正10年4月27日	川中村長代理助役原見辰助	一綴
9033- や-66	大正九年十月一日現在川中村道路線 ※元は、や65と一括か	(大正9年10月)		綴
9033- -や	〔川中村坂野川柳瀬家文書〕↓以下詳細			

川辺町 中津村

9033- や-52-2	9033- や-52-1	9033- や-51-4	9033- や-51-2	9033- や-51-1	9033- や-51-3	9033- や-30	9033- や-69	9033- や-8	9033- や-7	9033- や-6	9033- や-5	9033- や-4	9033- や-9
昭和七年度同八年度 時局匡教割当事業 溝混凝土工事項係書 ※二冊一綴の二止	時局匡教事業割当 溝混凝土工事項費用割賦帳 ※二冊一綴の一	証(猪谷溜池嵩置に関し土地損害料受領につき) ※四点一綴の四止	〔溜池嵩置普請略図〕 ※四点一綴の一	明治三十九年旧十月猪ノ谷溜池嵩置普請 明治四十二年十二月再嵩置及捨築普請ノ収支明細簿 ※四点一綴の一	明治三十九年拾月 日高郡川中村大字坂野川之内字柳瀬溜池重置二付目論見帳 ※野紙、四点一綴の三	〔袋〕(中身なし) ※(袋上書)昭和十四年三月発行 予備溜池清浄工事一件書類入 外柳瀬田人惣代柳瀬吉太郎、以下や53までの袋が	〔土地丈量図帳〕 ※表紙欠、付箋多い、地番ごと	〔町村字別土地賃貸価格一覽〕 ※印刷、清川・高城・上南部・南部・岩代村	〔町村字別土地賃貸価格一覽〕 ※印刷、切目・切目川・真妻・稲原・印南・名田・塩屋町村	〔町村字別土地賃貸価格一覽〕 ※印刷、川中・川上・寒川・龍神・上山路・中山路・下山路村	〔町村字別土地賃貸価格一覽〕 ※印刷、湯川・藤田・矢田・野口・丹生・早蘇・船着村	〔町村字別土地賃貸価格一覽〕 ※印刷、御坊・松原・和田・三尾・比井崎・志賀・白崎・衣奈・由良・西内原・東内原町村	〔感謝状〕 ※印刷、土地賃貸価格調査委員の業務に対し本事業完成にあたり
昭和7年度・同8年	(昭和7年・同8年)	明治39年旧12月16日	(近代)	明治39年旧10月/同42年12月	明治29年10月	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	昭和2年11月
柳瀬田人惣代柳瀬吉太郎	柳瀬田人惣代柳瀬吉太郎	大友佐井惣代□木弥次郎			日高郡西内原村大字高家藤本魚太郎								御坊稅務署長神内庄藏
		坂ノ川地主惣代柳瀬吉太郎											柳瀬吉太郎
縦帳	横帳	一紙	一紙	縦帳	縦帳	袋	横半帳	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	簿冊	一紙

9033- や-36	9033- や-34	9033- や-40	9033- や-39	9033- や-38	9033- や-35	9033- や-32	9033- や-37	9033- や-31	9033- や-33	9033- や-48	9033- や-47	9033- や-45	9033- や-53
〔水害補助金内より会経費として金銭納入依頼〕 ※印刷、本会経費として水害補助金一〇〇分の三	〔昭和十二年度臨時部災害復旧費 災害勸業補助費 耕地事業復旧補助費 水害地復旧耕地事業補助金請求一件書類〕 ※請求書・収支決算書・工事成績書	〔元ノ奥溜池洩水止工事人夫賃他領収証綴〕	領収証（元ノ奥溜池水害復旧工事代表者手当てにつき） ※印刷、差出し、金額手書き	領収証（元ノ奥溜池樋管洩水止工事請負金につき） ※印刷	〔水害地復旧耕地事業補助願一件書類〕 ※封筒入、専用用紙	〔溜池水害復旧工費補助願書類一括〕 ※補助金請求書・請負契約書ほか	指令耕第一一〇号（水害地復旧耕地事業補助承認につき）	請負契約書（元ノ奥溜池樋管洩水止メ工事につき） ※罫紙	〔公共溜池水害復旧工事着手・終了届け一括〕 ※罫紙	昭和九年二月廿七日起工 元ノ奥溜池樋管嵩置工事日記帳 ※A5版	昭和九年二月二十七日日起工 元ノ奥溜池樋管嵩置工事会計簿 ※綴破損、A5版	昭和九年二月二十七日日起工 元ノ奥溜池樋管取替並二嵩置工事費支出書類 ※一部劣化	現金出納簿 ※便箋、や52に繰込み文書と同内容、裏に工費と買ひ分の差引勘定あり
昭和14年5月19日	昭和14年4月21日	昭和14年3月	昭和14年3月	昭和14年3月	昭和14年3月	昭和14年3月	昭和14年3月30日	昭和14年3月1日	昭和13年3月（同 14年3月）	昭和9年2月27日起 工	昭和9年2月27日起 工	昭和9年2月27日起 工	（近代）
和歌山県耕地協会長藤野英陽	日高郡川中村大字坂野川代 表者柳瀬吉太郎	（各々個人名）	川中村大字坂野川柳瀬吉太郎	川中村大字坂野川柳瀬徳市・ 笹為吉、大字佐井柳瀬源六	日高郡川中村大字坂野川柳 瀬吉太郎	日高郡川中村大字坂野川施 行者代表柳瀬吉太郎	和歌山県知事清水重夫	〔工事施工者代表〕柳瀬吉 太郎（工事請負人主任） 柳瀬徳市、（工事共同請負 人）笹為吉、柳瀬源六	日高郡川中村大字坂野川施 行者代表柳瀬吉太郎			柳瀬田人惣代柳瀬吉太郎	
日高郡川中村柳瀬吉太郎	和歌山県知事清水重夫	代表者柳瀬吉太郎	代表者柳瀬吉太郎	代表者柳瀬吉太郎	和歌山県知事清水重夫	和歌山県知事清水重夫	日高郡川中村代表者柳瀬吉 太郎		和歌山県知事清水重夫				
紙	綴	綴	紙	紙	綴	綴	紙	綴	綴	ノ一ト	ノ一ト	簿冊	紙

中津村

9033- や-13-1	9033- や-20	9033- や-19	9033- や-14	9033- や-15	9033- や-18	9033- や-16	9033- や-12	9033- や-50	9033- や-49	9033- や-46	9033- や-44	9033- や-41	9033- や-42
領収証（開田工事請負金につき） ※一通一綴の一、昭和九年度施行	〔封筒〕 ※（上書）「柳瀬吉太郎個人増産事業書類入」	日高郡川中村坂野川柳瀬耕地整理地区現形予定図 ※彩色、地番入	時局匡救耕地拡張改良事業現金出納簿 ※印刷、破損あり	〔耕地整理補助申請の件につき書状〕 ※便箋	〔耕地整理組合解散の件相談につき役場へ出頭依頼状〕 ※封筒入、「川中村役場」用箋	〔耕地整理負担金通知書一括〕 ※二点、全点表題は「通知書」	耕地整理書類 柳瀬耕地整理地区 ※挟込み文書一綴あり	〔設計図〕 ※堤防の設計図か、や49との関係は不明、や30～44の関係資料か	〔封筒〕（中身なし） ※（上書）「通称元ノ奥 溜池樋管取替装置工事設計図」	元ノ奥溜池工事経費報告書 溝工事ノ報告 ※重ね折り、記載金額はや35と一致	昭和二十一年度 猪ノ谷・元ノ奥両溜池懸り水利費割賦帳 ※昭和18年経済部長からの米配給にかかわる通達用紙再利用	〔水害地復旧耕地事業補助金収支計算書〕 ※便箋	証（水害負担金領収につき） ※左部分切り離し割り印あり
昭和10年5月1日	（近代）	（近代）	（近代）	9月6日	2月15日	昭和10年5月25日／同年5月29日／同年12月	昭和9年2月	（近代）	（近代）	（近代）	昭和21年度	（近代）	昭和15年6月23日
川中村大字坂野川請負人柳瀬佐太郎				柳瀬吉太郎	小瀬貞助	柳瀬耕地整理組合長	（柳瀬耕地整理組合長・同地区代表者柳瀬吉太郎）				柳瀬田人惣代		和歌山県耕地協会
代表者柳瀬吉太郎				山本國一	柳瀬吉太郎	（各々組合員個人あて）							日高郡川中村坂野川柳瀬吉太郎
一紙	封筒	図	一紙	一紙	封筒	一括	簿冊	図	封筒	一綴	横帳	一紙	一紙

中津村

9033- や-26	9033- や-25	9033- や-27	9033- や-22	9033- や-24-4	9033- や-24-1	9033- や-24-2	9033- や-24-3	9033- や-21	9033- や-23-2	9033- や-23-1	9033- や-23-4	9033- や-23-3	9033- や-13-2
昭和十五年年度（米穀増産施設耕地事業補助金請求一件書類綴） ※請求書・収支精算書・事業成績書	〔米穀増産施設耕地事業補助承認につき認可証〕（指令耕第五三六号）	〔米穀増産一件補助金請求書類一綴控〕 ※ノット切れ端 請求書・収支精算書・事業成績書	領収証（水田造成工事請負金につき）	費申請臨時米穀増産耕地事業実地調査測量ノ件 ※「川中村役場」用箋、四通一綴の四止	臨時米穀増産施設耕地事業並早害応急施設耕地事業工事検査二関スル件 ※四通一綴の二、朱印「至急」	〔米穀増産施設耕地事業補助の件につき認可証〕（指令耕第五三六号） ※四通一綴の二	米穀増産施設耕地事業補助願控 ※四通一綴の三、便箋	請負契約書（水田造成事業につき）	領収証（水田造成工事請負金につき） ※一綴四点の二	請負契約書（水田造成事業につき） ※一綴四点の一	〔水田造成ヶ所字番地反別図〕 ※23-3に付、一綴四点の四止	昭和十四年度起 臨時米穀増産施設耕地事業設計書〔増産〕 ※一綴四点の三、専用用紙	溜池及開田工事経費概要 ※二通一綴の二止、便箋
昭和15年9月14日	昭和15年10月11日	（昭和15年6月他）	昭和15年6月15日	2月12日	昭和15年4月4日	昭和15年3月30日	昭和15年3月8日	昭和15年2月25日	昭和15年6月15日	昭和15年2月25日	（近代）	昭和14年度	（近代）
和歌山県日高郡川中村大字坂野川柳瀬吉太郎	和歌山県知事清水重夫	和歌山県日高郡川中村大字坂野川柳瀬吉太郎	川中村大字坂野川請負人本田倉之助	川中村役場	県経済部耕地課	和歌山県知事清水重夫	日高郡川中村大字坂野川柳瀬吉太郎	川中村大字坂野川工事施行者柳瀬吉太郎、工事請負人本田倉之助	川中村大字坂野川請負人本田倉之助	川中村大字坂野川工事施行者柳瀬吉太郎、工事請負人本田倉之助		日高郡川中村大字坂野川個人施行柳瀬吉太郎	
和歌山県知事清水重夫	日高郡川中村代表者柳瀬吉太郎	和歌山県知事清水重夫	川中村大字坂野川柳瀬吉太郎	柳瀬吉太郎	柳瀬吉太郎	日高郡川中村柳瀬吉太郎	和歌山県知事清水重夫		川中村大字坂野川柳瀬吉太郎				
一綴	一紙	一綴	紙	紙	紙	一紙	一紙	紙	紙	紙	図	一紙	一紙

9033- や-58-2	9033- や-58-1	9033- や-59	9033- や-56	9033- や-55	9033- や-57	9033- や-54	9033- や-79	9033- や-78-2	9033- や-78-1	9033- や-78-1	9033- や-78	9033- や-29	9033- や-28
山向寺屋根替普請費平等寄付金徴収簿 控 ※六点一綴の二	山向寺屋根替普請費収支明細簿 ※六点一綴の一	〔富国貯金受領証書袋〕 ※表面に規約印刷、(裏上書)「山向寺屋根替普請記録」、や、60と同じ	本川谷土工森林組合林道使用料徴収規程 ※印刷物、川中村へ適用のため表題村名「川中村」と書換あり	苗圃開設事業補助要綱 ※再利用紙	第五回通常総会議案 追補責任船着村森林組合(議案綴) ※印刷、再利用紙	〔袋〕 ※(上書)「林業二開スル諸屋規定離形及該用紙 間伐講習記録」	和歌山県日高郡川中村全図 縮尺四万分之一 ※印刷、川関係、簿冊のくずれ、赤・青鉛筆にて記入あり	〔坂野川村一筆限字切図〕 ※一綴一七補、黒・朱・水色	-2〔宅地書上げ〕 ※二点一綴の二、「日高郡川中村役場」用箋	-1和歌山県日高郡川中村大字坂野川見取図 ※二点一綴の一	〔図面他袋入一括文書〕↓以下三点 ※袋は「富国貯金受領証書袋」の再利用、(袋上書)「古大字耕地並山林図面」	〔米穀増産一件補助金請求書に関する用紙一括〕 ※未使用専用用紙、請求書・収支精算書・事業成績書	〔米穀増産施設耕地事業書類記入注意書〕 ※印刷
大正4年12月以降	大正5年	(近代)	(近代)	(近代)	昭和22年4月25日	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	(近代)	3月9日
坂野川区長	山向寺屋根替普請会計係		(本川谷土工森林組合)	(川中村森林組合)									川中村役場
													施行者各関係各位
横帳	横帳	袋	一紙	一紙	一綴	袋	図	図一綴	野紙	図		一括	一紙

中津村

9033- や-74	9033- や-71	9033- や-83	9033- や-82	9033- や-90	9033- や-64	9033- や-63	9033- や-62	9033- や-61	9033- や-60	9033- や-58-6	9033- や-58-5	9033- や-58-4	9033- や-58-3
〔杉材代金請求書〕	記(セメント代領収証)	金銭出納簿 ※小型ハードカバー、背破損あり、題は背文字より	金銭出納簿 ※小型ハードカバー、題は背文字より	大福帳 ※縦紐破損、川中村の字名より柳瀬家文書と判断	小学校及青年学校関係書類 ※「日高郡川中第二尋常小学校」用箋、「日高郡川中村役場」用箋他	〔封筒〕 ※「川中村役場」封筒、「上書」「和歌山市名方氏ノ寄贈ニノ喜尊徳少年時代銅像建設会計書類」	〔名方勝太郎氏ニ宮尊徳銅像寄贈につき祝辞〕 ※「和歌山市製菓界之大王名方勝太郎氏」とあり	老屋尋常小学校新築諸費仕払帳 ※や60はこの資料の袋か	〔富国貯金受領証書袋〕 ※表裏に印紙「上書」元老屋尋常小学校新築諸費記帳書明治三十七年監理人兼庶務書記兼「や59」と同	大工・佐官・畳屋・木挽ノ部(領収書ほか一綴) ※六点一綴の六止	瓦ノ部(領収書ほか一綴) ※六点一綴の五	其他ノ(領収書ほか一綴) ※六点一綴の四	材木ノ部(領収書ほか一綴) ※六点一綴の三
8年6月15日	昭和8年6月6日	(昭和14年~同19年)	(昭和5年~同13年)	(明治17年~同19年)	(昭和10年~同14年)	(近代)	昭和14年2月21日	明治34年5月初	(近代)	(大正5年)	(大正5年)	(大正5年~同6年1月)	(大正4年12月~同5年)
御坊町名屋浜松栄三郎商店	日高郡川中村大又 扱店原 幸太郎						川中第二小学校新属 学務 委員柳瀬吉太郎	新築委員原文五郎					
川中村柳瀬徳市	柳瀬吉太郎												
一紙	一紙	縦帳面	縦帳面	横半帳	簿冊	封筒	一紙	横帳	袋	綴	綴	綴	綴

9033- や-88	9033- や-87	9033- や-86	9033- や-85	9033- や-84	9033- や-81	9033- や-77	9033- や-76	9033- や-80	9033- や-72	9033- や-43	9033- や-17	9033- や-73	9033- や-75
明治二巳年八月御改正 大日本八十州(附 父母状) (写本)	消息往来 (写本)	商売往来 (写本)	[名刺]	[名刺]	訴え(不当勾留者救援につき) ※印刷、年代はボツダム宣言・日本国憲法以降	記(水利関係費地主小作分負担金計算書) ※や、76と同用紙再利用	[個人別金額書上計算書] ※「千代田生命保険相互会社和歌山支社」用紙再利用	[人夫賃計算書] ※重ね折り二枚	記(サバ代金受取) ※裏面溝普請関係雑費覚え書、破損あり	領収書(立替金につき) ※勳代	領収証 ※印刷、破損あり、金額未記入	記(セメント代受取)	指令御坊土第三三二二号(砂利採取許可証)
(近代)		明治元年霜月中浣			(現代)	(近代)	(近代)	(近代)	昭和14年2月28日 (領収印より) 6月30日	昭和9年	昭和9年6月10日	昭和8年10月9日	
柳瀬氏		柳瀬氏	和歌山県農林技手山本國一	農林技手上杉勇	日本共産日高地区委員会			印南町津井木村龜市	川中村信用販売購買利用組合	川中村大字坂野川坂野龜楠	川中村大字坂野川坂野龜楠 電話三〇番	和歌山県御坊土木出張所主任和歌山県技手 技手上田恒太郎 (印)セメント石炭左官材料 電話三〇番	日高郡川中村大字坂野川代表柳瀬吉太郎
縦帳	縦帳	縦帳	名刺	名刺	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙

中津村 龍神村 印南町

9170	9169	検査日誌 ※「日高郡切目村役場」用箋	明治38年9月28日 （?10月23日）	「切目村検査事務所、（印） 「日高郡切目村役場」		堅
		〔日高郡切目村衛生組合書類綴〕 ※「日高郡切目村役場」用箋、大字島田・にしノ地・西ノ地上道の衛生組合規約	（明治33年8月）大 正4年9月）	（印）「日高郡切目村役場」		簿冊

i 印南町

9039-2	9248	国有林下戻申請書 高野山内閣御達書（高野寺領国境誓固志士など入込情報ほかにつき）	明治33年6月28日 月28日 （卯II慶応3年）12	龍神村地主龍神弥吉、日高郡胡乱者改杉谷欽十郎 日高郡下山路村大字福井吉本立男代理人西牟田郡田辺町大字奥印山村所司長代 理由後建助	農商務大臣子爵曾根荒助 山岸五郎左衛門	堅綴 堅帳
--------	------	---	-----------------------------------	--	------------------------	----------

h 龍神村

9033-や-97	9033-や-96	9033-や-95	9033-や-94	9033-や-93	9033-や-92	9033-や-91	9033-や-89	〔未使用箋・白紙等一括〕 ※日高郡川中村の土地の等級・種別・反別・地価・地租用紙の未使用分多い	〔封筒・袋・こより等一括〕 ※封筒は三点全て柳瀬吉太郎あり	〔表紙〕 ※一点、(題箋)「一般参考綴」	〔和歌山県例令教職員規則集断片〕※印刷、一頁、初任給・昇給関係	〔封紙〕 ※書付「はぶ」	式辞林 完 ※印刷本、表紙欠、挟み文書あり	〔写真帳部分〕 ※六頁分、個人写真のみ	薬名集（写本）	一括 一括 丁外れ 丁外れ 封紙 本 堅断簡 堅帳

新宮市 串本町 那智勝浦町

⑧東西牟婁郡域（新宮市含む）

a 新宮市

9039-4	9175
手続書（売買地境界正しにつき） ※出願地見取図外地図の写四枚添付	就切支丹御改寺請之事（新宮城下にて） ※一綴二三通、綴コヨリ書付「初野地 清助」
明治17年7月16日	嘉永6年2月
東牟婁郡新宮下熊野地中口 文助、同地濱中半四郎、同 地橋本松次郎	松岩（印は敷）院、妙華寺、 長徳寺、宗正寺、瑞泉寺、 本廣寺、全龍寺、清涼寺、 浄泉寺
農商務省和歌山山林事務所	中興橋本町前留又八市書局中 村式有門、矢口種人、大西豊兵衛、川村繁有門
堅一綴	一綴

b 串本町

9246	9172
貴客来臨覚「複製」（内題「高貴之御方止宿御休息之控」） ※写真の紙焼き、串本町串本神田家文書より	口上書（難破船積荷始末済みにつき浦証文申請の船中荷主連印書） ※一巻、船中并惣荷主連印口上書
慶応元年閏5月8日	文久2年12月
神田佐七	沖州赤穂塩屋村米屋清吉船 沖船頭清七外8名、大嶋清 船宿銀右衛門、利吉、阿問屋 富田屋敷代利吉、阿問屋 惣代外屋敷4名
紀州大嶋浦御役人衆中	
堅一綴	巻子

c 那智勝浦町

9049-1	9049	9048	9182	9180	9174
所有山林略図 第老ノ二号 湯川村字越瀬小名深谷 ※彩色	【所有山林略図】 ↓以下詳細 ※絵図二二幅四冊、現那智勝浦町城居住者所持か	地券下調帳 宇久井村・二河村・太地村・勝浦村・和田村・下里村・橋ノ川村・湯川村・天満村 ※補修あり、勝浦村居住者	西国第老番札所 紀伊国那智山大宮繕費募集稟告 ※三冊合冊	那智山社法格式書抜書 ※小損、写し	紀州室郡庄村御検地帳「複製」 ※写真紙焼き、那智勝浦町大田家文書より
		明治19年10月	明治35年2月24日/明治32年4日/明治34年7月21日	（延享元年4月）安永7年5月	慶長6年9月
			西山青岸渡寺信徒中		松田為兵衛
			地方受持世話人米原智貞		
図		堅帳	堅帳	堅帳	堅帳

那智勝浦町

9049 -15	9049 -14	9049 -13	9049 -12	9049 -11	9049 -10	9049 -9	9049 -8	9049 -7	9049 -6	9049 -5	9049 -4	9049 -3	9049 -2
所有山林略図 第五ノ四号 檜山村字山手川 ※彩色、小損	所有山林略図 第五ノ三号 高野村字下毛地川下毛 ※彩色	所有山林略図 第五ノ卷号 高野村字下毛地川下毛 ※彩色	所有山林略図 第四ノ五号 西中野川村字スクノ谷・田ノ垣内 ※彩色	所有山林略図 第四ノ四号 熊瀬川村字恋ノ河口 ※彩色	所有山林略図 第四ノ三号 熊瀬川村字道島 ※彩色	所有山林略図 第四ノ卷号 小阪村河吾谷 ※彩色	所有山林略図 第参ノ五号 小匠村字大舟谷 ※彩色	所有山林略図 第参ノ四号 小匠村字板井 ※彩色、小損	所有山林略図 第参ノ三号 小匠村字根松 ※彩色	所有山林略図 第三ノ二号 小匠村字大串 ※彩色	所有山林略図 第三ノ卷号 小匠村字釜ノ谷 ※彩色	所有山林略図 第貳ノ二号 二河村字大浦・高洲 ※彩色	所有山林略図 第貳ノ卷号 二河村字平石 ※彩色
図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図	図

9173 -3	9173 -2	9173 -1	9049 -25	9049 -24	9049 -23	9049 -22	9049 -21	9049 -20	9049 -19	9049 -18	9049 -17	9049 -16
〔地番図〕	東牟婁郡色川村大字小阪字庄ノ子屋敷地図	東牟婁郡色川村大字小阪字清水地図	所有山林略図 第五 直柱村・高野村・榎山村ノ内小名山手川・粉白村・天満村・市野々村・佐野村・川関村 ※彩色	所有山林略図 第四 平野村・小阪村・口色川村・熊瀬川村・西中野川村) ※彩色、小損	所有山林略図 第三 小匠村 ※彩色	所有山林略図 第老 太地村・湯川村 ※彩色絵図、現太地町・那智勝浦町	所有山林略図 上田原村字高畑・野瀬 九終 ※彩色、現古座町	所有山林略図 上田原村字野瀬 七 ※彩色、現古座町	所有山林略図 上田原村字釜之谷 四 ※彩色、現古座町	所有山林略図 上田原村字コリボ 三 ※彩色、現古座町	所有山林略図 上田原字長谷 弐 ※彩色、現古座町	所有山林略図 第五ノ□号 ^(通) 川関村熊谷 ※彩色
※三舖一括の三止	※三舖一括の二	※三舖一括の一										
図	図	図	縦帳	縦帳	縦帳	縦帳	図	図	図	図	図	図

d 古座町

e 本宮町

9053	〔地先水面専用漁業・魚場区域図〕（田原村大字下田原）※彩色	（近代以降）	東牟婁郡田原村大字下田原 下田原漁業組合理事出願者 今木伝太郎	図
------	-------------------------------	--------	---------------------------------------	---

f 北山村

9150-97	〔罹災者調査報告書類類〕 ※4月1日の本宮村内火災につき	明治34年	（東牟婁郡本宮村）	（東牟婁郡長佐々木米三郎）	縦綴
9150-98	〔明治四十一年度前半期分県税受取帳〕 ※表紙なし、専用用紙	（明治41年度）	（本宮村）		縦綴
9150-99	〔村費・役場費帳簿〕 ※表紙欠、専用用紙	（明治42年）	（本宮村）		簿冊
9036-10	熊野坐復興一件書類（明治22年大洪水前の旧社地への復旧願いにつき） ※「官幣大社熊野坐神社事務所」用箋多い、明治23・24年の文書写し添付	（昭和7年11月）同 8年12月）	官幣大社熊野坐神社宮司東 弘門	和歌山県／知事清水良策	簿冊

⑨和歌山県域内文書だが出所作成地不明のもの

9177-1	紀州室郡小松村御検地帳（写）〔複製〕 ※写真紙焼き、北山村小松区有文書より	慶長6年10月6日 （享保3年10月写）	脇村少三郎、深江基次郎、 （享保三年写しは小松村庄 や左次兵衛、□武兵衛）	縦帳
9177-2	紀州室郡小松村御検地帳〔複製〕 ※写真紙焼き、北山村小松区有文書より	慶長6年10月6日	脇村少三郎、深江基次郎	縦帳
9177-3	新田畑御改帳 小松村〔複製〕 ※写真紙焼き、北山村小松区有文書より	享保9年4月	渡辺左右衛門、古川勇右衛 門、内藤平蔵	縦帳
9177-4	庄屋役替二付仕渡シ目録〔複製〕 ※写真紙焼き、北山村小松区有文書より	文政5年3月	小松村元庄屋庄次右衛門よ り渡ル	縦帳
9184	正遷宮寄附写 ※所在地名記載なし	明治2年3月	八羽名太夫	横帳

古座町 本宮町 北山村 その他

⑩他府県域（旧紀州藩領域含む）

丁-25	丁-24	丁-23	丁-22	丁-21	丁-20	9250-4	9250-3	9250-2	9250-1	9054	9176
証（地券証印税受取証）	明治十七年地租第四期分（領收証）	明治十七年前半期分協議費（領收証）	明治十七年前半季分協議費（領收証）	明治十七年度後半期分地方税（領收証）	縁組送券之事	北総野田別品 醬油醸造并美噌製造秘法伝授書	酒醸造并変味直シ方一式奇薬製造秘法書	酒醸造并変味直シ方一式秘蜜口伝書	酒醬油酢醸并直シ法秘蜜口伝書	田丸領畷田岩出両村当七月十五日同廿四日大雨大洪水二付宮川堤切川除破損二付水尾替御普請御入用積帳 勝田組	奥熊野桃崎村桃源寺弟子良禅病中不思議之覚書
※現津名郡一宮町	※小吹村	※小吹村	※小吹村	※小吹村、現南河内郡千早赤阪村	※現京都府舞鶴市	※手書、花押あり	※長谷川は「伝授之者也」、手書、花押あり	※手書、花押あり	※手書、朱印花押あり	※新表紙「田丸領川堤普請積帳」	※小損
明治15年6月7日	明治18年3月19日	明治18年2月3日	明治18年2月3日	明治18年2月3日	明治7年1月	明治18年10月（写）	明治14年3月、紀元二千五百四拾年	明治13年7月、紀元式千五百四拾年	明治5年5月吉日	文久2年閏8月	元禄16年6月
兵庫県津名郡長倉本雄三	戸長松尾翠	戸長代理用掛り保田利平	戸長代理用掛り保田利平	戸長代理用掛り保田利平	（桑田郡第七区穴太村）右 村戸長高藤源左衛門（奥書印）区長木内治左衛門	三重県下伊勢国飯高郡松阪 町上黒田町百八番地酒造 油清酢醸造変味直シ薬製造 業長谷川英輔	酒類受売并酒直シ業製造 業長谷川英輔	酒類受売并酒直シ業製造業 長谷川英輔	攝州西之宮浜久保町鹿島英輔	吉田源之右衛門、津村八左衛門	北山組桃崎村庄屋八右衛門、桃源寺振山
津名郡垂井村五島庄平	岡林庄三郎	岡林佐太郎	岡林庄二郎	岡林庄三郎	桑田郡第三区余部村戸長						
一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	一紙	横半帳	横半帳	横半帳	横半帳	堅帳	堅帳

図書館移管番号・地域対照索引

ここでは、資料を図書館が付した「タイトル番号」順に並べた。
『和歌山県立図書館郷土資料目録』（昭和58年）と本目録の対照に利用されたい。（なお、各地域別の目録は、53ページからの目次をご参照ください）

資料番号	枝番	地域の別	標 題	年 月 日	作 成
8983		紀州藩	【紀州家中系譜並に親類書上げ】独立させて整理作業中→別置		
8984		紀伊国	紀州在□□(在郷蔵入石高記)	(近世)	本主布屋源助、(異筆)藤多新治良
8985		紀州藩	〔護國院を中心とした海防図〕	(近世末カ)	
8986		紀州藩	若山江戸御附職分録	(近世)	御目付方
8987		紀州藩	御役順(役と禄高につき)(写)	(近世)	
8989		紀州藩	御役替(親自在院様御附嘱人始末につき)	(文政12年以降)	
8990		紀州藩・旧日高郡	行司(日高郡内支配年中行司并文書雛形書付け)	文政13年	古田兵治郎
8991		紀州藩	衣服定 服儀改 諸被仰出	(寛政2年5月朔日～文久3年2月)	酒井
8992	*	紀州藩	西之丸中御門台石垣損シ所見分諸留日帳	明和9年3月	
8993		紀州藩	定(異国船・キリシタンにつき)	正徳6年3月	
8994		紀州藩	穴太筋(御城石垣普請につき)	(文化・文政頃)	(穴太)
8995		紀州藩	御沙汰留 三番(太政官より紀州藩他へ)	慶応4年4月18日 (内容は3月～)	京御□□
8996		紀州藩	御条目(江戸表にて)	(嘉永3年9月写)	
8997		紀州藩	御天守石垣御普請大積帳(写替)	正徳6年2月/(写日:弘化4年9月朔日)	(写人:津村八左衛門)
8998		紀州藩・旧有田郡	寺社留 有田郡(寺社奉行所あて願書ほか)	文政6年	(各々各村庄屋他)
8999		紀州藩	天朝御触留(前半「公儀御触留」)	元治元年正月(～明治元年10月)	東西
9000		紀州藩	公儀被仰出留	文化13年～安政4年 (実際は天保8年まで)	
9001		紀州藩	姓録帳 ほへと 廿七冊之内	安政5年改(～明治2年頃)	諸渡物方
9002		紀州藩	巳年知行帳	安政4年～	部附方
9003	1・2	紀州藩	御内則 中・下(イ～ハ・ニの部、家中世禄并御加増につき)2点	(近世)	
9004		紀州藩	和歌山御家中御目見以上以下 伊呂波寄惣姓名帳	明治23年12月調(内容は慶応3年～明治2年)	藩政奥御右筆組頭又右衛門事吉田冬栗(翁力)
9005	1・2	紀州藩	諸事御用留 貳拾五番・貳拾六番(藩政等につき)2点	文久3年4月吉日・元治元年8月吉日	組頭仲間中
9006		紀州藩	無官士族卒名前	明治4年3月	総民局 什伍懸り
9007		紀州藩	独礼順書	(明治初期)	
9008		紀州藩	卒族順書	明治3年2月改	政事庁
9017		紀州藩	御役順席附	(文化7年7月以降)	
9020		紀州藩	系譜(三浦家)	文化7年2月	三浦長門守
9024		田辺藩	御管内総民局等級人員	庚午閏10月(明治3年)	田辺藩総民本局
9028		和歌山県庁	和歌山県令達帳	(明治10年)	和歌山県
9029		和歌山県庁	〔県布達第四十三号〕(戸長役場所轄区域他につき)	明治17年7月1日	和歌山県令松本鼎

資料番号	枝番	地域の別	標 題	年 月 日	作 成
9030		旧町外和歌山市	証明副書 朝日登記所(登記出願につき)	明治20年2月~12月	山東中村外九ヶ村・奥須佐村外六ヶ村・且来村外四ヶ村戸長
9031		和歌山県庁	和歌山県布令彙纂	明治20年分	和歌山県庁
9032	1・2	美里町	【社寺取調書類 乙 第三大区十一小区】 2点合冊	明治9年8月改~同12年	
9033	て	由良町	【由良村里寺田家文書】25点	文化12年~昭和36年	
9033	な	由良町	【由良村畑中川山神堂文書】20点	明治43年~昭和17年	
9033	や	中津村	【川中村坂野川柳瀬家文書】116点	明治~昭和	
9036	*	和歌山県庁 (一部高野町・本宮町)	【和歌山県神社寺院等関係文書】(神社寺院明細帳・寺院台帳・寺院教会規則などあり)142点	明治~昭和	
9037		紀伊国・和歌山 県域	地籍台帳異動=関スル書類 第参号・第参類(国有林につき綴)	明治45年	高野小林区署
9038		紀伊国・和歌山 県域	小林区保護区台帳(区域内国有林面積等につき)	大正6年~同13年	高野小林区署
9039		紀伊国・和歌山 県域	【農商務省和歌山山林事務所関係文書】 25点→以下詳細	宝永3年~明治35年	
9039	1	紀伊国・旧町外 和歌山市	【紀伊村大字府中所有山林申立一件文書(写)】8点一綴	近世・近代	(海草郡紀伊村役場)
9039	2	紀伊国・龍神村	国有林下戻申請書	明治33年6月28日	日高郡下山路村大字福井吉本立男代理人、(略図奥印)下山路村長代理助役
9039	3	紀伊国・美里町	【下神野村大字野中十三神社上地国有林申立一件】4点一綴	文化6・7年、近代	
9039	4	紀伊国・新宮市	手続書(売買地境界正しにつき)	明治17年7月16日	東牟婁郡新宮下熊野地中口文助、同地濱中半四郎、同地橋本松次郎
9039	5	紀伊国・高野町	和歌山県下紀伊国伊都郡第四大区七小区高野山官林全図	(近代)	
9039	6	紀伊国・金屋町	紀伊国在田郡彦ヶ瀬村(絵図)	(近代)	
9039	7	紀伊国・旧町外 和歌山市	海草郡有功村大字園部 園部神社官林実測図		
9039	8	紀伊国・旧町外 和歌山市	海草郡雑賀村塩屋地区	(近代)	
9039	9	紀伊国・打田町・ 桃山町	那賀郡田中庄山之絵図 朱引境目筋		
9039	10	紀伊国・打田町	那賀郡田中村大字奥山之図	明治32年	
9039	11	紀伊国・桃山町	【那賀郡安楽川庄大原村絵図写】	文化12年12月	画工西岡教馬、絵図町間調子方役人林弥兵衛、総分方風土記掛来迎院・同金光院
9039	12	紀伊国・桃山町	那賀郡大原郷耕地之図(写)	(近代)	副戸長久米庄三郎、戸長西本善兵衛
9039	13	紀伊国・桃山町	大原村図(写)	宝永3年4月調之	
9039	14	紀伊国・打田町	那賀郡田中村所持山林之図(写)	(近代)	
9039	15	紀伊国・打田町	那賀郡田中村所持奥山之図(写)		

資料番号	枝番	地域の別	標 題	年 月 日	作 成
9039	16	紀伊国・桃山町	紀伊国那賀郡神田村絵図	明治8年11月	那賀郡神田村副戸長 松下伊八郎、戸長林 謙之輔
9039	17	紀伊国・岩出町	那賀郡西坂本村字根来山式等官林下図	(近代)	
9039	18	紀伊国・金屋町	第五大区三小区西ヶ峰村(彩色絵図)	(近代)	
9039	19	紀伊国・打田町・ 桃山町	字奥山安楽川村共有山ト田中庄持山ト 境界標杭ヲ入レン場所(彩色絵図)	明治35年5月20日	共有山境界調査委員 山田勝一郎・上田亀 橋・佐竹正策・永柴 重次郎
9039	20	紀伊国	海部・名草・那賀・伊都四郡の図(村名書 き付あり)	(近代)	
9039	21	紀伊国・美浜町	[紀伊国日高郡和田村舊社上地森林・ 官林ノ図]3点		
9039	22	紀伊国・かつら ぎ町	[和歌山県伊都郡四郷村大字広口(国有 林図)](宇山本・薄月) 2点	(近代)	
9039	23	紀伊国	[馬場区・古城山の絵図一綴]3点	慶長、明治7年・20年	
9040		野上町	旧十小区調査(反別・山藪につき)(那賀 郡野上地方、第三大区十小区)	(近代)	
9041	*	海南市	那賀郡別院村・野原村・木津村図 計3 点	(明治)	-3のみ戸長松島友 藏、副戸長木下熊四郎
9042		金屋町	明治神名帳御編纂ニ附村社由緒明細書絵 図面進達 第五大区四小区村社拾巻ケ社 分	明治10年4月	戸長中井総十郎、小 区長片畑源左衛門
9043		金屋町	社寺堂庵現数取調帳 第五大区四小区有 田郡三十七ヶ村分	明治10年4月改	戸長中井総十郎、小 区長片畑源左衛門
9044		金屋町	第巻 社寺宝什物取調帳 第五大区四小 区	明治10年4月	戸長中井総十郎、小 区長片畑源左衛門
9045		金屋町・吉備町	[第五大区三小区管内里程絵図]	(近代)	
9046	*	金屋町・清水町・ 吉備町	【第五大区四小区二十四ヶ村絵図】(字切 図)32点	(近代)	
9047		清水町	紀伊国有田郡清水村総絵図	明治8年10月	
9048		那智勝浦町	地券下調帳 宇久井・二河・太地・勝浦・ 和田・下里・橋ノ川・湯川・天満村	明治19年10月	(勝浦村居住者か)
9049	*	那智勝浦町	【所有山林略図】25点		
9053		古座町	[地先水面専用漁業・魚場区域図](田原 村大字下田原)	(近代以降)	東牟婁郡田原村大字 下田原下田原漁業組 合理事出願者今木伝 太郎
9054		三重県(旧田丸 領)	田丸領昼田岩出両村当七月十五日同廿四 五日大雨大洪水ニ付宮川堤切川除破損ニ 付水尾替御普請御入用積帳 勝田組	文久2年閏8月	吉田源之右衛門、津 村八左衛門
9055		かつらぎ町	紀伊国兄井村永代講(講員一覽)	明治28年3月20日	講元世話方兄井村武 内文次郎・同北浦常 右衛門、講元願主北 浦ヲスイ
9056		橋本市	御法度審判取帳	文政4年正月	東家村庄屋
9057		橋本市	詰所及大砲一件(時節柄河州・和州国境 警固西洋砲鑄造願一件につき写)	(元治元年)(子4月 9月・亥10月)	(伊都郡地主)
9058		橋本市	覚(総社三部明神社諸入用書き経帳)	(享保7年~同16年)	(市脇村・野村・東 家村・寺脇村四ヶ村 庄屋肝煎)

資料番号	枝番	地域の別	標 題	年 月 日	作 成
9059		紀州藩	〔諸国道中筋宿々割増銭・大艦幟ほか公儀触書控〕	午年(近世末)	
9061		橋本市	〔慶賀野村対五ヶ村山論落着につき取替絵図〕	寛文13年6月	東家村大庄や嘆人脇多兵衛外7名、矢藏脇村・柱本村・紀伊見峠・橋谷村・辻村・小原田村各村庄屋年寄計17名
9062	1・2	高野町	寄付台帳・就学及欠席督促簿 計2点	明治43年以降・明治45年3月改	白藤尋常高等小学校(高野町細川)
9063		金屋町	畑返新田地引井溝床帳	明治6年4月	市場村
9064		那賀町	納経帳	文化8年2月吉日	紀州上那賀郡名手西野山 常助
9066		那賀町	明治十八年度宅地・畑・山林地租収納元帳	明治18年度	横谷村戸長役場
9067		那賀町	諸願写(人送り・離縁・盗難他につき)	明治8年～	四小区横谷邨
9068	1・2	那賀町	区会議伝達書 2点	明治10年6月～同11月・明治11年2月12日～同6月27日	第三大区四小区第壹番組赤横・中・北西邨会議所
9069		那賀町	盗難届並ニ手続書	(明治10年・11年)	(第三大区四小区一番組)
9070		那賀町	諸願届書 横赤分(養子・移住・離縁他につき)	明治9年10月～同10年4月30日	(第三大区四小区役場)
9071		那賀町	県治統計材料綴	明治34年～	麻生津村役場
9072		那賀町	明治十八年度田租収入基簿 那賀郡麻生津五ヶ村分	明治18年12月	那賀郡荒見村外十ヶ村戸長役場
9073		那賀町	諸願届書(養子・縁組・相続他につき)	(明治11年1月～)	第三大区四小区区会議所
9074		旧那賀郡	無銭船渡十方施主過現名簿(紀ノ川につき)	文化元年3月21日	
9075		和歌山県庁	布号違書類(荒見村外十ヶ村戸長役場)	明治18年	和歌山県令松本鼎
9076		打田町	検地畝高取調御達帳 控	(近世)	南中村庄屋□□政一郎、肝煎坂上市次郎、惣代6名、外3名
9085	*	打田町	【東大井村堂本家文書】(村・家〔堂本商会〕・寺関係文書)70点	文久4年～明治45年	
9086		桃山町	神能始終之日並 天・地・人(安楽川庄三船明神宮神能につき)3点合冊	嘉永5年6月(内容天保～)	上田伊織宜久代
9087		桃山町	切支丹宗門御制禁人別相改寺請帳 紀州那賀郡安楽川之庄加和村	明治3年9月	安楽川庄加和村庄屋林謙之輔、年寄乾龜之進、年寄柳本重次郎、百姓代幸次郎
9088		桃山町	取締役諸事心覚記 高野下御修理領(地方兩奉行よりの覚書他につき)	文久元年5月～	上田宜久
9089		桃山町	上(小路村悪党心得違いの者一件につき控え帳)	西10月(近世)	(神田村庄屋)上田伊織
9090		桃山町	宗旨惣御改帳 控 安楽川庄小路村	安政3年8月	小路村年寄鉄之助、同喜助、同村庄屋田中清右衛門、同村宝性寺

資料番号	枝番	地域の別	標 題	年 月 日	作 成
9091		桃山町	宗旨八歳御改帳 控 小路村	文久元年 8月	小路村年寄鉄之助、同村庄屋田中清右衛門、同村宝性寺
9093	*	岩出町	【那賀郡中島村文書】(検地帳・名寄帳ほか近世村文書)46点	元禄17年～明治14年	
9094		旧和歌山町	御触帳	元禄15年11月	新通五町目
9095		旧町外和歌山市	返答(替屋敷役銀並商売ほか地下家訴えにつき)	午正月	雑賀関戸村善六
9096		旧町外和歌山市	西国三十三度勅化帳	天保14年12月	願主操空妙貞尼、西名草郡栗村安楽寺 施主栄谷村松田文助、栗村吟藏、同村弥太郎、世話人船所村新五郎外11名
9099		旧町外和歌山市	六ヶ井溝敷畝高改帳	文政12年 9月	野崎組市小路村
9111	*	和歌山県庁・(旧町外和歌山市)	公布留(太政官布告他) 第一大区八小区冬野村 3点	明治6年後期・同7年前後期	(和歌山県)
9113		旧町外和歌山市	池掛り井掛り反別調帳 岩橋村	明治9年 3月	第一大区七小区岩橋村副戸長井上伴
9114		旧町外和歌山市	地券台帳 第一大区七小区□□(岩橋)村	(近代)	(印)「第一大区七小区長小松重光」、「戸長森羊右衛門」
9115		旧町外和歌山市	管内異動登記目録	明治29年	名草郡西和佐村役場
9116	1・2	旧町外和歌山市	田畑屋敷改反別帳 上・下 栗栖村 2点	(近代)	栗栖村
9117	*	旧町外和歌山市	地租名寄帳 5点	(明治28～昭和5年)	名草(海草郡)西和佐村役場
9118		旧町外和歌山市	建家元帳 名草郡栗栖村	明治□(19)年 6月	栗栖村
9119		旧町外和歌山市	家作取調帳 出島梶曾中里小路 岩橋村	(明治10～同27年頃)	(印)「名草郡西和佐村役場」
9120		旧町外和歌山市	字音浦下り渡 山丈量反別仕出帳 第一大区七小区栗栖村(山林原野反別取調べ上申のため)	明治9年12月	栗栖村惣代栗栖孫次郎・栗本挂治郎・林千松、副戸長根来楠太郎、戸長伴(津の誤カ)村吉郎、小区長小松重光
9121		旧町外和歌山市	処分録 栗栖村(送籍・入籍・死亡ほか届につき)	明治16年 1月	栗栖出島村戸長役場
9123		旧町外和歌山市	〔名草郡栗栖村検地帳〕	元禄10年 7月	栗栖村庄屋与大夫・肝煎勘大夫外東西焼芝各肝煎、出島村庄屋庄兵衛・肝煎市左衛門、八軒屋庄屋五兵衛・肝煎惣兵衛外組頭五人組頭等計40名、(奥書印)岩橋吉郎大夫

資料 番号	枝 番	地域の別	標 題	年 月 日	作 成
9125		旧町外和歌山市	〔鎌留山立合い絵図〕(山東大池へ砂入れにつき)	宝永3年7月	名草郡山東組大庄屋 西村六左衛門・同郡 山廻り堀内智徳院、 那賀郡丸柄組大庄屋 山本弥兵衛・野上組 大庄屋山本喜兵衛、 同郡山廻り1名
9127		旧町外和歌山市	□□(薬師)堂 五具足寄附姓名帳	明治2年初春下旬	関戸村世話人中
9130	*	美里町	【那賀郡猿川松ヶ峰村文書】(土免願い、他近世文書)9点	文化10年～嘉永7年	
9131	*	美里町	【長谷毛原村文書】(役場文書)5点	明治14年～大正3年	
9132	*	野上町	【那賀郡小川小野村文書】(村・講関係)4点	寛延4年以前～慶応4年	
9132	*	美里町	【那賀郡毛原下村文書】(神社関係)6点	文久3年～明治21年	
9134		下津町	「中尾家文書」として独立→『目録1』に掲載済み		
9135		下津町	「中尾家文書」として独立→『目録1』に掲載済み		
9136		下津町	衛生諸届留(出生・死亡ほかにつき) 曾根田村	明治16年1月(～同17年7月)	曾根田村(綴文書は各個人)
9137		下津町	本田畑譲り証文控帳 興村	文化9年正月	興村(各文書は各個人よりで全て印あり)
9139		海南市	〔明治廿四年度大字黒江村等級下調他書類一綴〕	(明治24年)	名草郡黒江村役場
9140		海南市	田畑畝高帳	享保9年4月	日方浦橋本甚助
9141		海南市	西名神冷木浦本田畑之内畝先年賦極帳 日方組	嘉永7年閏7月	冷水浦庄屋饒右衛門、 肝煎弥四郎・佐吉、 (奥書印)転役島村三 次郎代判奥野善之助、 病死田中音八郎代判 小川佐五郎、板原兵 作
9142	*	海南市	【那賀郡次谷村文書】(検地帳・年貢関係ほか)5点	宝永2年～明治13年	
9143	1 ・ 2	海南市	保存講規約書 2点	明治25年12月	(南野上村大字次ヶ 谷)会主北畠音吉、 親受寺山元楠・梶田 惣兵衛、出納方神谷 安兵衛、世話人赤松 平助外同4名
9144		海南市	委任状 保存講事務控(講金貸付登記請求の件につき)	(明治)(26年カ)	(保存講)清水庄五郎、 入田長兵衛、松本福 太郎、岩本亀楠(外 44名)
9145		海南市	委任状之事(負債主の都合により抵当地交換願につき)	明治28年3月28日	南野上村大字次ヶ谷 北畑音吉(外24名)
9146	*	海南市	保存講 掛金受取帳 17点	明治26年旧6月28日 ～明治37年6月会	会主北畠音吉
9147	1	清水町	村内貧民工救助米麦下与帳	明治18年旧4月23日	杉野原村用係
9147	2	旧町外和歌山市	当村字年(耳カ)切谷山地所屬争論ニ付大審院江上告諸入費出納簿 新出	明治17年旧5月	(上三毛村カ)

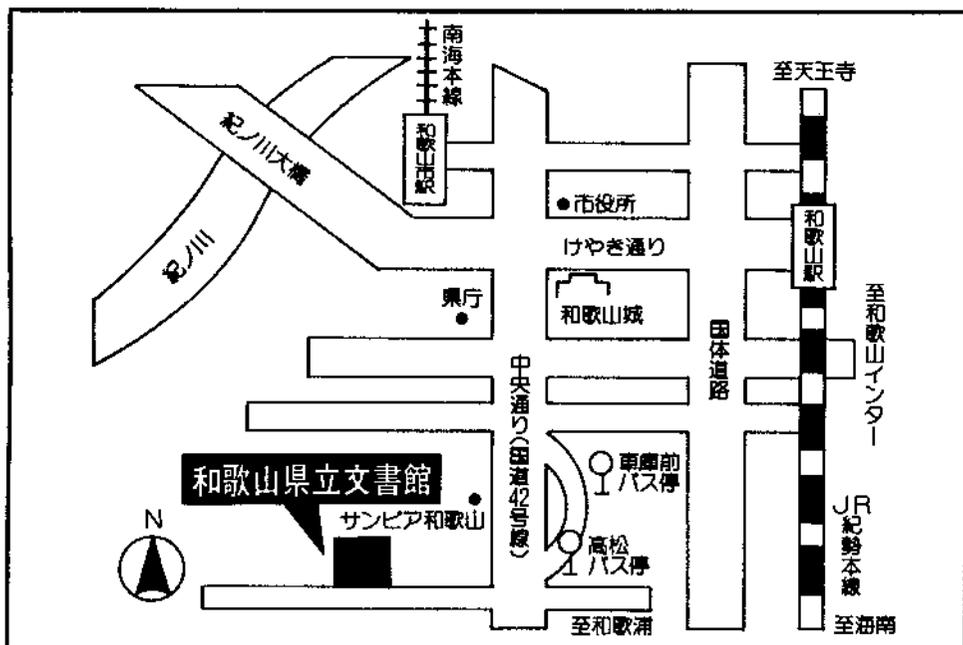
資料番号	枝番	地域の別	標 題	年 月 日	作 成
9147	3	清水町	当壬申毛付前新破損村渡宮橋出来ケ所書帳 有田郡山保田組	明治5年6月	山保田組戸長堀江龜太郎
9148	*	清水町	【有田郡八幡村文書】(字絵図) 13点	(近代)	
9150	1	清水町	本田畑御検地合記帳	明治5年9月	宮川村
9150	73	清水町	三大神社氏子帳	明治4年12月	坂尾村
9150	*	金屋町	【金屋町内旧村文書一括】(検地帳ほか) 55点	近世～近代	(関係旧村は10ヶ村以上あり)
9150	*	広川町	三番字森寄(略図)・〔上津木村土地台帳〕・津木村除名寄帳 計5点	(近代)・大正5年	
9150	57	吉備町	県税第二回追加戸数割徴収帳	明治39年1月	御霊村役場
9150	*	有田市	【有田市内旧町村関係文書】(名寄帳ほか) 11点	近世～近代	椒里村・宮原村・糸我村ほか
9150	71・93	旧有田郡	地租証憑書類・大福帳(店おろし他) 2点	明治28年分・明治13年1月吉日	和歌山県湯浅収税署・紀鶴新太夫
9150	*	湯浅町	【湯浅町内商売帳簿】 4点	(近世～近代)	
9150	*	湯浅町	【阿瀬誠治郎商店文書】(明治後期の織工所文書)16点	明治24年～同41年	
9150	*	本宮町	【東牟婁郡本宮村文書】 3点	明治34・41・42年	(東牟婁郡本宮村)
9152		有田市	明治四拾四年度毎日収支計算簿	明治44年度	箕島町収入役
9156		有田市	呉服太物通 糸我山崎実之助	大正元年3月日	株式会社 呉服店
9157	*	有田市	【有田郡宮原組西村文書】(名寄帳・検地帳ほか)83点 ※山崎氏力	慶長6年～明治	
9157	*	清水町	字限図面 有田郡三田村・西原村・久野原村 計4点	明治8年～同18年	
9158	*	吉備町	【有田郡奥村武内家文書】(家文書)86点	弘化5年～明治15年	
9160	*	日高町	【日高郡志賀組志賀村文書】(検地帳・名寄帳など)11点	慶長6年～明治3年	
9161		日高町	名寄帳 上巻 日高部下志賀村	明治4年2月	下志賀村
9162		日高町	浦手形(当浦破船積御城米沈み一件につき)	文政3年正月	日高郡阿尾浦庄屋佐五兵衛、同浦肝煎市五郎、同浦同断三九郎、(後筆)産湯浦兼帯三尾浦庄屋七太夫外5浦庄屋、(奥書)入山組大庄屋田端弥三郎、外天田組志賀組大庄屋
9163	*	日高町	【東内原村大字原谷全図・小字図】 61点		
9164		川辺町	「岡家文書」として独立→『目録2』に掲載済み		
9165	*	美浜町	【日高郡浜ノ瀬村文書】(検地帳ほか浦村文書など)19点	元禄16年8月～明治30年	
9166		川辺町	名寄御帳面写ノ控 但山手米高入る 江川・上下和左・若野	文化7年9月改	
9167	*	御坊市	【日高郡御坊村文書】(御用留・貸麦関係ほか浦村文書)58点	明和3年～慶応元年	
9168		御坊市	村共有山反別取調書入 明治十五年控帳	明治15年	熊野村山添甚六
9169		印南町	(日高郡切目村衛生組合書類綴)	(明治33年8月～大正4年9月)	(印)「日高郡切目村役場」

資料番号	枝番	地域の別	標 題	年 月 日	作 成
9170		印南町	検疫日誌	明治38年9月28日起 (~10月23日)	切目村検疫事務所、 (印)「日高郡切目村 役場」
9172		串本町	口上書(難破船積荷始末済みにつき浦証 文申請の船中荷主連印書)	文久2年12月	播州赤穂塩屋村米屋 清吉船沖船頭清七外 8名、大島浦船宿銀 右衛門、大坂積問屋 富田屋巖助代利吉、 同荷主惣代外4名
9173	*	那智勝浦町	色川村大字小阪字図・地番図 計3点		
9174		那智勝浦町	紀州室郡庄村御検地帳〔複製〕	慶長6年9月	松田為兵衛
9175		新宮市	就切支丹御改寺請之事(新宮城下にて)	嘉永6年2月	松岩(印は巖)院、妙 鉢寺、長徳寺、宗応 寺、瑞泉寺、本廣寺、 全龍寺、清涼寺、浄 泉寺
9176		三重県熊野市 (旧領内)	奥熊野桃崎村桃源寺弟子良禪病中不思議 之覚書	元禄16年6月	北山組桃崎村庄屋八 右衛門、桃源寺根山
9177	*	北山村	紀州室郡小松村御検地帳・新田畑御改帳 ほか [複製]4点	慶長6年10月6日~ 文政5年3月	
9178		高野町	奥院木食堂道具目録	明和6年4月11日改 之	木食所庵主本明代
9179		高野町	高野大塔大徳院就御造営萬書物并絵図物 数之帳	寛永15年9月15日	小出大和守内藤井七 郎兵衛、同杉原著右 衛門、戸川土佐守内 西山市左衛門、同加 地喜左衛門
9180		那智勝浦町	那智山社法格式書抜書	(延享元年4月~安 永7年5月)	
9181		高野町	高野山御条目之写	(近世、元禄4年4 月28日ほか)	
9182		那智勝浦町	西国第老番札所 紀伊国那智山大宮總費 募集東告	明治32年~同35年	西国第老番札所紀州 熊野那智山青岸渡寺 信徒中
9183		旧那賀郡	第老 本寺東寺毎歳上京年礼目録控	(延享3年~寛政11 年)	十七箇院中
9184		不明	正遷宮寄附写	明治2年3月	八羽名(石カ)太夫
9186	*	日高町	【萩原村浄専寺文書】27点	嘉永3年~明治39年	
9188	1・ 2	九度山町	【伊都郡丹生川村圓通寺文書】(奉加集帳・ 鐘鈔厨子鐘楼堂)2点	貞享2年~4年	自性法身院役寺法印 空算ほか
9189	*	湯浅町	【有田郡湯浅町船山商店文書】(鉄砲・火 薬類販売店)76点	明治32年~昭和7年	
9190	1・ 2	旧町外和歌山市	【中屋文左衛門家文書】(萬貫帳(店別))、 2点	嘉永3年正月・弘化 2年正月吉日	中屋文左衛門
9203	*	旧有田郡	【有田製材所文書】(賃金勘定帳)9点	明治38年・39年	合名会社有田製材所
9230	*	紀伊国・那賀町	【正保二年御壁書ほか郡奉行・代官お定 め・郷組一札など】〔複製〕4点	正保2年・延宝5年・ 元禄8~14年・慶応 2年	
9231	*	旧和歌山町	【坂本屋喜一郎家文書】(書物屋文書)33 点	天保6年2月~文久 2年	

資料番号	枝番	地域の別	標 題	年 月 日	作 成
9246		串本町	貴客来临覚〔複製〕(内題「高貴之御方止宿御休息之控」)	(安政4年10月～慶応元年閏5月)	神田佐七
9247		旧町外和歌山市	奉納秀唫抜粋(寄句集)	寛政辰(8年)文月	考整 青楽舎
9248		龍神村	高野山内閣御達書(高野寺領国境蕃固志士など入込情報ほかにつき)	(卯=慶応3年)12月28日	龍神村地土龍神弥吉、日高郡胡乱者改杉谷欽十郎
9249		紀伊国	六郡村名寄(口六郡)	享保9年6月	
9250	*	兵庫県・三重県	【酒醬油酢醸并直シ法秘蜜口伝書ほか】4点	明治5年5月吉日～同18年10月	酒類受売并酒直シ業製造業長谷川英輔
9251	*	有田市	【喜多織工所文書】(布織帳ほか)5点	明治35年1月～大正8年	喜多織工所
9251	5・7	下津町	進達留・小学校新築ニ付副願(梅田村小学校関係文書)計2点	明治13年2月～明治16年4月15日	(海部郡)梅田村、梅田小学校学務委員中尾総助ほか
9251	6	有田市	第五大区一小区北渡村貧民取調表	明治9年10月日	
9252		旧有田郡	〔有田川流域水害図〕	(近代以降)	
9253	*	岩出町	【小田井関係文書】(岩出組掛り金割賦帳)6点	天明6年霜月～文化5年12月	岩出組各村庄屋・肝煎
9254	*	岩出町	【岩出町宮 西口商店文書】(米穀類・印紙販売店関係)150点	明治5年～昭和13年	西口商店
9254	*	日高町	【日高郡原谷村文書】(本銀返し・山林肉桂細売り証文)66点	寛政9年～明治9年	
9255	1・2	海南市	【那賀郡原野村文書】(卯免かけ帳・近代役場関係)5点	慶応3年～明治17年	納庄生佐右衛門/原野村宗佐右衛門ほか
9255	3	旧那賀郡・海南市	那賀郡山林原野村等原案(郡全域)	(明治)	
9255	4	海南市	北野上村明治廿五年度戸数等級村会議案	(明治25年)辰之歳	(北野上村)
甲	*	旧町外和歌山市	【本郷引き分かれ願ほか書留帳】(皮田より発出候諸願書之控ほか)5点合冊	安永8年6月～天明8年2月	吉原組□□村
乙	*	吉備町	【有田郡藤並組野田村文書】(検地帳・名寄帳・免割など)21点	慶長6年～元治2年	
丙	*	紀州藩(一点県庁)	【紀州藩・和歌山藩庁文書】(藩士の人事や褒賞・相続・幕末維新期の藩の動向などがわかる資料)226点	元和9年～明治22年	紀州藩・和歌山藩ほか
丁	*	旧町外和歌山市	【名草郡坂田村役場文書】19点	明治11年～同17年他	
丁	20	京都府	縁組送券之事	明治7年1月	(桑田郡第七区穴太村)右村戸長斎藤源左衛門、(奥書印)区長木内治左衛門
丁	*	大阪府	明治十七年度前・後半期分地方税・地租他領収証(4点)	明治18年2月・3月	戸長代理用掛り保田利平
丁	25	兵庫県	証(地券証印税受取証)	明治15年6月7日	兵庫県津名郡長倉本雄三
ナン		旧町外和歌山市	「山裾織布場文書」として独立→『目録1』に掲載済み		
ナン		有田市	「蜜柑方元締文書」として独立→『目録1』に掲載済み		
ナン		川辺町	「岡家文書II」として独立→『目録2』に掲載済み		

注1) 枝番欄に*がある資料は、点数が多いため枝番の記入を省略したものです。目録本編には枝番まで掲載されています。

注2) 『和歌山県立図書館郷土資料目録』(昭和58年)には、甲番以降の資料は掲載されていません。



〈利用案内〉

- ・古文書の一般利用は、原本保護のため、写真版またはマイクロフィルムとします。
- ・一般利用に供している資料は、写真版等から複写できます(有料)。
- ・どうしても原本の閲覧が必要な場合には特別閲覧制度があります。事前に、文書館所定の用紙に申請の目的など必要事項を記入し、捺印のうえ申請してください。
- ・利用の際に資料破損のおそれがある場合など、特別閲覧できないことがあります。
- ・資料原本からの複写は一切できません。

所在地

〒六四一—〇〇五一 和歌山市西高松一—七—三八

(TEL 073—436—9540)

開館時間

平日 午前10時～午後6時

土・日曜日 午前10時～午後5時(5月5日・11月3日を含む)

休館日

月曜日・国民の祝日(5月5日・11月3日)をのぞく

年末年始(12月28日～1月4日)

館内整理日(1月5日・2月から12月は月の初日)

特別整理期間(毎年6月中に十日間)

交通

和歌山バス高松バス停下車徒歩約三分

JR和歌山駅・南海電鉄和歌山市駅より約二〇分

収蔵史料目録四 移管資料目録

平成十二年三月三十一日発行

編集 和歌山県立文書館
発行 和歌山県
印刷 西岡総合印刷株式会社